

科目名	中国語I	授業形態	講義
英語科目名	ChineseI	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	劉 珍	ナンバリング	
担当教員	劉 珍、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>本授業では中国語の発音と文法を基礎から学習し、中国語を聞く・話す・読む・書くために、初歩的な能力を身につけることを目標とする。中国語発音表記法であるピンインを繰り返し聞きながら復唱練習を行い、発音の定着を図る。簡体字を学び、初級文法、簡単な日常会話、よく使う表現の習得を目指す。また、中国の文化や習慣、ものの考え方などについて理解を深める。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発音と声調を正確に発声することができる。</li> <li>2. 基本単語約400～500語の読み書きができる。</li> <li>3. お礼を言ったり、謝ったりすることができる。</li> <li>4. 簡単な自己紹介、家族、友人、趣味などについて聞いたり、答えたりできる。</li> <li>5. 基本な要求、買い物、評価など相手に伝えたり、理解することができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	中国語ピンインの発音の方法に慣れていきながら、中国語の漢字をピンインで読めるようにしていき、日常生活の身近な表現と基礎的な語法や文法事項を学び、簡単な会話を習得する。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本項目を学習することで、以下の能力の基礎が身につけます。</p> <p>◎DP 1-II 人間関係を構築できるコミュニケーション能力 ◎DP 4-I 国際的視野をもっと活動できる基礎的能力</p>		

履修上の注意、履修要件	<p>音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。          付属教材を用い、前回勉強した内容を理解し、表現の違いや語順の違いをしっかりと覚える。          プリント教材については、語彙、表現、文法などきちんと復習する。          練習問題を解き、会話文を音読練習する。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分          【自己学習注意点】 1. 音声教材を繰り返し聞き、中国語の声調に慣れ、しっかり身につける。          2. 簡体字を正しく書けるように練習する。          3. 同じ漢字でも全く意味が変わってしまうものについてしっかりと勉強し、その違いを理解した上で正しく使うこと。          4. 練習問題を解く。提出期限を守る。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	平常点（出席状況、学習態度、課題の提出、小テスト）(50%)、期末試験(50%)を統合して評価する。
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ピンイン（声調も含め）」を正しく読める。</li> <li>2. 聞き取った中国語の音を正確にピンインで書ける。</li> <li>3. 簡体字を正しく書くことができる。</li> <li>4. 簡単な自己紹介が中国語で出来る。</li> <li>5. 学んだ文法で正しく作文することができる。</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

講義内で課題、小テストやレポート等に対する解説を加えながら回答を示す。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
使って学ぶ！中国語コミュニケーション	寺西光輝	朝日出版社	978-4-255-45327-9	

**参考文献**

図書館に文法書や辞書、中国語検定試験過去問解説本などがあります。

その他	
連絡先・オフィスアワー	授業終了後に教室あるいはチャットで質問を受け付ける。
担当教員の実務経験	
備考	

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 4/11(月) 2限	劉 珍	ガイダンス 中国・中国語について 授業、試験、評価説明 【到達目標】中国と中国語を知る。	講義	中国語に親しもう シラバスをよく確認しておく。
2 4/18(月) 2限	劉 珍	発音編1 発音編1 母音 複合母音 あいさつ 【到達目標】「四声」の弁明ができる。簡単な挨拶ができる。	講義	[予習](45分) 音声教材用、単母音、声調、複合母音を聞いておく。 [復習](45分) 音声教材を聞き、四声、母音の違いを把握し、正しい発音する。 [キーワード] 四声 音声の高低

3 4/25(月) 2限	劉 珍	<p>前回の復習</p> <p>発音編2</p> <p>子音、鼻母音、声調記号の付け方</p> <p>【到達目標】簡単な挨拶ができる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、子音と鼻母音を聞いておく。</p> <p>[復習] (45分) 音声教材を聞き、子音、鼻母音の違いを把握し、発音しながら練習する。</p> <p>[キーワード] 鼻母音</p>
4 5/2(月) 2限	劉 珍	<p>前回の復習</p> <p>発音編3</p> <p>声調の変化、r化音、ピンインのまとめ</p> <p>【到達目標】名前を言ったり、尋ねたりできる。簡単な授業用語が理解できる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、声調の変化とr化音を聞いておく。</p> <p>[復習] (45分) 音声教材を聞き、声調変化と軽音を把握し、発音しながら練習する。中国式ローマ字の綴り方を覚える。 付属教材の「言語記録-3」を使い、発音の自己評価を書きましょう。</p> <p>[キーワード] 人称代名詞</p>
5 5/9(月) 2限	劉 珍	<p>第1課</p> <p>新出単語 本文 身分や出身地について話す 私は日本人です。 文法事項 “是” “吗” の疑問文 練習</p> <p>【到達目標】相手の出身国/出身地を確認したり、答えたりできる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。</p> <p>[復習] (45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。「是」「吗」の使い方を覚える。</p> <p>[キーワード] 疑問文 否定文</p>
6 5/16(月) 2限	劉 珍	<p>第2課</p> <p>新出単語 本文 身の回りのものや人について話す これはなんですか 文法事項 指示代名詞、“都”</p> <p>【到達目標】身近な人について、自分との関係を表現できる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。</p> <p>[復習] (45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。副詞「也」「都」の使い分けを覚える。</p> <p>[キーワード] 指示代名詞 省略疑問文</p>

7 5/23(月) 2限	劉 珍	<p>第1～2課の応用練習</p> <p>小テスト 音声を聞いて、ピンインと簡体字が書ける 読解練習 学生同士によるロールプレイング</p> <p>小作文発表 【到達目標】簡単な自己紹介ができる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、第1～2課の本文を音読し、内容を確認する。</p> <p>[復習](45分) 音声教材を聞き、第1～2課の練習問題、簡体字を書いて覚える。 付属教材第1～2課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。</p>
8 5/30(月) 2限	劉 珍	<p>第3課</p> <p>新出単語 本文 年齢や学年、所有について話す 何歳ですか、携帯電話を持っていますか 文法事項 数詞 名詞述語文(1)</p> <p>【到達目標】年齢や学年を言える。相手の所有の有無を尋ねることが出来る。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。</p> <p>[復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。「有」を使い、作文する。</p> <p>[キーワード] 年齢の聞き方 所有を表す“有”</p>
9 6/6(月) 2限	劉 珍	<p>第4課</p> <p>新出単語 本文 時間や一日の行動について話す 今日は何月何日何曜日ですか 文法事項 名詞述語文(2) 動詞述語文</p> <p>【到達目標】日時や曜日について話せる。いつ何をするのが話せる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。</p> <p>[復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。動詞述語文の語順を覚える。</p> <p>[キーワード] 時刻の言い方 名詞述語文</p>
10 6/13(月) 2限	劉 珍	<p>第3～4課の応用練習</p> <p>小テスト 音声を聞いて、ピンインと簡体字を書ける。 読解練習 学生同士によるロールプレイング。</p> <p>小作文発表 【到達目標】日常の一日が表現できる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、第3～4課の本文を音読し、内容を確認する。</p> <p>[復習](45分) 音声教材を聞き、第3～4課の練習問題、簡体字を書いて覚える。 付属教材第3～4課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。</p>

<p>11 6/20(月) 2限</p>	<p>劉 珍</p>	<p>第5課 新出単語 本文 性質や状態、天候について話す 明日の天気はどうですか 文法事項 形容詞述語文 程度副詞  【到達目標】人や物の性質や状態を言える。天気について話せる。</p>	<p>講義</p>	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。「怎么样」の使い方を覚える。 [キーワード] 指示代名詞 様態補語</p>
<p>12 6/27(月) 2限</p>	<p>劉 珍</p>	<p>第6課 新出単語 本文 趣味や好み、できることについて話す 歌は得意です 文法事項 助動詞  【到達目標】趣味や好みを言える。</p>	<p>講義</p>	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。能願動詞を使い、練習問題を解く。 [キーワード] 能願動詞 助動詞 “会”と“能”</p>
<p>13 7/4(月) 2限</p>	<p>劉 珍</p>	<p>第5～6課の応用練習 小テスト 音声を聞いて、ピンインと簡体字をかける 読解練習 学生同士によるロールプレイング  小作文発表 【到達目標】私の趣味を紹介することが出来る。</p>	<p>講義</p>	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、第5～6課の本文を音読し、内容を確認する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、第5～6課の練習問題、簡体字を書いて覚える。 付属教材第5～6課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。</p>

<p>14 7/11(月) 2限</p>	<p>劉 珍</p>	<p>前期のまとめと復習 ヒヤリング、スピーキングの練習  Can-do 達成の確認 【到達目標】既習内容をしっかりと身につけましょう。</p>	<p>講義</p>	<p>[予習] (45分) 前期学んだ語彙や表現に目を通しておく。 [復習] (45分) 授業で学んだことをしっかり覚える。付属教材Can-doシートを使い、到達目標と表現例を見ながら、できるかどうか確認しましょう。 前期末試験に備える。</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	ドイツ語I	授業形態	
英語科目名	GermanI	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	五十嵐 豊	ナンバリング	
担当教員	五十嵐 豊、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	ドイツ語の初級文法を学びながら、ドイツ語を「読む・書く・聞く・話す」ために必要な初歩的能力を身につける。また、言語のみならず、ドイツ語圏の文化、社会、地理などにも広く目を向け、関心と理解を深める。		
到達目標	<p>【一般目標】 指定の教科書を用いながら、ドイツ語の初級文法を習得する。また、教科書の例文や会話テキストを通じて、正しいドイツ語の発音と簡単な会話表現を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ドイツ語の初歩の文法事項（ドイツ語検定5級レベルに相当）を一通り理解し、問題を解くことができる。</li> <li>2. 基本的な語彙を習得し、短めのテキストを読んでその内容を理解したり、簡単な文や会話を作ることができる。</li> <li>3. 日常的な表現を覚え、簡単な質問や受け答えをすることができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p>【履修上の注意】 Zoomを通じたオンライン授業。初習言語の場合、最も重要なことは「継続的に学習すること」である。まずは毎回きちんと授業に出席し、発音練習や会話練習などのトレーニングを積極的に実践してほしい。その上で、その回の授業内容を復習するための課題にもきちんと取り組むこと。 また、授業期間内に学習内容が身についているかを確認する小テストを行う予定であるので、しっかり準備して臨むこと。すでに、ドイツ語技能検定試験（独検）5級以上を取得している学生は後期の「ドイツ語Ⅱ」より受講を勧める。</p> <p>【課題について】 毎回の課題のやりとり及び授業に関する連絡などは、基本的にGoogle Classroomを通じて行う予定である。初回授業時、Google Classroomの登録方法について説明するので、これに従って登録をお願いしたい。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>【成績評価方法】 授業への参加度、授業中の小テスト（1～2回）、課題提出など「平常点」を50%、「最終課題」の結果を50%として扱い、その合計によって成績評価を行う。</p>
------	--

評価基準	<p>【成績評価基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な文法事項や語彙を身につけ、さまざまな問題を解くことができる。（最終課題）</li> <li>2. 授業中の受け答え、練習問題、発音練習、ペア練習などへの取り組み状況による授業参加度評価（平常点）</li> <li>3. 授業内の学習内容を復習する課題への取り組み（平常点）</li> <li>4. 学習を終えた文法事項や語彙などが身についているかを確認する小テスト（平常点）</li> </ol>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

<p>【毎回の課題について】 毎回の授業後、その回の授業内容を復習するための課題をGoogle Classroomを通じて出すので、これに取り組み、提出すること。提出された課題は、添削し返却する。返却時、各受講生にあてた助言を添えてフィードバックを行う。</p> <p>【授業内で行う小テストについて】 小テスト実施後、授業内及びGoogle Classroomを通じて全体に向けた解説を行う。</p> <p>テキスト</p>
---

書名	著者	出版社	ISBN	備考
イン・ドイチュラント メーション ドイツ語インフォ 映像付	秋田静男・江口陽子他	朝日出版社	978-4-255-25388-6	購入必須。購入方法については初回授業時に詳しく説明する。

**参考文献**

<p>独和辞典。初回授業時に紹介する。</p>
-------------------------

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：五十嵐豊（いがらし ゆたか）          E-mail: y-igarashi[at]juntendo.ac.jp          * [at]を@に変更してください。</p>
担当教員の実務経験	—
備考	<p>授業内容の復習のために、教科書に収録されている練習問題や関連問題などを毎回課題として出すので、ウェブを通じて提出すること。また、教科書の音声教材や映像教材を利用しながら、例文の音読練習にも取り組むこと。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 ガイダンス、ドイツ語とはどのような言語か ～ドイツ語を発音してみよう～            【サブ・タイトル】 データで見るドイツとドイツ語、ドイツ語のあいさつ            【キーワード】 ドイツ、ドイツ語、あいさつ、アルファベット            【到達目標】 世界の中で、ドイツ語がどのような位置づけにあるかを理解する。ドイツ語の挨拶やアルファベットを発音し、これを覚える。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 未知なるものへの興味や好奇心を大切に。</p>	<p>【予習：45分】            ・本やインターネットなどを利用して、ドイツやドイツ語に関する情報を集めてみる。</p> <p>【復習：45分】            ・配布資料をよく読んでおく。            ・授業で学んだフレーズを練習する。            ・課題に取り組む。</p>
4/21 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 0            【サブ・タイトル】 アルファベットの発音、つづりと発音の規則            【キーワード】 アルファベット、つづり、発音            【到達目標】 ドイツ語のアルファベットを発音できる。ドイツ語の音に慣れる。つづりと発音の規則を理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】            ・音声教材を用いて、ドイツ語のアルファベットやあいさつなどをまねてみる。</p> <p>【復習：45分】            ・学習した内容を整理しておく。            ・音声教材を用いて、アルファベットやあいさつの発音を練習する。            ・課題に取り組む。</p>

4/28 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 1  【サブ・タイトル】 動詞の現在人称変化、疑問詞、数詞①  【キーワード】 人称代名詞、動詞の現在人称変化、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 人称代名詞を正しく発音し、これを覚える。動詞の現在人称変化のしくみを理解する。練習問題を通じ、人称代名詞、規則動詞の現在人称変化を身につける。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
5/12 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 1、2  【サブ・タイトル】 自分のことについて話す・相手に質問する、名詞の性  【キーワード】 人称代名詞、動詞の現在人称変化、語順、名詞、性  【到達目標】 学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。文法上の性という概念を理解する。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
5/19 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 2  【サブ・タイトル】 名詞の性、定冠詞（1格）、語順  【キーワード】 男性名詞、女性名詞、中性名詞、語順、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 基本的な名詞を覚える。定動詞第2位の原則を理解し、簡単な文を作ることができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
5/26 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 3  【サブ・タイトル】 定冠詞と名詞の格変化①  【キーワード】 定冠詞、格変化、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 格および格変化というものを理解する。練習問題を通じ、定冠詞と名詞の格変化に慣れる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>

6/2 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 3  【サブ・タイトル】 定冠詞と名詞の格変化②、名詞の複数形  【キーワード】 定冠詞、格変化、複数形  【到達目標】 定冠詞と名詞の格変化を身につける。名詞の複数形5つのタイプを理解し、使い分けができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
6/9 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 3  【サブ・タイトル】 格変化、数詞②  【キーワード】 文法練習問題、数詞、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、定冠詞と名詞の格変化を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
6/16 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 4  【サブ・タイトル】 不定冠詞、所有冠詞（不定冠詞類）、否定冠詞（不定冠詞類）  【キーワード】 不定冠詞、格変化、所有冠詞、否定冠詞  【到達目標】 不定冠詞を発音し、格変化に慣れる。不定冠詞類（所有冠詞・否定冠詞）のしくみを理解する。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
6/23 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 4  【サブ・タイトル】 さまざまな冠詞、練習  【キーワード】 発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、不定冠詞、不定冠詞類の格変化を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>

<p>6/30 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 5  【サブ・タイトル】 不規則動詞の現在人称変化①  【キーワード】 不規則動詞、現在人称変化  【到達目標】 不規則動詞を正しく使いこなすことができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>7/7 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 5  【サブ・タイトル】 不規則動詞の現在人称変化①、名詞の3格、人を表す疑問代名詞  【キーワード】 不規則動詞、格の用法、疑問代名詞、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、不規則動詞の現在人称変化を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>7/14 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 6  【サブ・タイトル】 不規則動詞の現在人称変化②  【キーワード】 不規則動詞、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、不規則動詞の現在人称変化を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>

<p>7/21 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 6  【サブ・タイトル】 人称代名詞、非人称のes、練習  【キーワード】 人称代名詞、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、人称代名詞、非人称のesの用法を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。最終課題について、提出方法や期限などを確認しよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フランス語I	授業形態	
英語科目名	FrenchI	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	竹内 京子	ナンバリング	
担当教員	竹内 京子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	フランス語による日常会話のための基礎的な文法、語彙、表現を学び、実際の会話においてどのように使われているかをスキットを通して学ぶ。また、フランス語が使われている国の文化、習慣、ものの考え方などについて理解を深め、グローバルな視点を養う。実用フランス語検定試験5級の試験対策も行う。		
到達目標	<p>[一般目標] フランス語のことばのしくみ、文法、語彙、表現を学び、簡単な会話ができるようになること。</p> <p>[到達目標] 1. フランス語であいさつ、自己紹介ができるようになる。 2. フランス語で買い物、簡単な応答ができるようになる。 3. フランス語で簡単な事務書類を書くことができるようになる。 4. フランス語の簡単な文法を理解できるようになる。 5. フランス語を使う国の文化や歴史に興味を持つようになる。</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	初めて学習する言語であるので一回欠席すると分からなくなる。できれば全出席が望ましい。 すでに実用フランス語技能検定試験5級以上を取得している人は後期の「フランス語Ⅱ」より受講を勧める。
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	出席が全授業の3分の2以上あることが条件。平常点（小テスト・課題など）＋口答テスト＋筆記テストの総合評価、合計が60%以上を合格とする。詳細は授業中に説明する。
------	--

評価基準	個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	------------------------------------

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
パスカル・オ・ジャボン	藤田裕二	白水社	9784560060834	購入必須

**参考文献**

辞書や参考書は授業中に紹介する。

その他	
連絡先・オフィスアワー	メールで日程を相談の上、授業時間後に非常勤講師室で対応する
担当教員の実務経験	-
備考	毎回の授業後に宿題や課題があり、次回の授業で小テストを行うので復習は必ずすること。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、復習：45分 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/11 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 ガイダンス・あいさつの表現・Leçon 0-1、ガイダンス・あいさつの表現・Leçon 0-2 【到達目標】 授業中にするあいさつの表現を覚える。	演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	シラバスをよく確認しておく。
4/18 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 Leçon1-1、Leçon1-2 【サブ・タイトル】 国籍を言う 【キーワード】 主語人称代名詞・国籍を表す名詞・êtreと -er動詞 【到達目標】 主語人称代名詞・国籍を表す名詞・êtreと -er動詞、アルファベットの読み方、綴り字の読み方の概略を知る。	演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	復習：アルファベで自分の名前が言えるようにしておく。

4/25 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 2-1、Leçon 2-2  【サブ・タイトル】 名前・職業を言う  【キーワード】 職業を表す名詞・形容詞の性・数一致・名前の言い方  【到達目標】 職業を表す名詞・形容詞の性・数一致・名前の言い方を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。数字(1-20)を読めるようにする。</p>
5/2 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 3-1、Leçon 3-2  【サブ・タイトル】 持ち物を尋ねる  【キーワード】 名詞と不定冠詞・指示代名詞・形容詞の位置・avoir  【到達目標】 名詞と不定冠詞・指示代名詞・形容詞の位置・avoirの活用を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
5/9 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 4-1、Leçon 4-2  【サブ・タイトル】 趣味を語る  【キーワード】 定冠詞・疑問文・疑問形容詞  【到達目標】 定冠詞・疑問形容詞、疑問文の作り方を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
5/16 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 1-4のまとめ1、Leçon 1-4のまとめ2  【到達目標】 Leçon 1-4の復習をする。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>Leçon 1-4までの疑問点を探しておく。</p>

5/23 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 5-1、Leçon 5-2  【サブ・タイトル】 誰か尋ねる  【キーワード】 否定文・疑問代名詞qui・il y a-  【到達目標】 否定文・疑問代名詞qui・il y a-の表現を覚える。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
5/30 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 6-1、Leçon 6-2  【サブ・タイトル】 したいことを尋ねる  【キーワード】 前置詞と定冠詞の縮約・指示形容詞・否定疑問文の応答・vouloir, pouvoir  【到達目標】 前置詞と定冠詞の縮約・指示形容詞・否定疑問文の応答・vouloir, pouvoirの活用を覚える。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
6/6 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 7-1、Leçon 7-2  【サブ・タイトル】 住んでるところを言う  【キーワード】 人称代名詞の強勢形・所有形容詞・connaître  【到達目標】 人称代名詞の強勢形・所有形容詞・connaîtreの活用を覚える。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
6/13 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 8-1、Leçon 8-2  【サブ・タイトル】 何をしているか尋ねる  【キーワード】 疑問代名詞que・場所を表す前置詞・faire  【到達目標】 疑問代名詞que・場所を表す前置詞・faireの活用を覚える。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>

<p>6/20 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 Leçon 5-8のまとめ1、Leçon 5-8のまとめ2 【到達目標】 Leçon 5-8の復習をする。</p>	<p>演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>Leçon 5-8までの疑問点を探しておく。</p>
<p>6/27 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 期末口答テスト 【到達目標】 口答試験内容を覚える。</p>		<p>口答の試験内容を覚える。</p>
<p>7/4 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 期末筆記テスト 【到達目標】 前期の授業内容を理解する。</p>		<p>前期の総復習をしておく。</p>

7/11 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 予備日 【到達目標】 前期の授業内容を理解する。		前期の総復習をしておく。








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Academic English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Academic English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	Marcellus Nealy	ナンバリング	
担当教員	Marcellus Nealy、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>英語をマスターするためには、できるだけ多くの英語に触れなければなりません。できるだけ多くのことを聞き、読み、書き、話さなければなりません。これはスキップできない重要なステップです。ただし、その過程は楽しいものでなければなりません。アートや写真を撮るのが好きな方は、写真を通して楽しく英語を練習しましょう。</p> <p>このクラスでは、写真を上達させるための基本的なテクニックを学びます。カメラのボタンの操作方法、構図の取り方、特殊効果、デザインの理解など、写真を上達させるための基本的なテクニックを学びます。</p> <p>また、写真を通して、より良い思考力や問題解決能力を身につけるための16の心の習慣を学ぶことができます。したがって、写真は創造性を育むだけでなく、よりよい医療者になるためにも役立ちます。</p> <p>毎週、新しいコンセプトを教えてもらい、その新しいコンセプトを実践するために写真を撮ることになります。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] 学生は以下のことができるようになります。</p> <p>1. 1. 英語でのリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの練習ができる。 2. 写真の基本を学ぶことができる。 3. 創造的な思考と問題解決のための習慣を理解し、実践することができる。</p> <p>[到達目標]. 生徒は以下のことができるようになります。</p> <p>1. 毎週、英語の練習（聞く、読む、書く、話す）ができる。 2. 批判的観察を理解し、発展させることができる 3. デジタル写真の基本的な側面（絞り、シャッタースピード、ISO、構図）をマスターする。 4. 写真デザインの要素と原則を理解し、発展させることができる 5. より創造的な思考と問題解決のための日常的な習慣を意識して実践する</p>		
授業の位置づけ	n/a		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	n/a		

履修上の注意、履修要件	<p>このクラスでは、生徒は参加することが求められます。参加とは、グループディスカッションに参加すること、自分の写真や他の人の写真作品について自分の考えやアイデアを共有すること、教室内や教室外での様々な課題に他の人と一緒に取り組むことです。</p> <p>各クラスの後半では、その日に学んだ写真技術をフィールドで応用するため、生徒は自主的に作業を進めることができなければなりません。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：  出席と積極的な参加：25%  アサインメント 25%  ファイナルプロジェクト：25%  期末試験：25%</p> <p>このレッスンはオンラインで行われるため、課題を提出しない場合は欠席扱いとなります。  課題の提出が遅れた場合、自動的に20ポイントが減点されます。  30日以上経過した課題は、自動的に30点減点されます。</p>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：  個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

Students must purchase an e-book text which has all class materials and assignments (¥3,000). Students must also pay ¥5,000 yen for a professional quality print which will be displayed during the second semester as part of a student photo exhibit on campus. I will collect money for both on the second day of class.

All students must bring their own camera. Cameras must have manual settings.  
Class size will be limited to 35 students. Selection will be made by photographic submission and a brief written explanation, in English, about why you want to take the class. Those that show the most passion, sincerity, and desire to learn will be accepted.

その他	
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワーは予約制です。 サポートが必要な場合やご質問がある場合は、メールでお問い合わせください。
担当教員の実務経験	
備考	<p>各レッスンは2つのパートに分かれています。</p> <p>1. 講義、ディスカッション、または学生によるプレゼンテーション 2. 実践的なアプリケーション</p> <p>このクラスは楽しいものですが、「簡単」なものではありません。自分の創造力の限界を超えることが求められます。 また、その日のアクティビティに参加する準備をしてクラスに参加することが求められます。 定期的に様々な読み物や写真の課題が出されます。生徒はクラスに来る前にそれらの課題を終わらせておくことが求められます。 また、生徒は自分のカメラを持参しなければなりません。 カメラは、マニュアル設定（絞り、シャッタースピード、ISO）ができるものでなければなりません。</p> <p>成績は、出席率、授業への参加状況、毎週の課題、最終プロジェクト、最終試験に基づいて決定されます。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/11 月 4限	ニーリー マーセラス	<p>【授業タイトル】 Introduction &amp; Orientation 【サブ・タイトル】 Getting to know each other and this class 【キーワード】 Becoming familiar with your classmates, the practical and philosophical purpose of this class 【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture</p> <p>【注意点】 Active Participation Critical Analysis Creative Thinking</p>	Readings and assignments will be announced in class.
4/18 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 The Great Masters, Shutter Speed, Aperture &amp; ISO 【サブ・タイトル】 Field assignment 【キーワード】 What makes the great ones great? Three core elements of photography. 【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture</p> <p>【注意点】 Active Participation Critical Analysis Creative Thinking</p>	Readings and assignments will be announced in class.

4/6 水 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 Depth of Field  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 What is depth of field and why is it important.  Discussion about your first photos.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
5/2 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 Compositional weight  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 How does our brain respond to an image.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
5/9 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 The Rule of Thirds  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 The basics of composition.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
5/16 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 The Golden Spiral  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 The basics of composition.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>

5/23 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 The Great Masters II</p> <p>【サブ・タイトル】 Field assignment</p> <p>【キーワード】 What makes the great ones great? Three core elements of composition.</p> <p>【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture</p> <p>【注意点】 Active Participation Critical Analysis Creative Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
5/30 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 More Composition Tips</p> <p>【サブ・タイトル】 Field assignment</p> <p>【キーワード】 Additional techniques for good composition</p> <p>【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture</p> <p>【注意点】 Active Participation Critical Analysis Creative Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
6/6 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 More Composition Tips</p> <p>【サブ・タイトル】 Field assignment</p> <p>【キーワード】 Additional techniques for good composition</p> <p>【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture</p> <p>【注意点】 Active Participation Critical Analysis Creative Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
6/13 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 In The Field</p> <p>【サブ・タイトル】 Field assignment</p> <p>【キーワード】 Practice makes perfect</p> <p>【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture</p> <p>【注意点】 Active Participation Critical Analysis Creative Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>

6/20 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 Class Presentation &amp; Discussion  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 Additional practice for discussion and the search for deeper thinking.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
6/27 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 Review  【サブ・タイトル】 Preparation  【キーワード】 Review key concepts, clarify ideas, ask questions, &amp; discussion  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
7/4 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 Final Project  【サブ・タイトル】 Individual Assignment  【キーワード】 Begin preparation for a final assignment  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Final assignment to be announced in class.</p>

7/11 月 4限	Marcellus Nealy	【授業タイトル】 Final exam	All assignments must be handed in by the End of this day.	








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Academic English for TOEFL ⅠⅠ	授業形態	
英語科目名	Academic English for TOEFL Ⅱ	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	Joseph Drakos	ナンバリング	
担当教員	Joseph Drakos、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>Course Title: The Origins of Medicine</p> <p>This course will focus on medicine as a historical and analytical study. During the first half of the course students will learn the development, philosophies and some cultural aspects of ancient medical practices in Egypt, Greece, India, and China. The second half will focus on the organization and practice of medicine in Medieval Europe, the Islamic world and the Renaissance period. Students will also touch base on premodern medicine. Students will take notes on the lectures they hear, participate in large or small group discussions about lecture topics and write a short report about what they had learned from the lecture. Group discussions will follow TOEFL iBT speaking procedures. At the end of each lecture section students will take a short quiz based on the lectures. Quizzes will follow TOEFL iBT question and writing formats. Students will also have the opportunity to learn about holistic medicine and participate in interactive activities in apothecary and massage therapy. Finally students will participate in a mini lecture assignments introducing a topic that dwells of information learned in the class. The lecture format will depend on the size of the class.</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <p>1. Students will gain a rudimentary understanding about the development of ancient medical ideas and practices and how they have influenced modern medicine. 2. Students will learn how to listen to lectures and take adequate notes in English. 3. Students will learn how to prepare and give their own lectures.</p> <p>[到達目標]</p> <p>1. Students will experience tasks similar to those on the TOEFL iBT test.  2. Students will improve skills necessary to successfully encounter the listening &amp; reading sections of the test.  3. Students will improve presentation skills and composition skills.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ The class will be conducted only in English.</li> <li>・ The first part of the class is lecture based, with interactive discussion sessions. The latter consists of individual or group work and presentations.</li> <li>・ Active participation is encouraged.</li> </ul>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：          Grades will be based on a collection of points from the lecture reports (25), quizzes (40), presentation(25) and interactive participation (10). Attendance and discussion participation will also be an influential factor in the final grade.</p>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：          個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 ・ To be announced during each class.

【参考教科書】  
 ・ To be announced.

【参考書】  
 ・ To be announced.

その他	
連絡先・オフィスアワー	連絡 email address: juntendojoe@gmail.com
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Students should find material on their own about the lecture topics in advance to familiarize themselves better with the topic. On-line texts or encyclopedias are recommended for personal study. The content of the class is designed to encourage a tertiary study of medicine in hope to deepen students' understanding of the foundations of medicine.</li> <li>・ Students should prepare ideas, opinions, comments and, of course, questions to be shared in group discussion.</li> </ul> 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：50分， 復習：50分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Introduction 【キーワード】 Prior knowledge 【到達目標】 Students can understand basic concepts of the course.	Lecture  【注意点】 Students should actively participate in the exercise.	Review the course content and prepare for the next lesson.
4/21 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 The Beginnings 【サブ・タイトル】 Prehistoric Medicine & Egyptian Medicine 【キーワード】 Critical examination 【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.	Lecture  【注意点】 Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.	Prepare by finding information on the web.

<p>4/28 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Origins 1- Greek Medicine  【サブ・タイトル】 Medical Principles and Practices from the West  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】 Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.  Develop thought and opinions for group discussion</p>
<p>5/12 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Origins 2- Indian Medicine  【サブ・タイトル】 Medical Principles and Practices from South Asia  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】 Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>
<p>5/19 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Origins 3- Chinese Medicine  【サブ・タイトル】 Medical Principles and Practice from the East  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】 Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>
<p>5/26 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>Quiz 1</p>	<p>Quiz</p>	<p>Prepare by studying learned information from the lectures.</p>

6/2 木 4限	Joseph Drakos	Begin Mini-lecture activity Choose topics Begin research	Research topic via Internet	
6/9 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Class Lecture preparation 【サブ・タイトル】 Presentations 【キーワード】 Preparation for presentation 【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material.	Presentation  【注意点】 Students should speak about their topic clearly. Peers should give feedback.	Choose a topic based on the lectures, other medical history or culture.
6/16 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Class Lecture preparation 【サブ・タイトル】 Presentations 【キーワード】 Preparation for presentation 【到達目標】 Students can research a topic concerning medical history or culture and present/ lecture on it.	Presentation  【注意点】 Students should be preparing their lecture.	Choose a topic based on the lectures, other medical history or culture.
6/23 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Class Lecture 【サブ・タイトル】 Presentations 【キーワード】 Presentation 【到達目標】 Students can present their ideas and opinions concisely in English, written and orally.	Presentation  【注意点】 Students should actively prepare their presentation, asking questions of peers and teacher.	Choose a topic based on the lectures, other medical history or culture.

<p>6/30 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Introduction to Middle age Medicine  【サブ・タイトル】 Medieval European &amp; Islamic Medicine  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】  Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Choose a topic based on the lectures, other medical history or culture.</p>
<p>7/7 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Renaissance Era and Premodern Medicine  【サブ・タイトル】 Moving to Modern Times  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】  Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Develop opinions and comments for discussion</p>
<p>7/14 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Holistic Health Interactive  【サブ・タイトル】 Principles of Herbal Medicine  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Interactivity  【注意点】  Students should actively participate</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>

7/21 木 4限	Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Holistic Health  【サブ・タイトル】 Methods of Maintaining Physical Health  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Interactivity  【注意点】  Students should actively participate</p>	<p>Prepare by finding information on the web. Prepare for Quiz #2 and assignment submission (on the exam day).</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Academic English for TOEFL III	授業形態	
英語科目名	Academic English for TOEFL III	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	
担当教員	Grow, Deborah Anne、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>In this class, students will learn singing and acting techniques and present scenes and songs in English in order to facilitate their English communication skills, develop a broader vocabulary, enhance listening skills, and study English through culture.</p>		
到達目標	<p>[一般目標]  Students will be able to understand basic singing and acting techniques.  Students will be able to understand the anatomical mechanisms of vocal production.  Students can enhance L2 communication skills and acquire new vocabulary including idiomatic English and analyze text.  Students will be able to study English through culture.</p> <p>[到達目標]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A basic understanding of singing and acting techniques.</li> <li>・ Ability to work collaboratively on teams.</li> <li>・ Development of communication skills.</li> <li>・ Learn the working anatomical mechanisms of vocal production in English.</li> </ul> </p>		
授業の位置づけ	“=”		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	“=”		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The class will be conducted in English.</li> <li>• The class will alternate between lecture, working in groups and presentation.</li> </ul>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>成績評価方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Active class participation: 30%</li> <li>• Quizzes: 20%</li> <li>• Individual and Group presentation: 50%</li> </ul>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準：</p> <p>個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

All the materials will be provided by the instructor.

その他	
連絡先・オフィスアワー	“=”
担当教員の実務経験	“=”
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Students should work with scene partners outside of class.</li> <li>・ They should review the contents of each lesson and prepare for review vocabulary quizzes to be taken at the beginning of the next lesson.</li> <li>・ They should actively participate in pair work, group work and classroom discussion and performances.</li> </ul> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Introduction &amp; Orientation</p> <p>【サブ・タイトル】 Course Overview</p> <p>【キーワード】 Overview</p> <p>【到達目標】 Students can understand basic concepts related to mechanics of the voice and begin to learn the acting process.</p>	<p>Lecture - Fundamentals of Singing - Part One Breath</p> <p>Practical Exercises</p> <p>Group Work for speaking</p>	<p>Review the lesson content and do the vocabulary homework. (10 minutes)</p> <p>Choose and record a song for submission. (15 minutes)</p> <p>Work with your group on your monologue for the presentation. (15 minutes)</p>
4/21 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Lecture: Fundamentals of Singing - Part Two Sound</p> <p>【サブ・タイトル】 Anatomical Mechanism of Singing. Students will learn basic singing technique</p> <p>【キーワード】 Anatomy, Vocal Production, Monologue Presentation</p> <p>【到達目標】 Students can understand the basic anatomical mechanism of singing and learn basic singing principles. Monologue practice and presentation.</p>	<p>Lecture, Active learning, Presentation</p> <p>【注意点】 Students should actively participate in the exercises.</p>	<p>Review the lesson content. (15 minutes)</p> <p>Do vocabulary review exercise (10 minutes)</p> <p>Study your feedback for your song submission and record again (15 minutes)</p>

4/28 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Vocabulary Review Quiz, Lecture- Fundamentals of Singing Part Three - Emotion - Lyrics</p> <p>【サブ・タイトル】 Students will analyze their lyrics for comprehension and pronunciation and receive instruction on vocal technique.</p> <p>【キーワード】 Reading Comprehension, Text Analysis, Pronunciation, Technique</p> <p>【到達目標】 Students can learn how to interpret idiomatic phrases and understand basic principles of the mechanics of the voice.</p>	<p>Lecture, Active learning, Short Essay, Discussion</p> <p>【注意点】 Students should actively participate in the exercises. Students will write a short essay explaining the lyrics to the song they have chosen. Then share with the group their interpretation of the lyrics of their song.</p>	Review the lesson content (15 minutes)
5/12 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Fundamentals of Singing - Part IV Artistry</p> <p>【サブ・タイトル】 Students will write an essay about who they feel is a great singer and give an example of their work. Students will then share their essays and show an example of their work. Other students will participate in active listening and discussion.</p> <p>【キーワード】 Presentation</p> <p>【到達目標】 Students can understand basic vocal techniques, improve their listening and pronunciation skills.</p>	<p>Lecture, Active learning</p> <p>【注意点】 Students should evaluate each presentation.</p>	Review the lesson content and complete the listening homework. (20 minutes)
5/19 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Basic Drama Techniques - Creating a character</p> <p>【サブ・タイトル】 Student will learn basic acting techniques and as well as the ability to listen for inference.</p> <p>【キーワード】 Reading Comprehension, Text Analysis, Inference, Technique</p> <p>【到達目標】 Students can understand basic drama techniques and gain understanding of how to understand inference.</p>	<p>Lecture, Active learning, Group work</p> <p>【注意点】 Students should take notes and participate in the exercises.</p>	<p>Review: Students should review the vocabulary from class. (10 minutes)</p> <p>Homework: Practice the assigned scenes with your partners. (20 minutes)</p>
5/26 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Group Work</p> <p>【サブ・タイトル】 Students will role-play a mystery.</p> <p>【キーワード】 Pronunciation, Reading Comprehension, Vocabulary Acquisition, Idioms, Critical Thinking, Listening</p> <p>【到達目標】 Students can understand the meanings of their text fully and work on natural pronunciation.</p>	<p>Active learning</p> <p>【注意点】 Students should actively participate.</p>	<p>Review the vocabulary from class. (10 minutes)</p> <p>Scene work practice (20 minutes)</p>

6/2 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Scene Presentations  【サブ・タイトル】 Presentation  【キーワード】 Presentation  【到達目標】 Students can gain confidence in their understanding of English texts and in their pronunciation ability.</p>	<p>Presentation, Active listening</p> <p>【注意点】 Students should actively participate.</p>	<p>Review the lesson content and vocabulary. (10 minutes)  Homework: Research your favorite Broadway musical – Who were the composer and lyricist? How many performances did it run? Who played the leading roles? (10 minutes)</p>
6/9 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Students will begin group work to prepare for a short musical presentation.  【サブ・タイトル】 Students will work collaboratively to prepare for a musical presentation.  【キーワード】 Collaboration, Creativity, Critical Thinking  【到達目標】 Students can improve pronunciation by adding natural emotions to their singing and acting.</p>	<p>Active learning</p> <p>【注意点】 Students show actively participate in groups.</p>	<p>Review: Fundamentals of Singing/Acting (10 minutes)  Homework: Practice your part of the musical.</p>
6/16 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Musical Rehearsal  【サブ・タイトル】 Prepare for Presentation  【キーワード】 Musical, Presentation Preparation  【到達目標】 Collaboration, Critical Thinking, Communication, Listening, Speaking</p>	<p>Active learning</p> <p>【注意点】 Students should actively work together in groups.</p>	<p>Review the lesson content and prepare for the presentation. (30 minutes)  Homework: Practice your part of the presentation. (20 minutes)</p>
5/23 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Brief History of Music Theater, Musical Presentation  【サブ・タイトル】 Students will learn how musical theater is a reflection of society in America.  【キーワード】 Music Theater History, USA culture  【到達目標】 Students can understand and discuss how theater is a reflection of society. Presentation</p>	<p>Lecture, Discussion, Presentation</p> <p>【注意点】 Students should present and actively discuss in groups.</p>	<p>Review the lesson content and vocabulary about the musical. (15 minutes)  Homework: Watch commercials and bring some ideas to class about what makes a good CM. (15 minutes)</p>

5/30 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Review Quiz Vocabulary, Begin Commercial Project, Short Lecture about Commercials</p> <p>【サブ・タイトル】 Students will work collaboratively to create a CM.</p> <p>【キーワード】 Collaboratio, Creativity, Critical Thinking, Communication</p> <p>【到達目標】 Students can work collaboratively to achieve effective communication in English.</p>	<p>Active learning</p> <p>【注意点】 Students should participate actively in the groups.</p>	<p>Review: Discuss what makes a good CM (10 minutes)</p> <p>Homework: Send your group's script to me to check before the next class. (20 minutes)</p>
7/7 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 CM Filming/Editing</p> <p>【サブ・タイトル】 Students will work to film and edit their commercial for presentation next week.</p> <p>【キーワード】 Group Work, Collaboration, Creativity</p> <p>【到達目標】 Students can work creatively in groups.</p>	<p>Active learning</p> <p>【注意点】 Students should actively participate in the project.</p>	<p>Review: Review corrections to your script with your group. (15 minutes)</p> <p>Homework: Have edited video ready for presentation next week. (30 minutes)</p>
7/14 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Presentation of CMs, Prepare Scene work for the final presentation</p> <p>【サブ・タイトル】 Presentation, Preparation for final</p> <p>【キーワード】 Presentation, Prep for Final</p> <p>【到達目標】 Students can work cooperatively and prepare for the group presentation.</p>	<p>Presentation</p> <p>【注意点】 Students should introduce their project and present them to the class. Students should work with a partner to prepare their next presentation.</p>	<p>Review: Class discussion about each CM. (15 minutes)</p> <p>Homework: Work with your scene partner to prepare the final. (30 minutes)</p>

<p>7/21 木 4限</p>	<p>Grow, Deborah Anne</p>	<p>【授業タイトル】 Final Presentation  【サブ・タイトル】 Presentation  【キーワード】 Final Presentation  【到達目標】 Students can perform their final project.</p>	<p>Presentation  【注意点】  Students should memorize their part.</p>	<p>Prepare presentation materials and be ready to present them from memory as a group.</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Academic English for TOEFL IV	授業形態	実技
英語科目名	Academic English for TOEFL IV	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	Andrew Mason	ナンバリング	
担当教員	Andrew Mason、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>このコースは、学術的・科学的な英語の知識と使い方を向上させることを目的としています。まとまりのある文章や段落の書き方、研究論文や抄録の書き方、学術的なプレゼンテーションの準備と実施方法などが含まれる予定です。学生はリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングのスキルを練習し、学術英語の語彙と文法を向上させる機会を得ることができます。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] このコースの目標は、科学的な事柄について英語で効果的に議論し、発表し、書くために必要なスキルを身につけることです。</p> <p>[到達目標] 1. プロフェッショナルな履歴書の作成方法を学ぶ 2. 文献レビューの方法を学ぶ 3. プロセスの記述方法と結果の評価方法を学ぶ 4. 基本的な研究論文の構成と書き方を学ぶ。 5. 研究発表の方法を学ぶ</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<p>このクラスはすべて英語で行われます。</p> <p>生徒は、その日の活動に参加できる状態で教室に来ることが期待されています。つまり、生徒は授業に必要な未知の語彙を事前に勉強しておく必要があります。また、グループディスカッションのためのアイデア、意見、コメントを準備しておくことも必要です。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>Attendance, active class participation, assignment submission. 70%</p> <p>Final Project / Presentation 30%</p>
------	---

評価基準	<p>アカデミックな英語を実践的に使用することがこのコースの主な目的であるため、成績の大部分は出席と参加に基づいて行われます。</p>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

小テストやレポートを含む課題に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
Cambridge English for Scientists	Tamzen Armer	Cambridge University Press	9780521154093	

**参考文献**

【指定教科書】 Armer, Tamzen. (2011). Cambridge English for Scientists Student's Book with Audio CDs (2): (Cambridge Professional English) Student Edition

以下のISBNを使用して、適切な教科書を購入してください。

ISBN-13: 978-0521154093  
ISBN-10: 052115409X

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	名前: メイソン・アンドリュー, PharmD, MBA メール: m.andrew.at@juntendo.ac.jp			
担当教員の実務経験				
備考				
4/14 木 4限	Andrew Mason	Class Introduction	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
4/21 木 4限	Andrew Mason	Unit 1: Getting Started in Research	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class

4/28 木 4限	Andrew Mason	Unit 2: The Scientific Community	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
5/12 木 4限	Andrew Mason	Unit 3: Finding a Direction for your Research	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
5/19 木 4限	Andrew Mason	Unit 4: Designing an Experiment	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
5/26 木 4限	Andrew Mason	Unit 5: Describing an Experiment	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class

6/2 木 4限	Andrew Mason	Unit 6: Writing Up Research 1: Materials and Methods	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
6/9 木 4限	Andrew Mason	Unit 7: Writing Up Research 2: Presenting Data	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
6/16 木 4限	Andrew Mason	Unit 8: Writing Up Research 3: Results and Discussion	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
6/23 木 4限	Andrew Mason	Unit 9: Writing Up Research 4: Introduction and Abstract	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class

6/30 木 4限	Andrew Mason	Unit 10: Presenting Research at a Conference	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
7/7 木 4限	Andrew Mason	Prepare for Presentation	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
7/14 木 4限	Andrew Mason	Perform a Scientific Presentation	Presentation	Will be announced in class

7/21 木 4限	Andrew Mason	Perform a Scientific Presentation	Presentation	Will be announced in class








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL特別演習 I	授業形態	
英語科目名	TOEFL Special Practice I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	鈴木田 優衣	ナンバリング	
担当教員	鈴木田 優衣、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>この授業では、TOEFL (Test of English as a Foreign language) の ITP (Institutional Testing Program) と iBT (Internet-based test) の受験に必要な、アカデミック英語運用能力を育成するための演習を行う。内容としては、英語論文やプレゼンテーションの内容を理解するためのReading, Listening、ディスカッションや日常のやり取りに必須のSpeaking、そしてエッセーや論文の執筆に必要なWritingの4技能を全て網羅する。加えて、これらの4技能の向上の基礎となる文法の正確な使用や語彙数の向上を目指す活動も取り入れる。</p> <p>注意：学生が英語に没頭するために、このクラスのインストラクションはほぼ英語で行われます。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] TOEFL ITPとTOEFL iBTの受験が必要とされ、英語を使用したコミュニケーションで必須となるアカデミックな英語運用能力を伸ばすことができる。</p> <p>[到達目標] 1. TOEFL ITPとTOEFL iBTの構成と傾向を把握することができる。 2. TOEFL ITPとTOEFL iBTの受験に向け、授業を通して自身の英語運用能力を分析し、伸ばすことができる。 3. Reading, Listening, Writing, Speakingの各技能を伸ばすための、学習方法を習得できる。 4. 主に海外の教育・医療機関での学習や研究に必要な、アカデミック領域での基礎的な英語運用能力を習得できる。 5. アカデミック領域で必要とされる、英語での基礎的な議論・表現方法を習得できる。</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週宿題として複数の課題が課される。課題はオンラインの学習課題を含むのでPCまたはタブレットが使用できる学習環境を整えること。</li> <li>・演習への積極的な参加が求められ、評価の対象となる。</li> <li>・授業開始よりすぐに演習を開始するので、遅刻しないこと。</li> <li>・3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> <li>・受講希望者が多い場合には、人数制限をすることがある。初回の授業に必ず出席すること。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：以下に基づき、総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業内活動（出席、積極的な参加、課題） 55%</li> <li>②小テスト・宿題 25%</li> <li>③定期テスト 20%</li> </ul>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. TOEFL ITP と TOEFL iBTの構成と傾向を把握し、学習方略を習得できる (①～②)</li> <li>2. TOEFL ITP と TOEFL iBTに向けた英語運用能力を養い、スコアを伸ばすことができる。アカデミック領域での基礎的な英語運用能力、基礎的な議論・表現方法を習得できる (①～③)</li> </ul>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

小テストやレポートを含む課題に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】Phillips, D. (2015). Longman preparation course for the TOEFL iBT® test (3rd ed., Student book with MyLab Access and MP3 Audio). Pearson.

以下のISBNを使用して、適切な教科書を購入してください。  
 ISBN 10: 0-13-324812-7  
 ISBN 13: 978-0-13-324802-9

詳細は授業時に指示する。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	担当教員が授業内で説明する。			
担当教員の実務経験				
備考	<p>・宿題としての学習が毎週課され、定期的の小テストが行われるので準備しておくこと。</p> <p>・詳細は授業時に指示する。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/15 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Introduction</p> <p>【サブ・タイトル】 Course introduction</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 この授業の目的、課題の内容、評価方法について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 以降の授業内容については受講者の興味等により調整を行う可能性がある。</p>	次回授業用の予習課題を行う。内容は授業時に指示する。
4/22 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2</p> <p>【サブ・タイトル】 Basic information of Reading &amp; Listening section of TOEFL iBT</p> <p>【キーワード】 Test structure and format</p> <p>【到達目標】 TOEFL ITP とTOEFL iBTのReadingとListening パートの構成と問題の傾向を理解することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	復習としての応用課題と、予習課題を行う。内容は授業時に指示する。

<p>5/6 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2  【サブ・タイトル】 Reading section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Readingの設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
<p>5/13 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2  【サブ・タイトル】 Listening section of TOEFL iBT  【キーワード】 Listening question types  【到達目標】 TOEFL Listening の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
<p>5/20 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2  【サブ・タイトル】 Basic information of Speaking section  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Speaking パートの構成と問題の傾向を理解することができる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
<p>5/27 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2  【サブ・タイトル】 Writing section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Writing の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>

<p>6/3 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2  【サブ・タイトル】 Reading section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Readingの設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
<p>6/10 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2  【サブ・タイトル】 Listening section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Listening の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
<p>6/17 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2  【サブ・タイトル】 Speaking section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Speaking の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
<p>6/24 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2  【サブ・タイトル】 Writing section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Writingの設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>

7/1 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2  【サブ・タイトル】 Reading section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Reading の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
7/8 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2  【サブ・タイトル】 Listening section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Listening の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
7/15 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2  【サブ・タイトル】 Writing section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Writing の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>

<p>7/22 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Final exam  【サブ・タイトル】 Review of the lessons  【キーワード】 Review of the strategies learned for Reading, Listening, Writing and Speaking  【到達目標】 TOEFL iBT/ITP 受験に向けて、英語運用能力を向上させる方法を実践することができる。</p>	<p>演習</p>	<p>Exam の準備、復習としての応用課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL特別演習 II	授業形態	
英語科目名	TOEFL Special Practice II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	藤田 亮子	ナンバリング	
担当教員	藤田 亮子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	TOEFLスコアは、主に北米の教育・医療機関へ留学したり医療に関わったり研究したりする際に必要である。本授業では、高いTOEFLスコアを取得するために必要な演習を行う。		
到達目標	<p>[一般目標] TOEFL ITP (PBT) とiBTの構成と傾向を把握するとともに、英語運用能力を養いスコアを伸ばすことができる。</p> <p>[到達目標] 1. TOEFL ITP (PBT) とTOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。 2. リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング力を効果的に伸長させる方法を知り、実践することができる。 3. 主に北米の教育・医療機関で学んだり医療に関わったり研究したりする際に必要なアカデミック領域で求められる基礎的な英語運用能力を獲得できる。</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隔週、課題が課され、小テストも行う。</li> <li>・ 演習への積極的な参加が求められる。</li> <li>・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格がないため単位修得が認められない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法： 原則として、以下のものを参考に総合的に判定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Class activities 70%: <ul style="list-style-type: none"> <li>内、Active participation 20%</li> <li>Quiz 20%</li> <li>Assignment 30%</li> </ul> </li> <li>・ End-of-term exam: 30%</li> </ul>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準： 授業内課題や期末テスト等を基に、総合的な理解度・到達度を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

授業内課題やレポート、期末テスト等に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
Bruce Rogers 著；渡辺雅仁、角田麻里 編 『A Practical Guide to the TOEFL ITP』 東京：センゲージラーニング株式会社

【参考教科書】  
・ 林功 (2012). 『全問正解するTOEFL ITP TEST文法問題対策』 東京：語研  
・ 宮野智靖・ジョセフ ルリアス・木村ゆみ (2011). 『TOEFL ITP TESTリスニング完全攻略』 東京：語研

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】            担当： 藤田亮子            E-mail： r-fujita[at]juntendo.ac.jp            [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 金曜日 昼休み</p>			
担当教員の実務経験	-			
備考	<p>・小テストの準備として、毎時復習をしておくこと。            ・隔週出される課題に取り組むこと。            【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/15 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Course introduction            【サブ・タイトル】 Course introduction            【キーワード】 Introduction            【到達目標】 コースの概要と目標、TOEFL受験についての理解を深めることができる。</p> <p>【授業タイトル】 Course introduction            【サブ・タイトル】 Course introduction            【キーワード】 TOEFL ITP            【到達目標】 サンプル問題を理解することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】            以降の授業内容については受講者のレベルにより調整を行う可能性がある。</p>	<p>前週のテストの復習            苦手な箇所の確認</p>
4/22 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 1            【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 1            【キーワード】 Anticipating questions            【到達目標】 TOEFL ITP (PBT) とTOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 1            【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 1            【キーワード】 Rapid Reading            【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】            演習問題で間違えた箇所を確認する。            間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題            リスニング問題の復習</p>

5/6 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 2 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 2 【キーワード】 Incomplete Independent Clauses 【到達目標】 TOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 2 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 2 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
5/13 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 3 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 3 【キーワード】 Dialogs with sound confusion 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 3 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 3 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
5/20 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 4 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 4 【キーワード】 Incomplete Adjective Clauses 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 4 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 4 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
5/27 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 5 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 5 【キーワード】 Dialogs with homonyms 【到達目標】 リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 5 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 5 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>

6/3 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 6 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 6 【キーワード】 Incomplete Participial Phrases 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 6 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 6 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
6/10 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 7 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 7 【キーワード】 Words with multiple meanings 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 7 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 7 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
6/17 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 8 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 8 【キーワード】 Incomplete Adverb Clauses 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 8 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 8 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
6/24金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 9 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 9 【キーワード】 Dialogs with idiomatic expressions 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 9 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 9 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>

7/1 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 10  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 10  【キーワード】 Incomplete Noun Clauses  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 10  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 10  【キーワード】 Extensive Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>
7/8 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 11  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 11  【キーワード】 Answering inference questions  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 11  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 11  【キーワード】 Rapid Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>
7/15 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 12  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 12  【キーワード】 Missing Prepositional Phrases  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 12  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 12  【キーワード】 Extensive Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>

<p>7/22 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Final Exam  【サブ・タイトル】 Listening, reading, speaking, and writing  【キーワード】 Testing Strategy  【到達目標】 これまでに習得した技能を応用できる。</p> <p>【授業タイトル】 Final Exam  【サブ・タイトル】 Listening, reading, speaking, and writing  【キーワード】 Testing Strategy  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。  夏休み中も復習をしておくこと。</p>	<p>期末テストの準備</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療プロフェッショナリズム入門	授業形態	
英語科目名	Introduction to Medical Professionalism	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	岡田 隆夫	ナンバリング	
担当教員	岡田 隆夫、渡邊 マキノ、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>医師は医療のエキスパートとして多様な役割を果たしている。医師は患者に関わるとともに、医療チームの一員として協力関係を築き、医学知識を学習し適切に応用する必要がある。新たな知見・治療法の研究・開発も医師の役割の一つである。医療者・研究者として活動するためには、何よりもプロフェッショナルとして、高い倫理性・自己規制・行動規範を有し、自己・他者の人間存在を理解し尊重する姿勢を身につけなければならない。</p> <p>「医療プロフェッショナリズム入門」は、プロフェッショナルの医師を志すあなたが①～④のような様々な側面から医の世界を捉え、確かな技能と知識とともに、他者の尊厳や価値観を理解・尊重できる豊かな人間性をもった医師として成長していくことを目標として設定されている。</p> <p>「医療プロフェッショナリズム入門」は、年間を通した3つの早期体験実習をコアとして構成されており、各講義と3つの実習は密接な関連をもっている。</p> <p>① 生と死、健康と疾病の意味を理解し、人間に向き合う医師という職業について学び、医師のあるべき姿・倫理を考える。  ② 現代医学の歴史的背景の理解を通して、医の世界を視る広い視野を育てる。  ③ 社会と医学・医療の関わり合いを、福祉、高齢者介護・医療施設などの実習を通して理解し、社会が医学に何を求めているか、また、医学が社会に対して、どのような影響をおよぼしているかを理解する。  ④ 基礎・臨床医学の最先端に位置する先生方の話を聞き、今日の医療が捉えている人間像を知る。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]  豊かな人間性を持ったプロフェッショナルを目指す学生として、他者に対する温かい想像力をもち、仕事の現場で自ら課題を発見し、患者さんのために、仲間たちと気持ちよく仕事をするすることができる医師・研究者となる素養を育てる。</p> <p>[到達目標]  1. 医師・研究者としての職責を説明することができる。  2. 患者中心の視点を持つことができる。  3. 高いコミュニケーション能力を持ち、患者や他職種と意思疎通ができる。  4. チーム医療および地域医療の重要性を説明することができる。  5. 物事を統合的な広い視野に立って判断することができる。  6. 研究心をもち自己研鑽を重ねることができる。”</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p>☆ アクティブな態度で講義に臨むこと。質問の機会が与えられた時には、積極的に質問すること。</p> <p>☆ 医療の現場で長く実践してこられた方、患者さんをお招きして話をさせていただく機会がある。必ず講義に出席し、相手に対して礼を失することの無い態度で、謙虚に、なおかつ、積極的に意見交換をしながら、理解を深めるようにすること。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：「早期体験実習」（オリエンテーション、反省授業を含む）への出席・レポート・評価、および、「医療プロフェッショナルナリズム入門」の出席、レポート、前期・後期筆記試験成績を加味して総合評価を行う。「医療プロフェッショナルナリズム入門」試験には「早期体験実習」に関する試験問題を含む。</p>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

「医療プロフェッショナルナリズム入門」全体としての教科書は指定しない。  
 講義ごと実習ごとに関連する書籍を選んで、学習する内容の理解を深めていくこと。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：渡邊 マキノ E-Mail: makinow[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 月～木曜日：11:00～16:00 場所：センチュリータワー南11階 医学教育研究室</p>			
担当教員の実務経歴				
備考	<p>☆ 自分とは異なる文化や生活の中で育ってきた人々、多様な問題関心や価値観をもつ人々、世代、職種の異なる人々と積極的に接し、小さな枠にとらわれない広い視野をもって他者に対することのできる態度と姿勢を育てていくこと。 ☆ 医療や医学はもちろん、芸術やスポーツ、経済などの、一流の仕事を行なうプロフェッショナルの活動にできるだけたくさん触れる。 ☆ 医学・医療を含む、さまざまな書籍等の情報から、多様な人間社会に触れ、理解を深めていくこと。 ☆ 講義では医療に関する時事問題を取り上げることがある。新聞、雑誌をはじめ、様々なメディアで取り上げられる時事問題に積極的に関心をもつこと。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/13 (水) 3限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	<p>【授業タイトル】医療プロフェッショナリズム入門・医療入門オリエンテーション</p> <p>【サブ・タイトル】医師として、人間として</p> <p>【キーワード】人間性、医師</p> <p>【到達目標】豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る医師を志したことを認識することができる。</p>	講義	<p>【注意点】「病院見学実習・看護実習・施設実習等」に深く関係する</p> <p>【準備】受験生から医学生へと気持ちを切り替えてくる。</p>
4/13 (水) 4限	医学部学生部長 熱帯医学・寄生虫病学講座 美田 敏宏 医史学研究室 澤井 直	<p>【授業タイトル】医のプロフェッショナリズムの基本的原則と医師憲章</p> <p>【サブ・タイトル】医師、医療者になるとは</p> <p>【キーワード】基本的原則、医師憲章、利他主義、患者の自律性、社会正義</p> <p>【到達目標】入学前の生活習慣を見直し、医学生としての倫理やマナーを実践することができる。</p>	講義	<p>【予習】これまでの生活習慣を考える。順天堂大学医学部のコンピテンシーを調べる。</p> <p>【復習】学んだことを基に、これまでの生活習慣を改める。</p>

4/20 (水) 4限	医学教育研究室 特任教授 奈良 信雄	<p>【授業タイトル】医療者のプロフェッショナリズム  【サブ・タイトル】グローバル化時代の医療者プロフェッショナリズム  【キーワード】プロフェッショナリズム、プロフェッショナル、国際社会、コンピテンシー  【到達目標】医師に必要なプロフェッショナリズムを理解し、行動できる。</p>	講義	<p>【予習】どのような医師になりたいか、各自で将来像を考えてみる。  【参考図書】福井次矢、奈良信雄編：内科診断学、医学書院</p>
4/27 (水) 4限	情報センター 高橋 健太 学術メディアセンター 城山 泰彦 医史学研究室 澤井 直	<p>【授業タイトル】情報管理と情報リテラシー  【サブ・タイトル】医学生・医療従事者としての情報収集、情報管理とその倫理  【キーワード】情報リテラシー、情報管理、インターネット、ウェブサイト、データベース、文献検索  【到達目標】①インターネットシステムの概要、問題点、危険性、使用上のマナーを説明できる。②パスワード管理ができる。③情報探索・入手のスキルを身につける。</p>	講義	<p>【注意点】授業の最後に内容について、小テストを行う。  【予習】資料を事前に一読しておくこと。</p>
5/11 (水) 4限	医史学研究室 澤井 直	<p>【授業タイトル】医療の歴史  【サブ・タイトル】現代の医師-患者関係のルーツはどこにあるのか  【キーワード】医療、医師-患者関係、励起子  【到達目標】古代から現代までの医師-患者関係のあり方の変遷を理解し、歴史を踏まえて目指すべき医師像を考えることができる。</p>	講義	<p>【復習】複数の過去の医師に関する評伝を読み、どのような医師-患者関係を築いていたかを比較する。</p>
5/25 (水) 4限	医療看護学部 基礎看護学 高梨 あさき	<p>【授業タイトル】看護の役割と機能  【サブ・タイトル】看護独自の機能とチーム医療  【キーワード】看護、看護師、専門職、看護技術、チーム医療、コミュニケーション  【到達目標】医療現場での看護の役割と機能を理解できる。</p>	講義	<p>【復習】ノートを再読し、医学生に伝えたかったことを理解し、看護実習に向け準備をする。</p>

6/1 (水) 4限	医学教育研究室・呼吸器内科 鈴木 勉 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	【授業タイトル】病院の中で仕事をすること 一医師の責務― 【サブ・タイトル】病院見学オリエンテーション 【キーワード】適切な身だしなみ、態度、接遇・マナー、守秘義務、順天堂医院の医療従事者 【到達目標】医学生として病棟に立ち入るときの基本的なマナーを知り、病院見学実習で実践することができる。	講義  【注意点】無断欠席の場合は6月8日の病院見学実習には参加できない。	【予習】病院見学の服装を準備し、身なり、態度を整える。
6/8 (水) 1-4限	医学教育研究室・呼吸器内科学 鈴木 勉 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直	【授業タイトル】病院見学実習 【到達目標】チーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る大切さを知り、説明することができる。	体験実習	【予習】順天堂医院のHPで病院の概要を調べる。 【自己学習課題の設定】病院見学で学んだことを振り返り、医学生としての課題を自分で設定する。
6/15 (水) 4限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和	【授業タイトル】病院見学の反省 I 【サブ・タイトル】相互に体験を共有する 【キーワード】ピア・エデュケーション、病院、医療従事者、チーム医療 【到達目標】自分たちの体験したことを、他者に伝達できる。	実習  【注意点】学生どうしの相互学習	【予習】発表を準備する。 【復習】他チームの発表のポイントを纏める。

<p>6/22 (水) 4限</p>	<p>生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和</p>	<p>【授業タイトル】病院見学の反省Ⅱ 【サブ・タイトル】相互に体験を共有する 【キーワード】ピア・エデュケーション、病院、医療従事者、チーム医療 【到達目標】自分たちの体験したことを、他者に伝達できる。</p>	<p>実習 【注意点】学生どうしの相互学習</p>	<p>【予習】発表を準備する。 【復習】他チームの発表のポイントを纏める。</p>
<p>6/29 (水) 4限</p>	<p>生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和</p>	<p>【授業タイトル】コミュニケーションの基本 【サブ・タイトル】コミュニケーションゲームで体感してみよう 【キーワード】コミュニケーション、パーソナルスペース、メラビアンの法則、対人関係、心理、行動 【到達目標】医学生として患者さんの前に立ち会話をかわす時の基本的マナーを知り、今後の実習で実践することができる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】コミュニケーションの手法を調べ、患者さんと接する時、どのように役立てるか考えておく。 【復習】コミュニケーション手法を復習する。</p>
<p>7/6 (水) 4限</p>	<p>小児科学講座 細澤 麻里子</p>	<p>【授業タイトル】子どもの特性と全人的医療 【サブ・タイトル】小児医療の現場から考える 【キーワード】成長、発達、愛着、子どもの権利、健康の社会的決定要因、全人的ケア 【到達目標】子どもの身体と心の発達段階、それぞれの段階で人間としての成長に必要なことを理解し、疾患だけでなく背後にある様々な心理社会的要因にも目を向けることができる。</p>	<p>講義</p>	<p>【復習】ノートを再読し、学んだことをまとめる。</p>

7/13 (水) 4限	昭和大学 医学教育学講座 有馬 牧子	<p>【授業タイトル】医療者のキャリア形成  【サブ・タイトル】仕事とプライベートをデザインしよう  【キーワード】キャリア、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ、男女共同参画  【到達目標】医療従事者及び一人の人間として、今後のキャリアプランの道筋を立てることができる。男女共に多様なキャリアの選択肢があることを知り、医療現場の男女共同参画の視点を持つことができる。育児・介護等のライフイベントを経てもキャリアデザインを立案できる。</p>	<p>講義・ワークショップ  【注意点】講義開始前と後で評価アンケートを行う。</p>	<p>【復習】ノートを再読し、学んだことをまとめる。</p>
7/20 (水) 4限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直	<p>医療プロフェッショナリズム入門・前期まとめ  【到達目標】医学生として、成長し、自身の将来像を想像することができる。</p>	試験	<p>【準備】前期に学んだことまとめ、本質を理解する。</p>
9/21 (水) 4限	医史学研究室 澤井 直 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	<p>【授業タイトル】施設実習オリエンテーション  【サブ・タイトル】施設実習の目的と準備  【キーワード】他者への配慮、施設介護、介護保険施設、コミュニケーション、対人関係  【到達目標】施設実習の目的を理解した上で、実習での自分が課題を考えることができる。</p>	<p>実習  【注意点】無断欠席の場合は11月14日からの施設実習には参加できない。</p>	<p>【予習】実習先として提示された施設の情報を集める。</p>
9/28 (水) 4限	リハビリテーション医学研究室 谷 真美	<p>【授業タイトル】高齢者のリハビリテーション医学  【キーワード】患者中心のチーム医療、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、高齢者施設にいる職種、高齢者の特性  【到達目標】高齢者医療の身体機能的な特徴を理解し、施設実習や今後のBSLにおいて実践できる。</p>	<p>講義  【注意点】高齢者や片麻痺などの疑似体験装具を装着する体験を行う。</p>	<p>【予習】高齢者施設にいる職種、高齢者の身体機能的な特徴について調べる。  【復習】施設実習に活用できるように、講義資料を読み返す。</p>

<p>10/5 (水) 4限</p>	<p>医療看護学部 高齢者看護学 島田 広美</p>	<p>【授業タイトル】要介護高齢者の理解と技術支援 【キーワード】高齢者、廃用症候群、活動、移動、援助方法、ボディメカニクス、車椅子操作 【到達目標】介助時のボディメカニクスの原則、活動に関わる援助方法の留意点を説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】病院見学で患者さんと関わった体験を想起する。 【復習】施設実習に活用できるように、講義資料を読み返す。</p>
<p>10/12 (水) 4限</p>	<p>総泉病院名誉 院長 高野 喜久雄</p>	<p>【授業タイトル】高齢者医療の現場から 【キーワード】認知症、高齢者、脳、活性化 【到達目標】高齢者医療の現場における患者-医師関係を理解できる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】高齢者医療の現状について調べる。 【復習】認知症の治療について学んだことをまとめる。</p>
<p>10/19 (水) 4限</p>	<p>医療看護学部 高齢者看護学 杉山 智子</p>	<p>【授業タイトル】高齢者の介護について 【キーワード】施設介護、介護保険施設、コミュニケーション 【到達目標】高齢者が介護を受ける場とその環境、基本的な介護方法を概説できる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】介護保険施設について調べる。 【復習】施設実習に活用できるように、講義資料を読み返す。</p>
<p>11/2 (水) 4限</p>	<p>医学教育研究 室・呼吸器内 科学 鈴木 勉</p>	<p>【授業タイトル】高齢者患者さんへの対応 【サブ・タイトル】高齢者施設での実習のために 【キーワード】高齢者機能の特徴、高齢者施設実習での注意事項、注意すべき感染症 【到達目標】高齢者の生理的特徴を知り、また高齢者とのコミュニケーションの取り方を理解し、施設実習で活用することができる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】高齢者施設にいる職種、高齢者の身体機能的な特徴について調べる。 【復習】施設実習に活用できるように、講義資料を読み返す。</p>

11/9 (水) 4限	医史学研究室 澤井 直 生理学第二講座・医学教育 研究室 渡邊 マキノ その他さくら・本郷キャンパス教員	【授業タイトル】施設実習オリエンテーションⅡ 【サブ・タイトル】高齢者施設での実習直前の諸確認 【キーワード】医療、福祉、介護、高齢者、患者中心の視点、チーム医療、患者の権利、患者のプライバシー、自己決定 【到達目標】高齢者福祉・医療施設で、高齢者とともに生活し、介護を体験することにより、医師として重要な、他者の心情を推測する力、思いやる態度、チーム内の相互協力を学ぶことができる。	実習  【注意点】無断欠席の場合は11月14日からの施設実習には参加できない。	【予習】病院見学で学んだ留意点を復習しておく。 【準備】実習に必要なものを準備する。
11/14 (月) ～ 11/18 (金)	医史学研究室 澤井 直 生理学第二講座・医学教育 研究室 渡邊 マキノ その他さくら・本郷キャンパス教員	【授業タイトル】施設実習 【キーワード】医療、福祉、介護、高齢者、患者中心の視点、チーム医療、患者の権利、患者のプライバシー、自己決定 【到達目標】高齢者福祉・医療施設で、高齢者とともに生活し、介護を体験することにより、医師として重要な、他者の心情を推測する力、思いやる態度、チーム内の相互協力を学ぶことができる。	体験実習  【注意点】高齢者施設での実習	【自己学習課題の設定】実習の目的を理解するとともに、自分自身の目標を設定する。 【復習】実習レポートをまとめる。
11/30 (水) 4限	医史学研究室 澤井 直 生理学第二講座・医学教育 研究室 渡邊 マキノ その他さくら・本郷キャンパス教員	【授業タイトル】施設実習反省授業 【サブ・タイトル】高齢者施設での実習を振り返り、看護の課題を見出す 【キーワード】医療、福祉、介護、高齢者、患者中心の視点、チーム医療、患者の権利、患者のプライバシー、自己決定 【到達目標】高齢者福祉・医療施設で、高齢者とともに生活し、介護を体験することにより、医師として重要な、他者の心情を推測する力、思いやる態度、チーム内の相互協力を学ぶことができる。	実習  【注意点】無断欠席の場合、施設実習に関する単位は付与されない。	【復習】自分の仲間たちが体験したことから学ぶ。
12/7 (水) 4限	ライフケアシステム医師 辻 彼南雄	【授業タイトル】高齢者の在宅医療 【サブ・タイトル】終末期のケア 看取りにふさわしい場所 【キーワード】在宅医療、人間としての死 【到達目標】他者の死を看取ることの意味を深く考えることができる。	講義	【予習】在宅医療の現状について調べる。 【復習】終末期のケアに求められることについて考える。

12/14 (水) 4限	インターネットポリシースペシャリスト 宮崎 豊久 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	【授業タイトル】 ネット社会のコミュニケーション概論 【サブ・タイトル】 プロフェッショナルとして身に着けるコミュニケーション 【キーワード】 SNS、コミュニケーション、分かち合い、居場所、依存、関係性、情報漏洩、法とモラル、性情報、LGBTQs、ハラスメント、DV、ストレス、対症療法、予防 【到達目標】 様々なコミュニケーションシーンにおいて、困難に遭遇した時に一人で抱え込まずに対処することができる。	講義	【予習】 これまでの早期体験実習において遭遇した患者さんとのコミュニケーションについて振り返る。 【復習】 患者さんとの関係性を作るうえで重要なことをまとめる。
12/21 (水) 4限	解剖学・生体構造科学講座 市村 浩一郎	【授業タイトル】 人体の携帯をどのように学ぶか 【サブ・タイトル】 電子顕微鏡と人体解剖で見る人体 【キーワード】 人体解剖、組織学、心臓、動脈、内皮、平滑筋 【到達目標】 顕微鏡標本の作成法と観察法が理解できる。人体解剖実習の意義が理解できる。	講義	【復習】 2月からの講義に向けて準備する。
未定	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直	医療プロフェッショナリズム入門・まとめ（後期試験） 【到達目標】 人間として、医学生として、成長し、自身の将来像を想像することができる。	試験	【準備】 体験実習を含め、医療プロフェッショナリズム入門で学んだことを振り返り、まとめておく。
2022年 1/31 (火) 5-8限	医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	【授業タイトル】 グループワーク 医学生～医療者のプロフェッショナリズム 【サブ・タイトル】 自らの近未来をM1から意識して行動する 【キーワード】 医療者のプロフェッショナリズム、倫理と道徳的推論、順天堂と社会のルール、うっかりミス・不正行為・違法行為、迷惑行為 【到達目標】 ①学生生活全般について、アンプロフェッショナリズムとされる考え方や行動・行為がないように努力・自制できる。②今後の日常の活動、特に自己学習が医療者のプロフェッショナリズムに直結していることを意識して省察していくことができる。	講義（グループワーク形式）  【注意点】 全員出席が原則である。	【予習】 配布された資料を事前によく読み理解して、授業開始の5分前までに授業会場の指定席に着席している。 【復習】 医療者のプロフェッショナリズムとされる国際社会概念についてまとめる。

2/6 (月) 5-8限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和	【授業タイトル】看護師同行実習オリエンテーション 【サブ・タイトル】看護師同行実習の目的と内容、準備 【キーワード】患者中心の視点、コミュニケーション、マナー、態度、チーム医療 【到達目標】看護師同行実習に参加する準備ができる。	体験実習  【注意点】全員出席が原則であり、無断欠席の場合、2/27からの看護師同行実習への参加を認めない。	【準備】これまでの講義・実習で学んだマナー、態度、服装、チーム医療について思い出す。
2/14 (火) 3-4限	病院管理学研究室 川崎志保理	【授業タイトル】医学生に必要な接遇・マナー 【サブ・タイトル】医療現場における接遇・マナーの必要性 【キーワード】接遇・マナー、医療倫理、医師国家試験、患者サービス 【到達目標】①接遇・マナーに関する医師国家試験の傾向を知ることができる。②医師として必要な接遇・マナーの概要を知ることができる。③患者サービスとは何かを知ることができる。	全員必修講義  【注意点】全員出席が原則であり、無断欠席の場合、2/27からの看護師同行実習への参加を認めない。医療に特化した接遇・マナーは医師国験に頻出されており、医療行為以外に医師足る人としての行動が求められている。	【予習】社会通念としての接遇・マナーを新聞や書物等で予習しておくこと。授業に臨み、さらに医療者として必要な接遇・マナーを【復習】すること。
2/16 (木)	医療看護学部 教員  生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根美和	【授業タイトル】基礎看護学実習 【キーワード】衛生的な手洗い、感染防護、患者移送、コミュニケーション、患者中心の視点、チーム医療 【到達目標】看護の基礎的な技術を身に着けることができる。どのような配慮のもとに看護技術が実践されているか知り、看護実習で役立てることができる。	体験実習  【注意点】2/6のオリエンテーションを無断欠席した場合、参加を認めない。	【予習】実習要項を良く読み込む。 【復習】看護師同行実習において実践できるように、学んだことのポイントをまとめる。
2/24 (金)	医療看護学部 教員  生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根美和	【授業タイトル】基礎看護学実習（予備日） 【キーワード】衛生的な手洗い、感染防護、患者移送、コミュニケーション、患者中心の視点、チーム医療 【到達目標】看護の基礎的な技術を身に着けることができる。どのような配慮のもとに看護技術が実践されているか知り、看護実習で役立てることができる。	体験実習  【注意点】2/6のオリエンテーションを無断欠席した場合、参加を認めない。	【予習】実習要項を良く読み込む。 【復習】看護師同行実習において実践できるように、学んだことのポイントをまとめる。

<p>2/27 (月) ~3/2 (木)</p>	<p>生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根美和</p>	<p>【授業タイトル】看護師同行実習 【キーワード】課題発見、患者中心の視点、コミュニケーション、チーム医療、看護師、心理、行動 【到達目標】①チーム医療の実際を見学・体験して理解することができる。②患者理解とは何かを見学・体験して知ることができる。</p>	<p>体験実習 【注意点】順天堂大学医学部附属5病院での病棟実習 2/6、14、16、24の講義・実習を無断欠席した者は参加できない。</p>	<p>【自己学習課題の設定】自分自身の目標を設定する。 【復習】体験したことをレポートにまとめる。</p>



--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療入門	授業形態	
英語科目名	Introduction to Medicine	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	岡田 隆夫	ナンバリング	
担当教員	岡田 隆夫、渡邊 マキノ、關根 美和、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>医療入門では5つのカテゴリーの講義を通じて、以下のことを学ぶ。</p> <p>【国際社会の概念と将来医療の場で実践する知識ScienceとこころArts】  【医療者のコミュニケーション】 良好な医師-患者関係を築くことができる医療面接や診察について学ぶ前段階として、面接を行う際の態度・言葉遣いや環境、相手の立場・年齢・気持ちに配慮したコミュニケーションスキル</p> <p>【医学生・医療者であるという自覚と健康】 医療チームの健康と安全を確保して患者中心の信頼される医療を将来提供するために、今理解すべきこと・今開始すべきこと・今後行うべきでないこと</p> <p>【緊急事態に対応する医療入門】 日常（学生）生活に潜む病気や外傷の原因と予防や対処法・緊急事態に遭遇した時の医学的応急処置</p> <p>【地域医療とチーム医療】 保健・福祉・介護を含めた地域医療の重要性と基本理念・医療チームの多業種連携 さらに「医療プロフェッショナル入門 早期体験実習：病院見学・看護実習・施設実習」に必要な準備と授業担当先輩医師・医学研究者のキャリアのみちすじ</p>		
到達目標	<p>[一般目標]  患者中心の医療や個人と社会の健康に貢献できる医学研究を医療者の倫理やマナーとプロフェッショナリズムの概念に則り、生涯継続する将来像を具体的にイメージして、医学医療のScienceとこころArtsの学習成果（Outcome）を獲得してゆくことができる</p> <p>[到達目標] 次頁以降に各授業の到達目標が示され、全授業を通しての到達目標は下記のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療者としてのコミュニケーションスキルの基礎を身につけ実践できる。</li> <li>2. 医療者の職責を自覚し、他者の尊厳を尊重し、利他的に対応できる。</li> <li>3. 医学生として自分自身の健康に留意し、健康の強化・維持に努めることができる。</li> <li>4. 地域の保健・医療・福祉制度等を理解し、積極的に疾病予防・健康増進の活動ができる。</li> <li>5. 常に自己を振り返り、評価及び管理を怠らず、法的責任を遵守した行動をとることができる。</li> <li>6. キャリアデザインを具体的に説明できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<p>①この科目の学習は1年では完結せず医学生からと医療者（医師・医学研究者）となる過程で必要な情報が伝達される。配付資料や講義ノート等の学習記録を保存し復習する。</p> <p>②順天堂の本郷などの病院の臨床系教員が多くの講義を分担する。専門用語などがわからない時は遠慮せずその場で質問する。授業中の質問は学生の積極性を示すとして高く評価される。授業後は質問の機会は当分無いであろう。</p> <p>③2月以降卒業までの全授業がこの科目のように各回異なる内容を異なる教員が講義するのでこの形式に慣れること。講義の曜日に注意すること。</p> <p>④教務課スタッフにより配布資料は授業開始前に、出席調査票・授業評価用紙は講義開始直後に室内を巡回して出席者に配布される。遅刻者・欠席者への事後配布は行われぬ。</p> <p>⑤出席調査票・授業評価用紙に回答して講義終了直後に教室で提出する。事務室教務課や次回の授業での事後提出は受理されない。</p> <p>⑥「医療プロフェッショナリズム入門・早期体験実習：病院見学・看護実習・施設実習」の前に、この科目のそれらの実習に係る授業について復習すること。</p> <p>⑦この科目の欠席届は岡田宛に作成して、教務課に提出する。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：「医療入門」の出席、Pre-test・Post-test、レポート、筆記試験成績を加味して総合評価を行う。</p> <p>【定期試験（前期試験）】</p> <p>出題形式＝用語や数値、単語や文、文章を記述して解答する</p> <p>可否判定方法＝さくらキャンパス判定基準に準じる</p> <p>注意①レポート提出やプレ・ポストテスト・小テストが行われる場合は、それらの評価と定期試験評価が加算されることがある</p> <p>出題範囲＝試験日までの学習内容</p> <p>注意②準備学習や指定された自己学習の内容が含まれる</p>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準：個別試験や総合試験の結果を基として総合的な理解度および受講態度等を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

<p>課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。</p>
--

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p>科目としての指定はしない；授業で紹介されたテキストやHP等からの情報を確認すること</p> <p>【再試験の注意事項】</p> <p>出題範囲は全授業の（準備学習等や自己学習を含む）学習内容；出題形式は定期試験と同じ</p>
---

その他	
連絡先・オフィスアワー	
担当教員の実務経験	
備考	<p>①各授業が5つのカテゴリーのどれに属するかを確認し、各授業の準備学習（予習）を済ませて授業に出席する</p> <p>②授業担当者は本郷などの順天堂附属病院からその授業のためにさくらキャンパスに向かう。講義担当者にいつでも再会できるとは限らない。</p> <p>各授業の準備学習【予習】や学習上の注意に沿って自己学習し、講義内容や質問事項をあらかじめイメージして出席する。</p> <p>③科目全体の教科書は無い。授業資料の配布は授業開始前に教務課スタッフが行う。配布されたら直ちに資料の全体を概観する</p> <p>④資料が配布されない授業もあるので、講義ノートを必ず持参して出席する</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/13 (水) 3限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	<p>【授業タイトル】医療プロフェッショナリズム入門・医療入門オリエンテーション</p> <p>【サブ・タイトル】医師として、人間として</p> <p>【キーワード】人間性、医師</p> <p>【到達目標】豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る医師を志したことを認識することができる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】「フレッシュパーソンズキャンプ・看護実習・施設実習等」に深く関係する</p>	<p>【準備】受験生から医学生へと気持ちを切り替えてくる。</p>
4/20 (水) 3限	下部消化管外科学講座 富木 裕一	<p>【授業タイトル】バイタルサイン</p> <p>【サブ・タイトル】脈、血圧、呼吸、体温、その取り方と意味すること</p> <p>【キーワード】脈拍、血圧、呼吸、体温、救急医療</p> <p>【到達目標】バイタルサインとは何か？を説明できる</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】「フレッシュパーソンズキャンプ・看護実習・施設実習等」に深く関係する</p>	<p>【予習】「生きている証拠」をあげられるようにしておく</p>

4/27 (水) 3限	熱帯医学・寄生虫病学講座 美田 敏宏	<p>【授業タイトル】熱帯医学入門1、熱帯医学入門2  【サブ・タイトル】開発途上国で実際に起こっていること  【キーワード】熱帯病、マラリア、開発研究、研究医のキャリア  【到達目標】熱帯地域を中心とした開発途上国にある医療問題を①広い角度から理解し、②新しい視点を持ってその解決法を考察できる。  ③研究医の仕事と心構えを知る。</p>	<p>講義  【注意点】2年生以降で学習する感染症、熱帯医学の導入部となる。</p>	<p>【予習】世界三大感染症の名前と患者数、死亡者数を調べる。予習時間45分。  【復習】講義配布資料を見直し、自分ができることを考えてみる。復習時間45分。</p>
5/11 (水) 3限	総合診療科学講座 内藤 俊夫	<p>【授業タイトル】医学生から始める感染症への対策1、医学生から始める感染症への対策2  【サブ・タイトル】医療のプロフェッショナルとしての準備  【キーワード】インフルエンザ、マイコプラズマ、病原体、ワクチン、職業感染防止、手指衛生、咳嗽、医療者の健康管理、医療関連感染症  【到達目標】  ①医療従事者として就業する際に、あらかじめ接種しておくべき感染症について理解する  ②体調不良時に就業しないで受診をする意義を理解する</p>	<p>講義  【注意点】「病院見学・看護実習・施設実習」など医療施設での実習・研修に深く関係する</p>	<p>【予習】ワクチンで予防できる流行性ウイルス疾患について調べる  【復習】自分の抗体価とワクチン接種歴について整理する  【自己学習課題】免疫を持っていない疾患に対するワクチン接種を行っておく</p>
5/18 (水) 3限	感染制御科学 堀 賢	<p>【授業タイトル】感染症およびその対策1、感染症およびその対策2  【サブ・タイトル】感染症との闘い  【キーワード】感染症、感染制御、院内感染  【到達目標】医学生として感染の防御をする意義を理解する</p>	<p>講義  【注意点】「病院見学・看護実習・施設実習」など医療施設での実習・研修に深く関係する</p>	<p>【準備】医学生としての感染防御の意義を考えておく。  【復習】講義配布資料を見直し、自分ができることを考えてみる。復習時間45分。</p>
5/18 (水) 4限	浦安病院救急診療科 石原 唯史	<p>【授業タイトル】災害医療1、災害医療2  【サブ・タイトル】災害現場で、君は何ができるか？  【キーワード】トリアージ、災害ボランティア、災害医療の特殊性、災害時の医療体制  【到達目標】災害時における医療体制確立の必要性和現場のトリアージを説明できる</p>	<p>講義  【注意点】余裕があれば、災害医学に関する最新の臨床研究を紹介する。</p>	<p>【予習】災害時と日常の医療の相違点を考える  【復習】模擬傷病者を作成、トリアージ法を行い習得する</p>

<p>5/25 (水) 3限</p>	<p>スポーツ健康 科学部 櫻庭 景植</p>	<p>【授業タイトル】救急医療に対する初期治療；スポーツ外傷を中心に1、救急医療に対する初期治療；スポーツ外傷を中心に2 【サブ・タイトル】スポーツ現場ですぐに役立たせる救急処置 【キーワード】捻挫、肉ばなれ、骨折、RICE処置、救急医療 【到達目標】スポーツ現場ですぐに対応すべき基本、対応可能な処置方法を学ぶとともに、重度外傷に対する救急搬送の判断基準を知る</p>	<p>講義 【注意点】特になし</p>	<p>【予習】スポーツ外傷・傷害の総論として捻挫や脱臼、骨折の定義 【復習】周囲のスポーツ外傷の現場で現実に見て学び、復習</p>
<p>6/1 (水) 3限</p>	<p>神経学講座 平 健一郎</p>	<p>【授業タイトル】若年者と高齢者の頭痛とめまい1、若年者と高齢者の頭痛とめまい2 【サブ・タイトル】原因は？ 対処法 どのような時に病院に行くべきか 【キーワード】片頭痛、回転性めまい、動揺感、患者の社会的・心理的背景 【到達目標】頭痛、めまいの種類が生命にかかわるか否かを理解できるようになる</p>	<p>講義 【注意点】「施設実習」にも関係する授業</p>	<p>【予習】頭痛、めまいの種類を知っておく 【復習】頭痛、めまいの各種類の特徴を知る</p>
<p>6/15 (水) 3限</p>	<p>公衆衛生学講座 遠藤 源樹</p>	<p>【授業タイトル】公衆衛生学の基礎1、公衆衛生学の基礎2 【サブ・タイトル】医学・医療と社会を結びつける公衆衛生的視点とは 【キーワード】公衆衛生の見方・考え方、健康の決定要因 【到達目標】 ①公衆衛生、社会医学とは何かを理解する ②公衆衛生的視点が必要な理由を説明できる</p>	<p>講義 【注意点】特になし</p>	<p>【予習】健康の社会的決定要因とは何か、各自で事前に調べておくこと 【復習】講義配布資料の内容の確認</p>
<p>6/18 (土) 3限</p>	<p>浦安病院 救急診療科 平野 洋平</p>	<p>【授業タイトル】応急処置1、応急処置2 【サブ・タイトル】夏季の救急応急処置 【キーワード】熱疲労、熱痙攣、熱射病、溺水、溺死、救急医療、中毒・食中毒 【到達目標】 ①環境と健康・疾病との関係を概説できる ②熱中症の予防策を説明できる</p>	<p>講義 【注意点】特になし</p>	<p>【予習】熱中症の基礎について勉強する 【復習】熱中症の危険因子および予防策を整理する。</p>

<p>6/22 (水) 3限</p>	<p>皮膚科学講座 込山 悦子</p>	<p>【授業タイトル】女性医師というプロフェッション1、女性医師というプロフェッション2 【サブ・タイトル】社会とのつながり 【キーワード】専門医・認定医、男女共同参画、ライフイベント、ワークライフバランス、生涯教育 【到達目標】医療者と社会とのつながりを理解する</p>	<p>講義 【注意点】皮膚疾患の提示がある</p>	<p>【予習】医師を志すと決めた理由を再確認する 【復習】医師というプロフェッションを生涯継続するイメージを育てる</p>
<p>6/29 (水) 3限</p>	<p>医学教育研究室 西崎祐史</p>	<p>【授業タイトル】家庭医療総論1、家庭医療総論2 【サブ・タイトル】プライマリ・ケア 【キーワード】家庭医、総合医、ACCCA、在宅医療、多職種協働(IPW)、EBM、物語能力、コミュニケーションスキル、社会資源 【到達目標】①Common disease(コモンディゼイズ)を説明できる ②家庭医のスキルを説明できる ③家庭や地域を考慮できる ④専門医や多職種と連携の重要性を理解できる</p>	<p>講義 【注意点】「施設実習」に深く関係する授業</p>	<p>【予習】家庭医とはどんな医者かイメージしておく 【復習】ACCCAを振り返えろう</p>
<p>7/ 6 (水) 3限</p>	<p>小児外科学講座 山高 篤行</p>	<p>【授業タイトル】外科道に魅せられて1、外科道に魅せられて2 【サブ・タイトル】Stay Strong 【キーワード】BeatBoston, Beat London、ガッツ、上には上がいる、落ち着いて地道な努力をする、患者さんの心の痛み、生涯学習、医療の評価 【到達目標】小児外科疾患の手術方法を理解習得する</p>	<p>講義 【注意点】特になし</p>	<p>【予習】食道閉鎖・ヒルシュスブルグ病の手術方法について確認する 【復習】予習内容について理解を深める</p>

7/13 (水) 3限	医学教育研究室 呼吸器内科学 鈴木 勉	<p>【授業タイトル】医療面接1、医療面接2  【サブ・タイトル】患者と医師の信頼関係の構築、医療面接のステップ  【キーワード】医療面接のステップ、開放型質問、閉鎖型質問、医師の態度  【到達目標】  ①コミュニケーション能力の重要性を理解する  ②医療面接のステップを理解する（まずは導入、主訴の把握、共感、解釈モデルから）  ③医師の態度類型と質問法を知る。  ④共用試験OSCE。</p>	<p>講義  【注意点】①「病院見学・看護実習・施設実習・臨床実習」に深く関係する ②共用試験（CBT/OSCE）のための初歩的な知識である</p>	<p>診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目（社）医療系大学間共用試験実施評価機構（OSCEを統括する機構）が作成。診察時に注意すべき項目が記載されており、これを中心に実習と試験が行われる。医療面接の項目を予習のしておくこと。  <a href="http://www.cato.umin.jp/index.html">http://www.cato.umin.jp/index.html</a></p>
7/20 (水) 3限	試験監督 医学教育研究室 関根・渡邊	<p>前期試験  【到達目標】この科目の学習アウトカムを発揮し、後期試験評価とあわせて、評価の基準を満たすことができる</p>	試験	<p>【出題範囲】試験日までの学習内容；準備学習（予習・復習）や指定された自己学習の課題の内容を含めて出題</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	スポーツと健康	授業形態	
英語科目名	Sports and Health (Soccer, Volleyball, etc)	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	青木 和浩	ナンバリング	
担当教員	青木 和浩、鯉川 なつえ、河村 剛光、荻原 朋子、柳谷 登志雄、島崎 佑、坂本 彰宏、中田 学、吉田 和人、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>健康やスポーツの基礎となる体力を高めるためのトレーニングの基礎理論並びに方法論についての理解を深める。各自の体力に応じた様々なトレーニングの実践ならびに各自の目的に応じたトレーニングの活用方法について学習する。授業内容は、トレーニングの基礎理論や応用について、講義や実技を通して、健康やスポーツ科学への学問的な理解を深めることと各自の健康にかかわる体力向上を目的として展開する。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]          スポーツの基礎となる体力を高めるためのトレーニングの基礎理論並びに応用についての理解を深め、各自の体力や目的に応じた様々なトレーニングを実践し活用することができる。          さらにスポーツを通じたコミュニケーション能力を身に付ける。</p> <p>[到達目標]          1. 健康・スポーツに関わる基礎知識と各測定方法を理解する。          2. 怪我を防ぐための運動方法を習得する。          3. 体力を高めるためのトレーニング方法を習得する。          4. 各種スポーツのルールを理解する。          5. 各種スポーツを通してコミュニケーション能力を修得する。</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p>【前期】          新型コロナウイルス対策により、オンライン授業の実施も想定される。オンラインにおいても講義だけではなく、実技も行うので安全面に留意すること。          また、オンラインになっても各自が運動できるようスペースの確保等しておくこと。          授業内容は種目に分けて実施をする。授業実施の順番が変わる可能性もあるので留意すること。          ・(サッカー) *実技の場合のみ          ・動きやすい服装で周囲の安全を確保し受講すること。          ・(バレーボール) *実技の場合のみ          ・バレーボールシューズを用意すること。          ・運動着を着用すること。          ・安全に注意すること。</p> <p>【後期】          新型コロナウイルス対策により、オンライン授業の実施も想定される。オンラインにおいても講義だけではなく、実技も行うので安全面に留意すること。          また、オンラインになっても各自が運動できるようスペースの確保等しておくこと。          授業内容を5回に分け、実施をする。授業実施の順番が変わる可能性もあるので留意すること。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>【前期】          成績評価方法：授業への参加状況および授業への取り組み70%、レポート30%を総合的に評価する。</p> <p>【後期】          成績評価方法：原則、以下の2項目から判定します。          ・授業での評価          ・授業内容5回における評価：各20%、合計100%</p>
------	--

評価基準	<p>【前期】          成績評価基準：授業への参加、授業への取り組み、レポート課題を基に、総合的な理解度を見て判定する。</p> <p>【後期】          成績評価基準：課題レポートや授業内での質疑等から総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【前期】  
 (サッカー) サッカー競技規則 (公益財団法人日本サッカー協会. <https://www.jfa.jp/laws/>)  
 (バレーボール) みるみる上達！バレーボール基礎からマスター (学研スポーツブックス)

【後期】  
 必要に応じて、授業時に各担当教員から資料を配布する。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
<p>その他</p>				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]          前期担当: 鯉川なつえ E-mail: nkoikawa@juntendo.ac.jp [at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。          後期担当: 青木 和浩 E-mail: k-aoki@juntendo.ac.jp [at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー]          日時: 平日8:30から16:30          場所: 1号館5階 鯉川研究室または青木研究室          備考: 質問はできるだけmailを利用してください。          上記の時間帯は、授業がなければ質問や相談に応じます。ただし、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>			
担当教員の実務経験	<p>[担当教員の实務経験]</p> <p>鯉川なつえ: 実業団チームに所属し競技者として活動した実務経験を活かし、女性スポーツの分野およびコーチング現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説する。          中田 学: Vチャレンジリーグ東京ベルディバレーボールチームにおいてプロバレーボール選手として活動していた経験を生かし、バレーボールの現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説する。          島崎 佑: プロサッカーチームにおける選手経験を活かし、サッカーにおける基本的な知識や技術をわかりやすく解説する。</p>			
備考	<p>【前期】          (サッカー) 専門書およびインターネット等を活用し、サッカーの基本的なルール(知識)の理解を深め、試合を視聴しておく。          (バレーボール) 次回授業に学ぶ項目について事前に調べておく。学んだ内容について振り返り理解を深めておく。          【自己学習(準備学習)に必要な時間】 1時間あたり 予習: 45分, 復習: 45分</p> <p>【後期】          実技においては十分に体調を整えて授業に参加すること。          教室での実習においては当該授業内容のキーワードを事前に学習しておくこと。          講義・実技ともに授業後には実施した内容を振り返り、基礎理論と方法について理解を深めておくこと。          【自己学習(準備学習)に必要な時間】 1時間あたり 予習: 45分, 復習: 45分</p> <p>【その他】          新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。</p>			
4/11 (月)	鈴木 大地 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】 スポーツ健康医科学推進機構 (Juntendo Administration for Sports, Health and Medical Sciences, JASMS) について          【サブ・タイトル】 JASMS概要説明          【キーワード】 概要、授業展開、成績評価          【到達目標】 JASMS概要を理解する。</p>	<p>講義          【注意点】 本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>順天堂大学のHPにある、「スポーツ健康医科学推進機構(JASMS)」を熟読しておくこと。</p>
4/18 (月)	鯉川なつえ 中田 学 島崎 佑	<p>【授業タイトル】 ガイダンス          【サブ・タイトル】 授業の概要説明          【キーワード】 授業概要、授業展開、成績評価          【到達目標】 授業概要・授業展開・成績評価を理解する。</p>	<p>講義          【注意点】 本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>シラバス内容を熟読しておくこと。</p>

4/25 (月)	鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】卓球②  【サブ・タイトル】女性スポーツ； e-learning  【キーワード】女性アスリートの基礎知識  【到達目標】 e-learningによるオンデマンドで女性アスリートの基礎知識を習得する。</p>	<p>オンデマンド  【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>「女性スポーツ」について事前に学習しておくこと。  実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
5/2 (月)	鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】これまでの振り返り  【サブ・タイトル】課題作成と整理  【キーワード】レポート作成  【到達目標】要点をまとめ、自らの意見を文章で表現できる。</p>	<p>レポート作成  【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
5/9 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】バレーボール①  【サブ・タイトル】バレーボール競技の歴史  【キーワード】バレーボール、歴史、オリンピック、ゲーム視聴  【到達目標】バレーボール競技についての成り立ちを知ることが出来る。</p>	<p>講義  【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>バレーボールゲームを何でも良いので視聴をしておく。学んだ内容について振り返り理解を深めておくこと。</p>
5/16 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】バレーボール②  【サブ・タイトル】バレーボールの各スキルの動画指導、ゲーム視聴  ①  【キーワード】バレーボール、ポジション構成、ゲーム視聴  【到達目標】バレーボール競技のポジション、ポジション特性、適正について知ることが出来る。</p>	<p>講義  【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>バレーボールの6人制ゲームの視聴を行う。ポジションについて事前に学習しておく。学んだ内容について振り返り理解を深めておくこと。</p>

5/23 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】バレーボール③ 【サブ・タイトル】バレーボールの各スキルの動画指導、ゲーム視聴② 【キーワード】バレーボール競技の基本スキル、ゲーム視聴 【到達目標】バレーボール競技の基本スキルのポイントについて学ぶことができる。ビーチバレー、9人制について知ることができる</p>	<p>講義 【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>バレーボールのスキルについて事前に調べておくこと。学んだ内容について振り返り理解を深めておくこと。</p>
5/30 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】バレーボール④ 【サブ・タイトル】バレーボールの各スキルの動画指導、ゲーム視聴③ 【キーワード】バレーボール競技の基本スキル、ビーチバレー、9人制、ゲーム視聴 【到達目標】バレーボール競技の基本スキルのポイントについて学ぶことができる。</p>	<p>講義 【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>ビーチバレー、9人制について事前に調べておく。学んだ内容について理解を深めておくこと。</p>
6/6 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】これまでの振り返り 【サブ・タイトル】課題作成・整理 【キーワード】まとめ 【到達目標】本授業の到達目標を達する。</p>	<p>レポート作成</p>	<p>学んだ内容について理解を深めておくこと。</p>
6/13 (月)	島崎 佑 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】サッカー① 【サブ・タイトル】サッカー競技の歴史とコンディショニングプログラムⅠ 【キーワード】サッカー競技の歴史 【到達目標】サッカー競技の成り立ちと日本サッカーの歴史について理解する。加えて、トレーニングの基本姿勢について要点を理解する。</p>	<p>講義 【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>近代サッカー及び日本サッカーの歴史について調べておくこと。</p>

6/20 (月)	島崙 佑 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】サッカー②  【サブ・タイトル】サッカー競技のルールとコンディショニングプログラムⅡ  【キーワード】サッカー競技のルール  【到達目標】サッカーの競技精神及びフェアプレイについて理解する。加えて、コアトレーニングについて要点を理解する。</p>	<p>講義  【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>サッカーにおけるオフサイドについて調べておくこと。</p>
6/27 (月)	島崙 佑 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】サッカー③  【サブ・タイトル】サッカー競技の技術戦術とコンディショニングプログラムⅢ  【キーワード】サッカー競技の技術戦術  【到達目標】サッカーの原理原則について理解する。加えて、ムーブメントプレパレーションについて要点を理解する。</p>	<p>講義  【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>最新の試合のハイライトやスポーツニュースなどで国内外のサッカーの試合をチェックしておくこと。</p>
7/4 (月)	島崙 佑 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】サッカー④  【サブ・タイトル】サッカー競技におけるスポーツ科学の活用とコンディショニングプログラムⅣ  【キーワード】サッカー競技におけるスポーツ科学  【到達目標】サッカー競技のコンディショニングや外傷・障害予防に役立てられる科学的知見について理解する。</p>	<p>講義  【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>日本サッカー協会ホームページに掲載されているメディカルのページを読んでおくこと。</p>

7/11 (月)	島崙 佑 鯉川なつえ	【授業タイトル】これまでの振り返り 【サブ・タイトル】課題作成・整理 【キーワード】まとめ 【到達目標】本授業の到達目標を達する。	レポート作成	学んだ内容について理解を深めておくこと。
9/26 (月)	青木 和浩 吉田 和人 柳谷 登志雄 荻原 朋子 河村 剛光 坂本 彰宏	【授業タイトル】ガイダンス 【サブ・タイトル】授業の概要説明 【キーワード】授業概要、授業展開、成績評価 【到達目標】授業概要・授業展開・成績評価を理解する。	講義 【注意点】更衣不要	シラバスの内容を熟読しておくこと。
10/3 (月)	吉田 和人 青木 和浩	【授業タイトル】卓球① 【サブ・タイトル】コーチングにおける研究成果の応用 【キーワード】卓球、大会での測定、データ、コーチング 【到達目標】卓球の事例から、コーチングにおける研究成果の応用について理解する。	講義 実技 【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。	「スポーツのコーチングにおける研究成果の応用」について事前に学習しておくこと。 実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。
10/17 (月)	吉田 和人 青木 和浩	【授業タイトル】卓球② 【サブ・タイトル】国際競争と交流 【キーワード】卓球、国際競争、国際交流、荻村伊智朗、オープンドアポリシー 【到達目標】卓球などの事例から、スポーツにおける国際競争と交流について理解する。	講義 実技 【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。	「スポーツにおける国際競争と交流」について事前に学習しておくこと。 実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。

10/22 (土)	吉田 和人 青木 和浩	<p>【授業タイトル】卓球③</p> <p>【サブ・タイトル】科学サポートの実際</p> <p>【キーワード】卓球、各年代の代表選手のサポート、オリンピック、対応型競技の技術・戦術</p> <p>【到達目標】卓球の事例から、科学サポートの実際について理解する。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。</p>	<p>「スポーツの科学サポート」について事前に学習しておくこと。</p> <p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
10/24 (月)	河村 剛光 青木 和浩	<p>【授業タイトル】体力とその測定</p> <p>【サブ・タイトル】体力とその測定</p> <p>【キーワード】体力の定義や分類とは？</p> <p>【到達目標】「体力」について事前に学習しておくこと。実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>	<p>更衣不要</p> <p>【注意点】体力の定義や分類を理解し、説明することができる。</p>	<p>Physical Fitness</p> <p>行動を起こす体力</p>
10/31 (月)	河村 剛光 青木 和浩	<p>【授業タイトル】身体組成とデータの評価</p> <p>【サブ・タイトル】身体組成とデータの評価</p> <p>【キーワード】身体組成の測定と評価</p> <p>【到達目標】「身体組成の測定法」について事前に調べておくこと。実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>	<p>更衣不要</p> <p>【注意点】体脂肪率の測定評価方法を理解し、説明することができる。</p>	<p>インピーダンス法</p> <p>体脂肪率</p>
11/7 (月)	河村 剛光 青木 和浩	<p>【授業タイトル】体力測定のまとめ</p> <p>【サブ・タイトル】体力測定のまとめ</p> <p>【キーワード】累加測定とデータの分析・活用</p> <p>【到達目標】「スポーツ健康科学」について事前に学習しておくこと。</p> <p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>	<p>更衣不要</p> <p>【注意点】スポーツ健康科学と医学の関わりを理解し、説明することができる。</p>	<p>スポーツ健康科学</p> <p>予防医学</p>

11/21 (月)	荻原 朋子 青木 和浩	<p>【授業タイトル】子どもの体力と運動能力</p> <p>【サブ・タイトル】日本における子どもの体力と運動習慣等の調査結果の傾向と体育授業の動向</p> <p>【キーワード】全国体力運動能力、運動習慣等調査、学習指導要領解説、子どもの体力</p> <p>【到達目標】子どもの体力の現状と日本における体育授業の実態について理解できる。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】講義資料をよく読むこと。</p>	<p>「新体力テスト」について事前に学習しておくこと。</p> <p>学習した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
11/26 (土)	荻原 朋子 青木 和浩	<p>【授業タイトル】子どもの体力と学校体育</p> <p>【サブ・タイトル】体力向上を目指すための学校体育の取り組みと、アメリカにおける体育授業と教員養成</p> <p>【キーワード】保健体育授業の充実、運動部活動の現状、アメリカにおける体育教師の役割</p> <p>【到達目標】体力向上のための学校体育の取り組みについて理解できる。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】講義資料をよく読むこと。</p>	<p>「体力向上のための取り組み」について事前に学習しておくこと。</p> <p>学習した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
11/28 (月)	柳谷 登志雄 青木 和浩	<p>【授業タイトル】運動の必要性</p> <p>【サブ・タイトル】運動と健康の関係</p> <p>【キーワード】ロコモティブシンドローム</p> <p>【到達目標】生涯にわたる健康増進のために運動が必要であることを理解する。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。</p>	<p>「運動と健康の関係」について事前に学習しておくこと。</p> <p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
12/5 (月)	柳谷 登志雄 青木 和浩	<p>【授業タイトル】運動の必要性とその効果</p> <p>【サブ・タイトル】健康増進を目指したトレーニング</p> <p>【キーワード】トレーニングの原則</p> <p>【到達目標】トレーニングの原則を理解し、実践できる知識を習得する。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。</p>	<p>「健康増進」を目的としたトレーニングを事前に学習しておくこと。</p> <p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>

12/12 (月)	坂本 彰宏 青木 和浩	<p>【授業タイトル】トレーニング①</p> <p>【サブ・タイトル】ウエイトスタック式マシンを用いた筋力トレーニング</p> <p>【キーワード】マシンウエイト、トレーニング種目</p> <p>【到達目標】マシンを用いた筋力トレーニングについて理解し、実践方法を習得できる。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】トレーニング器具使用の際には安全に十分注意する。</p>	<p>マシントレーニングの種目名や骨格筋の名称について学習しておくこと。</p> <p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
12/19 (月)	坂本 彰宏 青木 和浩	<p>【授業タイトル】トレーニング②</p> <p>【サブ・タイトル】フリーウエイトや自重を用いた筋力トレーニング</p> <p>【キーワード】筋力、筋パワー、筋持久力</p> <p>【到達目標】フリーウエイト・自重を用いた筋力トレーニングについて理解し実践方法を習得できる。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】リフティングテクニックを習得し、怪我を誘発する動きを避ける。</p>	<p>自重を活用したトレーニング種目について事前に学習しておくこと。</p> <p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
1/13 (金)	青木 和浩	<p>【授業タイトル】後期振り返り</p> <p>【サブ・タイトル】課題作成・整理</p> <p>【キーワード】</p> <p>【到達目標】本授業の到達目標を達する。</p>		<p>これまでの授業内容を整理する</p>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医学研究入門 I	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Medical Research I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	櫻井 隆	ナンバリング	
担当教員	櫻井 隆、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>医学の進歩が、基礎および臨床医学における様々な研究成果をベースにもたらされたことは周知の事実である。また、今後医学が発展するためにも過去と同様に研究の蓄積が必要である。この事実を正しく理解しておくことは、将来医師として診療や研究に携わる者にとっては必須である。生命科学と基礎医学・臨床医学は、密接に関連し発展している。医学研究がどのようにおこなわれ、それが実際の医療・政策等にどのように応用されるかを知ることで、生命科学・基礎医学の視点で臨床医学を学ぶことの意味と、研究を通して医学の発展に貢献することの重要性を理解する。</p> <p>○ 基礎医学と臨床医学が両輪となって医学が発展しており、研究は医学の発展と医療の高度化を担うものである。研究が最先端医療や医師としてのキャリアに不可欠であることを医師・医学研究者の体験を通して理解する。講義により医師の多様なキャリア・社会貢献の形を知る。</p> <p>○ 社会の中で医学研究・医療を通して医師が果たすべき役割を理解する。医学の将来を展望し、研究による医学の発展・医療の高度化への貢献や医学上の重要課題を解決するリーダーとなることの重要性を認識する。</p> <p>○ 講義を通じて、順天堂大学の医師・研究医養成のシステムとキャリアパスを理解し、医師・研究医、Physician Scientistとして社会に貢献する自分の将来と医学部6年間になすべきことを考える。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <p>医師の多様なキャリア・社会貢献の形を知る。  社会の中で医学研究・医療を通して医師が果たすべき役割を理解する。  研究による医学の発展・医療の高度化への貢献や医学上の重要課題を解決するリーダーとなることの重要性を認識する。</p> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医学の発展・医療の高度化における医学研究の意義について説明できる。</li> <li>2. 医師の多様なキャリアパス、社会貢献の形について述べることができる。</li> <li>3. 順天堂大学の医師・研究医養成のシステムについて説明できる。</li> <li>4. 自分の将来の目標のために医学部6年間に何をなすべきかについて述べるができる。</li> <li>5. 検索した文献を正しく引用し、ルールに従ってレポートを作成できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p>☆ あらかじめ指示された予習を行い、授業中に質問するなど、積極的に授業に参加すること。</p> <p>☆ 課題・小テスト、授業内容についての感想、レポート（文体や形式、文献引用や図表的確さ等）と期限内提出が評価される。期日後の提出は認められないことに注意すること（詳細は授業で説明される）。</p> <p>☆ マークシート形式の「授業評価票」を用いて出席の確認が行われる。講義終了直後に授業会場（教室等）で票を提出すること。事後の提出は受理されないことに注意すること。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法：課題の提出・小テスト（20%）、各授業についての感想（30%）、レポート評価（50%）による。
------	--

評価基準	成績評価基準：上記の評価等を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---------------------------------

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（レポート等）に関しては、講義中または講義後にフィードバックを行う。
--------------------------------------

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p>参考書：流れがわかる研究トレーニング How To - 医系大学院・研究留学、いっどこで何を？ 佐藤雅昭、草場鉄周、富塚太郎 著、メディカルレビュー社</p>
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】 櫻井 隆: tsakurai * juntendo. ac. jp ( * を@ に修正して下さい) 授業の前後の時間、また、随時Eメールで質問等を受け付ける。			
担当教員の実務経験				
備考	<p>☆ 4月27日の授業における指示に従い、与えられたテーマについてレポートにまとめ提出する。J-PASS を用い Word ファイルにて提出すること。締切：5月11日（水）17:00 提出されたレポートの内容を 7月6日の授業内で教材として使用することがある。個人情報とはわからないように処理するが、レポートの内容を教材に使用してほしくない場合は、レポートの最後に「※（理由）のため教材使用不可。」と理由及び教材への使用拒否の意思を明示すること。</p> <p>☆ 6月1日の授業の予習として、以下の論文を読んでおくこと。 Shigemura J, Tanigawa T, Saito I, Nomura S. Psychological distress in workers at the Fukushima nuclear power plants. JAMA. 2012 Aug 15;308(7):667-9.</p> <p>☆ 7月6日のレポート評価のフィードバックを生かし、別途指示されるテーマについてレポートを作成し、提出する。分量はA4用紙10枚以内（表紙除く）とする。最低1件は参考資料からの引用をおこなうこと。その際、いたしかたない場合を除いて、Webページからの引用は避けること。締切：7月20日（水）18:30（J-PASS を用いて教務課に提出）</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況により、授業計画等を変更する可能性がある。</p>			
4/13 水 5限	薬理学講座 櫻井 隆	<p>【授業タイトル】 医学研究の意義 【サブ・タイトル】 医学の発展・医療の高度化と研究 【キーワード】 医学部カリキュラム、初期臨床研修、大学院、Physician Scientist、基礎研究医養成プログラム 【到達目標】 順天堂大学における医師・研究医、Physician Scientist養成のシステムとキャリアパスを述べることができる。</p>	講義	順天堂大学ホームページで大学院医学研究科博士課程、初期臨床研修の概要について調べておくこと。 <a href="http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui/">http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui/</a> 及び <a href="http://tsunagu-project.umin.jp">http://tsunagu-project.umin.jp</a> の内容についても確認しておくこと。
4/20 水 5限	一般教育研究室 田中 和廣	<p>【授業タイトル】 医学情報-1 情報の活用と情報検索 【サブ・タイトル】 研究における情報の活用-講義 【キーワード】 情報の信憑性、ネット情報、情報検索 【到達目標】 ネット情報の信憑性を理解し、信頼できる情報の検索方法を習得する。論文等の引用を正しく理解する。</p>	講義	授業に関する復習課題（小テスト）を行う。

4/20 水 5限	さくらキャンパス 学術メディアセンター 功刀 みさ	<p>【授業タイトル】医学情報-1 情報の活用と情報検索  【サブ・タイトル】研究における情報の活用-実習  【キーワード】学術メディアセンター・データベース利用法  【到達目標】信頼できる情報の検索方法を習得する。</p>	実習	学術メディアセンター・データベースを利用して、復習課題を行う。
4/27 水 5限	衛生学・公衆衛生学講座 (衛生学) 松川 岳久  一般教育研究室 和田 麻理	<p>【授業タイトル】医学情報-2 医学生のためのレポート作成指南-1  【サブ・タイトル】情報に基づいて論旨を展開する</p> <p>【授業タイトル】医学情報-2 剽窃チェック支援ツール「Turnitin」の使い方  【サブ・タイトル】課題レポートの類似チェック</p> <p>【キーワード】テクニカルライティング、論証レポート、実験レポート、引用、Turnitin feedback studio  【到達目標】大学生として知的生産活動の成果物である基本的なレポートの書き方を身に着ける。</p>	講義	レポート課題を課すので、講義内容に沿った構成でレポートを作成すること。
5/11 水 5限	乳腺腫瘍学講座 齊藤 光江	<p>【授業タイトル】最先端医療-1 乳腺腫瘍学の魅力  【サブ・タイトル】がん治療最先端の開発  【キーワード】乳癌、ガイドライン、がんの支持療法  【到達目標】研究は医学の発展と医療の高度化を担うものであることを理解する。</p>	講義  【注意点】対話形式で行なう。	将来、医療や社会の大きな問題を解決するためには、どんなことを心がけて修練を積むべきか考えて来ること。
5/18 水 5限	生化学第一講座 横溝 岳彦	<p>【授業タイトル】最先端研究-1 「あぶら」が伝えるシグナル伝達  【サブ・タイトル】未知分子の機能に迫る  【キーワード】生理活性脂質、アスピリン、受容体、遺伝子欠損マウス  【到達目標】医療の進歩における基礎医学研究の重要性や醍醐味を理解する。</p>	講義  【注意点】講義中に、「アスピリン」について質問する。	「アスピリン」という薬の薬効、作用機序、副作用について勉強しておくこと。WEB検索でも良い。

<p>5/25 水 5限</p>	<p>神経学講座 常深 泰司 上野 真一</p>	<p>【授業タイトル】最先端医療-2 神経変性疾患の治療と研究 【サブ・タイトル】神経難病治療につなげる基礎研究</p> <p>【授業タイトル】最先端医療-2 神経変性疾患の治療と研究 【サブ・タイトル】若手研究者のプレゼンテーション・質疑応答</p> <p>【キーワード】パーキンソン病、神経難病、分子遺伝学、分子生物学 【到達目標】医学研究は臨床医学（診断、治療）に連続するものであることを理解する。</p>	<p>講義</p>	<p>パーキンソン病をはじめとする神経難病はどのようなものかを調べる。</p>
<p>6/1 水 5限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座 (公衆衛生学) 谷川 武</p>	<p>【授業タイトル】最先端研究-2 集団の健康リスクを明らかにする 【サブ・タイトル】疫学という診断方法から見た社会の健康問題 【キーワード】疫学、社会医学、集団の健康、PTSD、心の健康 【到達目標】疫学について概説できる。特定集団の健康問題を考える視点の重要性について説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>疫学とは何か、事前に各自調べておく。前ページ自己学習欄に指定された論文を読んでおいて下さい。</p>
<p>6/15 水 5限</p>	<p>神経生物学・形態学講座 小池 正人</p>	<p>【授業タイトル】最先端研究-3 細胞の病気 【サブ・タイトル】オルガネラ異常と神経変性疾患 【キーワード】小胞体、ゴルジ装置、リソソーム、オートファジー、ミトコンドリア、光学顕微鏡、電子顕微鏡 【到達目標】①医学における細胞生物学の意義について理解する。 ②オルガネラを観察する様々な方法について理解する。</p>	<p>講義</p>	<p>左記のオルガネラの構造と機能について「細胞生物学」で学習した内容を復習し、疑問に思ったことをまとめておくこと。</p>
<p>6/22 水 5限</p>	<p>革新的医療技術開発研究センター 飛田 護邦</p>	<p>【授業タイトル】色々な医師のキャリアパス 【サブ・タイトル】多様な医師のキャリアパスの紹介（とくに医療行政と研究開発に携わる医師について）</p> <p>【授業タイトル】薬害の歴史と研究開発について 【サブ・タイトル】我が国の薬害の歴史と研究開発の流れの紹介</p> <p>【キーワード】厚労省、PMDA、薬害、研究に関連する法令、治験、医師のキャリアパス 【到達目標】・薬害の歴史を述べることができる。 ・治験とは？をイメージできる。</p>	<p>講義</p>	<p>Web等で、「PMDA」について検索し調べておくこと。</p>

<p>6/29 水 5限</p>	<p>輸血学研究室 安藤 純</p>	<p>【授業タイトル】最先端医療-3 トランスレーショナルリサーチ 【サブ・タイトル】細胞療法</p> <p>【授業タイトル】最先端医療-3 トランスレーショナルリサーチ 【サブ・タイトル】若手研究者のプレゼンテーション・質疑応答</p> <p>【キーワード】CAR-T細胞、遺伝子治療、細胞療法 【到達目標】トランスレーショナルリサーチの重要性を理解する。</p>	<p>講義</p>	<p>トランスレーショナルリサーチの問題点を調べておくこと。</p>
<p>7/6 水 5限</p>	<p>衛生学・公衆衛生学講座 (衛生学) 松川 岳久</p>	<p>【授業タイトル】医学情報-3 医学生のためのレポート作成指南-2 【サブ・タイトル】レポート評価のフィードバック 【キーワード】テクニカルライティング、論証レポート、実験レポート 【到達目標】大学生として知的生産活動の成果物である基本的なレポートの書き方を身に着ける。</p>	<p>講義</p>	<p>課題として作成したレポートについて、実例を挙げて改善点を指摘する。自分の作成したレポートについて、いまいちど目を通しておくこと。</p>
<p>7/13 水 5限</p>	<p>代謝内分泌学講座 綿田 裕孝</p>	<p>【授業タイトル】最先端医療-4 糖尿病の病態解明と新規治療法の開拓 【サブ・タイトル】糖尿病</p> <p>【授業タイトル】最先端医療-4 糖尿病の病態解明と新規治療法の開拓 【サブ・タイトル】若手研究者のプレゼンテーション・質疑応答</p> <p>【キーワード】糖尿病、疾患感受性遺伝子、膵β細胞発生分化、転写因子、リプログラミング 【到達目標】研究は医学の発展と医療の高度化を担うものであることを理解する。</p>	<p>講義</p>	<p>別途指示する項目について事前に調べておくこと。</p>

<p>7/20 水 5限</p>	<p>基礎研究医養成プログラム 教員 香里 伝田 高木 美幸</p>	<p>【授業タイトル】レポート作成 【サブ・タイトル】Turnitin を利用した課題レポートの類似チェックと修正 【キーワード】Turnitin feedback studio 【到達目標】Turnitin を利用した類似チェックとそれに基づいたレポートの修正ができる。</p>	<p>実習</p>	<p>Turnitinの使用方法について復習しておくこと。</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Bussinger Clarence Ray	ナンバリング	
担当教員	Bussinger Clarence Ray、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores.</li> <li>・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations.</li> <li>・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example.</li> <li>・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Review in-class assignment structure</li> <li>・ Review homework system</li> </ul>

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure  【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>Extensive reading</li> </ul>
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure  【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Extensive listening</li> <li>Extensive reading</li> </ul>
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.  【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>Extensive reading</li> </ul>
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	lecture  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Increase vocabulary</li> <li>• Understand test-taking strategies</li> </ul>
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Learning through praxis</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 11 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 12 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 15 【サブ・タイトル】 Focus on details 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening test-taking strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 13 【サブ・タイトル】 Slash reading 【キーワード】 Bottom-up reading 【到達目標】 Understand reading test-taking strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 16 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 14 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.  【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand listening strategies</li> <li>• Understand reading strategies</li> </ul>
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Understand reading strategies	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class</p> <p>【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning</p>	Learning through praxis	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills</p> <p>【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills</p>	Learning through praxis	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills</p> <p>【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills</p>	Learning through praxis	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 7 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 8 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills 【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 9 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 10 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand how to increase listening skills</li> <li>• Understand how to increase reading skills</li> </ul>
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 TOEFL ITP 1 【サブ・タイトル】 Actual test taking 1 【キーワード】 Listening section 【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class  【授業タイトル】 TOEFL ITP 2 【サブ・タイトル】 Actual test taking 2 【キーワード】 Reading section	Actual test taking  【注意点】 Make sure you will concentrate on listening and reading throughout the test	Extensive and intensive listening





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	
担当教員	Grow, Deborah Anne、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores.</li> <li>・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations.</li> <li>・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example.</li> <li>・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Review in-class assignment structure</li> <li>・ Review homework system</li> </ul>

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure  【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>Extensive reading</li> </ul>
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure  【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Extensive listening</li> <li>Extensive reading</li> </ul>
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.  【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>Extensive reading</li> </ul>
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	lecture  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Increase vocabulary</li> <li>• Understand test-taking strategies</li> </ul>
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Learning through praxis</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 13  【サブ・タイトル】 Shadowing  【キーワード】 Bottom-up listening  【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 11  【サブ・タイトル】 Scanning  【キーワード】 Top-down reading  【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 14  【サブ・タイトル】 Shadowing  【キーワード】 Bottom-up listening  【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 12  【サブ・タイトル】 Scanning  【キーワード】 Top-down reading  【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 15  【サブ・タイトル】 Focus on details  【キーワード】 Bottom-up listening  【到達目標】 Understand listening test-taking strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 13  【サブ・タイトル】 Slash reading  【キーワード】 Bottom-up reading  【到達目標】 Understand reading test-taking strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 16  【サブ・タイトル】 Note-taking  【キーワード】 Listening strategy  【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 14  【サブ・タイトル】 Paragraph structure  【キーワード】 Reading strategy  【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.  【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand listening strategies</li> <li>• Understand reading strategies</li> </ul>
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Understand reading strategies  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class  【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 7 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 8 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills 【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 9 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 10 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand how to increase listening skills</li> <li>• Understand how to increase reading skills</li> </ul>
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 TOEFL ITP 1 【サブ・タイトル】 Actual test taking 1 【キーワード】 Listening section 【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class  【授業タイトル】 TOEFL ITP 2 【サブ・タイトル】 Actual test taking 2 【キーワード】 Reading section	Actual test taking  【注意点】 Make sure you will concentrate on listening and reading throughout the test	Extensive and intensive listening





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	布施木 景子	ナンバリング	
担当教員	布施木 景子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores.</li> <li>・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations.</li> <li>・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example.</li> <li>・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Review in-class assignment structure</li> <li>・ Review homework system</li> </ul>

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	lecture  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Increase vocabulary</li> <li>• Understand test-taking strategies</li> </ul>
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Learning through praxis</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 11 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 12 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 15 【サブ・タイトル】 Focus on details 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening test-taking strategies  【授業タイトル】 Reading activity 13 【サブ・タイトル】 Slash reading 【キーワード】 Bottom-up reading 【到達目標】 Understand reading test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 16 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 14 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.  【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand listening strategies</li> <li>• Understand reading strategies</li> </ul>
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Understand reading strategies  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class  【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 7 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 8 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills 【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 9 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 10 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand how to increase listening skills</li> <li>• Understand how to increase reading skills</li> </ul>
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 TOEFL ITP 1 【サブ・タイトル】 Actual test taking 1 【キーワード】 Listening section 【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class  【授業タイトル】 TOEFL ITP 2 【サブ・タイトル】 Actual test taking 2 【キーワード】 Reading section	Actual test taking  【注意点】 Make sure you will concentrate on listening and reading throughout the test	Extensive and intensive listening





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	
担当教員	Grow, Deborah Anne、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores.</li> <li>・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations.</li> <li>・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example.</li> <li>・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Review in-class assignment structure</li> <li>・ Review homework system</li> </ul>

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	lecture  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Increase vocabulary</li> <li>• Understand test-taking strategies</li> </ul>
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Learning through praxis</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 11 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 12 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 15 【サブ・タイトル】 Focus on details 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening test-taking strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 13 【サブ・タイトル】 Slash reading 【キーワード】 Bottom-up reading 【到達目標】 Understand reading test-taking strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 16 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 14 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.  【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand listening strategies</li> <li>• Understand reading strategies</li> </ul>
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Understand reading strategies  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class  【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 7 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 8 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills 【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 9 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 10 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand how to increase listening skills</li> <li>• Understand how to increase reading skills</li> </ul>
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 TOEFL ITP 1 【サブ・タイトル】 Actual test taking 1 【キーワード】 Listening section 【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class  【授業タイトル】 TOEFL ITP 2 【サブ・タイトル】 Actual test taking 2 【キーワード】 Reading section	Actual test taking  【注意点】 Make sure you will concentrate on listening and reading throughout the test	Extensive and intensive listening





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Joseph Drakos	ナンバリング	
担当教員	Joseph Drakos、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores.</li> <li>・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations.</li> <li>・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example.</li> <li>・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Review in-class assignment structure</li> <li>・ Review homework system</li> </ul>

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure  【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>Extensive reading</li> </ul>
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure  【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Extensive listening</li> <li>Extensive reading</li> </ul>
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.  【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>Extensive reading</li> </ul>
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	lecture  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Increase vocabulary</li> <li>• Understand test-taking strategies</li> </ul>
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary  【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Learning through praxis</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 11 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 12 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<p>To be announced during class</p>
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 15 【サブ・タイトル】 Focus on details 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening test-taking strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 13 【サブ・タイトル】 Slash reading 【キーワード】 Bottom-up reading 【到達目標】 Understand reading test-taking strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 16 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 14 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.  【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand listening strategies</li> <li>• Understand reading strategies</li> </ul>
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized  【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparation for a vocabulary quiz</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies  【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Understand reading strategies  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class  【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills  【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis  【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Extensive listening</li> <li>• Extensive reading</li> </ul>

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Review 7  【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness  【キーワード】 Top-down and bottom-up listening  【到達目標】 Understand how to increase listening skills</p> <p>【授業タイトル】 Review 8  【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness  【キーワード】 Top-down and bottom-up reading  【到達目標】 Understand how to increase reading skills  【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class</p>	Learning through praxis	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Review 9  【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness  【キーワード】 Top-down and bottom-up listening  【到達目標】 Understand how to increase listening skills</p> <p>【授業タイトル】 Review 10  【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness  【キーワード】 Top-down and bottom-up reading  【到達目標】 Understand how to increase reading skills</p>	Learning through praxis	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand how to increase listening skills</li> <li>• Understand how to increase reading skills</li> </ul>
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP 1  【サブ・タイトル】 Actual test taking 1  【キーワード】 Listening section  【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class</p> <p>【授業タイトル】 TOEFL ITP 2  【サブ・タイトル】 Actual test taking 2  【キーワード】 Reading section</p>	Actual test taking	Extensive and intensive listening





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Andrew Mason	ナンバリング	
担当教員	Andrew Mason、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students.</li> <li>・ 演習への積極的な参加が求められる。</li> <li>・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
To be announced in class.

【参考教科書】  
To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

<p>6/30 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/7 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/14 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1、Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1、Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1、2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1、Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1, Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1, Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Joseph Drakos	ナンバリング	
担当教員	Joseph Drakos、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students.</li> <li>・ 演習への積極的な参加が求められる。</li> <li>・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

**【指定教科書】**  
 To be announced in class.  
  
**【参考教科書】**  
 To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/30 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/7 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1、Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1、Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1、2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1、Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1, Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1, Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Bussinger Clarence Ray	ナンバリング	
担当教員	Bussinger Clarence Ray、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students.</li> <li>・ 演習への積極的な参加が求められる。</li> <li>・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
To be announced in class.

【参考教科書】  
To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/30 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/7 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1、Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1、Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1、2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1、Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1、Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1、Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	堀 智子	ナンバリング	
担当教員	堀 智子、Joseph Drakos、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students.</li> <li>・ 演習への積極的な参加が求められる。</li> <li>・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
To be announced in class.

【参考教科書】  
To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/30 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/7 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1, Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1, Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1, 2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1, Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1、Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1、Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	
担当教員	Grow, Deborah Anne、藤田 亮子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students.</li> <li>・ 演習への積極的な参加が求められる。</li> <li>・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
To be announced in class.

【参考教科書】  
To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/30 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/7 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1、Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1、Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1、2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1、Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1, Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1, Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis  【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking  【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Joseph Drakos	ナンバリング	
担当教員	Joseph Drakos、Grow, Deborah Anne、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanagage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要なものとなる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。</li> <li>・ TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。</li> <li>・ IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。</li> <li>2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。</li> <li>3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。</li> <li>4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。</li> <li>5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。</li> <li>・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。</li> <li>・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。</li> <li>・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。</li> <li>・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。</li> </ul> <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算    30～49点の場合、2点    50～69点の場合、4点    70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う）    40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

**成績評価の方法**

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。</li> </ul>
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】  
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>  
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

その他	
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された課題を事前に行っておくこと。</li> <li>・指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。</li> <li>・毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。</li> <li>・授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。</li> <li>・ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。</li> </ul> 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション  【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。  【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習  【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	・テストで分からなかった点を整理しておく。 ・小テストの準備をする。

4/28 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
5/12 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
5/19 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
5/26 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。</p>

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 リーディング力向上  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</li> <li>・宿題と定期試験の準備をしておく。</li> </ul>
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review  【サブ・タイトル】 前期の総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストで分からなかった点を整理しておく。</li> </ul>
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験  【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する  【キーワード】 英語力測定  【到達目標】  ・学んだ技能を実践することができる。  ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】  ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Exam の準備（内容は授業時に指示）</li> <li>・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。</li> </ul>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	浅野 恵子	ナンバリング	
担当教員	浅野 恵子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanuage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要となる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。</li> <li>・TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。</li> <li>・IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。</li> <li>2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。</li> <li>3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。</li> <li>4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。</li> <li>5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。</li> <li>・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。</li> <li>・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。</li> <li>・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。</li> <li>・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。</li> </ul> <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算    30～49点の場合、2点    50～69点の場合、4点    70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う）    40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

**成績評価の方法**

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。</li> </ul>
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】  
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>  
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

その他	
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された課題を事前に行っておくこと。</li> <li>・指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。</li> <li>・毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。</li> <li>・授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。</li> <li>・ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。</li> </ul> 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション  【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。  【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習  【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストで分からなかった点を整理しておく。</li> <li>・小テストの準備をする。</li> </ul>

4/28 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/12 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/19 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/26 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。</p>

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 リーディング力向上  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</li> <li>・宿題と定期試験の準備をしておく。</li> </ul>
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review  【サブ・タイトル】 前期の総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストで分からなかった点を整理しておく。</li> </ul>
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験  【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する  【キーワード】 英語力測定  【到達目標】  ・学んだ技能を実践することができる。  ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】  ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Exam の準備（内容は授業時に指示）</li> <li>・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。</li> </ul>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	鈴木田 優衣	ナンバリング	
担当教員	鈴木田 優衣、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanuage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要なものとなる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。</li> <li>・TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。</li> <li>・IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。</li> <li>2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。</li> <li>3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。</li> <li>4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。</li> <li>5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。</li> <li>・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。</li> <li>・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。</li> <li>・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。</li> <li>・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。</li> </ul> <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算    30～49点の場合、2点    50～69点の場合、4点    70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う）    40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

**成績評価の方法**

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。</li> </ul>
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】  
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>  
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

その他	
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された課題を事前に行っておくこと。</li> <li>・指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。</li> <li>・毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。</li> <li>・授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。</li> <li>・ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。</li> </ul> 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション  【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。  【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習  【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	・テストで分からなかった点を整理しておく。 ・小テストの準備をする。

4/28 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/12 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/19 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/26 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の復習と小テストの準備をしておく。</li> <li>・宿題と次週小テストの準備をしておく。</li> </ul>

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。</p>

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 リーディング力向上  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</li> <li>・宿題と定期試験の準備をしておく。</li> </ul>
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review  【サブ・タイトル】 前期の総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストで分からなかった点を整理しておく。</li> </ul>
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験  【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する  【キーワード】 英語力測定  【到達目標】  ・学んだ技能を実践することができる。  ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】  ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Exam の準備（内容は授業時に指示）</li> <li>・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。</li> </ul>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	藤田 亮子	ナンバリング	
担当教員	藤田 亮子、鈴木田 優衣、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanagage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要なものとなる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。</li> <li>・TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。</li> <li>・IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。</li> <li>2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。</li> <li>3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。</li> <li>4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。</li> <li>5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。</li> <li>・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。</li> <li>・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。</li> <li>・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。</li> <li>・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。</li> </ul> <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算    30～49点の場合、2点    50～69点の場合、4点    70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う）    40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

**成績評価の方法**

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。</li> </ul>
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】  
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>  
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

その他	
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された課題を事前に行っておくこと。</li> <li>・指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。</li> <li>・毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。</li> <li>・授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。</li> <li>・ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。</li> </ul> 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション  【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。  【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習  【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストで分からなかった点を整理しておく。</li> <li>・小テストの準備をする。</li> </ul>

4/28 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/12 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/19 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/26 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>講演</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>講演</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。</p>

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 リーディング力向上  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</li> <li>・宿題と定期試験の準備をしておく。</li> </ul>
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review  【サブ・タイトル】 前期の総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストで分からなかった点を整理しておく。</li> </ul>
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験  【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する  【キーワード】 英語力測定  【到達目標】  ・学んだ技能を実践することができる。  ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】  ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Exam の準備（内容は授業時に指示）</li> <li>・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。</li> </ul>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	布施木 景子	ナンバリング	
担当教員	布施木 景子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanagage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要なとなる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。</li> <li>・TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。</li> <li>・IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。</li> <li>2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。</li> <li>3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。</li> <li>4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。</li> <li>5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。</li> <li>・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。</li> <li>・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。</li> <li>・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。</li> <li>・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。</li> </ul> <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算    30～49点の場合、2点    50～69点の場合、4点    70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う）    40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

**成績評価の方法**

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。</li> </ul>
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】  
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】  
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>  
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

その他	
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された課題を事前に行っておくこと。</li> <li>・指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。</li> <li>・毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。</li> <li>・授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。</li> <li>・ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。</li> </ul> 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション  【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。  【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習  【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	・テストで分からなかった点を整理しておく。 ・小テストの準備をする。

4/28 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/12 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/19 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/26 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挙手して発言する。</li> <li>・グループワークに意欲的に取り組む。</li> </ul> <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。  【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。</p>

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10  【サブ・タイトル】 総復習をする  【キーワード】 リーディング力向上  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</li> <li>・宿題と定期試験の準備をしておく。</li> </ul>
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review  【サブ・タイトル】 前期の総復習をする  【キーワード】 今後の学習  【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  ・積極的に挙手して発言する。  ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストで分からなかった点を整理しておく。</li> </ul>
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験  【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する  【キーワード】 英語力測定  【到達目標】  ・学んだ技能を実践することができる。  ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】  ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Exam の準備（内容は授業時に指示）</li> <li>・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。</li> </ul>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	ライフサイエンスのための化学	授業形態	講義
英語科目名	Chemistry for the Life Science	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	馬場 猛	ナンバリング	
担当教員	馬場 猛、志村 絵理、石原 量、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>【前期】          わずか100余りの元素があるだけで、これが組み合わせたり、組み換えられたりすることによりあらゆる物質が構成される。生命体もその例外ではなく高度に統一された非常に複雑な化学反応の積み重なりであり、化学物質の移動や反応が生命の営みと密接な関係を持っている。従って、生命現象を理解するためには、化学の知識、考え方は不可欠であろう。授業は基礎理論からスタートさせ、生命現象へとアプローチしていき、化学を理解するための基礎的概念を講義する。</p> <p>【後期】          生体は有機物をはじめとした極めて多種類の化学物質の集合体であり、複雑な生体反応は化学実験室で起こる化学反応と同じ化学的原理、反応機構に従って進行する。授業では、生体構成成分であるアミノ酸、炭水化物、脂質、ヌクレオチドなどの構造と機能、及びそれら生体分子の諸反応（生合成、代謝、酵素反応、など）について有機化学の視点で概説する。</p>		
到達目標	<p>【一般目標】          生体内で起こる反応や生命現象を司る有機化合物がどのように、またなぜ連続的・化学変換、相互変換するかについて理解するため、化学の基礎的な知識を習得し、この基礎化学能力を応用するための基本的技能を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 化学物質の生体への作用を化学理論と関連づけることができる。</li> <li>2. 生命現象を司る化合物の基本的な反応機構を理解できる。</li> <li>3. 生体物質の特性、構造と機能を理解することができる。</li> <li>4. 生体の代謝反応の全体の流れを説明できる。</li> <li>5. 化学の基礎的な知識を習得し、基礎化学能力を応用して生命現象を分子レベルで説明する力を身につけることができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 学生番号順に2クラスに分けて授業を展開する。</li> <li>— 化学は暗記だけではなく、考え方や原理を理解することが大切である。必ず復習し、理解を確実にしておくことが重要である。</li> <li>— 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	定期試験の成績（80%）、授業内に行う確認問題（10%）、取り組む姿勢（10%）を総合的に評価する。
------	--

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 物質の構造や性質について生体への作用と関連づけて説明できる。 (到達目標1、3、5：定期試験・確認問題)</li> <li>— 化学反応に関わる計算問題を解答できる。 (到達目標1、5：定期試験・確認問題)</li> <li>— 有機化学の基本的な反応機構を示すことができる。 (到達目標2、5：定期試験・確認問題)</li> <li>— 生体の代謝に登場する物質やその反応の流れを整理して説明できる。 (到達目標4、5：定期試験・確認問題)</li> </ul>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。
---

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p><b>【指定教科書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ General Chemistry: The Essential Concepts 6th edition (McGraw-Hill)</li> <li>・ The Organic Chemistry Of Biological Pathways (Roberts &amp; Company)</li> </ul> <p><b>【参考書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メディカル化学（裳華房）</li> <li>・ バイオサイエンス化学（東京化学同人）</li> </ul>
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】            担当：馬場 猛            E-mail: tkbaba [at] juntendo. ac. jp            担当：志村 絵理            E-mail: eritoba [at] juntendo. ac. jp            担当：石原 量            E-mail: r-ishihara [at] juntendo. ac. jp            ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】            日時：火曜日 12～13時</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>— 高校化学を事前に復習しておくこと。            — 常に生命科学関係の記事に注目し、最新の知識を身につける態度を養うこと。</p> <p>— 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/12 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】 溶液の化学①、溶液の化学①（演習）            【サブ・タイトル】 溶解とその溶液            【キーワード】 水、沸点、比重、表面張力、比熱            【到達目標】 水の性質を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>水の性質について学習しておくこと。            講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
4/19 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】 溶液の化学②、溶液の化学②（演習）            【サブ・タイトル】 生体分子の溶解とその溶液            【キーワード】 浸透圧、溶解度、溶媒和、束一的性質            【到達目標】 物質の溶解と溶液の性質を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>溶解と溶液の性質について学習しておくこと。            講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

4/26 (火)	馬場 志村 石原  猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 化学反応速度論、化学反応速度論（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体反応とその反応速度</p> <p>【キーワード】 一次反応、活性化エネルギー、酵素反応、ミカエリス・メンテン</p> <p>【到達目標】 化学反応の速度は何で決まるかを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>化学反応の速度について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/10 (火)	馬場 志村 石原  猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 酸・塩基と緩衝液、酸・塩基と緩衝液（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体液の性質</p> <p>【キーワード】 水素イオン濃度、酸解離定数、塩の加水分解、緩衝液</p> <p>【到達目標】 酸・塩基から pH 緩衝作用を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>緩衝作用について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/17 (火)	馬場 志村 石原  猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 薬の体内動態、薬の体内動態（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体膜透過性と pH</p> <p>【キーワード】 酸性・塩基性薬、pH、水・油、ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式</p> <p>【到達目標】 酸性・塩基性薬の体内動態の一つである膜透過性について pH から議論できる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>薬剤について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/24 (火)	馬場 志村 石原  猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 生体系における熱力学、生体系における熱力学（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 ATP と化学エネルギー</p> <p>【キーワード】 エンタルピー、エントロピー、ギブス自由エネルギー、解糖系</p> <p>【到達目標】 化学エネルギーとは何かを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>熱力学について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

5/31 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】酸化還元反応、酸化還元反応（演習） 【サブ・タイトル】生体と酸化・還元 【キーワード】ネルンストの式、電子伝達系、膜電位 【到達目標】酸化還元反応とは何かを説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	酸化還元反応について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
6/7 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】確認演習 【サブ・タイトル】前期前半の復習 【キーワード】物質の状態と変化 【到達目標】物質の状態と変化を理解し、基礎的な化学計算ができる。	演習 発表  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	これまでの講義を復習しておくこと。
6/14 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】原子の構造と性質①、原子の構造と性質①（演習） 【サブ・タイトル】原子の電子構造 【キーワード】プランク定数、ボーア理論、バルマー系列、ハイゼンベルグの不確定性原理 【到達目標】水素原子のスペクトル、ボーアの理論について説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	ボーア理論について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
6/21 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】原子の構造と性質②、原子の構造と性質②（演習） 【サブ・タイトル】原子軌道 【キーワード】シュレーディンガー方程式、波動関数、原子軌道、電子配置 【到達目標】原子軌道の概念を把握し、原子の電子配置について説明できる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	原子軌道について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。

6/28 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】化学結合①、化学結合①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】共有結合</p> <p>【キーワード】共有結合、ルイス構造、形式電荷、オクテット則</p> <p>【到達目標】化学結合の成り立ちについて説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>共有結合について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
7/5 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】化学結合②、化学結合②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】分子の構造と原子軌道の混成</p> <p>【キーワード】原子価結合法、混成軌道、分子軌道法</p> <p>【到達目標】分子の形成を原子軌道・分子軌道から説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>混成軌道について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
7/12 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】分子間相互作用、分子間相互作用（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】生体と分子間力</p> <p>【キーワード】静電氣的相互作用、ファンデルワールスカ、水素結合、疎水性相互作用</p> <p>【到達目標】化合物や分子をつくる分子間相互作用を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>分子にはたらく力について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

7/19 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】 配位化合物の化学、配位化合物の化学（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体における錯体</p> <p>【キーワード】 キレート剤、配位子、結晶場理論</p> <p>【到達目標】 有機金属化合物を形成する配位結合を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>配位結合について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
9/20 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】 生物化学序論①、生物化学序論①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 ケクレ構造式</p> <p>【キーワード】 ケクレ構造式、形式電荷、孤立電子対</p> <p>【到達目標】 ケクレ構造式を読み解くことができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>分子の色々な書き表し方について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
9/27 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】 生物化学序論②、生物化学序論②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 共鳴</p> <p>【キーワード】 電子密度、共鳴構造、<math>\pi</math>結合</p> <p>【到達目標】 共鳴とは何かを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>共鳴構造について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/4 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】 生物化学序論③、生物化学序論③（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 酸-塩基反応</p> <p>【キーワード】 共役塩基、誘起、軌道</p> <p>【到達目標】 酸-塩基の化学を論じることができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>共役塩基について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

10/11 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構①、生物化学に共通する反応機構①(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】置換反応</p> <p>【キーワード】求核、求電子、SN1反応、SN2反応</p> <p>【到達目標】置換反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>求核・求電子について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/18 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構②、生物化学に共通する反応機構②(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】脱離反応</p> <p>【キーワード】E1反応、E2反応、脱離基</p> <p>【到達目標】脱離反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>塩基について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/25 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構③、生物化学に共通する反応機構③(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】付加反応</p> <p>【キーワード】位置選択性、マルコフニコフ、アンチマルコフニコフ</p> <p>【到達目標】付加反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>位置選択性について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/1 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】確認演習</p> <p>【サブ・タイトル】後期前半の復習</p> <p>【キーワード】反応機構</p> <p>【到達目標】化合物の基本的な反応機構を理解することができる。</p>	<p>演習 発表</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>これまでの講義を復習しておくこと。</p>

11/8 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構①、生物化学反応機構①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】生体分子</p> <p>【キーワード】アミノ酸、核酸、補酵素</p> <p>【到達目標】一般的な生体分子について論じることができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>核酸などの一般的な生体分子について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/22 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構②、生物化学反応機構②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】炭水化物の化学</p> <p>【キーワード】単糖、多糖、グルコース</p> <p>【到達目標】炭水化物の基本的構造と機能を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>糖質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/29 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構③、生物化学反応機構③（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】炭水化物代謝</p> <p>【キーワード】解糖、ピルビン酸、クエン酸回路</p> <p>【到達目標】解糖とクエン酸回路を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>糖質の基本的構造について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
12/6 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構④、生物化学反応機構④（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】脂質の化学</p> <p>【キーワード】脂質二重層、生体膜、コレステロール</p> <p>【到達目標】脂質の基本的構造と機能を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>脂質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

12/13 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑤、生物化学反応機構⑤（演習） 【サブ・タイトル】脂質代謝 【キーワード】トリアシルグリセロール、脂肪酸、ステロイド 【到達目標】脂質の消化と輸送を説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	脂質について学習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。
12/20 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑥、生物化学反応機構⑥（演習） 【サブ・タイトル】アミノ酸代謝 【キーワード】脱アミノ化、尿素回路、異化代謝 【到達目標】尿素合成の経路とアミノ酸の異化代謝を説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	アミノ酸について学習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。
1/10 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑦、生物化学反応機構⑦（演習） 【サブ・タイトル】エネルギー代謝の統合と制御 【キーワード】糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝 【到達目標】臓器間の代謝のつながりについて説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	生物化学反応機構①～⑥について復習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	ライフサイエンスのための化学	授業形態	講義
英語科目名	Chemistry for the Life Science	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	石原 量	ナンバリング	
担当教員	石原 量、馬場 猛、志村 絵理、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>【前期】 わずかに100余りの元素があるだけで、これが組み合わせたり、組み換えられたりすることによりあらゆる物質が構成される。生命体もその例外ではなく高度に統一された非常に複雑な化学反応の積み重なりであり、化学物質の移動や反応が生命の営みと密接な関係を持っている。従って、生命現象を理解するためには、化学の知識、考え方は不可欠であろう。授業は基礎理論からスタートさせ、生命現象へとアプローチしていき、化学を理解するための基礎的概念を講義する。</p> <p>【後期】 生体は有機物をはじめとした極めて多種類の化学物質の集合体であり、複雑な生体反応は化学実験室で起こる化学反応と同じ化学的原理、反応機構に従って進行する。授業では、生体構成成分であるアミノ酸、炭水化物、脂質、ヌクレオチドなどの構造と機能、及びそれら生体分子の諸反応（生合成、代謝、酵素反応、など）について有機化学の視点で概説する。</p>		
到達目標	<p>【一般目標】 生体内で起こる反応や生命現象を司る有機化合物がどのように、またなぜ連続的・相互変換するかについて理解するため、化学の基礎的な知識を習得し、この基礎化学能力を応用するための基本的技能を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 化学物質の生体への作用を化学理論と関連づけることができる。</li> <li>2. 生命現象を司る化合物の基本的な反応機構を理解できる。</li> <li>3. 生体物質の特性、構造と機能を理解することができる。</li> <li>4. 生体の代謝反応の全体の流れを説明できる。</li> <li>5. 化学の基礎的な知識を習得し、基礎化学能力を応用して生命現象を分子レベルで説明する力を身につけることができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 学生番号順に2クラスに分けて授業を展開する。</li> <li>— 化学は暗記だけではなく、考え方や原理を理解することが大切である。必ず復習し、理解を確実にしておくことが重要である。</li> <li>— 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	定期試験の成績（80%）、授業内に行う確認問題（10%）、取り組む姿勢（10%）を総合的に評価する。
------	--

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 物質の構造や性質について生体への作用と関連づけて説明できる。 (到達目標1、3、5：定期試験・確認問題)</li> <li>— 化学反応に関わる計算問題を解答できる。 (到達目標1、5：定期試験・確認問題)</li> <li>— 有機化学の基本的な反応機構を示すことができる。 (到達目標2、5：定期試験・確認問題)</li> <li>— 生体の代謝に登場する物質やその反応の流れを整理して説明できる。 (到達目標4、5：定期試験・確認問題)</li> </ul>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

**【指定教科書】**  
 ・ General Chemistry: The Essential Concepts 6th edition (McGraw-Hill)  
 ・ The Organic Chemistry Of Biological Pathways (Roberts & Company)

**【参考書】**  
 ・ メディカル化学（裳華房）  
 ・ バイオサイエンス化学（東京化学同人）

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】            担当：馬場 猛            E-mail: tkbaba [at] juntendo.ac.jp            担当：志村 絵理            E-mail: eritoba [at] juntendo.ac.jp            担当：石原 量            E-mail: r-ishihara [at] juntendo.ac.jp            ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】            日時：火曜日 12～13時</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>— 高校化学を事前に復習しておくこと。            — 常に生命科学関係の記事に注目し、最新の知識を身につける態度を養うこと。</p> <p>— 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、復習：45分</p>			
4/12 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】 溶液の化学①、溶液の化学①（演習）            【サブ・タイトル】 溶解とその溶液            【キーワード】 水、沸点、比重、表面張力、比熱            【到達目標】 水の性質を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>水の性質について学習しておくこと。            講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
4/19 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】 溶液の化学②、溶液の化学②（演習）            【サブ・タイトル】 生体分子の溶解とその溶液            【キーワード】 浸透圧、溶解度、溶媒和、束一的性質            【到達目標】 物質の溶解と溶液の性質を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>溶解と溶液の性質について学習しておくこと。            講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

4/26 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 化学反応速度論、化学反応速度論（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体反応とその反応速度</p> <p>【キーワード】 一次反応、活性化エネルギー、酵素反応、ミカエリス・メンテン</p> <p>【到達目標】 化学反応の速度は何で決まるかを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>化学反応の速度について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/10 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 酸・塩基と緩衝液、酸・塩基と緩衝液（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体液の性質</p> <p>【キーワード】 水素イオン濃度、酸解離定数、塩の加水分解、緩衝液</p> <p>【到達目標】 酸・塩基から pH 緩衝作用を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>緩衝作用について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/17 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 薬の体内動態、薬の体内動態（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体膜透過性と pH</p> <p>【キーワード】 酸性・塩基性薬、pH、水・油、ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式</p> <p>【到達目標】 酸性・塩基性薬の体内動態の一つである膜透過性について pH から議論できる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>薬剤について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/24 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 生体系における熱力学、生体系における熱力学（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 ATP と化学エネルギー</p> <p>【キーワード】 エンタルピー、エントロピー、ギブス自由エネルギー、解糖系</p> <p>【到達目標】 化学エネルギーとは何かを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>熱力学について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

5/31 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】酸化還元反応、酸化還元反応（演習） 【サブ・タイトル】生体と酸化・還元 【キーワード】ネルンストの式、電子伝達系、膜電位 【到達目標】酸化還元反応とは何かを説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	酸化還元反応について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
6/7 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】確認演習 【サブ・タイトル】前期前半の復習 【キーワード】物質の状態と変化 【到達目標】物質の状態と変化を理解し、基礎的な化学計算ができる。	演習 発表  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	これまでの講義を復習しておくこと。
6/14 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】原子の構造と性質①、原子の構造と性質①（演習） 【サブ・タイトル】原子の電子構造 【キーワード】プランク定数、ボーア理論、バルマー系列、ハイゼンベルグの不確定性原理 【到達目標】水素原子のスペクトル、ボーアの理論について説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	ボーア理論について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
6/21 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】原子の構造と性質②、原子の構造と性質②（演習） 【サブ・タイトル】原子軌道 【キーワード】シュレーディンガー方程式、波動関数、原子軌道、電子配置 【到達目標】原子軌道の概念を把握し、原子の電子配置について説明できる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	原子軌道について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。

6/28 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】化学結合①、化学結合①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】共有結合</p> <p>【キーワード】共有結合、ルイス構造、形式電荷、オクテット則</p> <p>【到達目標】化学結合の成り立ちについて説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>共有結合について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
7/5 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】化学結合②、化学結合②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】分子の構造と原子軌道の混成</p> <p>【キーワード】原子価結合法、混成軌道、分子軌道法</p> <p>【到達目標】分子の形成を原子軌道・分子軌道から説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>混成軌道について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
7/12 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】分子間相互作用、分子間相互作用（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】生体と分子間力</p> <p>【キーワード】静電的相互作用、ファンデルワールスカ、水素結合、疎水性相互作用</p> <p>【到達目標】化合物や分子をつくる分子間相互作用を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>分子にはたらく力について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

7/19 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】配位化合物の化学、配位化合物の化学（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】生体における錯体</p> <p>【キーワード】キレート剤、配位子、結晶場理論</p> <p>【到達目標】有機金属化合物を形成する配位結合を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>配位結合について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
9/20 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】生物化学序論①、生物化学序論①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】ケクレ構造式</p> <p>【キーワード】ケクレ構造式、形式電荷、孤立電子対</p> <p>【到達目標】ケクレ構造式を読み解くことができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>分子の色々な書き表し方について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
9/27 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】生物化学序論②、生物化学序論②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】共鳴</p> <p>【キーワード】電子密度、共鳴構造、<math>\pi</math>結合</p> <p>【到達目標】共鳴とは何かを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>共鳴構造について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/4 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】生物化学序論③、生物化学序論③（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】酸-塩基反応</p> <p>【キーワード】共役塩基、誘起、軌道</p> <p>【到達目標】酸-塩基の化学を論じることができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>共役塩基について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

10/11 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構①、生物化学に共通する反応機構①(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】置換反応</p> <p>【キーワード】求核、求電子、SN1反応、SN2反応</p> <p>【到達目標】置換反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>求核・求電子について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/18 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構②、生物化学に共通する反応機構②(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】脱離反応</p> <p>【キーワード】E1反応、E2反応、脱離基</p> <p>【到達目標】脱離反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>塩基について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/25 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構③、生物化学に共通する反応機構③(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】付加反応</p> <p>【キーワード】位置選択性、マルコフニコフ、アンチマルコフニコフ</p> <p>【到達目標】付加反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>位置選択性について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/1 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】確認演習</p> <p>【サブ・タイトル】後期前半の復習</p> <p>【キーワード】反応機構</p> <p>【到達目標】化合物の基本的な反応機構を理解することができる。</p>	<p>演習 発表</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>これまでの講義を復習しておくこと。</p>

11/8 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構①、生物化学反応機構①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】生体分子</p> <p>【キーワード】アミノ酸、核酸、補酵素</p> <p>【到達目標】一般的な生体分子について論じることができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>核酸などの一般的な生体分子について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/22 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構②、生物化学反応機構②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】炭水化物の化学</p> <p>【キーワード】単糖、多糖、グルコース</p> <p>【到達目標】炭水化物の基本的構造と機能を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>糖質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/29 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構③、生物化学反応機構③（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】炭水化物代謝</p> <p>【キーワード】解糖、ピルビン酸、クエン酸回路</p> <p>【到達目標】解糖とクエン酸回路を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>糖質の基本的構造について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
12/6 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構④、生物化学反応機構④（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】脂質の化学</p> <p>【キーワード】脂質二重層、生体膜、コレステロール</p> <p>【到達目標】脂質の基本的構造と機能を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>脂質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

12/13 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑤、生物化学反応機構⑤（演習） 【サブ・タイトル】脂質代謝 【キーワード】トリアシルグリセロール、脂肪酸、ステロイド 【到達目標】脂質の消化と輸送を説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	脂質について学習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。
12/20 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑥、生物化学反応機構⑥（演習） 【サブ・タイトル】アミノ酸代謝 【キーワード】脱アミノ化、尿素回路、異化代謝 【到達目標】尿素合成の経路とアミノ酸の異化代謝を説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	アミノ酸について学習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。
1/10 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑦、生物化学反応機構⑦（演習） 【サブ・タイトル】エネルギー代謝の統合と制御 【キーワード】糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝 【到達目標】臓器間の代謝のつながりについて説明することができる。	講義 演習  【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	生物化学反応機構①～⑥について復習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人体物理学	授業形態	講義
英語科目名	Physics of the Human Body	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	田中 和廣	ナンバリング	
担当教員	田中 和廣、清 裕一郎、矢田 雅哉、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ 人体を形作る骨や筋肉は、それらにかかる力の大きさや向き・それらの動きも、力学法則に従っている。また、血液のような流体の運動も、力学法則に従っている。前期は、これら人体の現象のしくみを理解するために、質点の力学から剛体や弾性体の力学、さらに流体の力学まで、具体例と照らし合わせながら勉強する。</p> <p>・ 呼吸や心臓の動きを引き起こす筋肉活動は神経によって制御されており、神経活動は電気が惹き起こしている。医療検査や治療の多くに電磁気学の法則が応用されており、超音波や原子内部の法則も応用されている。後期は、それらのしくみを理解するために、音波、電磁気学、原子核や放射線まで、具体例と照らし合わせながら勉強する。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 力学及び電磁気学から原子核や放射線までの物理の基本を習得し、人体及び医療における物理現象を理解し説明できるようになる。</li> <li>・ 静力学における「力のつりあい・力のモーメントのつりあい」、動力学における「運動方程式」「運動量・エネルギー・角運動量の保存」を理解し、応用できるようになる。</li> <li>・ 電磁気学における「静電場」「電気回路」「電磁波」「生体電気」「磁気とMRI」の原理を理解し、超音波や放射線の人体への影響を説明できるようになる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 力のつりあい・力のモーメントのつりあいをを用いて、ボディメカニクスを説明できる。</li> <li>2. 運動方程式および運動量・エネルギーの計算を用いて、着地や衝突による人体への力学的影響を説明できる。</li> <li>3. ベルヌーイの式及びボアズイユの法則を説明でき、血圧や血流に応用できる。</li> <li>4. 音波の性質を理解して、超音波による距離測定・血流速度測定や超音波画像診断のしくみを説明できる。</li> <li>5. 細胞膜電位の発生および活動電位の伝導を、神経線維の電気的特性と物理法則に関連づけて説明できる。</li> <li>6. 原子、原子核から発生する放射線の種類、性質、単位を理解し、放射線の生体への影響や医療への応用を説明できる。</li> <li>7. プロトンの持つ磁気モーメントと電磁場との相互作用を理解し、核磁気共鳴の原理からMRI画像の構成を説明できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	(後日教務課にて入力)		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	物理学を通して「人体や医療における物理現象に関する知識」を修得する事が関連している。		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業には積極的に参加することが重要である。疑問に思ったことについて、積極的に質問し、議論を通じて理解をしていくように努めること。</li> <li>・ 演習問題、参考プリント等を授業中に配布またはmanabaで配信するので、自主的に学習すること。自分の手でためて確認し、考察し、話し合っ理解を深めよう。</li> <li>・ 授業日程は、授業の進行状況により多少前後することがある。</li> </ul>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法：定期試験(70%)、課題レポート(30%)、積極的な参加態度を総合的に評価する。
------	---

評価基準	成績評価基準：1. 力学・電磁気学等の問題について、その背景を具体的に述べる事ができる（課題レポート） 2. 力学・電磁気学等の基本的な用語の意味を理解している（定期試験） 3. 力学・電磁気学等の法則性について、論理的に説明できる（定期試験） 4. 力学・電磁気学等の基本法則を人体の現象に適用し、結果を説明できる（課題レポート、定期試験） 5. 授業中の発言やプレテスト・ポストテスト、グループワークの取組状況によって受講態度を評価する
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（プレテスト、小テスト、レポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 “Physics in Biology and Medicine” Paul Davidovits, Academic Press

【参考教科書】  
 「生命科学のための基礎シリーズ 物理」 大島泰郎（監修） 実教出版

【参考書】  
 「医療系のための物理学入門」 木下順二 講談社（KS医学・薬学専門書）  
 「医療系の基礎としての物理」 廣岡秀明、崔東学、古川裕之、他 学術図書出版社  
 「歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田 浩 東京教学社  
 「物理学入門から医用物理へ（改訂新版）」 本間康浩 ブイツーソリューション  
 「ライフサイエンス物理学」 シュテルンハイム、ケイン 廣川書店  
 「物理学の基礎 1～3」 ハリディ、レスニック、ウォーカー 培風館  
 「ファインマン物理学1 力学」 坪井忠二訳 岩波書店

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	清 裕一郎: 木曜 12:30 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1316号室 田中 和廣: 火曜 11:00 - 17:00 本郷キャンパス7号館3階生理系実習室、木曜 09:00 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1314号室 矢田 雅哉: 月曜 12:30 - 15:30 さくらキャンパス1号館3階1315号室: m-yata[at]juntendo.ac.jp			
担当教員の実務経験	-			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習: 指定教科書“Physics in Biology and Medicine” Paul Davidovits の指定箇所をあらかじめ読んでおくこと。</li> <li>・復習: 学習箇所を復習し指定教科書のEXERCISESに挑戦すること。疑問等が湧いてきたら次回の講義でクラスで議論しよう。</li> <li>・課題レポート: 独自に考察した内容は順序立てて論理的に説明を記述する。調べた内容は自分の論理・切り口で再構築し、理解を助ける図式等を用いて説明を記述すること。ネット検索のみならず、テキストや書籍で内容を確認するように習慣づけるとよい。他の人の書いたものやネット・書籍の内容の丸写しは厳禁である。 【自己学習(準備学習)に必要な時間】 1時間あたり 予習: 45分, 復習: 45分</li> </ul>			
4/12 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】力のモーメント 【サブ・タイトル】つり合いを決めるもの 【キーワード】 force, torque, static equilibrium 【到達目標】 力とトルクのつり合いの式をベクトルを用いて立式できる。</p> <p>【授業タイトル】ベクトルをつかった静力学の解析 【サブ・タイトル】ベクトルの外積とつり合い 【キーワード】 cross product of two vectors, moment of force, equation of motion 【到達目標】 運動方程式からつり合いの式を導くことができる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 高校物理の教科書で力のモーメントについて復習してくること。</p> <p>復習) 運動方程式から物体のつり合い式を自分で導いてみよう。manabaの「確認テスト01」を受けること。</p>
4/19 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】重心に働く力 【サブ・タイトル】重心は重み付き平均である 【キーワード】 center of mass, reaction force, base of support 【到達目標】 重心の位置と安定性の関係を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】人体の静力学 【サブ・タイトル】力学的に安定な姿勢 【キーワード】 torque, stability of bodies, forces by skeletal muscles 【到達目標】 体に働く力を図示して体の安定性を説明できる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の§1.0~1.2を自己学習してくること。</p> <p>復習) 指定教科書の§1.3, 1.4を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト02」を受けること。</p>

4/26 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】関節とてこの原理  【サブ・タイトル】てこの原理と機械的な利得  【キーワード】three types of levers, mechanical advantage  【到達目標】てこの3種のクラス分類と特性を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】骨や関節は意外と頑張っている  【サブ・タイトル】股関節および腰椎にはたらく力  【キーワード】fulcrum, lever model, pivot point, elbow with a weight  【到達目標】筋肉や関節に働く力について数式を使って説明できる。</p>	<p>発表・討論  【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の§1.5を自己学習してくること。</p> <p>復習) 指定教科書の§1.6, 1.7を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト03」を受けること。</p>
5/10 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】スポーツを力学で考える  【サブ・タイトル】陸上記録の物理的解析  【キーワード】uniform acceleration, effect of gravity, work and power  【到達目標】筋力と仕事の関係を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】ジャンプのメカニズム  【サブ・タイトル】垂直跳び, 走り高跳び, 立ち幅跳び, 走り幅跳びの記録を物理的に理解する  【キーワード】vertical jump, running high jump, standing broad jump, running broad jump  【到達目標】ジャンプの力学的なメカニズムをエネルギーや仕事の概念を使って説明できる。</p>	<p>発表・討論  【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の§3.1, 3.2を自己学習してくること。</p> <p>復習) 指定教科書の§3.3~3.6を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト04」を受けること。</p>
5/17 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】空気中の落下運動  【サブ・タイトル】空気抵抗がある場合の運動方程式  【キーワード】motion though air, drag force  【到達目標】空気抵抗がある場合の落下運動について、運動方程式を立てて解を求めることができる。</p> <p>【授業タイトル】終端速度を算出してみる  【サブ・タイトル】運動方程式を解いてみる  【キーワード】air friction, terminal velocity  【到達目標】落下運動の終端速度と物体のサイズの関係について説明できる。</p>	<p>発表・討論  【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。manabaの「確認テスト05」を受けること。</p>	<p>予習) 指定教科書の§3.7を自己学習してくること。</p> <p>復習) 指定教科書の§3.7を復習し関連する演習問題を自己学習すること。</p>
5/24 (火)	清 裕一郎	<p>【【授業タイトル】回転運動の物理  【サブ・タイトル】角速度, 遠心力  【キーワード】angular velocity, centrifugal force  【到達目標】遠心力が現れる力学の応用問題が解ける。</p> <p>【授業タイトル】角運動量と慣性モーメント  【サブ・タイトル】回転しやすさを表す  【キーワード】angular momentum, torque, moment of inertia  【到達目標】簡単な形状の物体の慣性モーメントを計算することができる。</p>	<p>発表・討論  【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の§4.1, 4.2を自己学習してくること。</p> <p>復習) 指定教科書の§A.14~A.16を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト06」を受けること。</p>

5/31 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】回転のエネルギー 【サブ・タイトル】実体振り子 【キーワード】physical pendulum, moment of inertia 【到達目標】大きさのある物体の回転運動のエネルギーを計算できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English I 【サブ・タイトル】Energy expended in running 【キーワード】rotational kinetic energy, moment of inertia of the leg 【到達目標】歩行動作の特性を物理振り子に見立てて説明できる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 4.3, 4.4 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 指定教科書の § 4.5, 4.6 を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト07」を受けること。</p>
6/7 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】二つのばねをつないだり束ねて使ったら、ばね定数はいくらになるか？ 【サブ・タイトル】弾性体のひずみと応力 【キーワード】spring constant, elasticity, strain, stress 【到達目標】歩行動作の特性を物理振り子に見立てて説明できる。</p> <p>【授業タイトル】体の重みで脚はどれだけ縮むか？ 【サブ・タイトル】圧縮や引っ張りで骨が蓄えるエネルギー 【キーワード】Young's modulus, breaking stress, bone fracture 【到達目標】弾性体が蓄えるエネルギーを応力とヤング率から計算できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 5.0~5.3 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
6/14 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】飛び降りたときの骨折リスクは？ 【サブ・タイトル】着地の衝撃 【キーワード】impact force by falling and landing, collision time 【到達目標】運動量保存則を使って、着地で人体が受ける衝撃を求めることができる。</p> <p>【授業タイトル】衝突時の運命の分かれ目は？ 【サブ・タイトル】ハードランディングかソフトランディングか 【キーワード】rupture strength, airbags, whiplash injury in a rear-end collision 【到達目標】人体における動力学と筋肉・骨の破壊強度から、けがの危険を推測できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 5.4~5.9 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
6/21 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】チューブのどの場所を押しても、同じようにハミガキが出てくるのはなぜか？ 【サブ・タイトル】静水圧平衡とパスカルの原理 【キーワード】pressure, incompressible fluid, Pascal's principle 【到達目標】静止した非圧縮性流体におけるパスカルの原理とその応用例を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】水に浮かび続けるのに必要な仕事率は何ワットか？ 【サブ・タイトル】浮力と静水圧の関係 【キーワード】barometric formula, buoyancy, Archimedes' principle, power 【到達目標】圧力と浮力の関係を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 7.0~7.6 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

6/28 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】大きい風船と小さい風船でどちらが内部の圧力が高いか？  【サブ・タイトル】表面張力とは単位面積あたりの表面エネルギーでもある  【キーワード】 cohesion, surface tension, Laplace's law  【到達目標】表面張力を使って、ラプラスの法則を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】1円玉はなぜ水に浮くのか？  【サブ・タイトル】表面張力の威力  【キーワード】 adhesion, contact angle, capillary action, surfactants  【到達目標】表面張力を使って、毛管現象と負の圧力を説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 7.7~7.11 を自己学習してこよう。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
7/5 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】10m深く潜ると水圧は何気圧増すか？  【サブ・タイトル】静止流体におけるエネルギー保存則と圧力  【キーワード】 hydrostatics, energy density  【到達目標】静水圧平衡の式を、流体におけるエネルギー保存則の観点から説明できる。</p> <p>【授業タイトル】完全流体の理想的流れとは？  【サブ・タイトル】流体の運動におけるエネルギー保存：ベルヌーイの式  【キーワード】 streamline, Bernoulli's equation, flow rate, equation of continuity, perfect fluid, steady flow  【到達目標】側圧、静水圧、動圧を使ってベルヌーイの式を説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 8.0~8.1 を自己学習してこよう。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
7/12 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】粘性のある流体が細い管内を流れると？  【サブ・タイトル】粘性流体の定常流：層流  【キーワード】 viscosity, laminar flow  【到達目標】粘性と層流について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】静脈血圧が動脈血圧よりずっと低いのはなぜか？  【サブ・タイトル】粘性による流れの抵抗と圧力降下：ポアズイユの法則  【キーワード】 Poiseuille's law, turbulent flow, Reynold's number, blood pressure, aorta.  【到達目標】ポアズイユの法則を用いて、血管における圧力降下を説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 8.2~8.4 を自己学習してこよう。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

7/19 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】逆立ちしたとき顔が真っ赤になるのは？ 【サブ・タイトル】ベルヌーイの式で理解するさまざまな部位の血圧 【キーワード】gauge pressure, arterial blood pressure in the head and the legs, systolic pressure, diastolic pressure 【到達目標】血流にベルヌーイの式を応用して、部位による血圧の違いを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English II 【サブ・タイトル】Pressure and flow in human body and medicine 【キーワード】power by the pumping action of the heart, hypodermic syringe, intravenous feeding, siphon, chest drainage 【到達目標】人体における圧力や流体力学から、血圧、血液循環と関連する医療器具のしくみを説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】アクティブラーニングの議論、質疑応答に積極的に取り組むこと。英語での演習と質疑応答にも挑戦！</p>	<p>予習) 指定教科書の § 8.5~8.11 を自己学習してこよう。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
9/20 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】音速は何で決まるか？ 【サブ・タイトル】縦波の伝播メカニズム 【キーワード】sinusoidal sound wave, speed of sound, bulk modulus 【到達目標】媒質のどんな性質から音速が決まるかについて、疎密波の伝播メカニズムの観点から推論できる。</p> <p>【授業タイトル】音波が運ぶエネルギー 【サブ・タイトル】媒質粒子の変位と音圧 【キーワード】sound pressure, acoustic impedance, intensity, decibel (dB) 【到達目標】音の正弦波に基づいて、音圧および音の強度を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 高校物理の波動の内容を見直してこよう。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
9/27 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】波動2-1、音響インピーダンス 【サブ・タイトル】音響インピーダンスとは何か 【キーワード】acoustic impedance, reflection and transmission 【到達目標】音響インピーダンスの意味を理解して、透過波/反射波の強度を計算できる。</p> <p>【授業タイトル】波動2-2、超音波 【サブ・タイトル】超音波で体内を見てみよう 【キーワード】Ultrasonography, Echolocation using Doppler effect 【到達目標】超音波診断装置のしくみと超音波画像がどのようにして作られるか理解し説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p>	<p>指定教科書の156ページから169ページを自己学習してこよう。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>
10/4 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】波動3、超音波の応用 【サブ・タイトル】超音波の医療への応用 【キーワード】sonogram, probe, artifact 【到達目標】超音波が医療機器にどのように利用されているか説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English III 【サブ・タイトル】Ultrasound for the human body 【キーワード】sonogram, probe, artifact 【到達目標】超音波が人体に与える影響を理解し説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループで英語を用いて、問題に取り組む。</p>	<p>指定教科書の170ページから172ページを自己学習してこよう。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>

10/12 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体電気1-1. 電気回路と感電  【サブ・タイトル】感電するのはどんな時？  【キーワード】Ohm law and electric circuit, electric battery and resistance  【到達目標】電気的基本的性質を理解し、基本問題が解ける。</p> <p>【授業タイトル】生体電気1-2. 心電図  【サブ・タイトル】心電図は何を測っているんだろう？  【キーワード】Electrocardiogram (ECG), Kirchhoff's law  【到達目標】コンデンサー、抵抗などの電気回路を理解し、心電図の原理を理解する。</p>	<p>講義・討論  【注意点】積極的に  演習・討論  【注意点】積極的に</p>	<p>指定教科書の293ページから298ページを自己学習していただくこと。高校で学んだ物理・波について復習しておく。</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>
10/18 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体電気2-1. 軸索の形状と電気抵抗  【サブ・タイトル】人体内の電気の移動  【キーワード】Voltage, resistance, capacitance, length constant  【到達目標】軸索の形状から電気抵抗を計算できる。</p> <p>【授業タイトル】生体電気2-2. 細胞膜電位  【サブ・タイトル】細胞膜電位とは  【キーワード】Membrane potential, action potential, cell membrane  【到達目標】イオン、電位、熱平衡を理解し、細胞膜電位のしくみに応用できるようになる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】積極的に  演習・討論  【注意点】積極的に</p>	<p>指定教科書の173ページから180ページを自己学習していただくこと。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>
10/25 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体電気3-1. 神経伝導  【サブ・タイトル】神経伝導を電気回路で考えよう  【キーワード】action potential, ion channel, voltage-gated channel  【到達目標】軸索の電気的な特性から長さ定数を計算し、その物理的な意味を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】生体電気3-2. 活動電位  【サブ・タイトル】活動電位の伝搬  【キーワード】Bioelectricity and neural transmission, Hodgkin-Huxley Model  【到達目標】細胞膜の電気的性質を理解し、活動電位の伝導に応用できるようになる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】積極的に  演習・討論  【注意点】積極的に</p>	<p>指定教科書の180ページから188ページを自己学習していただくこと。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>
11/1 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体電気4. 人体と電気技術  【サブ・タイトル】電気技術の医療応用  【キーワード】Muscular contraction, electrocardiogram, electromyogram  【到達目標】人体における電気から、心電図・脳波計測など電気を用いた計測器について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussion in English IV  【サブ・タイトル】Bioelectricity -electrocardiogram・electroencephalogram-  【キーワード】Muscular contraction, electrocardiogram, electromyogram  【到達目標】神経伝導を理解するための物理法則について説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】積極的に  演習・討論  【注意点】グループで英語を用いて、問題に取り組む。</p>	<p>指定教科書の192ページから205ページを自己学習していただくこと。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>

11/8 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MR11: コマの力学 【サブ・タイトル】ベクトルの内積と外積 【キーワード】 inner product, outer product, angular momentum 【到達目標】ベクトルの外積について説明できる。外積の幾何学的な意味を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】MR11: コマの力学 【サブ・タイトル】剛体の運動方程式 【キーワード】 gyroscopic precession, conservation of angular momentum 【到達目標】コマの運動方程式を立式して、その解を求めることができる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 予習プリント(ベクトルの外積)について自己学習すること。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト22」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
11/22 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MR12: プロトン・スピン 【サブ・タイトル】スピンと磁石の関係 【キーワード】 spin, magnetic moment, gyromagnetic ratio, 【到達目標】プロトン・スピンの磁気モーメントの関係について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】MR12: プロトン・スピン 【サブ・タイトル】スピンの歳差運動 【キーワード】 Larmor frequency, precession, rotating frame 【到達目標】スピンの歳差運動について運動方程式を用いて説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 前期人体物理で学んだ「慣性モーメント」、「トルク」を復習して臨むこと。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト23」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
11/29 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MR13: 核磁気共鳴 【サブ・タイトル】電磁波でスピンを操る 【キーワード】 nuclear magnetic resonance, radio frequency, Bloch equation 【到達目標】核磁気共鳴とラーマー周波数の関係について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】MR13: 核磁気共鳴 【サブ・タイトル】縦緩和・横緩和 【キーワード】 longitudinal relaxation time, transverse relaxation time 【到達目標】磁場中の核磁化の励起と緩和について物理的なピクチャーを説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の§17.2.1を自己学習してこること。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト24」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
12/6 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MR14: FIDシグナル 【サブ・タイトル】電磁誘導とシグナル測定 【キーワード】 free induction decay, Faraday's law, electromagnetic induction 【到達目標】電磁誘導の法則とFIDシグナルの関係を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】MR14: FIDシグナル 【サブ・タイトル】T1強調画像・T2強調画像 【キーワード】 spin echo, exponential decay, relaxation time, T1 weighted image, T2 weighted image, density weighted image 【到達目標】T1強調画像とT2強調画像の特徴を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書§17.2.2を自己学習してこること。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト25」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>

12/13 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MRI5：まとめと確認テスト  【サブ・タイトル】MRI画像はどのようにして作られる  【キーワード】fourier imaging, NMR imaging  【到達目標】核磁気共鳴とMRI画像の関係について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussion in English V  【サブ・タイトル】医療とMRI  【キーワード】NMR imaging, functional MRI  【到達目標】静磁場の人体への影響とMRIの安全性について説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論  【注意点】グループで演習問題に取り組み、解答を英語で発表してみよう。</p>	<p>予習) 配布プリント(MRI1~4)を復習して授業に臨むこと。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト26」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
12/20 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】放射線1:放射性物質と放射線  【サブ・タイトル】放射性物質と放射線の違いは?  【キーワード】half-life, radioactive isotope, radial rays, alpha ray, beta ray, gamma ray  【到達目標】放射性物質と放射線について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】放射線1:放射性物質と放射線  【サブ・タイトル】放射線量の単位  【キーワード】Units of radiation dose: Bq, Gry, Sv  【到達目標】放射線量に関する単位について説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論  【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書 §16.5を自己学習してくること。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト22」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
1/10 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】放射線2：まとめと確認テスト  【サブ・タイトル】物理学的半減期と生物学的半減期  【キーワード】physical half-life, biological half-life  【到達目標】放射線の医療への応用について説明できる。放射線防護の3原則について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussion in English VI  【サブ・タイトル】放射線が人体に与える影響  【キーワード】Bq, Gy, Sv  【到達目標】放射線が人体に与える影響を説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論  【注意点】グループで演習問題に取り組み、解答を英語で発表してみよう。</p>	<p>予習) 配布プリント(放射線1~3)を復習して授業に臨むこと。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト28」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人体物理学	授業形態	講義
英語科目名	Physics of the Human Body	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	矢田 雅哉	ナンバリング	
担当教員	矢田 雅哉、田中 和廣、清 裕一郎、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ 人体を形作る骨や筋肉は、それらにかかる力の大きさや向き・それらの動きも、力学法則に従っている。また、血液のような流体の運動も、力学法則に従っている。前期は、これら人体の現象のしくみを理解するために、質点の力学から剛体や弾性体の力学、さらに流体の力学まで、具体例と照らし合わせながら勉強する。</p> <p>・ 呼吸や心臓の動きを引き起こす筋肉活動は神経によって制御されており、神経活動は電気が惹き起こしている。医療検査や治療の多くに電磁気学の法則が応用されており、超音波や原子内部の法則も応用されている。後期は、それらのしくみを理解するために、音波、電磁気学、原子核や放射線まで、具体例と照らし合わせながら勉強する。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 力学及び電磁気学から原子核や放射線までの物理の基本を習得し、人体及び医療における物理現象を理解し説明できるようになる。</li> <li>・ 静力学における「力のつりあい・力のモーメントのつりあい」、動力学における「運動方程式」「運動量・エネルギー・角運動量の保存」を理解し、応用できるようになる。</li> <li>・ 電磁気学における「静電場」「電気回路」「電磁波」「生体電気」「磁気とMRI」の原理を理解し、超音波や放射線の人体への影響を説明できるようになる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 力のつりあい・力のモーメントのつりあいをを用いて、ボディメカニクスを説明できる。</li> <li>2. 運動方程式および運動量・エネルギーの計算を用いて、着地や衝突による人体への力学的影響を説明できる。</li> <li>3. ベルヌーイの式及びボアズイユの法則を説明でき、血圧や血流に応用できる。</li> <li>4. 音波の性質を理解して、超音波による距離測定・血流速度測定や超音波画像診断のしくみを説明できる。</li> <li>5. 細胞膜電位の発生および活動電位の伝導を、神経線維の電気的特性と物理法則に関連づけて説明できる。</li> <li>6. 原子、原子核から発生する放射線の種類、性質、単位を理解し、放射線の生体への影響や医療への応用を説明できる。</li> <li>7. プロトンの持つ磁気モーメントと電磁場との相互作用を理解し、核磁気共鳴の原理からMRI画像の構成を説明できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	(後日教務課にて入力)		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	物理学を通して「人体や医療における物理現象に関する知識」を修得する事が関連している。		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業には積極的に参加することが重要である。疑問に思ったことについて、積極的に質問し、議論を通じて理解をしていくように努めること。</li> <li>・ 演習問題、参考プリント等を授業中に配布またはmanabaで配信するので、自主的に学習すること。自分の手のためして確認し、考察し、話し合っ理解を深めよう。</li> <li>・ 授業日程は、授業の進行状況により多少前後することがある。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法：定期試験(70%)、課題レポート(30%)、積極的な参加態度を総合的に評価する。
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 力学・電磁気学等の問題について、その背景を具体的に述べるができる（課題レポート）</li> <li>2. 力学・電磁気学等の基本的な用語の意味を理解している（定期試験）</li> <li>3. 力学・電磁気学等の法則性について、論理的に説明できる（定期試験）</li> <li>4. 力学・電磁気学等の基本法則を人体の現象に適用し、結果を説明できる（課題レポート、定期試験）</li> <li>5. 授業中の発言やプレテスト・ポストテスト、グループワークの取組状況によって受講態度を評価する</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（プレテスト、小テスト、レポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 “Physics in Biology and Medicine” Paul Davidovits, Academic Press

【参考教科書】  
 「生命科学のための基礎シリーズ 物理」 大島泰郎（監修） 実教出版

【参考書】  
 「身近な素材で実験する物理」 初田真知子、伊地知国男、矢田雅哉 丸善出版  
 「医療系のための物理学入門」 木下順二 講談社（KS医学・薬学専門書）  
 「医療系の基礎としての物理」 廣岡秀明、崔東学、古川裕之、他 学術図書出版社  
 「医歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田 浩 東京教学社  
 「物理学入門から医用物理へ（改訂新版）」 本間康浩 フイツーソリューション  
 「ライフサイエンス物理学」 シュテルンハイム、ケイン 廣川書店  
 「物理学の基礎 1～3」 ハリディ、レスニック、ウォーカー 培風館  
 「ファインマン物理学 1 力学」 坪井忠二訳 岩波書店

その他	
連絡先・オフィスアワー	矢田 雅哉: 月曜 12:30 - 15:30 さくらキャンパス1号館3階1315号室: m-yata[at]juntendo.ac.jp 清 裕一郎: 木曜 12:30 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1316号室 田中 和廣: 火曜 11:00 - 17:00 本郷キャンパス7号館3階生理系実習室、木曜 09:00 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1314号室
担当教員の実務経験	-
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習: 指定教科書“Physics in Biology and Medicine” Paul Davidovits の指定箇所をあらかじめ読んでおくこと。</li> <li>・復習: 学習箇所を復習し指定教科書のEXERCISESに挑戦すること。疑問等が湧いてきたら次回の講義でクラスで議論しよう。</li> <li>・課題レポート: 独自に考察した内容は順序立てて論理的に説明を記述する。調べた内容は自分の論理・切り口で再構築し、理解を助ける図式等を用いて説明を記述すること。ネット検索のみならず、テキストや書籍で内容を確認するように習慣づけるとよい。他の人の書いたものやネット・書籍の内容の丸写しは厳禁である。 【自己学習(準備学習)に必要な時間】 1時限あたり 予習: 45分, 復習: 45分</li> </ul>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/12 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】物理学と単位の基礎1 【サブ・タイトル】単位って何?どこで使われる? 【キーワード】 International System of Units, MKS and cgs system of units, Significant figures 【到達目標】物理単位の意味と用法を理解し、適切に用いることができる。</p> <p>【授業タイトル】物理学と単位の基礎2 【サブ・タイトル】単位って何?どこで使われる? 【キーワード】 International System of Units, MKS and cgs system of units, Significant figures 【到達目標】物理単位の意味と用法を理解し、適切に用いることができる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p>	指定教科書の略語一覧、1ページから8ページを自己学習してくる。講義内容をまとめておく(復習)。
4/19 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】静力学の基礎1 【サブ・タイトル】アーチ橋はなぜ強い? 【キーワード】 vector, addition and decomposition of forces, static equilibrium, 【到達目標】力のつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】静力学の基礎2 【サブ・タイトル】アーチ橋はなぜ強い? 【キーワード】 vector, addition and decomposition of forces, static equilibrium, 【到達目標】力のつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p>	指定教科書の1ページから8ページを自己学習してくる。講義内容をまとめておく(復習)。

4/26 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】からだの静力学1 【サブ・タイトル】人体に生じる力のつり合い 【キーワード】vector, addition and decomposition of forces, static equilibrium, forces by skeletal muscles 【到達目標】力のつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】からだの静力学2 【サブ・タイトル】人体に生じる力のつり合い 【キーワード】vector, addition and decomposition of forces, static equilibrium, forces by skeletal muscles 【到達目標】力のつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に 演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の1ページから8ページを自己学習 してこよう。講義内容をまとめておく（復 習）。</p>
5/10 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】からだの安定性は何で決まるのか？1 【サブ・タイトル】人体の重心はどこだ？ 【キーワード】center of mass, torque, three types of levers, fulcrum, stability of bodies 【到達目標】力のモーメントのつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】からだの安定性は何で決まるのか？2 【サブ・タイトル】人体の重心はどこだ？ 【キーワード】center of mass, torque, three types of levers, fulcrum, stability of bodies 【到達目標】力のモーメントのつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>積極的に演示実験 や議論に参加する こと。</p>	<p>指定教科書の3ページから6ページと56ページ から58ページを自己学習してこよう。講義 内容をまとめておく（復習）。</p>
5/17 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】関節の静力学1 【サブ・タイトル】腰への負担はどのくらい？ 【キーワード】lever model, pivot point, force and torque balance 【到達目標】力と力のモーメントのつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English I 【サブ・タイトル】Statics of human body -arm, hip, lower back, foot- 【キーワード】elbow with a weight, bent back, standing tip-toe 【到達目標】人体における静力学を活かした看護への利用などを考える。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的 に演示実験や議論 に参加すること。</p> <p>講義・討論</p> <p>【注意点】グルー プで英語を用い て、問題に取り組 む。</p>	<p>・力と力のモーメントのつり合いを理解し、 人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>・人体における静力学を活かした看護への利 用などを考える。</p>
5/24 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】並進運動と衝突1 【サブ・タイトル】コインを衝突させると、どうなる？ 【キーワード】velocity, Newton's cradle, conservation of momentum 【到達目標】速度、運動量及び力積を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】並進運動と衝突2 【サブ・タイトル】コインを衝突させると、どうなる？ 【キーワード】velocity, Newton's cradle, conservation of momentum 【到達目標】速度、運動量及び力積を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的 に演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の275ページを自己学習してくるこ と。講義内容をまとめておく（復習）。</p>

5/31 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】摩擦とエネルギーと仕事1  【サブ・タイトル】エネルギーって何だろう？  【キーワード】friction, energy, work  【到達目標】エネルギーの保存と仕事、摩擦の影響を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】摩擦とエネルギーと仕事2  【サブ・タイトル】エネルギーって何だろう？  【キーワード】friction, energy, work  【到達目標】エネルギーの保存と仕事、摩擦の影響を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に  演示実験や議論  に参加すること。</p>	<p>指定教科書の29-43ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>
6/7 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】さまざまな動作の運動学1  【サブ・タイトル】小球の運動を考えよう  【キーワード】parabolic motion, free fall  【到達目標】自由落下及び放物運動を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】さまざまな動作の動力学2  【サブ・タイトル】小球の運動を考えよう  【キーワード】parabolic motion, free fall  【到達目標】自由落下及び運動方程式を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に  演示実験や議論  に参加すること。</p>	<p>指定教科書の30-42ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>
6/14 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】さまざまな動作の運動学3  【サブ・タイトル】運動の法則  【キーワード】uniform acceleration, action-reaction law, equation of motion  【到達目標】運動の三法則を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English II  【サブ・タイトル】Dynamics in human body -bone fracture due to a fall-  【キーワード】impact force by falling and landing, whiplash injury in a rear-end collision  【到達目標】人体における動力学から、衝撃やけがについて、応用を考える。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に  演示実験や議論  に参加すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】グルー  プで英語を用い  て、問題に取り組  む。</p>	<p>指定教科書の274ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>
6/21 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】回転運動と物理振り子の動力学1  【サブ・タイトル】歩行とランニングの動作の振り子モデル  【キーワード】centrifugal force, angular velocity, moment of inertia, frequency  【到達目標】回転運動を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】回転運動と物理振り子の動力学2  【サブ・タイトル】歩行とランニングの動作の振り子モデル  【キーワード】centrifugal force, angular velocity, moment of inertia, frequency  【到達目標】回転運動を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に  演示実験や議論  に参加すること。</p>	<p>指定教科書の45-59ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>

6/28 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】 静止している流体1  【サブ・タイトル】 からだの中の圧力  【キーワード】 pressure, Pascal' s principle, buoyancy of aquatic animals  【到達目標】 圧力を理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】 静止している流体2  【サブ・タイトル】 からだの中の圧力  【キーワード】 pressure, Pascal' s principle, buoyancy of aquatic animals  【到達目標】 圧力を理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】 積極的に  演示実験や議論  に参加すること。</p>	<p>指定教科書の82-99ページを自己学習してくること</p>
7/5 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】 流体の圧力と流速1  【サブ・タイトル】 胃洗浄をしてみよう  【キーワード】 Bernoulli' s law, siphon  【到達目標】 流体の法則を理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】 流体の圧力と流速2  【サブ・タイトル】 胃洗浄をしてみよう  【キーワード】 Bernoulli' s law, siphon  【到達目標】 流体の法則を理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】 積極的に  演示実験や議論  に参加すること。</p>	<p>指定教科書の101-102, 107-113ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>
7/12 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】 粘性のある流体の運動1  【サブ・タイトル】 ドロドロ血液だどう流れる？  【キーワード】 viscosity, Poiseuille' s law, blood pressure  【到達目標】 粘性流体の法則を理解し、血圧との関係の問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】 粘性のある流体の運動2  【サブ・タイトル】 ドロドロ血液だどう流れる？  【キーワード】 viscosity, Poiseuille' s law, blood pressure  【到達目標】 粘性流体の法則を理解し、血圧との関係の問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】 積極的に  演示実験や議論  に参加すること。</p>	<p>指定教科書の103-115ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>

7/19 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体における流体現象 【サブ・タイトル】血流のエネルギー論 【キーワード】Bernoulli' s law, viscosity, blood pressure, 【到達目標】人体における圧力や流体力学から、循環や看護応用などを考える。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English III 【サブ・タイトル】Pressure and flow in human body 【キーワード】pressure, Pascal' s principle, Bernoulli' s law, Poiseuille' s law, buoyancy of aquatic animals 【到達目標】人体における圧力や流体力学から、循環や看護応用などを考える。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】グループで英語を用いて、問題に取り組む。</p>	<p>指定教科書の114-115ページを自己学習してること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>
9/20 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】超音波の特性 【サブ・タイトル】超音波で距離を測る 【キーワード】period, frequency, wavelength, speed of sound, hertz (Hz) 【到達目標】波動に関する基本的な用語を理解して、波形を描くことができる。</p> <p>【授業タイトル】分解能, 最大観測深度 【サブ・タイトル】コウモリは音で餌の位置を見る 【キーワード】resolution, pulse repetition period 【到達目標】パルス波のグラフから、パルス長, 繰り返し周期を読み取ることができる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 前期「物理学入門」で実習した「オシロスコープによる波形観測実験」を見直し、今後の14回の授業の日程を確認してること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の§12.0~12.1と関連する章末問題を自己学習すること。</p>
9/27 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】超音波の伝搬 【サブ・タイトル】生体内を伝搬する超音波 【キーワード】propagation of ultrasound: intensity, attenuation, loudness 【到達目標】体内における超音波の伝搬経路と減衰の関係を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】超音波の反射、透過 【サブ・タイトル】超音波の反射はどこで起こる? 【キーワード】reflection and transmission, acoustic impedance 【到達目標】音響インピーダンスから透過波/反射波の強度を計算できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の§12.2.0, 12.2.2を自己学習してること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
10/4 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】超音波画像 【サブ・タイトル】超音波で体内を見る 【キーワード】Ultrasound imaging, pulse echolocation 【到達目標】超音波画像がどのようにして作られるか理解し説明できる。</p> <p>【授業タイトル】A-mode, B-mode画像 【サブ・タイトル】音に色を付ける 【キーワード】probe, A-mode, B-mode, M-mode 【到達目標】A-mode画像, B-mode画像について説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の§12.2.1, 12.2.3~12.3.3を自己学習してること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

10/11 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】ドップラー法 【サブ・タイトル】運動と波の関係 【キーワード】Doppler effect, speed of observer, speed of source, frequency change 【到達目標】ドップラー法を用いた血流測定を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】反射・屈折の法則 【サブ・タイトル】超音波画像とアーチファクト 【キーワード】Snell's law, refraction, diffraction 【到達目標】屈折の法則を理解し、超音波画像に現れるアーチファクトについて説明できる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 12.8 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
10/18 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電気理論の基礎 【サブ・タイトル】電場と電気力線 【キーワード】Coulomb's law, field lines, electric field 【到達目標】クーロンの法則と電場との関係を説明でき、電場を電気力線で表現できる。</p> <p>【授業タイトル】電気量 <math>Q</math> から出る電気力線の総本数は? 【サブ・タイトル】ガウスの法則 【キーワード】Coulomb's law, field lines, electric field 【到達目標】ガウスの法則を電気力線の本数と電場の強さの関係を用いて説明できる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論</p> <p>【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 前期「物理学入門」で実習した「電気力と電場」を見直し、指定教科書のAppendix B の § B.1~B.2 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
10/25 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電気量が分布したときの電位 【サブ・タイトル】平面が一様に帯電したときの電気力線 【キーワード】potential energy, voltage, capacitance 【到達目標】ガウスの法則を用いてコンデンサーの電気容量を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】雷雲に蓄えられたエネルギーは? 【サブ・タイトル】コンデンサーの静電エネルギー 【キーワード】capacitor, energy storage 【到達目標】コンデンサーが蓄える静電エネルギーを説明できる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論</p> <p>【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書のAppendix B の § B.3, B.5.2 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題を自己学習すること。</p>
11/1 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電気が流れると 【サブ・タイトル】電気抵抗のミクロなメカニズム 【キーワード】electric current, Ohm's law, resistance, power dissipated in resistor 【到達目標】オームの法則を金属中の電子の運動から説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussion in English V 【サブ・タイトル】Physiological effects of electricity 【キーワード】electrical shock, pain, dissipation of electrical energy 【到達目標】感電のリスクが何に左右されるのか説明できる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論</p> <p>【注意点】アクティブラーニングの議論、質疑応答に積極的に取り組むこと。英語での演習と質疑応答にも挑戦!</p>	<p>予習) 指定教科書のAppendix B の § B.4, B.5.1 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

11/8 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電気回路を1周したときの電位の変化の合計は？  【サブ・タイトル】キルヒホッフの法則  【キーワード】Kirchhoff's law, current conservation, voltage drop  【到達目標】キルヒホッフの法則を用いて、直列接続や並列接続の合成抵抗を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】コンデンサーの充電と放電  【サブ・タイトル】過渡現象と時定数  【キーワード】RC circuit, capacitor charging, capacitor discharging, time constant  【到達目標】コンデンサーの充電と放電の時定数を、電気容量と電気抵抗から計算できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書のAppendix B の §B. 5. 0, B. 6 を自己学習してくる。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
11/22 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】軸索における電位  【サブ・タイトル】静止電位と活動電位  【キーワード】neuron, axon membrane, membrane potential, resting potential, nerve impulse, action potential  【到達目標】細胞膜内外の電位差の発生機構について概説できる。</p> <p>【授業タイトル】電気ケーブルとしての軸索  【サブ・タイトル】細胞膜の電気抵抗と電気容量  【キーワード】electrical cable, leaky insulator  【到達目標】軸索の形状から抵抗と容量を計算できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 13. 0~13. 1. 4を自己学習してくる。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
11/29 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】軸索回路の解析  【サブ・タイトル】軸索中の電気伝導モデル  【キーワード】axon circuit, equivalent resistor  【到達目標】軸索の等価回路によるモデル化を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】弱い刺激に対する応答  【サブ・タイトル】電気刺激の減衰と長さ定数  【キーワード】voltage attenuation, length constant  【到達目標】軸索の電気的な特性から“長さ定数<math>\lambda</math>”を計算し、その物理的な意味を説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 13. 1. 6を自己学習してくる。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
12/6 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】活動電位はどのようにして伝播するのか？  【サブ・タイトル】インパルスの伝導  【キーワード】voltage-gated channel, nonmyelinated axon  【到達目標】活動電位の伝播を可能にする動的メカニズムを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】軸索の興奮伝導の速さ  【サブ・タイトル】動物によって興奮伝導の速さはなぜ違うのか？  【キーワード】conduction speed, myelinated axon  【到達目標】無髄神経線維と有髄神経線維の伝播速度の違いを、細胞膜の電気的な特性から推論できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 13. 1. 5を自己学習してくる。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

12/13 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】光は電磁波でもあり光子でもある  【サブ・タイトル】量子論と電子の波動性  【キーワード】 wave-particle duality, matter wave, de Broglie's hypothesis, Planck constant  【到達目標】光が粒子性をもつことの証拠、電子が波動性をもつことの証拠を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】量子力学がもたらす新しい探索法・検査法  【サブ・タイトル】電子顕微鏡、X線CT  【キーワード】 quantum mechanics, electron microscope, X-ray computerized tomography, diffraction  【到達目標】電子顕微鏡の分解能を光学顕微鏡と対比して説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書 § 16.3~16.6を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
12/20 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電子殻とエネルギー準位  【サブ・タイトル】ボーアの量子条件  【キーワード】 allowed orbit, energy level, ground state, excited state, transition  【到達目標】K殻、L殻、M殻等の電子殻と電子軌道・エネルギー準位の対応を概説できる。</p> <p>【授業タイトル】原子が出す光はどんな色か？  【サブ・タイトル】離散スペクトルか連続スペクトルか  【キーワード】 spectrometer, spectral line, absorption spectrum, X-ray, highly excited atoms  【到達目標】原子による光の吸収と放出、およびX線の発生原理を説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書 § 16.0~16.2を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
1/10 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電子スピン共鳴  【サブ・タイトル】波動性のほかに電子の驚くべき性質がもう一つあった！  【キーワード】 spin, magnetic moment, Larmor frequency, microwave frequency, ESR  【到達目標】磁場中での原子のエネルギー準位の分裂と電子スピン共鳴の関係について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】核磁気共鳴とMRI  【サブ・タイトル】磁場中の水素原子核の振る舞い  【キーワード】 NMR, radio frequency, MRI, magnetic field gradient, functional MRI  【到達目標】核磁気共鳴を電子スピン共鳴と対比して説明でき、勾配磁場中の核磁気共鳴による空間分布の画像化を説明できる。</p>	<p>講義・討論  【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論  【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書 § 17.1~17.2を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	細胞生物学	授業形態	講義
英語科目名	Essential Cell Biology	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	松本 顕	ナンバリング	
担当教員	松本 顕、内田 桂吉、和田 麻理、R.ウィッティ、枝松 裕紀、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>生物の基本単位は”細胞”であり、その機能や構造を学ぶことは、医学を学ぶ上でも大変に重要である。本講義では、図・文章ともに大変にわかりやすいと定評がある「エッセンシャル細胞生物学」を教科書として細胞に関する以下の基礎知識を学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細胞の構造・成分・形態</li> <li>2. 細胞がエネルギーを獲得するしくみ（呼吸と代謝）</li> <li>3. 遺伝子の構造とその複製のしくみ（分子遺伝学の基礎）</li> <li>4. 遺伝子の情報をもとにタンパク質が作られるしくみ</li> <li>5. 細胞での情報伝達のしくみ</li> <li>6. 細胞が分裂するしくみ</li> </ol> <p>学習がある程度進展する毎に、日英両方の専門用語を用いた演習を行う（日程表に「細胞生物学演習」と記載）。演習には英語での質疑応答、口頭発表、レポートを含む。これ以外にも、不定期に英語での講義、発音練習、グループ討論、プレゼンテーションを行う。英語演習は主としてProf. Whittierが担当する。</p>		
到達目標	<p>【一般目標】 上記6項目について、専門用語を日英両方で理解し、基本的な概念を自分の言葉で説明できるようになる。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細胞の構造・成分・形態に関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。</li> <li>2. 呼吸と代謝に関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。</li> <li>3. 遺伝子の構造と複製の仕組みに関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。</li> <li>4. 転写と翻訳の仕組みに関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。</li> <li>5. 細胞での情報伝達に関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。</li> <li>6. 細胞分裂と発生の仕組みに関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。</li> <li>7. 学んだ知識を、2年次以降での基礎医学系講義に活用することができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	・専門用語、キーワードは日英両方で覚えること。指定教科書の章末の演習問題には英語でも解答できることが望ましい。
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	定期試験（前後期ごとに行う）、プレテスト、ポストテスト、レポート、平常点（出席回数および学習態度など）を総合して評価する。
------	---

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「細胞」に関して基本的な用語の意味を理解している（定期試験、プレテスト、ポストテスト、レポート）</li> <li>2. 「細胞」の機能や構造に関して論理的に説明できる（定期試験、プレテスト、ポストテスト、レポート）</li> <li>3. 出席回数、授業中の発言、グループワーク、プレテストおよびレポートへの取り組み状況によって学習態度を評価する（平常点）</li> </ol>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。
---

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p><b>【指定教科書】</b>          エッセンシャル細胞生物学 第5版（南江堂）。原書” Essential Cell Biology 4th edition”（Garland Science）の併読を勧める。提示される英単語、演習問題、討論課題は原書からの出典とする。</p> <p><b>【参考書】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. サイエンスビュー生物総合資料 実教出版</li> <li>2. ニューステージ生物図表 浜島書店</li> <li>3. ダイナミックワイド図説生物 東京書籍</li> <li>4. 現代生物学 ウォーレス 東京化学同人</li> <li>5. 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 羊土社</li> <li>6. 生命科学 羊土社</li> <li>7. キャンベル生物学 丸善</li> </ol>
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】  科目責任者：生物 松本顕 （各回の担当者に連絡する前に科目責任者に連絡してください）  E-mail: amatsumo[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】  日時：前後期を通して基本的には昼休み  場所：生物松本の研究室はさくらキャンパスのため、面談が必要な場合は事前に連絡をください。対面での面談、もしくはZoomでの面談を設定します。メールでの相談は随時受け付けます。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>・講義前に指定教科書の該当章を熟読すること。講義後にも、もう一度該当章を熟読し、章末の演習問題に取り組むこと。  ・高校での「生物Ⅰ」「生物Ⅱ」あるいは「生物基礎」「生物」の内容に自信のない者は、高校の授業で使用するいわゆる“図表”（たとえば参考書欄にリストアップされている#1～3の図説。もちろん、それら以外でも構わない）を1冊入手して、適宜参考にするを勧めます。  ・本郷キャンパスの時間割にしたがった時間帯で講義を行う。すなわち、9:00～9:45の45分講義、5分休憩、9:50～10:35の45分講義を1回（1時限）とする。このため、以下の「授業内容」欄には、例え同一内容の講義であっても、前半後半の2つに分けた記載をしている。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】  1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/13 (水)	神経生物学・ 形態学講座 小池 正人	<p>【授業タイトル】医学を学ぶ基盤となる生物学の知識とは？  【サブ・タイトル】医学部における生物学の2つの大きな軸：細胞と器官系  【キーワード】人体の階層性、分子、細胞内小器官、細胞、組織、臓器(器官)、器官系  【到達目標】①教養課程の生物学と基礎医学の諸科目との関連性について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】  【サブ・タイトル】医学部における生物学の2つの大きな軸：細胞と器官系  【キーワード】人体の階層性、分子、細胞内小器官、細胞、組織、臓器(器官)、器官系  【到達目標】②人体の器官系と関連する臓器について概説できる。  ③人体を構成する細胞に共通する構造について概説できる。</p>	講義  【注意点】準備学習の内容を基に双方向授業を行います。	①基礎医学の諸科目、 ②人体の器官系と関連する臓器(器官)について事前に調べておくこと。 ③細胞内小器官について事前に調べておくこと。
4/20 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】細胞とは  【サブ・タイトル】原核細胞と真核細胞  【キーワード】 prokaryote, eukaryote  【到達目標】原核細胞から、真核細胞への進化を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞とは  【サブ・タイトル】細胞小器官  【キーワード】 organelle, cytosol, mitochondria  【到達目標】細胞小器官の各機能を説明できる。</p>	講義  【注意点】指定教科書を持参すること。	指定教科書の第1章について自己学習してくること。

4/27 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】代謝 【サブ・タイトル】化学結合 【キーワード】 chemical bond, ionic bond, covalent bond 【到達目標】細胞を構成する分子の化学的特性を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】代謝 【サブ・タイトル】酵素反応 【キーワード】 hydrophilic, hydrophobic 【到達目標】細胞を構成する分子の化学的特性を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第3章について自己学習してくること。</p>
5/11 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習① 【サブ・タイトル】細胞の構造と成分に関するまとめと英語での演習 【キーワード】 organelle, prokaryote, eukaryote 【到達目標】細胞構造と細胞をつくる分子について日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習① 【サブ・タイトル】細胞の構造と成分に関するまとめと英語での演習 【キーワード】 carbohydrates, H2O, lipid bilayer 【到達目標】細胞構造と細胞をつくる分子について日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。(原書が望ましい)</p>	<p>指定教科書の第1～4章について自己学習してくること。</p>
5/18 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】遺伝情報とは何か① 【サブ・タイトル】DNAと染色体 【キーワード】 double helix, chromatin, histone 【到達目標】DNAと染色体の構造を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】遺伝情報とは何か① 【サブ・タイトル】DNAと染色体 【キーワード】 nucleosome, heterochromatin 【到達目標】DNAと染色体の構造を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第5章について自己学習してくること。</p>
5/25 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】遺伝情報とは何か② 【サブ・タイトル】DNAの複製の仕組み 【キーワード】 DNA replication 【到達目標】DNAの半保存的複製を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】遺伝情報とは何か② 【サブ・タイトル】DNAの複製の仕組み 【キーワード】 replication fork 【到達目標】DNAの半保存的複製を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第6章について自己学習してくること。</p>

6/1 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】 遺伝情報とは何か③ 【サブ・タイトル】 DNAの修復の仕組み 【キーワード】 proof reading 【到達目標】 DNAの損傷と修復の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝情報とは何か③ 【サブ・タイトル】 DNAの修復の仕組み 【キーワード】 DNA repair 【到達目標】 DNAの損傷と修復の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	指定教科書の第6章について自己学習してくること。
6/15 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】 細胞生物学演習②（英語による演習） 【サブ・タイトル】 DNAの構造、複製、修復に関するまとめと英語での演習 【キーワード】 DNA, double helix, chromatin, nucleosomes 【到達目標】 DNAの構造と複製、修復について日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 細胞生物学演習②（英語による演習） 【サブ・タイトル】 DNAの構造、複製、修復に関するまとめと英語での演習 【キーワード】 DNA replication, DNA repair 【到達目標】 DNAの構造と複製、修復について日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。（原書が望ましい）</p>	指定教科書の第5章、第6章について自己学習してくること。
6/18 (土)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝情報を伝達する仕組み① 【サブ・タイトル】 DNA～RNA転写 【キーワード】 transcription, mRNA, transcription factor 【到達目標】 遺伝子の転写の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝情報を伝達する仕組み① 【サブ・タイトル】 DNA～RNA転写 【キーワード】 splicing, genetic code, exon, intron 【到達目標】 遺伝子の転写の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	指定教科書の第7章前半：転写～pp. 243について自己学習してくること。
6/22 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝情報を伝達する仕組み② 【サブ・タイトル】 RNA～タンパク質 翻訳 【キーワード】 translation, protein, tRNA 【到達目標】 遺伝子の翻訳の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝情報を伝達する仕組み② 【サブ・タイトル】 RNA～タンパク質 翻訳 【キーワード】 codon, anti-codon, ribosome 【到達目標】 遺伝子の翻訳の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	指定教科書の第7章後半：翻訳pp. 243～について自己学習してくること。

6/29 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝子発現の調節①  【サブ・タイトル】 原核生物の転写調節  【キーワード】 regulatory DNA sequence, transcription regulator, operon  【到達目標】 転写調節の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝子発現の調節②  【サブ・タイトル】 真核生物の転写調節  【キーワード】 enhancer, combinatorial control, homeobox  【到達目標】 転写調節の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第8章について自己学習してくること。</p>
7/6 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝子発現の調節③  【サブ・タイトル】 転写後調節  【キーワード】 post-transcriptional control  【到達目標】 指定教科書の第8章について自己学習してくること。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝子発現の調節③  【サブ・タイトル】 転写後調節  【キーワード】 RNAi, siRNA epigenetic inheritance  【到達目標】 指定教科書の第8章について自己学習してくること。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第8章について自己学習してくること。</p>
7/13 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝子とゲノムの進化  【サブ・タイトル】 ゲノムの進化  【キーワード】 virus, gene duplication and divergence  【到達目標】 転写後調節の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝子とゲノムの進化  【サブ・タイトル】 ヒトゲノムの解読  【キーワード】 human genome  【到達目標】 ヒトゲノムの概要を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第9章について自己学習してくること。</p>

7/20 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習③（英語による演習）  【サブ・タイトル】遺伝子発現の調節に関するまとめと英語での演習  【キーワード】transcription, translation  【到達目標】遺伝子発現の調節について日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習③（英語による演習）  【サブ・タイトル】遺伝子発現の調節に関するまとめと英語での演習  【キーワード】enhancer, suppressor  【到達目標】遺伝子発現の調節について日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。（原書が望ましい）</p>	<p>指定教科書の第7章、第8章について自己学習してくること。</p>
9/21 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】細胞内のエネルギーはどのようにつくられるか①  【サブ・タイトル】糖と脂肪の分解と利用  【キーワード】ATP, glucose, glycolysis, pyruvate, fermentation, NADH  【到達目標】解糖とクエン酸回路によりエネルギーを得る仕組みを説明できる。発酵の意義を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内のエネルギーはどのようにつくられるか①  【サブ・タイトル】糖と脂肪の分解と利用  【キーワード】citric acid cycle, acetyl-CoA, fatty acid  【到達目標】クエン酸回路とそれに付随する代謝経路との間の関係を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第13章について自己学習してくること。</p>
9/28 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】細胞内のエネルギーはどのようにつくられるか②  【サブ・タイトル】酸化的リン酸化  【キーワード】oxidative phosphorylation, electron transport, ATP  【到達目標】呼吸によりエネルギーを得る仕組みの概要を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内のエネルギーはどのようにつくられるか②  【サブ・タイトル】酸化的リン酸化  【キーワード】ATP synthase, uncoupling agent, pH gradient, voltage gradient  【到達目標】呼吸でエネルギーを得る仕組みを、ミトコンドリア膜機能と関連付けて説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第13、14章について自己学習してくること。</p>
10/5 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習④（英語による演習）  【サブ・タイトル】エネルギー代謝に関するまとめと英語での演習  【キーワード】ATP, glycolysis  【到達目標】エネルギー代謝の概要を日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習④（英語による演習）  【サブ・タイトル】エネルギー代謝に関するまとめと英語での演習  【キーワード】oxidative phosphorylation  【到達目標】エネルギー代謝の概要を日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。（原書が望ましい）</p>	<p>指定教科書の第13章、第14章について自己学習してくること。</p>

10/12 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜①  【サブ・タイトル】細胞膜の構造と膜輸送  【キーワード】membrane structure, lipid bilayer  【到達目標】細胞膜の構造と膜輸送の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜①  【サブ・タイトル】細胞膜の構造と膜輸送  【キーワード】transporter, ATPase, pump  【到達目標】細胞膜の構造と膜輸送の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第11章および第12章について自己学習してくること。</p>
10/19 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜②  【サブ・タイトル】神経系とイオンチャネル  【キーワード】ion channel  【到達目標】細胞膜の構造と膜輸送の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜②  【サブ・タイトル】神経系とイオンチャネル  【キーワード】neuron, action potential, neurotransmitter  【到達目標】細胞膜の構造と膜輸送の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第12章について自己学習してくること。</p>
10/26 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜②  【サブ・タイトル】細胞内区画と細胞内輸送  【キーワード】protein sorting, vesicular transport  【到達目標】タンパク質を細胞小器官に輸送する仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜②  【サブ・タイトル】細胞内区画と細胞内輸送  【キーワード】secretory pathways  【到達目標】タンパク質を細胞小器官に輸送する仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第15章について自己学習してくること。</p>
11/2 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】細胞はどのように情報を伝えるか①  【サブ・タイトル】細胞間情報伝達の仕組み  【キーワード】endocrine, paracrine, ligand, receptor, kinase, phosphatase  【到達目標】細胞と細胞との間の情報のやり取りの様式と仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞はどのように情報を伝えるか①  【サブ・タイトル】細胞内情報伝達の仕組み①: Gタンパク質共役型受容体(その1)  【キーワード】GTP-binding protein, G-protein, second messenger, G-protein-coupled receptor (GPCR)  【到達目標】Gタンパク質を介する細胞内シグナル伝達の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第16章について自己学習してくること。</p>

11/9 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】細胞はどのように情報を伝えるか②  【サブ・タイトル】細胞内情報伝達の仕組み②：Gタンパク質共役型受容体（その2）  【キーワード】cAMP, intracellular calcium ion, IP3, diacylglycerol (DAG), serine/threonine kinase  【到達目標】Gタンパク質を介する細胞内シグナル伝達の仕組みについて、セカンドメッセンジャーと関係付けて説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞はどのように情報を伝えるか②  【サブ・タイトル】細胞内情報伝達の仕組み③：酵素共役型受容体  【キーワード】enzyme-coupled receptor, tyrosine kinase, Ras  【到達目標】酵素共役型受容体（特に受容体チロシンキナーゼ）を介する細胞内シグナル伝達の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第16章について自己学習してください。</p>
11/30 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習⑤（英語による演習）  【サブ・タイトル】生体膜と細胞間情報伝達に関するまとめと英語での演習  【キーワード】G protein coupled receptor, hormone, neurotransmitter,  【到達目標】生体膜の機能と細胞内シグナル伝達の概要を日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習⑤（英語による演習）  【サブ・タイトル】生体膜と細胞間情報伝達に関するまとめと英語での演習  【キーワード】second messenger, enzyme-coupled receptors  【到達目標】生体膜の機能と細胞内シグナル伝達の概要を日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。（原書が望ましい）</p>	<p>指定教科書の第11章、第12章、第15章、第16章について自己学習してください。</p>
12/3 (土)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】細胞の運動  【サブ・タイトル】細胞骨格  【キーワード】cytoskeleton, actin, tubulin  【到達目標】細胞骨格を構成するタンパク繊維について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞の運動  【サブ・タイトル】細胞骨格  【キーワード】intermediate filament, motor protein  【到達目標】細胞骨格を構成するタンパク繊維について説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第17章について自己学習してください。</p>
12/7 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】細胞はどのように増えるか  【サブ・タイトル】体細胞分裂のしくみ  【キーワード】cell cycle, mitosis, cyclin, check point, kinetochore  【到達目標】細胞周期と有糸分裂の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞はどのように増えるか  【サブ・タイトル】体細胞分裂のしくみ  【キーワード】apoptosis, necrosis, caspase  【到達目標】細胞周期と有糸分裂の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第18章について自己学習してください。</p>

12/14 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】配偶子形成 【サブ・タイトル】減数分裂のしくみ 【キーワード】gamete, meiosis, homologous recombination 【到達目標】生殖細胞における減数分裂を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】配偶子形成 【サブ・タイトル】減数分裂のしくみ 【キーワード】allele, polymorphism, phenotype, SNPs 【到達目標】生殖細胞における減数分裂を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第19章について自己学習してください。</p>
12/21 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】幹細胞とがん 【サブ・タイトル】組織の維持と更新 【キーワード】stem cells, clone 【到達目標】再生医学の概要を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】幹細胞とがん 【サブ・タイトル】組織の維持と更新 【キーワード】ES cells, iPS cells, cancer 【到達目標】再生医学の概要を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第20章について自己学習してください。</p>
1/11 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習⑥（英語による演習） 【サブ・タイトル】細胞骨格と細胞分裂に関するまとめと英語での演習 【キーワード】cytoskeleton, cell cycle 【到達目標】細胞分裂の概要を日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習⑥（英語による演習） 【サブ・タイトル】細胞骨格と細胞分裂に関するまとめと英語での演習 【キーワード】mitosis, meiosis, stem cells 【到達目標】細胞分裂の概要を日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。（原書が望ましい）</p>	<p>指定教科書の第17～20章について自己学習してください。</p>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	統計解析への数学	授業形態	
英語科目名	Introduction to Statistical Analysis	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	川村 浩之	ナンバリング	
担当教員	川村 浩之、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>統計学とその基礎となる数学を学ぶ。  主たる内容は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計データの取り扱い（代表値とばらつき、ヒストグラム、散布図）</li> <li>・統計学の数学的基礎（確率と統計、確率分布、正規分布、中心極限定理）</li> <li>・統計的推測（母集団と標本、バイアス、点推定と区間推定、仮説検定）</li> <li>・線形代数入門（ベクトルと行列、固有ベクトルと固有値）</li> <li>・統計モデル（単回帰モデル、多変量解析）</li> </ul> <p>また、統計学が医学でどのように用いられているかを学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率的なものの見方に習熟し、統計学についての基本知識を身に付ける。</li> <li>・様々な統計解析の背後にある数学を理解し、必要に応じて発展的な手法を自学できるようになる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. データの種類に応じて適切な統計処理を選択できる。</li> <li>2. 確率分布の概念について説明でき、基本的な分布を使って確率計算ができる。</li> <li>3. 母平均・母比率について区間推定・仮説検定が行える。</li> <li>4. 様々な統計モデルの意味や統計ソフトのアウトプットを解釈できる。</li> <li>5. ベクトルと行列を用いた多変量データの取り扱いができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義の開始前に、クラス分け試験を行います。</li> <li>・ 授業では受け身にならずに積極的に発言・質問をすること。</li> <li>・ 各授業の内容はそれ以前の授業の内容を前提とするので小まめに復習すること。</li> <li>・ 統計解析に用いられる数学をすべて理解するのは難しいが、できるだけ論理の流れを理解するように心がけてもらいたい。</li> </ul>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	定期試験、manabaの小テスト、課題レポート、授業への参加等を総合的に評価する。
------	---

評価基準	成績評価基準：試験等の結果から総合的な理解度を見て判定する。
------	--------------------------------

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）や試験に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

指定教科書  
統計解析入門[第3版] 篠崎信雄・竹内秀一 共著 サイエンス社

参考教科書  
「医療統計力」を鍛える！ 千葉康敬 著 総合医学社  
ここから学ぼう！図解医療統計 本気で統計を始めたい人のための入門書  
柳澤 尚武、西崎 祐史（共著）、代田 浩之（監修） 総合医学社  
An introduction to medical statistics 4th ed. M. Bland, Oxford University Press  
理工基礎 線形代数 高橋大輔 著 サイエンス社

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	金曜10:35-13:30 センチュリー5F 教員控室			
担当教員の実務経験				
備考	予習：講義前に教科書の該当箇所を読み、概要を理解しておくこと。 復習：講義内容の理解を確かにするために教科書の練習問題を積極的に解くこと。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分			
4/15 (金)	川村 浩之	【授業タイトル】統計データのまとめ方 (I) 【サブ・タイトル】量的データの整理 【キーワード】データの種類の種類とグラフ、度数分布表、ヒストグラム、統計量、外れ値、標準化 【到達目標】 ・各グラフの使い分けができる。ヒストグラムの解釈ができる。 ・様々な統計量が計算できる。変数の標準化が説明できる。	講義・演習	(予習) 指定教科書の第1、2章を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
4/22 (金)	川村 浩之	【授業タイトル】統計データのまとめ方 (II) 【サブ・タイトル】2つの量の関係を探る 【キーワード】クロス集計表、相対リスク、オッズ比、相関係数、層別、交絡因子 【到達目標】 ・オッズ比や相対リスクの定義と意味を理解する。 ・相関と因果の違いを理解する。  【サブ・タイトル】ベイズの定理 【キーワード】条件付き確率、陽性的中率 【到達目標】 ・条件付き確率とベイズの定理を理解する。 ・陽性的中率を計算できる。	講義・演習	(予習) 指定教科書の第3、4章を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。

5/6 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】確率分布 (I)  【サブ・タイトル】確率分布からわかること  【キーワード】離散型確率変数、確率分布、確率分布の特性値  【到達目標】確率分布の特性値 (平均、分散、標準偏差) の意味を理解し、計算できる。</p> <p>【サブ・タイトル】サイコロを600回振ると1の目は何回でるか？  【キーワード】確率モデル、2項分布、ポアソン分布  【到達目標】2項分布とポアソン分布を用いた簡単な計算ができる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の第5章、6.1、6.2を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
5/13 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】確率分布 (II)  【サブ・タイトル】連続型確率変数  【キーワード】連続型確率変数、確率密度関数、確率分布の特性値  【到達目標】連続型確率変数の分布の特性値の求め方がわかる。</p> <p>【サブ・タイトル】正規分布とはなにか？  【キーワード】正規分布、6-8-9 5-9 9.7ルール  【到達目標】正規分布に従う変数についての簡単な計算ができる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の第5章、6.3を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
5/20 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】正規分布とその応用  【サブ・タイトル】正規分布は統計学の強力な武器である！  【キーワード】標準正規分布、Zスコア、確率とパーセント点  【到達目標】正規分布表を利用した計算ができる。</p> <p>【サブ・タイトル】酔っぱらいはどこに辿り着くか？  【キーワード】2項分布の正規近似、連続修正  【到達目標】2項分布の正規近似を用いた確率計算ができる。連続修正を説明できる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の6.3を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
5/27 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】変数の和の確率分布  【サブ・タイトル】2次元の確率分布  【キーワード】同時分布と周辺分布、共分散と相関係数  【到達目標】2次元の確率分布と2変数の相関係数が計算できる。</p> <p>【サブ・タイトル】多変数の和の確率分布  【キーワード】期待値・分散の加法性、正規分布の再生性  【到達目標】独立な正規変数の和の確率分布がわかる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の第7章を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。

6/3 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 中間テスト  【サブ・タイトル】 前期前半の復習  【キーワード】 分布の代表値と変動、確率、確率分布、変数の和の分布  【到達目標】 データの整理、確率分布による確率計算ができる。ベイズの定理を応用できる。</p>	試験、講義	<p>(予習) 配布プリント、manabaのドリルなどを見直しておくこと。  (復習) 試験で分からなかった箇所を復習しておくこと。</p>
6/10 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 標本分布と統計的推測  【サブ・タイトル】 標本データから母集団を推測する  【キーワード】 母集団と標本、無作為標本、標本平均の分布、中心極限定理  【到達目標】 中心極限定理が説明できる。標本平均の確率分布が説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 母比率の区間推定  【キーワード】 標本比率の分布、標準誤差、信頼区間  【到達目標】 母比率の区間推定が行える。標準誤差を説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の8章、9.6を事前に勉強しておくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
6/17 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 母平均の区間推定  【サブ・タイトル】 データから母平均を推定する  【キーワード】 標準誤差と標本サイズ、大標本  【到達目標】 大標本での母平均の区間推定が行える。標本の大きさと誤差の関係が説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 少ないデータを生かす  【キーワード】 小標本、t分布、自由度  【到達目標】 正規分布とt分布の関係を説明できる。t分布を用いた区間推定ができる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の9.1-9.4を事前に勉強しておくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
6/24 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 仮説検定  【サブ・タイトル】 p値とはなにか？  【キーワード】 帰無仮説、対立仮説、p値、有意水準、棄却域  【到達目標】 大標本の場合の母比率、母平均の仮説検定が行える。p値の意味が説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 母平均の検定  【キーワード】 t検定  【到達目標】 小標本の場合の母平均の仮説検定が行える。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の10.1-10.3を事前に勉強しておくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>

7/1 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】2群比較 (I)  【サブ・タイトル】連続データの2群比較 (大標本)  【キーワード】母平均の差の推定・検定、Z 検定  【到達目標】母平均の差の推定・検定 (大標本) が行える。</p> <p>【サブ・タイトル】2値データの2群比較  【キーワード】母比率の差の推定・検定、Z 検定  【到達目標】母比率の差の推定・検定 (大標本) が行える。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の9.7、9.8、10.4、10.5を事前に勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
7/8 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】2群比較 (II)  【サブ・タイトル】連続データの2群比較 (小標本)  【キーワード】独立2標本の t 検定、対応のある t 検定  【到達目標】2群の平均値の差の推定・検定 ができる。(小標本)</p> <p>【サブ・タイトル】バイアスとはなにか?  【キーワード】ランダムエラーとバイアス、因果関係と交絡、層別、ランダム化比較試験  【到達目標】バイアスを説明できる。因果関係と交絡について説明できる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の9.7、10.4を事前に勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
7/15 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】2群比較 (III)  【サブ・タイトル】検出力と標本サイズ  【キーワード】<math>\alpha</math>エラー、<math>\beta</math>エラー、検出力、標本サイズ、p値の意味  【到達目標】標本サイズ、標準誤差、検出力の関係を説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】多重比較の問題  【キーワード】ボンフェローニ法  【到達目標】多重比較の問題とその対処法を説明できる。</p>	講義・演習	(予習) 多重比較の問題とは何か、各自調べておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。

7/22 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 前期後半の復習と補足  【サブ・タイトル】 重要事項の復習  【キーワード】 母集団と標本、中心極限定理、区間推定と仮説検定、ランダムエラーとバイアス  【到達目標】 標本から母集団を推測する際の論理を説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 推定と検定（補足）  【キーワード】 母平均の差の推定・検定、<math>p</math>値と棄却域  【到達目標】 母比率・母平均の差の推定・検定が行える。検定の過誤について説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 前期の学習事項を見直しておくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
9/16 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 2群比較 (IV)  【サブ・タイトル】 ノンパラメトリック検定  【キーワード】 Mann-WhitneyのU検定、Wilcoxonの符号付順位検定  【到達目標】 Mann-WhitneyのU検定が行える。Wilcoxonの符号付順位検定が行える。</p> <p>【サブ・タイトル】 2群比較と研究デザイン  【キーワード】 RCT、マッチング、交絡因子  【到達目標】</p>	講義・演習	<p>(予習) Mann-WhitneyのU検定とは何か、各自調べておくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
9/30 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 2群比較 (v)  【サブ・タイトル】 <math>2 \times 2</math> 分割表の検定  【キーワード】 カイ2乗検定、マクネマー検定、リスク比・オッズ比  【到達目標】 対応の有無に従って正しい統計処理が行える</p> <p>【サブ・タイトル】 2群比較と因果関係  【キーワード】 交絡因子、バイアス、研究デザイン  【到達目標】 研究デザインとバイアスについて説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の10.6を事前に読んでおくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
10/7 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 カイ2乗検定とF検定  【サブ・タイトル】 適合度検定と独立性の検定  【キーワード】 カイ2乗分布、自由度、適合度検定、独立性の検定  【到達目標】 適合度検定、独立性の検定が行える。自由度を正しく同定できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 分散の2群比較  【キーワード】 F分布、F検定  【到達目標】 2標本の分散の比の検定が行える。自由度を正しく同定できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の10.6を事前に読んでおくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>

10/14 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】線形代数入門 (I)</p> <p>【サブ・タイトル】行列とはなにか？</p> <p>【キーワード】行列の演算、逆行列、行列式、ベクトルと行列</p> <p>【到達目標】<math>2 \times 2</math>の行列の演算が出来る。行列を用いて1次方程式が解ける。</p>	講義・演習	<p>(予習) 行列が何に用いられるか調べておく。</p> <p>(復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
10/21 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】線形代数入門 (II)</p> <p>【サブ・タイトル】固有ベクトルと固有値</p> <p>【キーワード】線形変換と固有ベクトル、ベクトル空間、行列のランク</p> <p>【到達目標】<math>2 \times 2</math>の行列の固有値、固有ベクトルを求められる。 線形変換の幾何学的意味が説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 行列の固有値とはなにか、調べておく。</p> <p>(復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
10/28 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】線形代数入門 (III)</p> <p>【サブ・タイトル】線形代数の応用</p> <p>【キーワード】固有値と固有ベクトル、行列のランク、多変量モデル、主成分分析</p> <p>【到達目標】<math>n \times n</math>行列の固有値、固有ベクトルの意味が説明できる。多変量モデルの行列表示が理解できる。主成分分析の意味が説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 主成分分析とはなにか、調べておく。</p> <p>(復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
11/4 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】中間テスト</p> <p>【サブ・タイトル】後期前半の復習</p> <p>【キーワード】様々な区間推定、仮説検定、ベクトルと行列</p> <p>【到達目標】様々な推定と検定を適切に行える。行列を用いた計算が行える。</p>	試験・講義	<p>(予習) これまでの練習問題、manabaのドリルなどを見直す。</p> <p>(復習) 試験で分からなかった箇所を復習しておくこと。</p>

11/11 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】分散分析  【サブ・タイトル】平均値の多群比較  【キーワード】1元配置分散分析 (One-way ANOVA)、分散分析表  【到達目標】分散分析の考え方を説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】要因が2種類ある場合の平均値の比較  【キーワード】2元配置分散分析 (Two-way ANOVA)、交互作用  【到達目標】分散分析表の解釈ができる。</p>	講義・演習	<p>(予習) F検定、ANOVAとは何か、各自調べて予習しておく。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
11/25 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】単回帰モデル  【サブ・タイトル】ある変量から他の変量を予測する。  【キーワード】単回帰モデル、最小二乗法、回帰直線とSDライン、平均への回帰  【到達目標】単回帰モデルと回帰係数を説明できる。データから回帰直線が求められる。</p> <p>【サブ・タイトル】回帰モデルの誤差  【キーワード】残差、決定係数、誤差の推定とRMS E、予測区間  【到達目標】残差と決定係数の意味が分かる。回帰モデルによる予測の誤差を求められる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の11.1-11.3を事前に勉強しておくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
12/2 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】重回帰モデル  【サブ・タイトル】重回帰モデル  【キーワード】交絡因子の調整、重回帰モデル、ダミー変数  【到達目標】回帰係数の誤差を理解する。重回帰モデルによる交絡因子の調整について説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】エクセルのアウトプット  【キーワード】補正R<sup>2</sup>乗値、回帰係数、p値と信頼区間  【到達目標】Excelによる重回帰分析のアウトプットを正しく解釈できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 重回帰モデルとは何か、各自調べて予習しておく。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
12/9 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】ロジスティック回帰モデル  【サブ・タイトル】ロジスティック回帰モデル  【キーワード】2値データ、調整オッズ比、p値と信頼区間  【到達目標】統計ソフトによるロジスティック回帰分析のアウトプットを正しく解釈できる。</p> <p>【サブ・タイトル】ロジスティック回帰モデルの応用  【キーワード】医学研究  【到達目標】実際の医学研究での応用例について説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) ロジスティック回帰とはなにか、各自調べておくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>

12/16 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】生存時間解析入門  【サブ・タイトル】KM曲線とログランク検定  【キーワード】生存曲線、ハザード、カプランマイヤー法、ログランク検定  【到達目標】ハザードの意味を説明できる。生存曲線の描き方を説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】Cox比例ハザードモデル  【キーワード】Cox比例ハザードモデル、p値と信頼区間、調整ハザード比  【到達目標】統計ソフトによるCox比例ハザードモデルによる分析のアウトプットを正しく解釈できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 生存曲線とはなにか、各自調べておくこと。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
12/23 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】医療統計の実際  【サブ・タイトル】様々な統計手法  【キーワード】データの種類と解析手法  【到達目標】様々なアウトカムに対して適切な解析手法を選択できる。</p> <p>【サブ・タイトル】統計解析結果の理解  【キーワード】統計解析、研究デザイン、Critical Appraisal  【到達目標】統計解析の結果を批判的な視点で読み解くことができる。</p>	講義・演習	<p>(予習) これまでに習った様々な解析手法について整理しておく。  (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
1/6 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】これまでの復習  【サブ・タイトル】期末試験プレテスト  【キーワード】区間推定、仮説検定、2群間・多群間の比較、回帰分析、多変量モデル、ベクトルと行列  【到達目標】推測統計の基礎的手法を用いることができる。多変量モデルのアウトプットの解釈ができる。行列を用いた簡単な計算が行える。</p>	演習・講義	<p>(予習) これまでの練習問題、manabaのドリルなどを見直しておくこと。</p>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	統計解析への数学	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Statistical Analysis	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	奥野 浩	ナンバリング	
担当教員	奥野 浩、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>統計学とその基礎となる数学を学ぶ。  主たる内容は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計データの取り扱い（代表値とばらつき、ヒストグラム、散布図）</li> <li>・統計学の数学的基礎（確率と統計、確率分布、正規分布、中心極限定理）</li> <li>・統計的推測（母集団と標本、バイアス、点推定と区間推定、仮説検定、回帰分析）</li> </ul> <p>また、統計学が医学でどのように用いられているかを学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 確率論の基礎概念（乗法定理、ベイズの定理、確率分布、中心極限定理）を説明できる。</li> <li>2. 確率分布の概念について説明でき、基本的な分布を使って確率計算ができる。</li> <li>3. 2変数の相関と単回帰分析が説明できる。</li> <li>4. 母平均・母比率の信頼区間が計算できる。</li> <li>5. 母平均・母比率についての仮説検定が行える。</li> <li>6. <math>\chi^2</math>乗検定を行える。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義の開始前に、クラス分け試験を行います。後期開始時にクラスの変更を認める場合があります。</li> <li>・ 授業では受け身にならずに積極的に発言・質問をすること。</li> <li>・ 各授業の内容はそれ以前の授業の内容を前提とするので小まめに復習すること。</li> <li>・ 統計解析に用いられる数学をすべて理解するのは難しいが、できるだけ論理の流れを理解するように心がけてもらいたい。</li> </ul>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	定期試験（60%）、小テスト（30%）、課題および授業への参加等（10%）を総合的に評価する。
------	---

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確率論の基礎概念の理解（定期試験、小テスト、課題等）</li> <li>・ 確率分布の概念とそれを利用した確率計算（定期試験、小テスト、課題等）</li> <li>・ 2変数の相関と単回帰分析（定期試験、小テスト、課題等）</li> <li>・ 信頼区間の概念の理解と計算（定期試験、小テスト、課題等）</li> <li>・ 仮説検定の概念の理解と計算（定期試験、小テスト、課題等）</li> </ul>
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）や試験に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。
--

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
統計解析入門[第3版]	篠崎信雄・竹内秀一	サイエンス社	978-4-7819-1497-8	

参考文献

<p>「医療統計力」を鍛える！ 千葉康敬 著 総合医学社          ここから学ぼう！図解医療統計 本気で統計を始めたい人のための入門書          柳澤 尚武、西崎 祐史（共著）、代田 浩之（監修） 総合医学社          An introduction to medical statistics 4th ed. M. Bland, Oxford University Press</p>
---

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	対面 金曜日 12:20-13:20 センチュリータワー南5階教員室 mail h-okuno[at]juntendo.ac.jp [at]を@に修正してください			
担当教員の実務経験				
備考	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する可能性がある。			
4/15 (金)	奥野 浩	【授業タイトル】イントロダクション 【サブ・タイトル】統計学とはなんだろうか？、高校までのまとめ 【キーワード】記述統計と推測統計、確率と統計 【到達目標】本講義のテーマと目標を理解する。	講義、演習 【注意点】指定教科書を持参すること。	(予習) 指定教科書の第1章を勉強しておくこと。(2時間) (復習) 本日の内容について復習しておくこと。(1時間)
4/22 (金)	奥野 浩	【授業タイトル】記述統計と推測統計 【サブ・タイトル】2つの統計、確率で表す 【キーワード】記述統計、推測統計、確率と統計 【到達目標】 ・記述統計と推測統計との差を説明できる。 ・確率的な考え方を理解する。	講義 【注意点】指定教科書を持参すること。	(予習) 指定教科書の第2章2節までを勉強しておくこと。(2時間) (復習) 講義に出てきた用語についてまとめておくこと。(1時間)

5/6 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】統計データのまとめ方1  【サブ・タイトル】量的データの整理、統計とグラフ  【キーワード】質的データと量的データ、統計量、箱ひげ図、度数分布表、ヒストグラム  【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データから統計量が計算できる。</li> <li>・度数分布表から平均値と標準偏差を計算できる。</li> </ul>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第2章までを勉強しておくこと。(2時間)  (復習) 講義に出てきた用語についてまとめておくこと。(1時間)</p>
5/13 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】統計データのまとめ方2  【サブ・タイトル】2つの量の関係を探る、相関と因果  【キーワード】分割表、散布図、関係数、層別  【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オッズ比や相関係数などの定義と意味を理解する。</li> <li>・相関と因果関係の違いを理解する。</li> </ul>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第3章を勉強しておくこと。(2時間)  (復習) 講義に出てきた用語についてまとめておくこと。(1時間)</p>
5/20 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】確率の計算  【サブ・タイトル】ベイズの定理、条件付き確率  【キーワード】集合と確率、加法定理、条件付き確率、乗法公式  【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加法定理、条件付き確率を説明できる。</li> <li>・乗法公式を説明できる。</li> </ul>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第4章を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) これまでの内容を復習しておくこと。(2時間)</p>
5/27 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】小試験1  【サブ・タイトル】ここまでのまとめ  【キーワード】平均、分散、標準偏差、確率  【到達目標】</p> <p>【授業タイトル】確率分布  【サブ・タイトル】確率分布からわかること  【キーワード】確率変数、確率関数、確率密度関数、経験的確率、確率モデル  【到達目標】確率変数の意味を説明できる。</p>	<p>試験、講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第5章を勉強しておくこと。(2時間)  (復習) 講義に出てきた用語についてまとめておくこと。(1時間)</p>

6/3 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】確率変数の平均値と標準偏差  【サブ・タイトル】母集団の平均値  【キーワード】確率分布 確率変数の平均値と標準偏差  【到達目標】確率変数の平均値、分散、標準偏差の定義を説明できる。また、与えられた確率変数の平均値等を計算できる。</p>	<p>講義、演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第5章を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 確率変数の平均値と分散の求め方を練習すること。(2時間)</p>
6/10 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】二項分布とポアソン分布  【サブ・タイトル】正しいコインは10回投げると5回表がでるのか  【キーワード】ベルヌーイ試行、二項分布、ポアソン分布  【到達目標】  ・二項分布の性質を説明できる。  ・ポアソン分布について理解する。</p>	<p>講義  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の6.1, 6.2を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 二項分布の平均値と分散の求め方についてまとめること。(2時間)</p>
6/17 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】正規分布とその応用  【サブ・タイトル】正規分布を利用した確率計算  【キーワード】正規分布、誤差関数、標準偏差とパーセント点、二項分布の正規近似連続修正  【到達目標】二項分布の正規近似連続修正</p>	<p>講義  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の6.3を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 正規分布を利用した確率計算についてまとめること。(2時間)</p>
6/24 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】多次元の確率分布  【サブ・タイトル】確率変数の和の分布  【キーワード】同時分布と周辺分布、共分散と相関係数、期待値と分散の加法性  【到達目標】2次元確率分布と2変数の相関の関係を理解する。多変数の和の平均値、分散の求め方がわかる。相関係数を求められる。</p>	<p>講義  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の7章を勉強しておくこと。(2時間)  (復習) 共分散の求め方についてまとめること。(1時間)</p>

7/1 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】小試験2  【サブ・タイトル】確率分布  【キーワード】確率分布からの計算  【到達目標】</p> <p>【授業タイトル】標本分布  【サブ・タイトル】母集団と標本  【キーワード】標本抽出  【到達目標】統計的推測について説明できる。</p>	<p>試験、講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書第5-7章を復習しておくこと。(1時間)  (復習) 小試験で解けなかった部分についてテキストを読み直すこと。(2時間)</p>
7/8 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】標本分布と統計的推測  【サブ・タイトル】標本データから母集団を推測する  【キーワード】標本平均の分布、標準誤差、大数の法則、中心極限定理  【到達目標】標本分布の概念を理解する。中心極限定理の意味を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の8.4までを勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 中心極限定理についてまとめておくこと。(2時間)</p>
7/15 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】統計的推測  【サブ・タイトル】母比率の区間推定  【キーワード】区間推定、仮説検定、二項分布の正規近似、標準誤差  【到達目標】区間推定と仮説検定について説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の8.5を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 標準誤差の求め方についてまとめておくこと。(2時間)</p>

7/22 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】前期のまとめ  【サブ・タイトル】母比率の区間推定の計算  【キーワード】母比率の区間推定、信頼係数、信頼区間、二項分布の正規近似、標準誤差  【到達目標】信頼区間の意味を説明できる。母比率の区間推定ができる。</p>	<p>演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の8.5を事前に勉強しておくこと。(1時間)  (復習) これまでの内容についてまとめておくこと。(2時間)</p>
9/16 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】前期の復習  【サブ・タイトル】前期試験講評  【キーワード】標本平均と標本分散、確率変数の平均、分散  【到達目標】正規分布を利用した計算ができる。</p>	<p>講義  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) これまでの内容についてまとめておくこと。(1時間)  (復習) 前期試験で間違った問題を解きなおすこと。(2時間)</p>
9/30 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】比率の区間推定と平均値の区間推定  【サブ・タイトル】比率の差の区間推定  【キーワード】正規変数の和の分布  【到達目標】点推定と不偏推定量の概念を説明できる。標本の大きさと標準誤差の関係を理解する。</p>	<p>講義、演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第9章を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 大標本の場合の区間推定についてまとめること。(2時間)</p>
10/7 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】平均値の区間推定2  【サブ・タイトル】t分布を利用した区間推定  【キーワード】小標本、スチューデントのt分布、自由度  【到達目標】正規分布とカイ2乗分布、t分布の関係を理解する。t分布を用いた区間推定ができる。</p>	<p>講義、演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第9章を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) t分布を使った区間推定について求めること。(2時間)</p>

10/14 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】統計的推測のまとめ  【サブ・タイトル】母比率の区間推定、母平均の区間推定  【キーワード】二項分布の正規近似、標準誤差、中心極限定理、標準誤差  【到達目標】さまざまな区間推定を適切に行える。</p>	<p>演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(復習) 区間推定についてまとめておくこと。(3時間)</p>
10/21 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】小試験3  【サブ・タイトル】推定の試験  【キーワード】  【到達目標】仮説検定について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】仮説検定  【サブ・タイトル】帰無仮説とはなにか？  【キーワード】帰無仮説、対立仮説  【到達目標】</p>	<p>試験、講義  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書第10章を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 仮説検定概要についてまとめること。(2時間)</p>
10/28 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】平均値の仮説検定(大標本)  【サブ・タイトル】大標本の場合の母平均の検定  【キーワード】帰無仮説、対立仮説、有意水準、棄却域、第1種の誤り、第2種の誤り  【到達目標】仮説検定の手続きと論理を説明できる。統計的有意性の意味を説明できる。</p>	<p>講義、演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書第10章を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 大標本の場合の検定についてまとめておくこと。(2時間)</p>
11/4 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】平均値の仮説検定  【サブ・タイトル】大標本の平均値の差の検定  【キーワード】正規分布、標準誤差  【到達目標】区間推定と検定の関係が説明できる。p値を求められる。</p>	<p>講義、演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書第10章を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) p値の求め方についてまとめておくこと。(2時間)</p>

11/11 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】平均値の検定（小標本）  【サブ・タイトル】小標本の場合の平均値の検定  【キーワード】 t 分布  【到達目標】  ・小標本の場合の平均値の検定ができる。</p>	<p>講義、演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>（予習）指定教科書の10.2.3, 10.4.2を事前に勉強しておくこと。（1時間）  （復習）小標本の場合の条件についてまとめておくこと。（2時間）</p>
11/25 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】関連性の検定  【サブ・タイトル】カイ2乗検定  【キーワード】 適合度検定、独立性の検定  【到達目標】  ・適合度検定が行える。  ・独立性の検定が行える。</p>	<p>講義、演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>（予習）指定教科書の10.6を勉強しておくこと。（1時間）  （復習）<math>\chi^2</math>乗検定についてまとめておくこと。（2時間）</p>
12/2 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】検定のまとめ  【サブ・タイトル】平均値の検定、比率の検定、カイ2乗検定  【キーワード】 標準誤差、正規分布、t分布、期待度数、<math>\chi^2</math>乗分布  【到達目標】  ・正規分布を利用した検定ができる  ・<math>\chi^2</math>乗検定ができる。</p>	<p>演習  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>（復習）指定教科書の10章を復習しておくこと。（3時間）</p>
12/9 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】小試験4  【サブ・タイトル】仮説検定の試験  【キーワード】 z検定、t検定、カイ2乗検定  【到達目標】 検定の種類を理解し、使い分けができるようになる。</p>	<p>試験、講義  【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>（予習）仮説検定について復習しておくこと。（3時間）</p>

12/16 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 回帰分析1  【サブ・タイトル】 1つの変数を他の変数で説明する。  【キーワード】 単回帰モデル、回帰直線、最小二乗法、残差、決定係数  【到達目標】 単回帰モデルと回帰係数を説明できる。残差と決定係数の意味がわかる。最小二乗法を説明できる。</p>	<p>講義  【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第11章を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 単回帰分析についてまとめておくこと。(2時間)</p>
12/23 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 回帰分析2  【サブ・タイトル】 回帰式を求める、回帰式の計算  【キーワード】 回帰係数、決定係数  【到達目標】  ・回帰係数を求める方法を理解する。  ・決定係数を求められる。</p>	<p>講義、演習  【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第11章を勉強しておくこと。(1時間)  (復習) 最小二乗法を使った回帰式の求め方についてまとめておくこと。(2時間)</p>
1/6 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 後期のまとめ  【サブ・タイトル】 ・区間推定 ・仮設検定 ・回帰分析  【キーワード】 標準誤差、信頼区間、帰無仮説、対立仮説、有意水準、棄却域、p値、回帰直線、最小二乗法、決定係数  【到達目標】 問題の内容を理解して、適切な処理ができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>後期の内容を復習しておくこと。(3時間)</p>





--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	物理学入門	授業形態	実験・実習
英語科目名	Introduction to Physics	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	田中 和廣	ナンバリング	
担当教員	田中 和廣、清 裕一郎、矢田 雅哉、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>人体の動きから人体内部の生命現象に至るまで、これらを惹き起こす元になっているのは物質とその相互作用であり、これらは物理学の法則に従っている。また、医療の現場である病院は医療機器に満ちていて、これらの医療機器も物理学の原理に従って動作しているのである。この授業では、生命とその周囲で起こる様々な現象の、最も基礎の部分を支えている物理学の原理・法則について学び、それらが医療の世界でも重要な役割を果たしていることに理解を深めることを目標とする。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]  実習を通じて、物理学の基本的な概念、運動と加速度、エネルギー、電流、電場、磁場、振動と波、放射線等の基礎について学ぶ。  [到達目標]  1. 物理実験の目的と原理を理解した上で古典物理学への入門的な実験を行い、データを適正に取り扱い、レポートにまとめる。  2. 物体の運動の基本法則を理解し、等加速度運動の加速度を求める。  3. 電気力と電場を理解し、クーロンの法則を求める。  4. 音速、周波数、周期といった波の基本的な性質を説明できる。  5. 放射線の由来と基本的性質を理解して放射線を計測し、物質による放射線の吸収特性を説明できる。</p>		
授業の位置づけ	(後日教務課にて入力)		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	(後日教務課にて入力)		

履修上の注意、履修要件	<p>1. 本学入学試験で物理を受験しなかった者（で尚且つ高校で物理を履修しなかった者）は、この科目を必ず履修しなければならない。物理受験者も履修できる。</p> <p>2. 実験室に必ずテキスト、実験ノートおよび指定参考書を持参し、実験中に生じた疑問の解決に役立てるようにする。また、グループ内での議論により問題解決への糸口を見出す努力も大切である。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法：予習レポート、実習レポート、参加態度を総合して評価する
------	------------------------------------

評価基準	成績評価基準：予習確認テスト、予習・実習レポートと実習態度等を基に、理解度と学習目標の達成度を総合的に判定する。
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

実習前に予習事項の理解度を確認する小テストを行い、予習レポートの内容とその理解に関してフィードバックを行う。実習レポートの内容が不十分な場合は、修正と再提出を指示する。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【テキスト】  
 自然科学総合実習物理 （順天堂大学物理学教室編）

【指定参考書】  
 「生命科学のための基礎シリーズ 物理」 大島泰郎 監修（実教出版）

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>小岩 義典（実験A）： 火曜 11:00 - 17:00 本郷キャンパス7号館 3階生理系実習室            矢田 雅哉（実験B）： 月曜 12:30 - 15:30 さくらキャンパス1号館3階1315号室: m-yata [at] juntendo.ac.jp            清 裕一郎（実験C）： 木曜 12:30 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1316号室            田中 和廣（実験D）： 火曜 11:00 - 17:00 本郷キャンパス7号館 3階生理系実習室、 木曜 09:00 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1314号室</p> <p>メールアドレスは [at] を@に変換してください。</p>			
担当教員の実務経験	-			
備考	<p>1. 予習レポート            実験の目的、基礎となる理論、実験装置、実験手順をまとめて、指定期日までに提出すること。</p> <p>2. 実習レポート            実験の測定データの表、測定データをまとめたグラフ、得られた結果を明記し、結果についての考察をまとめて、指定期日までに提出すること。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】            実習前に予習レポートの作成を行い実験に備えること、実習後は収集したデータを解析し考察をまとめて実習レポートを完成させること。            1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/12 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】[前番]実習講義1            【サブ・タイトル】「A.運動論、B.電気力、C.オシロスコープと波、D.放射線」のいずれか二つの講義            【キーワード】物理実習の目的、内容            【到達目標】実験の目的、原理を理解する。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実習テキスト、指定参考書の関連事項を予習しておくこと。            復習) 講義で配布された資料等を復習すること。</p>
4/19 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】[前番]実習講義2            【サブ・タイトル】「A.運動論、B.電気力、C.オシロスコープと波、D.放射線」のいずれか二つの講義            【キーワード】物理実習の目的、内容            【到達目標】実験の目的、原理を理解する。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実習テキスト、指定参考書の関連事項を予習しておくこと。            復習) 講義で配布された資料等を復習すること。</p>

04/26 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】[前番]A. 運動論の基礎  【サブ・タイトル】運動の記述と等加速度運動  【キーワード】位置、速度、加速度、地球の重力、力、質量、自由落下、重力加速度  【到達目標】運動の基本法則を理解し、重力下における二つの等加速度運動（斜面・落下）の加速度を求める。</p>	<p>実習  【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実験に関する予習レポートを作成し、期日までに提出すること。  復習) 実験データを解析し実習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p>
5/10 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】[前番]B. 電気力と電場  【サブ・タイトル】静電気を測定しよう  【キーワード】クーロンの法則、電場、ヴァンデグラフ、電気力線、力の釣り合い  【到達目標】電気力と電場を理解し、クーロンの法則を求める。</p>	<p>実習  【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実験に関する予習レポートを作成し、期日までに提出すること。  復習) 実験データを解析し実習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p>
5/17 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】[前番]C. オシロスコープによる波形観測  【サブ・タイトル】物理現象発振器による波形、周波数測定  【キーワード】発振器による波形、周波数測定、波形の加算、うなり、位相変化  【到達目標】オシロスコープの使い方を習得し、波の性質を学ぶ。</p>	<p>実習  【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実験に関する予習レポートを作成し、期日までに提出すること。  復習) 実験データを解析し実習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p>
5/24 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】[前番]D. 放射線 (<math>\gamma</math>線)  【サブ・タイトル】放射線は物質によりどのように吸収されるか  【キーワード】放射性元素、原子核の崩壊、<math>\alpha</math>・<math>\beta</math>・<math>\gamma</math>線、ガイガーカウンター、吸収係数、放射線計測と統計誤差  【到達目標】放射線を理解し、<math>\gamma</math>線の吸収曲線を求める。</p>	<p>実習  【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実験に関する予習レポートを作成し、期日までに提出すること。  復習) 実験データを解析し実習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p>

5/31 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	[前番]実習予備日		










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	物理学入門	授業形態	実験・実習
英語科目名	Introduction to Physics	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	田中 和廣	ナンバリング	
担当教員	田中 和廣、清 裕一郎、矢田 雅哉、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>人体の動きから人体内部の生命現象に至るまで、これらを惹き起こす元になっているのは物質とその相互作用であり、これらは物理学の法則に従っている。また、医療の現場である病院は医療機器に満ちていて、これらの医療機器も物理学の原理に従って動作しているのである。この授業では、生命とその周囲で起こる様々な現象の、最も基礎の部分を支えている物理学の原理・法則について学び、それらが医療の世界でも重要な役割を果たしていることに理解を深めることを目標とする。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]  実習を通じて、物理学の基本的な概念、運動と加速度、エネルギー、電流、電場、磁場、振動と波、放射線等の基礎について学ぶ。</p> <p>[到達目標]  1. 物理実験の目的と原理を理解した上で古典物理学への入門的な実験を行い、データを適正に取り扱い、レポートにまとめる。  2. 物体の運動の基本法則を理解し、等加速度運動の加速度を求める。  3. 電気力と電場を理解し、クーロンの法則を求める。  4. 音速、周波数、周期といった波の基本的な性質を説明できる。  5. 放射線の由来と基本的性質を理解して放射線を計測し、物質による放射線の吸収特性を説明できる。</p>		
授業の位置づけ	(後日教務課にて入力)		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	(後日教務課にて入力)		

履修上の注意、履修要件	<p>1. 本学入学試験で物理を受験しなかった者（で尚且つ高校で物理を履修しなかった者）は、この科目を必ず履修しなければならない。物理受験者も履修できる。</p> <p>2. 実験室に必ずテキスト、実験ノートおよび指定参考書を持参し、実験中に生じた疑問の解決に役立てるようにする。また、グループ内での議論により問題解決への糸口を見出す努力も大切である。</p> <p>3. コロナ感染症対策のため、実習中はマスク、フェイスガード、グローブを着用し、不必要な会話は控えること。また実習室の入退室の際にはアルコール消毒をすること。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法：予習レポート、実習レポート、参加態度を総合して評価する
------	------------------------------------

評価基準	成績評価基準：予習確認テスト、予習・実習レポートと実習態度等を基に、理解度と学習目標の達成度を総合的に判定する。
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

実習前に予習事項の理解度を確認する小テストを行い、予習レポートの内容とその理解に関してフィードバックを行う。実習レポートの内容が不十分な場合は、修正と再提出を指示する。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【テキスト】  
 自然科学総合実習物理 （順天堂大学物理学教室編）

【指定参考書】  
 「生命科学のための基礎シリーズ 物理」 大島泰郎 監修（実教出版）

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>小岩 義典（実験A）： 火曜 11:00 - 17:00 本郷キャンパス7号館 3階生理系実習室            矢田 雅哉（実験B）： 月曜 12:30 - 15:30 さくらキャンパス1号館3階1315号室: m-yata [at] juntendo.ac.jp            清 裕一郎（実験C）： 木曜 12:30 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1316号室            田中 和廣（実験D）： 火曜 11:00 - 17:00 本郷キャンパス7号館 3階生理系実習室、 木曜 09:00 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1314号室</p> <p>メールアドレスは [at] を@に変換してください。</p>			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>1. 予習レポート            実験の目的、基礎となる理論、実験装置、実験手順をまとめて、指定期日までに提出すること。</p> <p>2. 実習レポート            実験の測定データの表、測定データをまとめたグラフ、得られた結果を明記し、結果についての考察をまとめて、指定期日までに提出すること。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】            実習前に予習レポートの作成を行い実験に備えること、実習後は収集したデータを解析し考察をまとめて実習レポートを完成させること。            1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
6/7 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】【後番】実習講義1            【サブ・タイトル】「A.運動論、B.電気力、C.オシロスコープと波、D.放射線」のいずれか二つの講義            【キーワード】物理実習の目的、内容            【到達目標】実験の目的、原理を理解する。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実習テキスト、指定参考書の関連事項を予習しておくこと。            復習) 講義で配布された資料等を復習すること。</p>
6/14 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】【後番】実習講義2            【サブ・タイトル】「A.運動論、B.電気力、C.オシロスコープと波、D.放射線」のいずれか二つの講義            【キーワード】物理実習の目的、内容            【到達目標】実験の目的、原理を理解する。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実習テキスト、指定参考書の関連事項を予習しておくこと。            復習) 講義で配布された資料等を復習すること。</p>

6/21 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】【後番】A. 運動論の基礎</p> <p>【サブ・タイトル】運動の記述と等加速度運動</p> <p>【キーワード】位置、速度、加速度、地球の重力、力、質量、自由落下、重力加速度</p> <p>【到達目標】運動の基本法則を理解し、重力下における二つの等加速度運動（斜面・落下）の加速度を求める。</p>	<p>実習</p> <p>【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実験に関する予習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p> <p>復習) 実験データを解析し実習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p>
6/28 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】【後番】B. 電気力と電場</p> <p>【サブ・タイトル】静電気を測定しよう</p> <p>【キーワード】クーロンの法則、電場、ヴァンデグラフ、電気力線、力の釣り合い</p> <p>【到達目標】電気力と電場を理解し、クーロンの法則を求める。</p>	<p>実習</p> <p>【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実験に関する予習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p> <p>復習) 実験データを解析し実習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p>
7/5 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】【後番】C. オシロスコープによる波形観測</p> <p>【サブ・タイトル】物理現象発振器による波形、周波数測定</p> <p>【キーワード】発振器による波形、周波数測定、波形の加算、うなり、位相変化</p> <p>【到達目標】オシロスコープの使い方を習得し、波の性質を学ぶ。</p>	<p>実習</p> <p>【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実験に関する予習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p> <p>復習) 実験データを解析し実習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p>
7/12 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	<p>【授業タイトル】【後番】D. 放射線 (<math>\gamma</math>線)</p> <p>【サブ・タイトル】放射線は物質によりどのように吸収されるか</p> <p>【キーワード】放射性元素、原子核の崩壊、<math>\alpha</math>・<math>\beta</math>・<math>\gamma</math>線、ガイガーカウンター、吸収係数、放射線計測と統計誤差</p> <p>【到達目標】放射線を理解し、<math>\gamma</math>線の吸収曲線を求める。</p>	<p>実習</p> <p>【注意点】テキスト・ラボノートを持参すること。</p>	<p>予習) 実験に関する予習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p> <p>復習) 実験データを解析し実習レポートを作成し、期日までに提出すること。</p>

7/19 (火)	田中 和廣 清 裕一郎 矢田 雅哉 小岩 義典	[後番]実習予備日		










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	定性分析	授業形態	実験・実習
英語科目名	Chemistry: Heliotropical Analysis	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	馬場 猛	ナンバリング	
担当教員	馬場 猛、志村 絵理、石原 量、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>我々の身の回りには物質は、一般的に混合物である。学問分野において混合物を扱う場合、その成分と量を調べる必要がある。成分を決定する方法を定性分析、量を決定する方法を定量分析という。特に金属イオンの混合物からそれぞれのイオンをその反応性の違いに基づいて分離していく定性分析の手法は、生体物質の系統的な分析法にも通じるものであり、自然科学の系統性を学ぶ基本的な手法として重要である。本実習では廃棄物の環境に及ぼす影響を考え、種々の試薬の使用量が少ない半微量法(セミマイクロ法)で、0℃～100℃付近の間で行われる化学変化による金属イオンの分離、具体的にはI族からIV族に所属する、Ag<sup>+</sup>、Pb<sup>2+</sup>、Bi<sup>3+</sup>、Cu<sup>2+</sup>、Fe<sup>2+</sup>(Fe<sup>3+</sup>)、Mn<sup>2+</sup>、Co<sup>2+</sup>、Ni<sup>2+</sup>、Zn<sup>2+</sup>の9種の金属イオンについての系統分析を行う。</p>		
到達目標	<p>【一般目標】 実験・観察を通して、物質の性質や反応といった化学的知識をより深く認識し、それに基づいて物質を分析する化学的思考を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 金属イオンの定性分析の基本的知識を身につけることができる。</li> <li>2. 酸・アルカリの希釈、沈殿操作、濾過操作など基礎的実験技術や実験器具の扱いを身につけることができる。</li> <li>3. 化学実験における安全（服装、薬品の扱いなど）に注意して実験できる。</li> <li>4. 適切な廃液処理を行うことによる環境配慮の姿勢を身につけることができる。</li> <li>5. 実験ノートを書き、実験結果を整理し、レポートにまとめて報告することができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 白衣およびフェイスシールドを着用の上、決められた注意事項を必ず守り実習を行うこと。</li> <li>— 本実習はグループ実験となるので、共同実験者が同じ程度に理解できるように互いに協力して実験を行うように心がけること。</li> <li>— 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</li> </ul>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	成績は試験（未知試料の分析）（40%）、実習態度（20%）、実験ノート（20%）、レポート（20%）を総合的に評価する。
------	--

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 金属イオンの反応をを説明することができる。（到達目標1、5：実験ノート、レポート）</li> <li>— 基礎的実験技術や実験器具を正しく扱うことができる。（到達目標2、3、4：未知試料の分析、実習態度）</li> </ul>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

レポートを返却し、適宜フィードバックを行う。
------------------------

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p><b>【指定教科書】</b> 「生命科学のための化学実験」、高橋知義、他編、東京化学社</p> <p><b>【参考書】</b> 「化学実験-基礎と応用-」、須賀恭一、他編著、東京化学社 「化学実験の事故と安全」、日本化学会編 丸善 「実験化学ガイドブック」、日本化学会編、丸善 「セミマイクロ無機定性分析」、林謙次郎、他著、東京化学社</p>
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】            担当：馬場 猛            E-mail: tkbaba [at] juntendo.ac.jp            担当：志村 絵理            E-mail: eritoba [at] juntendo.ac.jp            担当：石原 量            E-mail: r-ishihara [at] juntendo.ac.jp            ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】            日時：火曜日 12～13時</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>実験は事前に十分な基礎知識がなければ、目的を達成することができない。また、実験内容の理解の上、具体的な実験方法や手段などを調べておかなければ、実験中、無駄な時間を費やすことになり、時には危険を伴うこともある。実験前には十分な予習を行い、実験の目的、内容、方法などを理解しておく必要がある。そのために実験ノートの作成を義務付けている。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】            1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
1	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】[前番]無機定性分析①            【サブ・タイトル】実習における注意、試薬調製            【キーワード】実験室での注意事項、準備と後始末、事故対策、実験記録            【到達目標】危険物や廃液の取り扱い方および実験マナーについて正しく実施できる。</p>	<p>講義            【注意点】実験上の注意点をよく聞き、必ず理解すること。</p>	<p>薬品、ガラス器具の取り扱いについて学習しておくこと。            化学実習における注意点について復習しておくこと。</p>
2	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】[前番]無機定性分析②            【サブ・タイトル】I族、II族陽イオン分析            【キーワード】加熱と冷却、沈殿の分離、溶解度、pHと沈殿、陽イオンの分類、分属、Ag<sup>+</sup>、Pb<sup>2+</sup>、Cu<sup>2+</sup>、Bi<sup>3+</sup>            【到達目標】無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>講義            実習            【注意点】白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>I、II族陽イオン分析実験操作をノートに書くこと。            結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>

3	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】[前番]無機定性分析③  【サブ・タイトル】Ⅲ族、Ⅳ族陽イオン分析  【キーワード】溶解度積、水酸化物の溶解度、Fe<sup>2+</sup>(Fe<sup>3+</sup>)、Mn<sup>2+</sup>、Co<sup>2+</sup>、Ni<sup>2+</sup>、Zn<sup>2+</sup>  【到達目標】無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>講義  実習</p> <p>【注意点】白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>Ⅲ、Ⅳ族陽イオン分析実験操作をノートに書くこと。  結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>
4	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】[前番]無機定性分析④  【サブ・タイトル】未知試料の分析  【キーワード】塩化物、硫化物、水酸化物、錯イオン  【到達目標】無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>講義  実習</p> <p>【注意点】白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>I～Ⅳ族陽イオン分析実験操作をノートに書くこと。  結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>
5	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】[前番]無機定性分析⑤  【サブ・タイトル】未知試料の分析  【キーワード】塩化物、硫化物、水酸化物、錯イオン  【到達目標】無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>実習</p> <p>【注意点】白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>ノートに書いた実験操作をよく理解しておくこと。  結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>
6	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】[前番]無機定性分析⑥  【サブ・タイトル】未知試料の分析  【キーワード】塩化物、硫化物、水酸化物、錯イオン  【到達目標】無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>実習</p> <p>【注意点】白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>ノートに書いた実験操作をよく理解しておくこと。  結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>

7	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】[前番]再実習	実習 【注意点】白衣、 フェイスシールド を着用の上、注意 事項を必ず守り実 習を行うこと。	










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	定性分析	授業形態	実験・実習
英語科目名	Chemistry: Heliotropical Analysis	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	馬場 猛	ナンバリング	
担当教員	馬場 猛、志村 絵理、石原 量、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>我々の身の回りには、一般的に混合物である。学問分野において混合物を扱う場合、その成分と量を調べる必要がある。成分を決定する方法を定性分析、量を決定する方法を定量分析という。特に金属イオンの混合物からそれぞれのイオンをその反応性の違いに基づいて分離していく定性分析の手法は、生体物質の系統的な分析法にも通じるものであり、自然科学の系統性を学ぶ基本的な手法として重要である。本実習では廃棄物の環境に及ぼす影響を考え、種々の試薬の使用量が少ない半微量法(セミマイクロ法)で、0℃～100℃付近の間で行われる化学変化による金属イオンの分離、具体的にはI族からIV族に所属する、Ag<sup>+</sup>、Pb<sup>2+</sup>、Bi<sup>3+</sup>、Cu<sup>2+</sup>、Fe<sup>2+</sup>(Fe<sup>3+</sup>)、Mn<sup>2+</sup>、Co<sup>2+</sup>、Ni<sup>2+</sup>、Zn<sup>2+</sup>の9種の金属イオンについての系統分析を行う。</p>		
到達目標	<p>【一般目標】 実験・観察を通して、物質の性質や反応といった化学的知識をより深く認識し、それに基づいて物質を分析する化学的思考を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 金属イオンの定性分析の基本的知識を身につけることができる。</li> <li>2. 酸・アルカリの希釈、沈殿操作、濾過操作など基礎的実験技術や実験器具の扱いを身につけることができる。</li> <li>3. 化学実験における安全（服装、薬品の扱いなど）に注意して実験できる。</li> <li>4. 適切な廃液処理を行うことによる環境配慮の姿勢を身につけることができる。</li> <li>5. 実験ノートを書き、実験結果を整理し、レポートにまとめて報告することができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 白衣およびフェイスシールドを着用の上、決められた注意事項を必ず守り実習を行うこと。</li> <li>— 本実習はグループ実験となるので、共同実験者が同じ程度に理解できるように互いに協力して実験を行うように心がけること。</li> <li>— 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</li> </ul>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	成績は試験（未知試料の分析）（40%）、実習態度（20%）、実験ノート（20%）、レポート（20%）を総合的に評価する。
------	--

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 金属イオンの反応をを説明することができる。（到達目標1、5：実験ノート、レポート）</li> <li>— 基礎的実験技術や実験器具を正しく扱うことができる。（到達目標2、3、4：未知試料の分析、実習態度）</li> </ul>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

レポートを返却し、適宜フィードバックを行う。
------------------------

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p><b>【指定教科書】</b> 「生命科学のための化学実験」、高橋知義、他編、東京化学社</p> <p><b>【参考書】</b> 「化学実験-基礎と応用-」、須賀恭一、他編著、東京化学社 「化学実験の事故と安全」、日本化学会編 丸善 「実験化学ガイドブック」、日本化学会編、丸善 「セミマイクロ無機定性分析」、林謙次郎、他著、東京化学社</p>
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】            担当：馬場 猛            E-mail: tkbaba [at] juntendo.ac.jp            担当：志村 絵理            E-mail: eritoba [at] juntendo.ac.jp            担当：石原 量            E-mail: r-ishihara [at] juntendo.ac.jp            ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】            日時：火曜日 12～13時</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>実験は事前に十分な基礎知識がなければ、目的を達成することができない。また、実験内容の理解の上、具体的な実験方法や手段などを調べておかなければ、実験中、無駄な時間を費やすことになり、時には危険を伴うこともある。実験前には十分な予習を行い、実験の目的、内容、方法などを理解しておく必要がある。そのために実験ノートの作成を義務付けている。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】            1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
1	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】〔後番〕無機定性分析①            【サブ・タイトル】 実験における注意、試薬調製            【キーワード】 実験室での注意事項、準備と後始末、事故対策、実験記録            【到達目標】 危険物や廃液の取り扱い方および実験マナーについて正しく実施できる。</p>	<p>講義            【注意点】 実験上の注意点をよく聞き、必ず理解すること。</p>	<p>薬品、ガラス器具の取り扱いについて学習しておくこと。            化学実験における注意点について復習しておくこと。</p>
2	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】〔後番〕無機定性分析②            【サブ・タイトル】 I 族、II 族陽イオン分析            【キーワード】 加熱と冷却、沈殿の分離、溶解度、pHと沈殿、陽イオンの分類、分属、Ag<sup>+</sup>、Pb<sup>2+</sup>、Cu<sup>2+</sup>、Bi<sup>3+</sup>            【到達目標】 無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>講義            実習            【注意点】 白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>I、II 族陽イオン分析実験操作をノートに書くこと。            結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>

3	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】【後番】無機定性分析③  【サブ・タイトル】Ⅲ族、Ⅳ族陽イオン分析  【キーワード】溶解度積、水酸化物の溶解度、<math>Fe^{2+}</math>(<math>Fe^{3+}</math>)、<math>Mn^{2+}</math>、<math>Co^{2+}</math>、<math>Ni^{2+}</math>、<math>Zn^{2+}</math>  【到達目標】無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>講義  実習</p> <p>【注意点】白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>Ⅲ、Ⅳ族陽イオン分析実験操作をノートに書くこと。  結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>
4	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】【後番】無機定性分析④  【サブ・タイトル】未知試料の分析  【キーワード】塩化物、硫化物、水酸化物、錯イオン  【到達目標】無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>講義  実習</p> <p>【注意点】白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>I～IV族陽イオン分析実験操作をノートに書くこと。  結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>
5	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】【後番】無機定性分析⑤  【サブ・タイトル】未知試料の分析  【キーワード】塩化物、硫化物、水酸化物、錯イオン  【到達目標】無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>実習</p> <p>【注意点】白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>ノートに書いた実験操作をよく理解しておくこと。  結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>
6	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】【後番】無機定性分析⑥  【サブ・タイトル】未知試料の分析  【キーワード】塩化物、硫化物、水酸化物、錯イオン  【到達目標】無機陽イオンの系統分析の原理を説明でき、化学物質を正しく取り扱うことができる。</p>	<p>実習</p> <p>【注意点】白衣、フェイスシールドを着用の上、注意事項を必ず守り実習を行うこと。</p>	<p>ノートに書いた実験操作をよく理解しておくこと。  結果をノートに書き、考察しておくこと。</p>

7	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】 [後番]再実習	実習 【注意点】 白衣、 フェイスシールド を着用の上、注意 事項を必ず守り実 習を行うこと。	










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	顕微鏡観察	授業形態	実験・実習
英語科目名	Cell and Tissue Microscopy Lab	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	和田 麻理	ナンバリング	
担当教員	和田 麻理、内田 桂吉、松本 顕、枝松 裕紀、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	この実習では顕微鏡を用いて動物の細胞・組織・器官を観察し、それらの基本構造、また細胞分裂の仕組みなどについて理解を深める。また、顕微鏡下での詳細な観察を通じて生物に関する理解を深めるだけでなく、顕微鏡観察の基本技術を身につけることも目的とする。		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい光学顕微鏡の取り扱いができるようになる。</li> <li>生物観察の基本である精密なスケッチができるようになる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>光学顕微鏡の正しい取り扱いができる。</li> <li>生物観察の基本である精密なスケッチができる。</li> <li>生物を形づくる基本である細胞、組織、器官系の観察を通じて、生物の階層性を認識できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p>実習の説明あるいは関連した講義は授業のはじめに行うが、それらをよく理解しないと実際の作業ができないため、遅刻は厳禁である。生物サンプルの準備の都合で、実習項目の内容や順序が前後したり変更する場合がある。実習室内での飲食、スマートフォン等携帯端末の使用を禁止する。</p> <p>* 基本的に隔週で実施する。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>成績評価方法：実習後に提出する観察スケッチを主な評価対象とするが、実習解説時および実習中の参加態度、確認テストも考慮して総合的に判断する。</p>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準：提出された課題、確認テスト等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

[生物全般の参考書]  
サイエンスビュー生物総合資料 実教出版  
エッセンシャル・キャンベル生物学 原書6版 丸善  
エッセンシャル細胞生物学 第5版 南江堂など

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー		連絡先 : mwada(at)juntendo.ac.jp *(at)を@に変更してください。 オフィスアワー : 金曜 12:30-13:30、メールでの質問は随時受け付ける。		
担当教員の実務経験				
備考		生物の階層性を形成する細胞、組織、器官形成に関して顕微鏡を用いた実習を行う。顕微鏡を漫然と覗くのではなく、何を観察し、どこが重要なのかといったポイントを理解するためには、事前に各実習内容に関するキーワードについて、中学や高校の教科書・図表などを用いた自己学習が必要である。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習 : 45分、 復習 : 45分 *新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実習計画や方法を変更する場合がある。		
01, 4/15	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】 ガイダンス、顕微鏡の使用法 【サブ・タイトル】 顕微鏡の構造・機能、標本の観察方法 【キーワード】 光学系、メカニカル系、倍率、焦点、ケラー照明 【到達目標】 光学顕微鏡が正しく使用できる。	実習 ・形態系実習室 【注意点】 白衣の準備。	図表やエッセンシャル細胞生物学の対象頁等を参考に、顕微鏡の構造と原理について自己学習しておくこと。
5/6 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】 細胞分裂のしくみと動物の初期発生 【サブ・タイトル】 細胞増殖の仕組みと動物のからだづくり 【キーワード】 細胞周期、分裂期、核分裂、染色体の凝縮、細胞質分裂、卵割、形態形成 【到達目標】 細胞周期と、細胞分裂に伴う染色体の変化について説明できる。	講義 * 教室変更→北4階405、406	細胞周期、卵割について自己学習しておくこと。

5/20 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】生物の階層性：組織と器官形成 【サブ・タイトル】消化管の形成とそのはたらき 【キーワード】組織、器官、上皮、神経、筋、結合組織 【到達目標】動物の組織について説明できる。消化管の基本構造が説明できる。	講義 *教室変更→北4階405、406	生物の階層性、消化管の形成について自己学習しておくこと。
6/3 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】動物の初期発生：卵割 【サブ・タイトル】ウニの初期発生の観察 【キーワード】初期発生、体細胞分裂、卵割、割球、胞胚、原腸胚 【到達目標】動物の初期発生のしくみについて説明できる。	実習 ・形態系実習室 【注意点】白衣の準備。	5/6の解説等を参考に、動物のからだづくり（受精卵から胚形成まで）について自己学習しておくこと。
6/17 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】細胞周期：有糸分裂 【サブ・タイトル】分裂期の染色体の観察 【キーワード】細胞周期、有糸分裂、染色体の凝縮、細胞質分裂 【到達目標】細胞周期と、細胞分裂に伴う染色体の変化について説明できる。	実習 ・実習室：生物系実習室（プレパラート作成）及び形態系実習室（顕微鏡観察） 【注意点】白衣、フェースシールドの準備。	5/6の解説等を参考に、細胞周期と染色体の分配について自己学習しておくこと。
7/1 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】小腸（組織標本）の観察 【サブ・タイトル】消化器系の観察：マウス小腸 【キーワード】組織、器官、上皮、神経、筋、結合組織 【到達目標】動物の組織について説明できる。消化管の基本構造が説明できる。	実習 ・形態系実習室 【注意点】白衣の準備。	5/20の解説等を復習し、消化管の構造とはたらきについて自己学習しておくこと。

7/15 (金)	和田 麻理 松本 颯 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】顕微鏡観察に関するまとめと確認 【サブ・タイトル】まとめと確認テスト 【キーワード】階層性、細胞周期、器官形成 【到達目標】生物の階層性、細胞周期等について説明できる。	実習及び試験	【注意点】病欠等で全4回の顕微鏡観察を終えていない、課題に不足がある、manabaのドリルを終えていない学生が対象。 実習で行った内容について、授業資料等を参考に自己学習しておくこと。










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	顕微鏡観察	授業形態	
英語科目名	Cell and Tissue Microscopy Lab	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	和田 麻理	ナンバリング	
担当教員	和田 麻理、内田 桂吉、松本 顕、枝松 裕紀、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>この実習では顕微鏡を用いて動物の細胞・組織・器官を観察し、それらの基本構造、また細胞分裂の仕組みなどについて理解を深める。また、顕微鏡下での詳細な観察を通じて生物に関する理解を深めるだけでなく、顕微鏡観察の基本技術を身に着けることも目的とする。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい光学顕微鏡の取り扱いができるようになる。</li> <li>生物観察の基本である精密なスケッチができるようになる。</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>光学顕微鏡の正しい取り扱いができる。</li> <li>生物観察の基本である精密なスケッチができる。</li> <li>生物を形づくる基本である細胞、組織、器官系の観察を通じて、生物の階層性を認識できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p>実習の説明あるいは関連した講義は授業のはじめに行うが、それらをよく理解しないと実際の作業ができないため、遅刻は厳禁である。生物サンプルの準備の都合で、実習項目の内容や順序が前後したり変更する場合がある。実習室内での飲食、スマートフォン等携帯端末の使用を禁止する。</p> <p>* 基本的に隔週での実施とする。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：実習後に提出する観察スケッチを主な評価対象とするが、実習解説時および実習中の参加態度、確認テストも考慮して総合的に判断する。</p>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準：提出された課題、確認テスト等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

[生物全般の参考書]  
 サイエンスビュー生物総合資料 実教出版  
 エッセンシャル・キャンベル生物学 原書6版 丸善  
 エッセンシャル細胞生物学 第5版 南江堂など

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	連絡先 : mwada(at)juntendo.ac.jp *(at)を@に変更してください。 オフィスアワー : 金曜 12:30-13:30、メールでの質問は随時受け付ける。			
担当教員の実務経験				
備考	生物の階層性を形成する細胞、組織、器官形成に関して顕微鏡を用いた実習を行う。顕微鏡を漫然と覗くのではなく、何を観察し、どこが重要なのかといったポイントを理解するためには、事前に各実習内容に関するキーワードについて、中学や高校の教科書・図表などを用いた自己学習が必要である。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習 : 45分、 復習 : 45分 *新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実習計画や方法を変更する場合がある。			
01, 4/22	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】 ガイダンス、顕微鏡の使用法 【サブ・タイトル】 顕微鏡の構造・機能、標本の観察方法 【キーワード】 光学系、メカニカル系、倍率、焦点、ケラー照明 【到達目標】 光学顕微鏡が正しく使用できる。	実習 ・形態系実習室 【注意点】 白衣の準備。	図表やエッセンシャル細胞生物学の対象頁等を参考に、顕微鏡の構造と原理について自己学習しておくこと。
5/13 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】 細胞分裂のしくみと動物の初期発生 【サブ・タイトル】 細胞増殖の仕組みと動物のからだづくり 【キーワード】 細胞周期、分裂期、核分裂、染色体の凝縮、細胞質分裂、卵割、形態形成 【到達目標】 細胞周期と、細胞分裂に伴う染色体の変化について説明できる。	講義 * 教室変更→北4階405、406	細胞周期、卵割について自己学習しておくこと。

5/27 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】生物の階層性：組織と器官形成 【サブ・タイトル】消化管の形成とそのはたらき 【キーワード】組織、器官、上皮、神経、筋、結合組織 【到達目標】動物の組織について説明できる。消化管の基本構造が説明できる。	講義 * 教室変更→北4階405、406	生物の階層性、消化管の形成について自己学習しておくこと。
6/10 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】動物の初期発生：卵割 【サブ・タイトル】ウニの初期発生の観察 【キーワード】初期発生、体細胞分裂、卵割、割球、胞胚、原腸胚 【到達目標】動物の初期発生のしくみについて説明できる。	実習 ・形態系実習室 【注意点】白衣の準備。	5/13の解説等を参考に、動物のからだづくり（受精卵から胚形成まで）について自己学習しておくこと。
6/24 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】細胞周期：有糸分裂 【サブ・タイトル】分裂期の染色体の観察 【キーワード】細胞周期、有糸分裂、染色体の凝縮、細胞質分裂 【到達目標】細胞周期と、細胞分裂に伴う染色体の変化について説明できる。	実習 ・実習室：生物系実習室（プレパラート作成）及び形態系実習室（顕微鏡観察） 【注意点】白衣、フェースシールドの準備。	5/13 の解説等を参考に、細胞周期と染色体の分配について自己学習しておくこと。
7/8 (金)	和田 麻理 松本 顕 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】小腸（組織標本）の観察 【サブ・タイトル】消化器系の観察：マウス小腸 【キーワード】組織、器官、上皮、神経、筋、結合組織 【到達目標】動物の組織について説明できる。消化管の基本構造が説明できる。	実習 ・形態系実習室 【注意点】白衣の準備。	5/27の解説等を復習し、消化管の構造とはたらきについて自己学習しておくこと。

7/22 (金)	和田 麻理 松本 颯 枝松 裕紀 内田 桂吉	【授業タイトル】顕微鏡観察に関するまとめと確認 【サブ・タイトル】まとめと確認テスト 【キーワード】階層性、細胞周期、器官形成 【到達目標】生物の階層性、細胞周期等について説明できる。	実習及び試験	【注意点】病欠等で全4回の顕微鏡観察を終えていない、課題に不足がある、manabaのドリルを終えていない学生が対象。 実習で行った内容について、授業資料等を参考に自己学習しておくこと。










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	情報処理I	授業形態	実験・実習
英語科目名	Computer and Information Processing I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	奥野 浩	ナンバリング	
担当教員	奥野 浩、前崎 信孝、川村 浩之、齋藤 麻由美、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>現代の情報ネットワーク社会においては、情報の発信、検索、加工、提示、保存等の目的でコンピュータの利用が不可欠である。本実習では、情報の加工を簡便に行えるMS Excelの基本的な操作を学ぶ。これにより、Excelの基本的な関数の扱い方、作表の基本、様々なグラフ作成、およびピボットテーブルを利用したデータの整理変形等のデータ処理の基礎を学ぶ。さらに、Excelを利用して、統計学の基礎的な概念について学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Excelを使って、表を作成できる。</li> <li>2. Excelを使って、グラフを作成できる。</li> <li>3. ピボットテーブルを利用して、データの整理、変換、成型が行える。</li> <li>4. 標本分散の意味を理解し説明できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		



その他	
連絡先・オフィスアワー	対面 金曜日 12:20-13:20 センチュリータワー南5階教員室 mail h-okuno[at]juntendo.ac.jp [at]を@に修正してください
担当教員の実務経験	
備考	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、授業計画等を変更する場合があります。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/22 (金) 3時限 4時限	奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美	【授業タイトル】 1. 実習の概要 2. 作表の基本 【サブ・タイトル】 1. 実習の概要 2. データの読み方 【キーワード】 データの種類（質的データ、量的データ）、平均値、標準偏差、四分位数、度数分布表、ヒストグラム、クロス集計表、オッズ比、層別、シンプソンのパラドックス 【到達目標】 Excelで基本統計量が求められる。量的データからヒストグラムを作成できる。2次元の質的データからオッズ比を求め、解釈できる。	講義、実習  【注意点】 絶対参照の使い方に注意する。	(予習) Excelの用語について調べること。 (1時間) (復習) 習ったExcelの操作を復習しておくこと。(2時間)
5/13 (金) 3時限 4時限	奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美	【授業タイトル】 グラフの作成 【サブ・タイトル】 データを説明する 【キーワード】 並べ替えとフィルター、データの抽出、散布図、線形回帰、ドットプロット、箱ひげ図、相関と因果（相関係数、疑似相関、交絡）、相関係数行列、不適切なグラフ表現、量的データの比較、外れ値、様々な代表値と散布度の性質の違い 【到達目標】 Excelで各種グラフが作成できる。疑似相関と交絡について説明できる。適切な代表値と散布度を用いることが出来る。	講義、実習  【注意点】 グラフでもコピーと編集ができることと理解すること。	(予習) 箱ひげ図の作り方を調べること。 (1時間) (復習) 習った操作を復習しておくこと。 (2時間)

<p>5/27 (金) 3時限 4時限</p>	<p>奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美</p>	<p>【授業タイトル】 離散型確率分布 【サブ・タイトル】 1. 度数分布表からの平均値と分散の計算 2. 離散型確率分布 【キーワード】 2項分布、ポアソン分布、母集団と標本抽出（無作為抽出）、標本平均、標本分散、数値シミュレーション 【到達目標】 2項分布、ポアソン分布を用いた計算ができる。標本平均と標本分散の分布について説明できる。</p>	<p>実習  【注意点】 確率密度関数と積率分布関数の使い方に注意する。</p>	<p>(予習) 2項分布について調べること。(1時間) (復習) 習った操作を復習しておくこと。(2時間)</p>
<p>6/10 (金) 3時限 4時限</p>	<p>奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美</p>	<p>【授業タイトル】 連続型確率分布 【サブ・タイトル】 1. 連続型確率分布 2. 正規分布 【キーワード】 ヒストグラム、折れ線グラフ、複合グラフ、正規分布、データの分布と正規分布、対数変換、標準化 【到達目標】 正規分布を利用した確率計算ができる。データの分布と正規分布を比較できる。</p>	<p>実習  【注意点】 確率密度関数と積率分布関数の使い方に注意する。</p>	<p>(予習) 正規分布の標準化について調べること。(1時間) (復習) 習った操作を復習しておくこと。(2時間)</p>
<p>6/24 (金) 3時限 4時限</p>	<p>奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美</p>	<p>【授業タイトル】 1. データの集計と整理 2. 二項分布の近似 【サブ・タイトル】 1. アンケート結果の集計と整理 2. 二項分布の近似 【キーワード】 データの前処理、外れ値、欠損データ、ピボットテーブル、クロス集計表、積み上げ棒グラフ、棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ、二項分布の正規近似、二項分布のポアソン近似 【到達目標】 Excelでピボットテーブルを用いてクロス集計表を作成できる。二項分布を正規近似できる条件を理解し、正規近似を使った確率計算ができる。</p>	<p>実習  【注意点】2項分布を近似するときの条件に注意する。</p>	<p>(予習) 二項分布の正規近似について調べること。(1時間) (復習) 習った操作を復習しておくこと。(2時間)</p>
<p>7/8 (金)</p>	<p>奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美</p>	<p>【授業タイトル】まとめ 【サブ・タイトル】最終課題 【キーワード】Excel、量的データの整理、質的データの整理、二項分布、正規分布 【到達目標】実習1回目から5回目までに習った種々のExcel操作を独力でできる。2項分布、正規分布を用いた確率計算ができる。データを適切に処理し、解釈できる。</p>	<p>実習  【注意点】どのような操作をしているか理解して操作すること。</p>	<p>これまでの実習について復習しておくこと。(3時限)</p>

7/22 (金)	奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美	【授業タイトル】 予備日 【サブ・タイトル】 【キーワード】 【到達目標】		










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	情報処理I	授業形態	実験・実習
英語科目名	Computer and Information Processing I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	奥野 浩	ナンバリング	
担当教員	奥野 浩、前崎 信孝、川村 浩之、齋藤 麻由美、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>現代の情報ネットワーク社会においては、情報の発信、検索、加工、提示、保存等の目的でコンピュータの利用が不可欠である。本実習では、情報の加工を簡便に行えるMS Excelの基本的な操作を学ぶ。これにより、Excelの基本的な関数の扱い方、作表の基本、様々なグラフ作成、およびピボットテーブルを利用したデータの整理変形等のデータ処理の基礎を学ぶ。さらに、Excelを利用して、統計学の基礎的な概念について学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Excelを使って、表を作成できる。</li> <li>2. Excelを使って、グラフを作成できる。</li> <li>3. ピボットテーブルを利用して、データの整理、変換、成型が行える。</li> <li>4. 標本分散の意味を理解し説明できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		



授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	対面 金曜日 12:20-13:20 センチュリータワー南5階教員室 mail h-okuno[at]juntendo.ac.jp [at]を@に修正してください			
担当教員の実務経験				
備考	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、授業計画等を変更する場合があります。			
4/15 (金) 3時限 4時限	奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美	<b>【授業タイトル】</b> 1. 実習の概要 2. 作表の基本 <b>【サブ・タイトル】</b> 1. 実習の概要 2. データの読み方 <b>【キーワード】</b> データの種類（質的データ、量的データ）、平均値、標準偏差、四分位数、度数分布表、ヒストグラム、クロス集計表、オッズ比、層別、シンプソンのパラドックス <b>【到達目標】</b> Excelで基本統計量が求められる。 量的データからヒストグラムを作成できる。 2次元の質的データからオッズ比を求め、解釈できる。	講義、実習 <b>【注意点】</b> 絶対参照の使い方に注意する。	(予習) Excelの用語について調べること。 (1時間) (復習) 習ったExcelの操作を復習しておくこと。(2時間)
5/6 (金) 3時限 4時限	奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美	<b>【授業タイトル】</b> グラフの作成 <b>【サブ・タイトル】</b> データを説明する <b>【キーワード】</b> 並べ替えとフィルター、データの抽出、散布図、線形回帰、ドットプロット、箱ひげ図、相関と因果（相関係数、疑似相関、交絡）、相関係数行列、不適切なグラフ表現、量的データの比較、外れ値、様々な代表値と散布度の性質の違い <b>【到達目標】</b> Excelで各種グラフが作成できる。疑似相関と交絡について説明できる。適切な代表値と散布度を用いることが出来る。	講義、実習 <b>【注意点】</b> グラフでもコピーと編集ができることと理解すること。	(予習) 箱ひげ図の作り方を調べること。 (1時間) (復習) 習った操作を復習しておくこと。 (2時間)

<p>5/20 (金) 3時限 4時限</p>	<p>奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美</p>	<p>【授業タイトル】 離散型確率分布 【サブ・タイトル】 1. 度数分布表からの平均値と分散の計算 2. 離散型確率分布 【キーワード】 2項分布、ポアソン分布、母集団と標本抽出（無作為抽出）、標本平均、標本分散、数値シミュレーション 【到達目標】 2項分布、ポアソン分布を用いた計算ができる。標本平均と標本分散の分布について説明できる。</p>	<p>実習  【注意点】 確率密度関数と積率分布関数の使い方に注意する。</p>	<p>(予習) 2項分布について調べること。(1時間) (復習) 習った操作を復習しておくこと。(2時間)</p>
<p>6/3 (金) 3時限 4時限</p>	<p>奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美</p>	<p>【授業タイトル】 連続型確率分布 【サブ・タイトル】 1. 連続型確率分布 2. 正規分布 【キーワード】 ヒストグラム、折れ線グラフ、複合グラフ、正規分布、データの分布と正規分布、対数変換、標準化 【到達目標】 正規分布を利用した確率計算ができる。データの分布と正規分布を比較できる。</p>	<p>実習  【注意点】 確率密度関数と積率分布関数の使い方に注意する。</p>	<p>(予習) 正規分布の標準化について調べること。(1時間) (復習) 習った操作を復習しておくこと。(2時間)</p>
<p>6/17 (金) 3時限 4時限</p>	<p>奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美</p>	<p>【授業タイトル】 1. データの集計と整理 2. 二項分布の近似 【サブ・タイトル】 1. アンケート結果の集計と整理 2. 二項分布の近似 【キーワード】 データの前処理、外れ値、欠損データ、ピボットテーブル、クロス集計表、積み上げ棒グラフ、棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ、二項分布の正規近似、二項分布のポアソン近似 【到達目標】 Excelでピボットテーブルを用いてクロス集計表を作成できる。二項分布を正規近似できる条件を理解し、正規近似を使った確率計算ができる。</p>	<p>実習  【注意点】2項分布を近似するときの条件に注意する。</p>	<p>(予習) 二項分布の正規近似について調べること。(1時間) (復習) 習った操作を復習しておくこと。(2時間)</p>
<p>7/1 (金)</p>	<p>奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美</p>	<p>【授業タイトル】まとめ 【サブ・タイトル】最終課題 【キーワード】Excel、量的データの整理、質的データの整理、二項分布、正規分布 【到達目標】実習1回目から5回目までに習った種々のExcel操作を独力でできる。2項分布、正規分布を用いた確率計算ができる。データを適切に処理し、解釈できる。</p>	<p>実習  【注意点】どのような操作をしているか理解して操作すること。</p>	<p>これまでの実習について復習しておくこと。(3時限)</p>

7/15 (金)	奥野 浩 川村 浩之 前崎 信孝 齋藤 麻由美	【授業タイトル】 予備日 【サブ・タイトル】 【キーワード】 【到達目標】		










--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	2変数の微分積分入門	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Calculus of two variable	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	奥野 浩	ナンバリング	
担当教員	奥野 浩、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>微分積分は解析学の入門であり、大学における数学の入り口の一つである。          高校時に学んだ微分および積分を、厳密に論ずる。発展として2変数関数の微分および積分を学ぶ。          極限を数学的に扱うために、実数の性質から始める。数列の収束、関数の連続性を理解する。その知識を利用して、1変数の微分および積分とそれぞれの応用について学ぶ。また、あらたに広義積分の概念を学ぶ。          2変数関数について、微分可能性および偏微分を学び、その応用として2変数関数のテイラー展開や極値問題を学ぶ。また、2変数関数の累次積分・重積分を学び、それと体積との関係を学ぶ。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関数の微分の意味を理解して説明できる。</li> <li>2. テイラー展開の意味を理解し、基本的な関数について計算できる。</li> <li>3. 関数の積分の意味を理解して説明できる。</li> <li>4. 2変数関数の微分の意味を理解し、極値問題が解ける。</li> <li>5. 重積分の意味を理解し、計算ができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	抽象性が高いため、慣れるまで理解しにくい部分があると考えられる。その場合には、教員に質問すること。理解を助けるために練習問題があるので、指定教科書の問題は最終的にはすべて解くこと。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法：授業中の態度等 10% 演習 20% 試験 70%
------	--

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微分の意味を理解（演習、試験）</li> <li>・テイラー展開の理解と計算（演習、試験）</li> <li>・積分の意味の理解（演習、試験）</li> <li>・2変数関数の微分の意味の理解し、極値問題が解ける（演習、試験）</li> <li>・重積分の意味を理解と計算（演習、試験）</li> </ul>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

小川卓克 要説わかりやすい微分積分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	対面 金曜日 12:20-13:20 センチュリータワー南5階教員室 mail h-okuno[at]juntendo.ac.jp [at]を@に修正してください			
担当教員の実務経験				
備考	高校時の数列・微分・積分について復習しておくこと。 前回の範囲において指定教科書の練習問題がある場合は解いておくこと。 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性があります。			
4/13 (水)	奥野 浩	【授業タイトル】はじめに 【サブ・タイトル】微分積分を学ぶにあたって 【キーワード】記号、用語 【到達目標】数学の基本的な用語を理解する。	講義	【予習】高校時の微分について復習しておくこと。(2時間) 【復習】この講義の内容について復習しておくこと。(1時間)
4/20 (水)	奥野 浩	【授業タイトル】数列1 【サブ・タイトル】実数の性質、数列の収束を考えるために 【キーワード】実数 単調性 デデキントの切断、有界 上限 下限 【到達目標】切断を説明できる。上限・下限を説明できる。	講義 【注意点】抽象性の高い議論なので、例を参考に考えること。	【予習】高校時の数列について復習しておくこと。(2時間) 【復習】課題を解くこと。(1時間)

4/27 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】数列 2  【サブ・タイトル】数列の収束、部分列の収束  【キーワード】<math>\varepsilon</math> <math>\delta</math> 法、部分列  【到達目標】数列の収束することをしめせる。部分列の意味を説明できる。</p>	<p>講義  【注意点】<math>\varepsilon</math> <math>\delta</math> の使い方に注意する。</p>	<p>【予習】 前回の内容を復習しておくこと。(2時間)  【復習】 課題を解くこと。(1時間)</p>
5/11 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】連続関数 1  【サブ・タイトル】連続関数とは、収束の速度  【キーワード】連続関数、ランダウのオーダー記号  【到達目標】連続関数を説明できる。スモールオーダーの意味を説明できる。</p>	<p>講義  【注意点】オーダーの意味に注意する。</p>	<p>【予習】 高校時の連続関数について復習しておくこと。(1時間)  【復習】 課題を解くこと。(2時間)</p>
5/18 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】連続関数と微分の定義  【サブ・タイトル】中間値の定理、微分の定義  【キーワード】中間値の定理、微分、微分の性質  【到達目標】中間値の定理を説明できる。微分の定義を説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】 前回の復習をしておくこと。(2時間)  【復習】 連続関数についてまとめておくこと。(1時間)</p>
5/25 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】1変数関数の微分 1  【サブ・タイトル】平均値の定理、平均値の定理  【キーワード】微分係数 微分可能 導関数 平均値の定理、テイラー展開  【到達目標】微分と接線の関係を理解する。基本的な導関数を求められる。テイラー展開と平均値の定理の関係を説明できる。</p>	<p>講義  【注意点】接線の重要性に注意する。</p>	<p>【予習】 高校時の関数の微分について復習しておくこと。(1時間)  【復習】 課題を解くこと。(2時間)</p>

6/1 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】1変数関数の微分2</p> <p>【サブ・タイトル】テイラー展開、微分の応用</p> <p>【キーワード】テイラー展開 剰余項 マクローリン展開、ロピタルの定理</p> <p>【到達目標】テイラー展開の意味を理解する。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】接線とテイラー展開の関係に注意する。</p>	<p>【予習】前回の復習をしておくこと。(2時間)</p> <p>【復習】課題を解くこと。(1時間)</p>
6/15 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】1変数の積分1</p> <p>【サブ・タイトル】関数の積分とは、積分の定義</p> <p>【キーワード】原始関数 不定積分、リーマン和 定積分</p> <p>【到達目標】テイラー展開の意味を理解する。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】高校時の関数の積分について復習しておくこと。(2時間)</p> <p>【復習】課題を解くこと。(1時間)</p>
6/18 (土)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】1変数関数の積分2</p> <p>【サブ・タイトル】平均値の定理、広義積分</p> <p>【キーワード】積分の平均値の定理、広義積分</p> <p>【到達目標】広義積分を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】統計学では確率計算で広義積分になることも多い。</p>	<p>【予習】前回の復習をしておくこと。(1時間)</p> <p>【復習】課題を解くこと。(2時間)</p>
6/22 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】2変数関数の微分1</p> <p>【サブ・タイトル】微分可能であるとは、偏微分</p> <p>【キーワード】微分可能性、接平面、偏微分、方向微分</p> <p>【到達目標】接平面の概念を説明できる。偏微分の概念を理解し、偏導関数が求められるようになる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】接平面の概念が接線の概念の拡張となっていることに注意する。</p>	<p>【予習】2変数関数のグラフとはどのようなものか考えること。(1時間)</p> <p>【復習】2変数関数の微分についてまとめておくこと。(2時間)</p>

6/29 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】2変数関数の微分2  【サブ・タイトル】方向微分、2変数関数のテイラー展開  【キーワード】曲線に沿った微分、テイラー展開  【到達目標】方向微分の説明ができるようになる。2変数のテイラー展開を説明できる。</p>	講義	<p>【予習】前回の復習をしておくこと。(2時間)  【復習】課題を解くこと。(1時間)</p>
7/6 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】2変数関数の微分3  【サブ・タイトル】2変数関数の変数変換、極値問題  【キーワード】変数変換 ヤコビアン、極値問題  【到達目標】2変数の変数変換を説明できる。極値問題を解くことができるようになる。</p>	講義	<p>【予習】前回の復習をしておくこと。(2時間)  【復習】課題を解くこと。(1時間)</p>
7/13 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】2変数関数の積分  【サブ・タイトル】2変数関数の積分の定義、積分と体積  【キーワード】累次積分、リーマン和 重積分 体積の計算  【到達目標】2変数関数の積分の意味を理解する。</p>	講義	<p>【予習】2変数関数の積分が何を意味するか考えること。(1時間)  【復習】課題を解くこと。(2時間)</p>

7/20 (水)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】2変数の微積分2  【サブ・タイトル】2変数関数の置換積分、演習  【キーワード】変数変換 ヤコビアン部分積分  【到達目標】さまざまなができるようになる。</p>	講義 演習	<p>【予習】1変数関数の置換積分についてまとめておくこと。(1時間)  【復習】課題を解くこと。(2時間)</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	相対論入門：時空とエネルギー	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Relativity: Space-time a	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	田中 和廣	ナンバリング	
担当教員	田中 和廣、清 裕一郎、矢田 雅哉、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>20世紀のはじめにアインシュタインが発表した相対性理論は、空間と時間に対する人々の認識を根底からくつがえす革命的なものであった。例えば、「運動は、時の刻みを遅くし、空間を縮ませる」ことが予言されるのである！理論の誕生から百年が経過した現在では、相対論は物理学の根幹を成す基本法則となっており、我々のまわりに広がる“進化する宇宙”とその骨組みである“4次元時空”を理解する基礎となっている。そのみならず、自動車の現在位置を知らせてくれるカーナビや、福島第一原発事故以降特に関心を集めている原子力発電、がんの診断法であるポジトロンCT（PET）などにも相対性理論の原理が応用されており、実は、相対論は身近なところで我々に深く関わり日常的な活動を支えている。</p> <p>このように、21世紀を生きる我々にとって不可欠なものとなっている相対論について、本講義ではその基本となる考え方への入門を目的とする。</p> <p>相対論の考え方の基本を学ぶことにより、時間と空間はからみ合っておりこれらを併せた“時空”が根本的な実体であることや、エネルギーと質量が同じものであることなど、驚くべき事実が明らかになる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <p>相対論はたった二つの単純な指導原理を出発点として中学程度の数学を用いれば、その本質を導き出し理解することが可能である。このようにして導かれる様々な刺激的な予言とその実験的検証、相対論にまつわる奇妙なパラドックスについて考えながら、相対論が提示する自然観について理解を深めていく。時空およびエネルギーをめぐって相対論を踏まえた現代的視点を養い、様々な角度から物事を掘り下げて分析し考えられるようになる。</p> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相対論がカーナビや原子力にも応用されて現代社会を支え、PETなど医学とも関係していることを説明できる。</li> <li>2. 常識を超えたところに自然界の真理があることを知り、異なる意見を尊重する広い視野をもち、複数の視点から掘り下げて分析できる。</li> <li>3. 運動が時の刻みを遅くし空間を縮ませることが論理的に不可避であり、実験でも検証されていることを説明できる。</li> <li>4. 重力による時間の遅れを説明できる。</li> <li>5. ビック・バン宇宙論に基づいて宇宙の歴史を説明できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	(後日教務課にて入力)		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	(後日教務課にて入力)		

履修上の注意、履修要件	<p>高校で物理を学んでいなくてもよい。          簡単な話から始めて、一段一段階段を上るように相対論の基本となる考え方を学んでいくので、講義に欠かさず出席し注意深く話を聞くこと。          授業時間内・外の質問を歓迎する。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：授業で配布する演習問題を解いて提出したレポートの内容・提出状況に応じて、期末試験（100点満点）の結果に加点する。ただし、授業参加態度が良くない場合には、減点の対象となるので注意すること。</p>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準：到達目標 1 および3～5の達成度を期末試験で評価し、到達目標2は演習問題のレポートへの取り組みと授業内の発言・態度等で総合的に評価する。</p>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

授業で配布する演習問題に関する疑問点については、適宜ヒントを提示しフィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【参考教科書】  
 「星と宇宙（物理学のコンセプト9）」 ヒューエット他著 共立出版

【参考書】  
 「物理学はいかに創られたか（上・下）」 アインシュタイン、インフェルト著 岩波書店（岩波新書）  
 「特殊および一般相対性理論について」 アインシュタイン著 白揚社  
 「アインシュタインの宿題」 福江純著 光文社（知恵の森文庫）  
 「相対性理論を楽しむ本」 佐藤勝彦著 PHP（PHP文庫）  
 「ライフサイエンス物理学」 シュテルンハイム、ケイン著 廣川書店

その他	
連絡先・オフィスアワー	田中 和廣: 火曜 11:00 - 17:00 本郷キャンパス7号館3階生理系実習室、 木曜 09:00 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1314号室 清 裕一郎: 木曜 12:30 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1316号室 矢田 雅哉: 月曜 12:30 - 15:30 さくらキャンパス1号館3階1315号室、メール: m-yata [at] juntendo.ac.jp (※ [at] を@に変換してください)
担当教員の実務経験	-
備考	-

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/15 (金)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】 奇跡の年：1905年 【サブ・タイトル】 特許局勤務の無名の官吏（26）が物理学に起こした革命 【キーワード】 時空の物理学、“Person of the 20th Century”、絶対不変、相対性 【到達目標】 時空そのものが物理学の対象となること（物理現象の一つとして変化するかもしれないこと、変化の様子が観測できるかもしれないこと）を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 鏡のパラドックス 【サブ・タイトル】 若きアインシュタイン青年が、ふと疑問に思ったことは？ 【キーワード】 観測者、基準座標系、特殊相対性理論 【到達目標】 アインシュタインの高校の頃の素朴な疑問が相対論発見につながったことを知り、自由な発想ができるようになる。</p>	<p>講義 【注意点】 問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】 聞き逃しのないよう集中力を高め、演習・質疑応答に積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) アインシュタインの生涯について自己学習しておくこと。 復習) 「鏡のパラドックス」について自分なりの答を出してみる。</p>
4/22 (金)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】 物理現象と「観測者」 【サブ・タイトル】 宇宙に絶対的に静止した基準は存在するか？ 【キーワード】 絶対空間、絶対速度、相対速度、エーテル、マイケルソン・モーレーの実験 【到達目標】 科学における観測者の役割の重要性を理解し、実験に基づく客観的事実と主観的な言説を区別できるようになる。</p> <p>【授業タイトル】 同時刻の相対性 【サブ・タイトル】 特殊相対性理論はたった2つの基本原理から 【キーワード】 真空中の光の速さ、相対性原理、光速不変の原理 【到達目標】 過去・現在・未来の区別は観測者ごとに異なることが、論理的に不可避な帰結であることを説明できる。</p>	<p>講義 【注意点】 問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】 聞き逃しのないよう集中力を高め、演習・質疑応答に積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 前回授業のスライドを見直して、光速の正確な値がどのように割り出されているかを調べ自己学習しておくこと。 復習) 授業で扱った例題を自力で解き直すこと。</p>

5/6 (金)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】運動する時計は遅れる 【サブ・タイトル】観測者ごとに異なる時の刻み：時計をジェット機に積み世界1周すると?!</p> <p>【キーワード】光時計、時間の遅れ、静止系 【到達目標】運動が時の刻みを遅くすることが論理的に不可避な帰結であることを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】時間の遅れの実験的検証 【サブ・タイトル】時計をジェット機に積み世界1周すると?!</p> <p>【キーワード】原子時計、素粒子の寿命の伸び、生物時計 【到達目標】運動が時の刻みを遅くすることが実験でも検証されていることを説明できる。</p>	<p>講義 【注意点】問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、演習・質疑応答に積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 前回授業のスライドを見直していただくこと。原子時計について検索し自己学習していただくこと。 復習) 授業で扱った例題を自力で解き直すこと。</p>
5/13 (金)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】タイムトラベル 【サブ・タイトル】双子の一方が銀河間旅行から帰還すると?! —ウラシマ効果— 【キーワード】固有時間、光年、浦島太郎、銀河系、大マゼラン雲、ハッブル宇宙望遠鏡 【到達目標】理論的に可能と考えられるタイムトラベルや銀河間旅行を、具体的なストーリーを描いて説明できる。</p> <p>【授業タイトル】運動する物体の長さは縮む 【サブ・タイトル】豪速球は潰れて見える?! 【キーワード】ローレンツ収縮、固有長さ 【到達目標】運動する物体の長さが縮むことが論理的に不可避な帰結であり、実験でも検証されていることを説明できる。</p>	<p>講義 【注意点】問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、演習・質疑応答に積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 前回授業のスライドを見直していただくこと。大マゼラン雲について検索し自己学習していただくこと。 復習) 授業で扱った例題を自力で解き直すこと。</p>
5/20 (金)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】車とガレージのパラドクス 【サブ・タイトル】観測者ごとに異なる時空 【キーワード】同時刻の相対性を表す式、時空のゆがみ 【到達目標】「車とガレージのパラドクス」が解決されることを理解し、相対論が矛盾の無い理論であることを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】なぜ光速は誰から見ても不変なのか? 【サブ・タイトル】相対性理論における速度の合成則 【キーワード】相対速度、非相対論 【到達目標】高校物理の速度の合成は、光速よりずっと遅い場合の近似式であることを説明できる。</p>	<p>講義 【注意点】問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、演習・質疑応答に積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 前回授業のスライドを見直していただくこと。相対速度の求め方を復習し自己学習していただくこと。 復習) 授業で扱った例題を自力で解き直すこと。</p>
5/27 (金)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】双子のパラドクス 【サブ・タイトル】相手の時計は、自分から見て相対的に運動している! 【キーワード】時間の遅れ、長さの収縮 【到達目標】「双子のパラドクス」がどのような意味でパラドクスなのか、論理的に説明できる。</p> <p>【授業タイトル】若いのはどっちだ?! 【サブ・タイトル】双子のパラドクス完全解決 【キーワード】同時刻の相対性、基準系の乗り換え 【到達目標】一見パラドクスと思えるものを、異なった複数の視点から分析し、矛盾を解決する糸口を見出すことができる。</p>	<p>講義 【注意点】問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、演習・質疑応答に積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 前回授業のスライドと、5月13日のスライドを見直していただくこと。 復習) 授業で扱った例題を自力で解き直すこと。また、「演習問題」のプリントを配布するので、ここまでの授業の総復習として少しずつ挑戦すること。</p>

6/3 (金)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】ガリレオの時間とアインシュタインの時空間  【サブ・タイトル】時間は絶対的か？  【キーワード】4次元の世界、観測者と時空間  【到達目標】事象の関係を時空図を用いて記述できる。  予習) 時間の流れはどのように認識されるのだろうか、自己学習で考えてくること。  復習) ローレンツ変換の練習問題を解き直すこと。</p> <p>【授業タイトル】ミンコフスキーの理論  【サブ・タイトル】ローレンツ変換を使いこなせ！  【キーワード】ローレンツ変換  【到達目標】ローレンツ変換を使い、事象の関係を計算できる。</p>	<p>講義  【注意点】講義をよく聞き、積極的に議論に参加すること。  演習・発表・討論  【注意点】演習問題を自分の手を動かして考えること。</p>	<p>予習) 時間の流れはどのように認識されるのだろうか、自己学習で考えてくること。  復習) ローレンツ変換の練習問題を解き直すこと。</p>
6/10 (金)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】時空図を使う  【サブ・タイトル】時空図で考える時計の時刻合わせ  【キーワード】同時刻と光速不変の原理  【到達目標】時間の遅れや長さの収縮を時空図の考え方で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】光のドップラー効果  【サブ・タイトル】ドップラー効果における時間の遅れ  【キーワード】光のドップラー効果、ドップラー効果における相対性原理  【到達目標】光のドップラー効果を計算できる。予習) 時空図を使った練習問題を復習してくること。  復習) 光源と観測者の運動を入れ換えた場合のドップラー効果の計算を復習すること。</p>	<p>講義  【注意点】講義をよく聞き、積極的に議論に参加すること。  演習・発表・討論  【注意点】演習問題を自分の手を動かして考えること。</p>	<p>予習) 時空図を使った練習問題を復習してくること。  復習) 光源と観測者の運動を入れ換えた場合のドップラー効果の計算を復習すること。</p>
6/17 (金)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】速度の合成則  【サブ・タイトル】相対性理論における速度の合成則  【キーワード】相対速度  【到達目標】時間の遅れと長さの収縮を使って速度の合成則を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】光速不変性を再考する  【サブ・タイトル】走る車から光を観測する  【キーワード】ローレンツ変換、時空図、相対速度  【到達目標】運動物体から光の速度がどのようになるのか説明できる。</p>	<p>講義  【注意点】講義をよく聞き、積極的に議論に参加すること。  演習・発表・討論  【注意点】演習問題を自分の手を動かして考えること。</p>	<p>予習) 速度の定義式について時空図を使って考えること。  復習) 速度の合成則と光速不変の原理関係を復習する。</p>
6/24 (金)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】運動すると物体は重くなる  【サブ・タイトル】物体を加速すると光速に到達できるのか？  【キーワード】慣性の法則、静止質量  【到達目標】力と加速度の関係を理解し、慣性質量と重力質量の違いについて説明できる。</p> <p>【授業タイトル】相対論的な運動方程式  【サブ・タイトル】増大する質量からの帰結  【キーワード】運動方程式、力  【到達目標】相対論的な運動方程式を使い、粒子の運動を理解できる。</p>	<p>講義  【注意点】講義をよく聞き、積極的に議論に参加すること。  演習・発表・討論  【注意点】演習問題を自分の手を動かして考えること。</p>	<p>予習) 慣性質量と重力質量について自己学習してくること。  復習) 授業で扱った例題を解き直し、質量のある物体の速度に限界があることを確認すること。</p>

7/1 (金)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】アインシュタインの式: <math>E=mc^2</math>  【サブ・タイトル】質量はエネルギーだった！  【キーワード】相対論的なエネルギー公式, 静止質量  【到達目標】アインシュタインの質量公式を理解し説明できる。</p> <p>【授業タイトル】質量エネルギーは利用できるのか？  【サブ・タイトル】人類に託された課題  【キーワード】質量とエネルギーの転換, 核反応, 不安定核の崩壊  【到達目標】核反応における質量欠損とエネルギーの計算ができる。</p>	<p>講義  【注意点】講義をよく聞き、積極的に議論に参加すること。</p> <p>演習・発表・討論  【注意点】演習問題を自分の手を動かして考えること。</p>	<p>予習) ニュートンの力学における運動エネルギーの公式 <math>mv^2/2</math> について調べてくること。  復習) 授業で扱った例題を解き直すこと。</p>
7/8 (金)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】自由落下と無重力  【サブ・タイトル】重力が時間の進みに影響を与える？  【キーワード】自由落下, 等価原理  【到達目標】自由落下と無重力の関係を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】GPSと相対論  【サブ・タイトル】高度によって変わる時間の進み  【キーワード】GPS衛星, 重力赤方偏移  【到達目標】重力が時間の進み具合にも影響を及ぼすことを理解して、具体例で説明できる。</p>	<p>講義  【注意点】講義をよく聞き、積極的に議論に参加すること。</p> <p>演習・発表・討論  【注意点】演習問題を自分の手を動かして考えること。</p>	<p>予習) 自由落下するエレベーターの中では何が起こるか考えてくること。  復習) 等価原理を用いて重力による時間の遅れを自分の力で再導出してみること。</p>
7/15 (金)	矢田雅哉	<p>【授業タイトル】一般相対性理論入門  【サブ・タイトル】「特殊」と「一般」: 相対論の違い  【キーワード】等価原理, 特殊相対性原理  【到達目標】二つの相対論の違いを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】重力の正体  【サブ・タイトル】時空が曲がると、何が起こるのか？  【キーワード】重力レンズ効果, 時間の遅れ  【到達目標】曲がった空間で何が起こるのか説明できる。</p>	<p>講義  【注意点】講義を聴くだけでなく、積極的に質問し議論に参加しよう。</p> <p>講義・討論  【注意点】講義資料をよく読み、自分自身で考えよう。質問がある場合は担当教員に尋ねること。</p>	<p>予習) これまでの講義の内容の復習。特に等価原理について調べておくこと。  復習) 講義内容を復習し、課題レポートを提出すること。</p>

7/22 (金)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】アインシュタインの宇宙観  【サブ・タイトル】一般相対論により宇宙はどのように記述されるのか？  【キーワード】一般相対性理論, 宇宙項, ビッグバン, インフレーション  【到達目標】一般相対性理論について理解して, アインシュタイン後の宇宙について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】タイムマシン  【サブ・タイトル】タイムマシンの原理は何か？  【キーワード】タイムマシン, ワームホール, 宇宙ひも, デラック方程式  【到達目標】様々なタイムマシンの原理を理解し, その実現可能性と社会への影響を考える。</p>	<p>講義  【注意点】講義を聴くだけでなく、積極的に質問し議論に参加しよう。</p> <p>講義・討論  【注意点】講義資料をよく読み、自分自身で考えよう。質問がある場合は担当教員に尋ねること。</p>	<p>予習) アインシュタインの登場により世界はどう変わったのか。タイムマシンとは何かを調べておくこと。  復習) 講義内容を復習し、課題レポートを提出すること。授業内で紹介した技術について各自考えておくこと。</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	中国語I	授業形態	講義
英語科目名	ChineseI	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	劉 珍	ナンバリング	
担当教員	劉 珍、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>本授業では中国語の発音と文法を基礎から学習し、中国語を聞く・話す・読む・書くために、初歩的な能力を身につけることを目標とする。中国語発音表記法であるピンインを繰り返し聞きながら復唱練習を行い、発音の定着を図る。簡体字を学び、初級文法、簡単な日常会話、よく使う表現の習得を目指す。また、中国の文化や習慣、ものの考え方などについて理解を深める。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発音と声調を正確に発声することができる。</li> <li>2. 基本単語約400～500語の読み書きができる。</li> <li>3. お礼を言ったり、謝ったりすることができる。</li> <li>4. 簡単な自己紹介、家族、友人、趣味などについて聞いたり、答えたりできる。</li> <li>5. 基本な要求、買い物、評価など相手に伝えたり、理解することができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	中国語ピンインの発音の方法に慣れていきながら、中国語の漢字をピンインで読めるようにしていき、日常生活の身近な表現と基礎的な語法や文法事項を学び、簡単な会話を習得する。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本項目を学習することで、以下の能力の基礎が身につけます。</p> <p>◎DP 1-II 人間関係を構築できるコミュニケーション能力 ◎DP 4-I 国際的視野をもっと活動できる基礎的能力</p>		

履修上の注意、履修要件	<p>音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。          付属教材を用い、前回勉強した内容を理解し、表現の違いや語順の違いをしっかりと覚える。          プリント教材については、語彙、表現、文法などきちんと復習する。          練習問題を解き、会話文を音読練習する。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分          【自己学習注意点】 1. 音声教材を繰り返し聞き、中国語の声調に慣れ、しっかり身につける。          2. 簡体字を正しく書けるように練習する。          3. 同じ漢字でも全く意味が変わってしまうものについてしっかりと勉強し、その違いを理解した上で正しく使うこと。          4. 練習問題を解く。提出期限を守る。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	平常点（出席状況、学習態度、課題の提出、小テスト）(50%)、期末試験(50%)を統合して評価する。
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ピンイン（声調も含め）」を正しく読める。</li> <li>2. 聞き取った中国語の音を正確にピンインで書ける。</li> <li>3. 簡体字を正しく書くことができる。</li> <li>4. 簡単な自己紹介が中国語で出来る。</li> <li>5. 学んだ文法で正しく作文することができる。</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

講義内で課題、小テストやレポート等に対する解説を加えながら回答を示す。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
使って学ぶ！中国語コミュニケーション	寺西光輝	朝日出版社	978-4-255-45327-9	

**参考文献**

図書館に文法書や辞書、中国語検定試験過去問解説本などがあります。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	授業終了後に教室あるいはチャットで質問を受け付ける。			
担当教員の実務経験				
備考				
1 4/11(月) 2限	劉 珍	ガイダンス 中国・中国語について 授業、試験、評価説明 【到達目標】中国と中国語を知る。	講義	中国語に親しもう シラバスをよく確認しておく。
2 4/18(月) 2限	劉 珍	発音編1 発音編1 母音 複合母音 あいさつ 【到達目標】「四声」の弁明ができる。簡単な挨拶ができる。	講義	[予習](45分) 音声教材用、単母音、声調、複合母音を聞いておく。 [復習](45分) 音声教材を聞き、四声、母音の違いを把握し、正しい発音する。 [キーワード] 四声 音声の高低

3 4/25(月) 2限	劉 珍	<p>前回の復習</p> <p>発音編2</p> <p>子音、鼻母音、声調記号の付け方</p> <p>【到達目標】簡単な挨拶ができる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、子音と鼻母音を聞いておく。</p> <p>[復習] (45分) 音声教材を聞き、子音、鼻母音の違いを把握し、発音しながら練習する。</p> <p>[キーワード] 鼻母音</p>
4 5/2(月) 2限	劉 珍	<p>前回の復習</p> <p>発音編3</p> <p>声調の変化、r化音、ピンインのまとめ</p> <p>【到達目標】名前を言ったり、尋ねたりできる。簡単な授業用語が理解できる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、声調の変化とr化音を聞いておく。</p> <p>[復習] (45分) 音声教材を聞き、声調変化と軽音を把握し、発音しながら練習する。中国式ローマ字の綴り方を覚える。 付属教材の「言語記録-3」を使い、発音の自己評価を書きましょう。</p> <p>[キーワード] 人称代名詞</p>
5 5/9(月) 2限	劉 珍	<p>第1課</p> <p>新出単語 本文 身分や出身地について話す 私は日本人です。 文法事項 “是” “吗”の疑問文 練習</p> <p>【到達目標】相手の出身国/出身地を確認したり、答えたりできる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。</p> <p>[復習] (45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。「是」「吗」の使い方を覚える。</p> <p>[キーワード] 疑問文 否定文</p>
6 5/16(月) 2限	劉 珍	<p>第2課</p> <p>新出単語 本文 身の回りのものや人について話す これはなんですか 文法事項 指示代名詞、“都”</p> <p>【到達目標】身近な人について、自分との関係を表現できる。</p>	講義	<p>[予習] (45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。</p> <p>[復習] (45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。副詞「也」「都」の使い分けを覚える。</p> <p>[キーワード] 指示代名詞 省略疑問文</p>

7 5/23(月) 2限	劉 珍	<p>第1～2課の応用練習</p> <p>小テスト 音声を聞いて、ピンインと簡体字が書ける 読解練習 学生同士によるロールプレイング</p> <p>小作文発表 【到達目標】簡単な自己紹介ができる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、第1～2課の本文を音読し、内容を確認する。</p> <p>[復習](45分) 音声教材を聞き、第1～2課の練習問題、簡体字を書いて覚える。 付属教材第1～2課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。</p>
8 5/30(月) 2限	劉 珍	<p>第3課</p> <p>新出単語 本文 年齢や学年、所有について話す 何歳ですか、携帯電話を持っていますか 文法事項 数詞 名詞述語文(1)</p> <p>【到達目標】年齢や学年を言える。相手の所有の有無を尋ねることが出来る。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。</p> <p>[復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。「有」を使い、作文する。</p> <p>[キーワード] 年齢の聞き方 所有を表す“有”</p>
9 6/6(月) 2限	劉 珍	<p>第4課</p> <p>新出単語 本文 時間や一日の行動について話す 今日は何月何日何曜日ですか 文法事項 名詞述語文(2) 動詞述語文</p> <p>【到達目標】日時や曜日について話せる。いつ何をするのが話せる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。</p> <p>[復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。動詞述語文の語順を覚える。</p> <p>[キーワード] 時刻の言い方 名詞述語文</p>
10 6/13(月) 2限	劉 珍	<p>第3～4課の応用練習</p> <p>小テスト 音声を聞いて、ピンインと簡体字を書ける。 読解練習 学生同士によるロールプレイング。</p> <p>小作文発表 【到達目標】日常の一日が表現できる。</p>	講義	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、第3～4課の本文を音読し、内容を確認する。</p> <p>[復習](45分) 音声教材を聞き、第3～4課の練習問題、簡体字を書いて覚える。 付属教材第3～4課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。</p>

<p>11 6/20(月) 2限</p>	<p>劉 珍</p>	<p>第5課 新出単語 本文 性質や状態、天候について話す 明日の天気はどうですか 文法事項 形容詞述語文 程度副詞  【到達目標】人や物の性質や状態を言える。天気について話せる。</p>	<p>講義</p>	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。「怎么样」の使い方を覚える。 [キーワード] 指示代名詞 様態補語</p>
<p>12 6/27(月) 2限</p>	<p>劉 珍</p>	<p>第6課 新出単語 本文 趣味や好み、できることについて話す 歌は得意です 文法事項 助動詞  【到達目標】趣味や好みを言える。</p>	<p>講義</p>	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。能願動詞を使い、練習問題を解く。 [キーワード] 能願動詞 助動詞 “会”と“能”</p>
<p>13 7/4(月) 2限</p>	<p>劉 珍</p>	<p>第5～6課の応用練習 小テスト 音声を聞いて、ピンインと簡体字をかける 読解練習 学生同士によるロールプレイング  小作文発表 【到達目標】私の趣味を紹介することが出来る。</p>	<p>講義</p>	<p>[予習](45分) 音声教材を用い、第5～6課の本文を音読し、内容を確認する。 [復習](45分) 音声教材を聞き、第5～6課の練習問題、簡体字を書いて覚える。 付属教材第5～6課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。</p>

<p>14 7/11(月) 2限</p>	<p>劉 珍</p>	<p>前期のまとめと復習 ヒヤリング、スピーキングの練習  Can-do 達成の確認 【到達目標】既習内容をしっかりと身につけましょう。</p>	<p>講義</p>	<p>[予習] (45分) 前期学んだ語彙や表現に目を通しておく。 [復習] (45分) 授業で学んだことをしっかり覚える。付属教材Can-doシートを使い、到達目標と表現例を見ながら、できるかどうか確認しましょう。 前期末試験に備える。</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	ドイツ語I	授業形態	
英語科目名	GermanI	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	五十嵐 豊	ナンバリング	
担当教員	五十嵐 豊、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	ドイツ語の初級文法を学びながら、ドイツ語を「読む・書く・聞く・話す」ために必要な初歩的能力を身につける。また、言語のみならず、ドイツ語圏の文化、社会、地理などにも広く目を向け、関心と理解を深める。		
到達目標	<p>【一般目標】 指定の教科書を用いながら、ドイツ語の初級文法を習得する。また、教科書の例文や会話テキストを通じて、正しいドイツ語の発音と簡単な会話表現を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ドイツ語の初歩の文法事項（ドイツ語検定5級レベルに相当）を一通り理解し、問題を解くことができる。</li> <li>2. 基本的な語彙を習得し、短めのテキストを読んでその内容を理解したり、簡単な文や会話を作ることができる。</li> <li>3. 日常的な表現を覚え、簡単な質問や受け答えをすることができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p><b>【履修上の注意】</b> Zoomを通じたオンライン授業。初習言語の場合、最も重要なことは「継続的に学習すること」である。まずは毎回きちんと授業に出席し、発音練習や会話練習などのトレーニングを積極的に実践してほしい。その上で、その回の授業内容を復習するための課題にもきちんと取り組むこと。 また、授業期間内に学習内容が身についているかを確認する小テストを行う予定であるので、しっかり準備して臨むこと。すでに、ドイツ語技能検定試験（独検）5級以上を取得している学生は後期の「ドイツ語Ⅱ」より受講を勧める。</p> <p><b>【課題について】</b> 毎回の課題のやりとり及び授業に関する連絡などは、基本的にGoogle Classroomを通じて行う予定である。初回授業時、Google Classroomの登録方法について説明するので、これに従って登録をお願いしたい。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p><b>【成績評価方法】</b> 授業への参加度、授業中の小テスト（1～2回）、課題提出など「平常点」を50%、「最終課題」の結果を50%として扱い、その合計によって成績評価を行う。</p>
------	---

評価基準	<p><b>【成績評価基準】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な文法事項や語彙を身につけ、さまざまな問題を解くことができる。（最終課題）</li> <li>2. 授業中の受け答え、練習問題、発音練習、ペア練習などへの取り組み状況による授業参加度評価（平常点）</li> <li>3. 授業内の学習内容を復習する課題への取り組み（平常点）</li> <li>4. 学習を終えた文法事項や語彙などが身についているかを確認する小テスト（平常点）</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

<p><b>【毎回の課題について】</b> 毎回の授業後、その回の授業内容を復習するための課題をGoogle Classroomを通じて出すので、これに取り組み、提出すること。提出された課題は、添削し返却する。返却時、各受講生にあてた助言を添えてフィードバックを行う。</p> <p><b>【授業内で行う小テストについて】</b> 小テスト実施後、授業内及びGoogle Classroomを通じて全体に向けた解説を行う。</p> <p>テキスト</p>
---

書名	著者	出版社	ISBN	備考
イン・ドイチュラント メーション ドイツ語インフォ 映像付	秋田静男・江口陽子他	朝日出版社	978-4-255-25388-6	購入必須。購入方法については初回授業時に詳しく説明する。

**参考文献**

<p>独和辞典。初回授業時に紹介する。</p>
-------------------------

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：五十嵐豊（いがらし ゆたか）          E-mail: y-igarashi[at]juntendo.ac.jp          * [at]を@に変更してください。</p>
担当教員の実務経験	—
備考	<p>授業内容の復習のために、教科書に収録されている練習問題や関連問題などを毎回課題として出すので、ウェブを通じて提出すること。また、教科書の音声教材や映像教材を利用しながら、例文の音読練習にも取り組むこと。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 ガイダンス、ドイツ語とはどのような言語か ～ドイツ語を発音してみよう～          【サブ・タイトル】 データで見るドイツとドイツ語、ドイツ語のあいさつ          【キーワード】 ドイツ、ドイツ語、あいさつ、アルファベット          【到達目標】 世界の中で、ドイツ語がどのような位置づけにあるかを理解する。ドイツ語の挨拶やアルファベットを発音し、これを覚える。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 未知なるものへの興味や好奇心を大切に。</p>	<p>【予習：45分】          ・本やインターネットなどを利用して、ドイツやドイツ語に関する情報を集めてみる。</p> <p>【復習：45分】          ・配布資料をよく読んでおく。          ・授業で学んだフレーズを練習する。          ・課題に取り組む。</p>
4/21 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 0          【サブ・タイトル】 アルファベットの発音、つづりと発音の規則          【キーワード】 アルファベット、つづり、発音          【到達目標】 ドイツ語のアルファベットを発音できる。ドイツ語の音に慣れる。つづりと発音の規則を理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】          ・音声教材を用いて、ドイツ語のアルファベットやあいさつなどをまねてみる。</p> <p>【復習：45分】          ・学習した内容を整理しておく。          ・音声教材を用いて、アルファベットやあいさつの発音を練習する。          ・課題に取り組む。</p>

4/28 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 1  【サブ・タイトル】 動詞の現在人称変化、疑問詞、数詞①  【キーワード】 人称代名詞、動詞の現在人称変化、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 人称代名詞を正しく発音し、これを覚える。動詞の現在人称変化のしくみを理解する。練習問題を通じ、人称代名詞、規則動詞の現在人称変化を身につける。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
5/12 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 1、2  【サブ・タイトル】 自分のことについて話す・相手に質問する、名詞の性  【キーワード】 人称代名詞、動詞の現在人称変化、語順、名詞、性  【到達目標】 学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。文法上の性という概念を理解する。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
5/19 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 2  【サブ・タイトル】 名詞の性、定冠詞（1格）、語順  【キーワード】 男性名詞、女性名詞、中性名詞、語順、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 基本的な名詞を覚える。定動詞第2位の原則を理解し、簡単な文を作ることができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
5/26 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 3  【サブ・タイトル】 定冠詞と名詞の格変化①  【キーワード】 定冠詞、格変化、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 格および格変化というものを理解する。練習問題を通じ、定冠詞と名詞の格変化に慣れる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>

6/2 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 3  【サブ・タイトル】 定冠詞と名詞の格変化②、名詞の複数形  【キーワード】 定冠詞、格変化、複数形  【到達目標】 定冠詞と名詞の格変化を身につける。名詞の複数形5つのタイプを理解し、使い分けができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
6/9 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 3  【サブ・タイトル】 格変化、数詞②  【キーワード】 文法練習問題、数詞、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、定冠詞と名詞の格変化を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
6/16 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 4  【サブ・タイトル】 不定冠詞、所有冠詞（不定冠詞類）、否定冠詞（不定冠詞類）  【キーワード】 不定冠詞、格変化、所有冠詞、否定冠詞  【到達目標】 不定冠詞を発音し、格変化に慣れる。不定冠詞類（所有冠詞・否定冠詞）のしくみを理解する。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
6/23 木 4限	五十嵐 豊	<p>【授業タイトル】 LEKTION 4  【サブ・タイトル】 さまざまな冠詞、練習  【キーワード】 発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、不定冠詞、不定冠詞類の格変化を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。</p> <p>【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>

<p>6/30 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 5  【サブ・タイトル】 不規則動詞の現在人称変化①  【キーワード】 不規則動詞、現在人称変化  【到達目標】 不規則動詞を正しく使いこなすことができる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>7/7 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 5  【サブ・タイトル】 不規則動詞の現在人称変化①、名詞の3格、人を表す疑問代名詞  【キーワード】 不規則動詞、格の用法、疑問代名詞、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、不規則動詞の現在人称変化を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>
<p>7/14 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 6  【サブ・タイトル】 不規則動詞の現在人称変化②  【キーワード】 不規則動詞、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、不規則動詞の現在人称変化を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習  【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。</p>	<p>【予習：45分】  ・教科書の該当ページに目を通しておく。  ・音声教材を用いて音読練習を行う。  【復習：45分】  ・学習した文法事項を整理しておく。  ・課題に取り組む。</p>

<p>7/21 木 4限</p>	<p>五十嵐 豊</p>	<p>【授業タイトル】 LEKTION 6  【サブ・タイトル】 人称代名詞、非人称のes、練習  【キーワード】 人称代名詞、発音練習、会話練習、文法練習問題  【到達目標】 練習問題を通じ、人称代名詞、非人称のesの用法を覚える。学習した文法事項を用いて、簡単なやりとりができるようになる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 頭で理解するだけではなく、話したり書いたりしながら積極的にドイツ語を使ってみよう。最終課題について、提出方法や期限などを確認しよう。</p>	<p>【予習：45分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の該当ページに目を通しておく。</li> <li>・音声教材を用いて音読練習を行う。</li> </ul> <p>【復習：45分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した文法事項を整理しておく。</li> <li>・課題に取り組む。</li> </ul>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フランス語I	授業形態	
英語科目名	FrenchI	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	竹内 京子	ナンバリング	
担当教員	竹内 京子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	フランス語による日常会話のための基礎的な文法、語彙、表現を学び、実際の会話においてどのように使われているかをスキットを通して学ぶ。また、フランス語が使われている国の文化、習慣、ものの考え方などについて理解を深め、グローバルな視点を養う。実用フランス語検定試験5級の試験対策も行う。		
到達目標	<p>[一般目標] フランス語のことばのしくみ、文法、語彙、表現を学び、簡単な会話ができるようになること。</p> <p>[到達目標] 1. フランス語であいさつ、自己紹介ができるようになる。 2. フランス語で買い物、簡単な応答ができるようになる。 3. フランス語で簡単な事務書類を書くことができるようになる。 4. フランス語の簡単な文法を理解できるようになる。 5. フランス語を使う国の文化や歴史に興味を持つようになる。</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	初めて学習する言語であるので一回欠席すると分からなくなる。できれば全出席が望ましい。 すでに実用フランス語技能検定試験5級以上を取得している人は後期の「フランス語Ⅱ」より受講を勧める。
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	出席が全授業の3分の2以上あることが条件。平常点（小テスト・課題など）＋口答テスト＋筆記テストの総合評価、合計が60%以上を合格とする。詳細は授業中に説明する。
------	--

評価基準	個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	------------------------------------

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
パスカル・オ・ジャボン	藤田裕二	白水社	9784560060834	購入必須

**参考文献**

辞書や参考書は授業中に紹介する。

その他	
連絡先・オフィスアワー	メールで日程を相談の上、授業時間後に非常勤講師室で対応する
担当教員の実務経験	-
備考	毎回の授業後に宿題や課題があり、次回の授業で小テストを行うので復習は必ずすること。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/11 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 ガイダンス・あいさつの表現・Leçon 0-1、ガイダンス・あいさつの表現・Leçon 0-2 【到達目標】 授業中にするあいさつの表現を覚える。	演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	シラバスをよく確認しておく。
4/18 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 Leçon1-1、Leçon1-2 【サブ・タイトル】 国籍を言う 【キーワード】 主語人称代名詞・国籍を表す名詞・êtreと -er動詞 【到達目標】 主語人称代名詞・国籍を表す名詞・êtreと -er動詞、アルファベットの読み方、綴り字の読み方の概略を知る。	演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。	復習：アルファベで自分の名前が言えるようにしておく。

4/25 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 2-1、Leçon 2-2  【サブ・タイトル】 名前・職業を言う  【キーワード】 職業を表す名詞・形容詞の性・数一致・名前の言い方  【到達目標】 職業を表す名詞・形容詞の性・数一致・名前の言い方を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。数字(1-20)を読めるようにする。</p>
5/2 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 3-1、Leçon 3-2  【サブ・タイトル】 持ち物を尋ねる  【キーワード】 名詞と不定冠詞・指示代名詞・形容詞の位置・avoir  【到達目標】 名詞と不定冠詞・指示代名詞・形容詞の位置・avoirの活用を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
5/9 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 4-1、Leçon 4-2  【サブ・タイトル】 趣味を語る  【キーワード】 定冠詞・疑問文・疑問形容詞  【到達目標】 定冠詞・疑問形容詞、疑問文の作り方を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
5/16 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 1-4のまとめ1、Leçon 1-4のまとめ2  【到達目標】 Leçon 1-4の復習をする。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>Leçon 1-4までの疑問点を探しておく。</p>

5/23 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 5-1、Leçon 5-2  【サブ・タイトル】 誰か尋ねる  【キーワード】 否定文・疑問代名詞qui・il y a-  【到達目標】 否定文・疑問代名詞qui・il y a-の表現を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
5/30 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 6-1、Leçon 6-2  【サブ・タイトル】 したいことを尋ねる  【キーワード】 前置詞と定冠詞の縮約・指示形容詞・否定疑問文の応答・vouloir, pouvoir  【到達目標】 前置詞と定冠詞の縮約・指示形容詞・否定疑問文の応答・vouloir, pouvoirの活用を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
6/6 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 7-1、Leçon 7-2  【サブ・タイトル】 住んでるところを言う  【キーワード】 人称代名詞の強勢形・所有形容詞・connaître  【到達目標】 人称代名詞の強勢形・所有形容詞・connaîtreの活用を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>
6/13 月 2限	竹内 京子	<p>【授業タイトル】 Leçon 8-1、Leçon 8-2  【サブ・タイトル】 何をしているか尋ねる  【キーワード】 疑問代名詞que・場所を表す前置詞・faire  【到達目標】 疑問代名詞que・場所を表す前置詞・faireの活用を覚える。</p>	<p>演習  【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>復習：動詞の活用を覚えておく。会話部分を読めるようにする。</p>

<p>6/20 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 Leçon 5-8のまとめ1、Leçon 5-8のまとめ2 【到達目標】 Leçon 5-8の復習をする。</p>	<p>演習 【注意点】 授業中に返却したプリントを訂正して再提出をすること。</p>	<p>Leçon 5-8までの疑問点を探しておく。</p>
<p>6/27 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 期末口答テスト 【到達目標】 口答試験内容を覚える。</p>		<p>口答の試験内容を覚える。</p>
<p>7/4 月 2限</p>	<p>竹内 京子</p>	<p>【授業タイトル】 期末筆記テスト 【到達目標】 前期の授業内容を理解する。</p>		<p>前期の総復習をしておく。</p>

7/11 月 2限	竹内 京子	【授業タイトル】 予備日 【到達目標】 前期の授業内容を理解する。		前期の総復習をしておく。








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Academic English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Academic English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	Marcellus Nealy	ナンバリング	
担当教員	Marcellus Nealy、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>英語をマスターするためには、できるだけ多くの英語に触れなければなりません。できるだけ多くのことを聞き、読み、書き、話さなければなりません。これはスキップできない重要なステップです。ただし、その過程は楽しいものでなければなりません。アートや写真を撮るのが好きな方は、写真を通して楽しく英語を練習しましょう。</p> <p>このクラスでは、写真を上達させるための基本的なテクニックを学びます。カメラのボタンの操作方法、構図の取り方、特殊効果、デザインの理解など、写真を上達させるための基本的なテクニックを学びます。</p> <p>また、写真を通して、より良い思考力や問題解決能力を身につけるための16の心の習慣を学ぶことができます。したがって、写真は創造性を育むだけでなく、よりよい医療者になるためにも役立ちます。</p> <p>毎週、新しいコンセプトを教えてもらい、その新しいコンセプトを実践するために写真を撮ることになります。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] 学生は以下のことができるようになります。</p> <p>1. 1. 英語でのリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの練習ができる。 2. 写真の基本を学ぶことができる。 3. 創造的な思考と問題解決のための習慣を理解し、実践することができる。</p> <p>[到達目標]. 生徒は以下のことができるようになります。</p> <p>1. 毎週、英語の練習（聞く、読む、書く、話す）ができる。 2. 批判的観察を理解し、発展させることができる 3. デジタル写真の基本的な側面（絞り、シャッタースピード、ISO、構図）をマスターする。 4. 写真デザインの要素と原則を理解し、発展させることができる 5. より創造的な思考と問題解決のための日常的な習慣を意識して実践する</p>		
授業の位置づけ	n/a		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	n/a		

履修上の注意、履修要件	<p>このクラスでは、生徒は参加することが求められます。参加とは、グループディスカッションに参加すること、自分の写真や他の人の写真作品について自分の考えやアイデアを共有すること、教室内や教室外での様々な課題に他の人と一緒に取り組むことです。</p> <p>各クラスの後半では、その日に学んだ写真技術をフィールドで応用するため、生徒は自主的に作業を進めることができなければなりません。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：  出席と積極的な参加：25%  アサインメント 25%  ファイナルプロジェクト：25%  期末試験：25%</p> <p>このレッスンはオンラインで行われるため、課題を提出しない場合は欠席扱いとなります。  課題の提出が遅れた場合、自動的に20ポイントが減点されます。  30日以上経過した課題は、自動的に30点減点されます。</p>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：  個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

Students must purchase an e-book text which has all class materials and assignments (¥3,000). Students must also pay ¥5,000 yen for a professional quality print which will be displayed during the second semester as part of a student photo exhibit on campus. I will collect money for both on the second day of class.

All students must bring their own camera. Cameras must have manual settings.  
Class size will be limited to 35 students. Selection will be made by photographic submission and a brief written explanation, in English, about why you want to take the class. Those that show the most passion, sincerity, and desire to learn will be accepted.

その他	
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワーは予約制です。 サポートが必要な場合やご質問がある場合は、メールでお問い合わせください。
担当教員の実務経験	
備考	<p>各レッスンは2つのパートに分かれています。</p> <p>1. 講義、ディスカッション、または学生によるプレゼンテーション 2. 実践的なアプリケーション</p> <p>このクラスは楽しいものですが、「簡単」なものではありません。自分の創造力の限界を超えることが求められます。 また、その日のアクティビティに参加する準備をしてクラスに参加することが求められます。 定期的に様々な読み物や写真の課題が出されます。生徒はクラスに来る前にそれらの課題を終わらせておくことが求められます。 また、生徒は自分のカメラを持参しなければなりません。 カメラは、マニュアル設定（絞り、シャッタースピード、ISO）ができるものでなければなりません。</p> <p>成績は、出席率、授業への参加状況、毎週の課題、最終プロジェクト、最終試験に基づいて決定されます。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/11 月 4限	ニーリー マーセラス	<p>【授業タイトル】 Introduction &amp; Orientation 【サブ・タイトル】 Getting to know each other and this class 【キーワード】 Becoming familiar with your classmates, the practical and philosophical purpose of this class 【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture</p> <p>【注意点】 Active Participation Critical Analysis Creative Thinking</p>	Readings and assignments will be announced in class.
4/18 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 The Great Masters, Shutter Speed, Aperture &amp; ISO 【サブ・タイトル】 Field assignment 【キーワード】 What makes the great ones great? Three core elements of photography. 【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture</p> <p>【注意点】 Active Participation Critical Analysis Creative Thinking</p>	Readings and assignments will be announced in class.

4/6 水 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 Depth of Field  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 What is depth of field and why is it important.  Discussion about your first photos.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
5/2 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 Compositional weight  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 How does our brain respond to an image.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
5/9 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 The Rule of Thirds  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 The basics of composition.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
5/16 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 The Golden Spiral  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 The basics of composition.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>

5/23 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 The Great Masters II  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 What makes the great ones great? Three core elements of composition.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
5/30 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 More Composition Tips  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 Additional techniques for good composition  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
6/6 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 More Composition Tips  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 Additional techniques for good composition  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
6/13 月 4限	Marcellus Nealy	<p>【授業タイトル】 In The Field  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 Practice makes perfect  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>

<p>6/20 月 4限</p>	<p>Marcellus Nealy</p>	<p>【授業タイトル】 Class Presentation &amp; Discussion  【サブ・タイトル】 Field assignment  【キーワード】 Additional practice for discussion and the search for deeper thinking.  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
<p>6/27 月 4限</p>	<p>Marcellus Nealy</p>	<p>【授業タイトル】 Review  【サブ・タイトル】 Preparation  【キーワード】 Review key concepts, clarify ideas, ask questions, &amp; discussion  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Readings and assignments will be announced in class.</p>
<p>7/4 月 4限</p>	<p>Marcellus Nealy</p>	<p>【授業タイトル】 Final Project  【サブ・タイトル】 Individual Assignment  【キーワード】 Begin preparation for a final assignment  【到達目標】 Effective communication skills, critical thinking, group discussion.</p>	<p>lecture  【注意点】  Active  Participation  Critical  Analysis  Creative  Thinking</p>	<p>Final assignment to be announced in class.</p>

7/11 月 4限	Marcellus Nealy	【授業タイトル】 Final exam	All assignments must be handed in by the End of this day.	








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Academic English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Academic English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	Joseph Drakos	ナンバリング	
担当教員	Joseph Drakos、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>Course Title: The Origins of Medicine</p> <p>This course will focus on medicine as a historical and analytical study. During the first half of the course students will learn the development, philosophies and some cultural aspects of ancient medical practices in Egypt, Greece, India, and China. The second half will focus on the organization and practice of medicine in Medieval Europe, the Islamic world and the Renaissance period. Students will also touch base on premodern medicine. Students will take notes on the lectures they hear, participate in large or small group discussions about lecture topics and write a short report about what they had learned from the lecture. Group discussions will follow TOEFL iBT speaking procedures. At the end of each lecture section students will take a short quiz based on the lectures. Quizzes will follow TOEFL iBT question and writing formats. Students will also have the opportunity to learn about holistic medicine and participate in interactive activities in apothecary and massage therapy. Finally students will participate in a mini lecture assignments introducing a topic that dwells of information learned in the class. The lecture format will depend on the size of the class.</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <p>1. Students will gain a rudimentary understanding about the development of ancient medical ideas and practices and how they have influenced modern medicine. 2. Students will learn how to listen to lectures and take adequate notes in English. 3. Students will learn how to prepare and give their own lectures.</p> <p>[到達目標]</p> <p>1. Students will experience tasks similar to those on the TOEFL iBT test.  2. Students will improve skills necessary to successfully encounter the listening &amp; reading sections of the test.  3. Students will improve presentation skills and composition skills.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ The class will be conducted only in English.</li> <li>・ The first part of the class is lecture based, with interactive discussion sessions. The latter consists of individual or group work and presentations.</li> <li>・ Active participation is encouraged.</li> </ul>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法 :</p> <p>Grades will be based on a collection of points from the lecture reports (25), quizzes (40), presentation(25) and interactive participation (10). Attendance and discussion participation will also be an influential factor in the final grade.</p>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準 :</p> <p>個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
 ・ To be announced during each class.

【参考教科書】  
 ・ To be announced.

【参考書】  
 ・ To be announced.

その他	
連絡先・オフィスアワー	連絡 email address: juntendojoe@gmail.com
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Students should find material on their own about the lecture topics in advance to familiarize themselves better with the topic. On-line texts or encyclopedias are recommended for personal study. The content of the class is designed to encourage a tertiary study of medicine in hope to deepen students' understanding of the foundations of medicine.</li> <li>・ Students should prepare ideas, opinions, comments and, of course, questions to be shared in group discussion.</li> </ul> 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：50分， 復習：50分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Introduction 【キーワード】 Prior knowledge 【到達目標】 Students can understand basic concepts of the course.	Lecture  【注意点】 Students should actively participate in the exercise.	Review the course content and prepare for the next lesson.
4/21 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 The Beginnings 【サブ・タイトル】 Prehistoric Medicine & Egyptian Medicine 【キーワード】 Critical examination 【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.	Lecture  【注意点】 Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.	Prepare by finding information on the web.

<p>4/28 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Origins 1- Greek Medicine  【サブ・タイトル】 Medical Principles and Practices from the West  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】 Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.  Develop thought and opinions for group discussion</p>
<p>5/12 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Origins 2- Indian Medicine  【サブ・タイトル】 Medical Principles and Practices from South Asia  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】 Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>
<p>5/19 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Origins 3- Chinese Medicine  【サブ・タイトル】 Medical Principles and Practice from the East  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】 Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>
<p>5/26 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>Quiz 1</p>	<p>Quiz</p>	<p>Prepare by studying learned information from the lectures.</p>

6/2 木 4限	Joseph Drakos	Begin Mini-lecture activity Choose topics Begin research	Research topic via Internet	
6/9 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Class Lecture preparation 【サブ・タイトル】 Presentations 【キーワード】 Preparation for presentation 【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material.	Presentation  【注意点】 Students should speak about their topic clearly. Peers should give feedback.	Choose a topic based on the lectures, other medical history or culture.
6/16 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Class Lecture preparation 【サブ・タイトル】 Presentations 【キーワード】 Preparation for presentation 【到達目標】 Students can research a topic concerning medical history or culture and present/ lecture on it.	Presentation  【注意点】 Students should be preparing their lecture.	Choose a topic based on the lectures, other medical history or culture.
6/23 木 4限	Joseph Drakos	【授業タイトル】 Class Lecture 【サブ・タイトル】 Presentations 【キーワード】 Presentation 【到達目標】 Students can present their ideas and opinions concisely in English, written and orally.	Presentation  【注意点】 Students should actively prepare their presentation, asking questions of peers and teacher.	Choose a topic based on the lectures, other medical history or culture.

<p>6/30 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Introduction to Middle age Medicine  【サブ・タイトル】 Medieval European &amp; Islamic Medicine  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】  Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Choose a topic based on the lectures, other medical history or culture.</p>
<p>7/7 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Renaissance Era and Premodern Medicine  【サブ・タイトル】 Moving to Modern Times  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Lecture  【注意点】  Students should take detailed notes on the lecture and participate actively in group discussion.</p>	<p>Develop opinions and comments for discussion</p>
<p>7/14 木 4限</p>	<p>Joseph Drakos</p>	<p>【授業タイトル】 Holistic Health Interactive  【サブ・タイトル】 Principles of Herbal Medicine  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Interactivity  【注意点】  Students should actively participate</p>	<p>Prepare by finding information on the web.</p>

7/21 木 4限	Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Holistic Health  【サブ・タイトル】 Methods of Maintaining Physical Health  【キーワード】 Critical examination  【到達目標】 Students can understand basic concepts related to the material, comment and support ideas in group discussion.</p>	<p>Interactivity  【注意点】  Students should actively participate</p>	<p>Prepare by finding information on the web. Prepare for Quiz #2 and assignment submission (on the exam day).</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Academic English for TOEFL III	授業形態	
英語科目名	Academic English for TOEFL III	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	
担当教員	Grow, Deborah Anne、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>In this class, students will learn singing and acting techniques and present scenes and songs in English in order to facilitate their English communication skills, develop a broader vocabulary, enhance listening skills, and study English through culture.</p>		
到達目標	<p>[一般目標]  Students will be able to understand basic singing and acting techniques.  Students will be able to understand the anatomical mechanisms of vocal production.  Students can enhance L2 communication skills and acquire new vocabulary including idiomatic English and analyze text.  Students will be able to study English through culture.</p> <p>[到達目標]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A basic understanding of singing and acting techniques.</li> <li>・ Ability to work collaboratively on teams.</li> <li>・ Development of communication skills.</li> <li>・ Learn the working anatomical mechanisms of vocal production in English.</li> </ul> </p>		
授業の位置づけ	“=”		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	“=”		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The class will be conducted in English.</li> <li>• The class will alternate between lecture, working in groups and presentation.</li> </ul>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>成績評価方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Active class participation: 30%</li> <li>• Quizzes: 20%</li> <li>• Individual and Group presentation: 50%</li> </ul>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準：</p> <p>個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

All the materials will be provided by the instructor.

その他	
連絡先・オフィスアワー	“=”
担当教員の実務経験	“=”
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Students should work with scene partners outside of class.</li> <li>・ They should review the contents of each lesson and prepare for review vocabulary quizzes to be taken at the beginning of the next lesson.</li> <li>・ They should actively participate in pair work, group work and classroom discussion and performances.</li> </ul> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Introduction &amp; Orientation</p> <p>【サブ・タイトル】 Course Overview</p> <p>【キーワード】 Overview</p> <p>【到達目標】 Students can understand basic concepts related to mechanics of the voice and begin to learn the acting process.</p>	<p>Lecture - Fundamentals of Singing - Part One Breath</p> <p>Practical Exercises</p> <p>Group Work for speaking</p>	<p>Review the lesson content and do the vocabulary homework. (10 minutes)</p> <p>Choose and record a song for submission. (15 minutes)</p> <p>Work with your group on your monologue for the presentation. (15 minutes)</p>
4/21 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Lecture: Fundamentals of Singing - Part Two Sound</p> <p>【サブ・タイトル】 Anatomical Mechanism of Singing. Students will learn basic singing technique</p> <p>【キーワード】 Anatomy, Vocal Production, Monologue Presentation</p> <p>【到達目標】 Students can understand the basic anatomical mechanism of singing and learn basic singing principles. Monologue practice and presentation.</p>	<p>Lecture, Active learning, Presentation</p> <p>【注意点】 Students should actively participate in the exercises.</p>	<p>Review the lesson content. (15 minutes)</p> <p>Do vocabulary review exercise (10 minutes)</p> <p>Study your feedback for your song submission and record again (15 minutes)</p>

4/28 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Vocabulary Review Quiz, Lecture- Fundamentals of Singing Part Three - Emotion - Lyrics</p> <p>【サブ・タイトル】 Students will analyze their lyrics for comprehension and pronunciation and receive instruction on vocal technique.</p> <p>【キーワード】 Reading Comprehension, Text Analysis, Pronunciation, Technique</p> <p>【到達目標】 Students can learn how to interpret idiomatic phrases and understand basic principles of the mechanics of the voice.</p>	<p>Lecture, Active learning, Short Essay, Discussion</p> <p>【注意点】 Students should actively participate in the exercises. Students will write a short essay explaining the lyrics to the song they have chosen. Then share with the group their interpretation of the lyrics of their song.</p>	Review the lesson content (15 minutes)
5/12 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Fundamentals of Singing - Part IV Artistry</p> <p>【サブ・タイトル】 Students will write an essay about who they feel is a great singer and give an example of their work. Students will then share their essays and show an example of their work. Other students will participate in active listening and discussion.</p> <p>【キーワード】 Presentation</p> <p>【到達目標】 Students can understand basic vocal techniques, improve their listening and pronunciation skills.</p>	<p>Lecture, Active learning</p> <p>【注意点】 Students should evaluate each presentation.</p>	Review the lesson content and complete the listening homework. (20 minutes)
5/19 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Basic Drama Techniques - Creating a character</p> <p>【サブ・タイトル】 Student will learn basic acting techniques and as well as the ability to listen for inference.</p> <p>【キーワード】 Reading Comprehension, Text Analysis, Inference, Technique</p> <p>【到達目標】 Students can understand basic drama techniques and gain understanding of how to understand inference.</p>	<p>Lecture, Active learning, Group work</p> <p>【注意点】 Students should take notes and participate in the exercises.</p>	<p>Review: Students should review the vocabulary from class. (10 minutes)</p> <p>Homework: Practice the assigned scenes with your partners. (20 minutes)</p>
5/26 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Group Work</p> <p>【サブ・タイトル】 Students will role-play a mystery.</p> <p>【キーワード】 Pronunciation, Reading Comprehension, Vocabulary Acquisition, Idioms, Critical Thinking, Listening</p> <p>【到達目標】 Students can understand the meanings of their text fully and work on natural pronunciation.</p>	<p>Active learning</p> <p>【注意点】 Students should actively participate.</p>	<p>Review the vocabulary from class. (10 minutes)</p> <p>Scene work practice (20 minutes)</p>

6/2 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Scene Presentations  【サブ・タイトル】 Presentation  【キーワード】 Presentation  【到達目標】 Students can gain confidence in their understanding of English texts and in their pronunciation ability.</p>	<p>Presentation, Active listening</p> <p>【注意点】 Students should actively participate.</p>	<p>Review the lesson content and vocabulary. (10 minutes)  Homework: Research your favorite Broadway musical – Who were the composer and lyricist? How many performances did it run? Who played the leading roles? (10 minutes)</p>
6/9 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Students will begin group work to prepare for a short musical presentation.  【サブ・タイトル】 Students will work collaboratively to prepare for a musical presentation.  【キーワード】 Collaboration, Creativity, Critical Thinking  【到達目標】 Students can improve pronunciation by adding natural emotions to their singing and acting.</p>	<p>Active learning</p> <p>【注意点】 Students show actively participate in groups.</p>	<p>Review: Fundamentals of Singing/Acting (10 minutes)  Homework: Practice your part of the musical.</p>
6/16 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Musical Rehearsal  【サブ・タイトル】 Prepare for Presentation  【キーワード】 Musical, Presentation Preparation  【到達目標】 Collaboration, Critical Thinking, Communication, Listening, Speaking</p>	<p>Active learning</p> <p>【注意点】 Students should actively work together in groups.</p>	<p>Review the lesson content and prepare for the presentation. (30 minutes)  Homework: Practice your part of the presentation. (20 minutes)</p>
5/23 木 4限	Grow, Deborah Anne	<p>【授業タイトル】 Brief History of Music Theater, Musical Presentation  【サブ・タイトル】 Students will learn how musical theater is a reflection of society in America.  【キーワード】 Music Theater History, USA culture  【到達目標】 Students can understand and discuss how theater is a reflection of society. Presentation</p>	<p>Lecture, Discussion, Presentation</p> <p>【注意点】 Students should present and actively discuss in groups.</p>	<p>Review the lesson content and vocabulary about the musical. (15 minutes)  Homework: Watch commercials and bring some ideas to class about what makes a good CM. (15 minutes)</p>

<p>5/30 木 4限</p>	<p>Grow, Deborah Anne</p>	<p>【授業タイトル】 Review Quiz Vocabulary, Begin Commercial Project, Short Lecture about Commercials  【サブ・タイトル】 Students will work collaboratively to create a CM.  【キーワード】 Collaboratio, Creativity, Critical Thinking, Communication  【到達目標】 Students can work collaboratively to achieve effective communication in English.</p>	<p>Active learning  【注意点】  Students should participate actively in the groups.</p>	<p>Review: Discuss what makes a good CM (10 minutes)  Homework: Send your group's script to me to check before the next class. (20 minutes)</p>
<p>7/7 木 4限</p>	<p>Grow, Deborah Anne</p>	<p>【授業タイトル】 CM Filming/Editing  【サブ・タイトル】 Students will work to film and edit their commercial for presentation next week.  【キーワード】 Group Work, Collaboration, Creativity  【到達目標】 Students can work creatively in groups.</p>	<p>Active learning  【注意点】  Students should actively participate in the project.</p>	<p>Review: Review corrections to your script with your group. (15 minutes)  Homework: Have edited video ready for presentation next week. (30 minutes)</p>
<p>7/14 木 4限</p>	<p>Grow, Deborah Anne</p>	<p>【授業タイトル】 Presentation of CMs, Prepare Scene work for the final presentation  【サブ・タイトル】 Presentation, Preparation for final  【キーワード】 Presentation, Prep for Final  【到達目標】 Students can work cooperatively and prepare for the group presentation.</p>	<p>Presentation  【注意点】  Students should introduce their project and present them to the class.  Students should work with a partner to prepare their next presentation.</p>	<p>Review: Class discussion about each CM. (15 minutes)  Homework: Work with your scene partner to prepare the final. (30 minutes)</p>

<p>7/21 木 4限</p>	<p>Grow, Deborah Anne</p>	<p>【授業タイトル】 Final Presentation  【サブ・タイトル】 Presentation  【キーワード】 Final Presentation  【到達目標】 Students can perform their final project.</p>	<p>Presentation  【注意点】  Students should memorize their part.</p>	<p>Prepare presentation materials and be ready to present them from memory as a group.</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Academic English for TOEFL IV	授業形態	実技
英語科目名	Academic English for TOEFL IV	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	Andrew Mason	ナンバリング	
担当教員	Andrew Mason、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>このコースは、学術的・科学的な英語の知識と使い方を向上させることを目的としています。まとまりのある文章や段落の書き方、研究論文や抄録の書き方、学術的なプレゼンテーションの準備と実施方法などが含まれる予定です。学生はリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングのスキルを練習し、学術英語の語彙と文法を向上させる機会を得ることができます。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] このコースの目標は、科学的な事柄について英語で効果的に議論し、発表し、書くために必要なスキルを身につけることです。</p> <p>[到達目標] 1. プロフェッショナルな履歴書の作成方法を学ぶ 2. 文献レビューの方法を学ぶ 3. プロセスの記述方法と結果の評価方法を学ぶ 4. 基本的な研究論文の構成と書き方を学ぶ。 5. 研究発表の方法を学ぶ</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<p>このクラスはすべて英語で行われます。</p> <p>生徒は、その日の活動に参加できる状態で教室に来ることが期待されています。つまり、生徒は授業に必要な未知の語彙を事前に勉強しておく必要があります。また、グループディスカッションのためのアイデア、意見、コメントを準備しておくことも必要です。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	<p>Attendance, active class participation, assignment submission. 70%</p> <p>Final Project / Presentation 30%</p>
------	---

評価基準	<p>アカデミックな英語を実践的に使用することがこのコースの主な目的であるため、成績の大部分は出席と参加に基づいて行われます。</p>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

小テストやレポートを含む課題に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
Cambridge English for Scientists	Tamzen Armer	Cambridge University Press	9780521154093	

**参考文献**

【指定教科書】 Armer, Tamzen. (2011). Cambridge English for Scientists Student's Book with Audio CDs (2): (Cambridge Professional English) Student Edition

以下のISBNを使用して、適切な教科書を購入してください。

ISBN-13: 978-0521154093  
ISBN-10: 052115409X

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	名前: メイソン・アンドリュー, PharmD, MBA メール: m.andrew.at@juntendo.ac.jp			
担当教員の実務経験				
備考				
4/14 木 4限	Andrew Mason	Class Introduction	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
4/21 木 4限	Andrew Mason	Unit 1: Getting Started in Research	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class

<p>4/28 木 4限</p>	<p>Andrew Mason</p>	<p>Unit 2: The Scientific Community</p>	<p>Student-centered 【注意点】 Active participation</p>	<p>Will be announced in class</p>
<p>5/12 木 4限</p>	<p>Andrew Mason</p>	<p>Unit 3: Finding a Direction for your Research</p>	<p>Student-centered 【注意点】 Active participation</p>	<p>Will be announced in class</p>
<p>5/19 木 4限</p>	<p>Andrew Mason</p>	<p>Unit 4: Designing an Experiment</p>	<p>Student-centered 【注意点】 Active participation</p>	<p>Will be announced in class</p>
<p>5/26 木 4限</p>	<p>Andrew Mason</p>	<p>Unit 5: Describing an Experiment</p>	<p>Student-centered 【注意点】 Active participation</p>	<p>Will be announced in class</p>

6/2 木 4限	Andrew Mason	Unit 6: Writing Up Research 1: Materials and Methods	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
6/9 木 4限	Andrew Mason	Unit 7: Writing Up Research 2: Presenting Data	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
6/16 木 4限	Andrew Mason	Unit 8: Writing Up Research 3: Results and Discussion	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
6/23 木 4限	Andrew Mason	Unit 9: Writing Up Research 4: Introduction and Abstract	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class

6/30 木 4限	Andrew Mason	Unit 10: Presenting Research at a Conference	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
7/7 木 4限	Andrew Mason	Prepare for Presentation	Student-centered 【注意点】 Active participation	Will be announced in class
7/14 木 4限	Andrew Mason	Perform a Scientific Presentation	Presentation	Will be announced in class

7/21 木 4限	Andrew Mason	Perform a Scientific Presentation	Presentation	Will be announced in class








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL特別演習 I	授業形態	
英語科目名	TOEFL Special Practice I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	鈴木田 優衣	ナンバリング	
担当教員	鈴木田 優衣、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>この授業では、TOEFL (Test of English as a Foreign language) の ITP (Institutional Testing Program) と iBT (Internet-based test) の受験に必要な、アカデミック英語運用能力を育成するための演習を行う。内容としては、英語論文やプレゼンテーションの内容を理解するためのReading, Listening、ディスカッションや日常のやり取りに必須のSpeaking、そしてエッセーや論文の執筆に必要なWritingの4技能を全て網羅する。加えて、これらの4技能の向上の基礎となる文法の正確な使用や語彙数の向上を目指す活動も取り入れる。</p> <p>注意：学生が英語に没頭するために、このクラスのインストラクションはほぼ英語で行われます。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] TOEFL ITPとTOEFL iBTの受験が必要とされ、英語を使用したコミュニケーションで必須となるアカデミックな英語運用能力を伸ばすことができる。</p> <p>[到達目標] 1. TOEFL ITPとTOEFL iBTの構成と傾向を把握することができる。 2. TOEFL ITPとTOEFL iBTの受験に向け、授業を通して自身の英語運用能力を分析し、伸ばすことができる。 3. Reading, Listening, Writing, Speakingの各技能を伸ばすための、学習方法を習得できる。 4. 主に海外の教育・医療機関での学習や研究に必要な、アカデミック領域での基礎的な英語運用能力を習得できる。 5. アカデミック領域で必要とされる、英語での基礎的な議論・表現方法を習得できる。</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週宿題として複数の課題が課される。課題はオンラインの学習課題を含むのでPCまたはタブレットが使用できる学習環境を整えること。</li> <li>・演習への積極的な参加が求められ、評価の対象となる。</li> <li>・授業開始よりすぐに演習を開始するので、遅刻しないこと。</li> <li>・3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。</li> <li>・受講希望者が多い場合には、人数制限をすることがある。初回の授業に必ず出席すること。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法：以下に基づき、総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業内活動（出席、積極的な参加、課題） 55%</li> <li>②小テスト・宿題 25%</li> <li>③定期テスト 20%</li> </ul>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. TOEFL ITP と TOEFL iBTの構成と傾向を把握し、学習方略を習得できる (①～②)</li> <li>2. TOEFL ITP と TOEFL iBTに向けた英語運用能力を養い、スコアを伸ばすことができる。アカデミック領域での基礎的な英語運用能力、基礎的な議論・表現方法を習得できる (①～③)</li> </ul>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

小テストやレポートを含む課題に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】Phillips, D. (2015). Longman preparation course for the TOEFL iBT® test (3rd ed., Student book with MyLab Access and MP3 Audio). Pearson.

以下のISBNを使用して、適切な教科書を購入してください。  
 ISBN 10: 0-13-324812-7  
 ISBN 13: 978-0-13-324802-9

詳細は授業時に指示する。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	担当教員が授業内で説明する。			
担当教員の実務経験				
備考	<p>・宿題としての学習が毎週課され、定期的の小テストが行われるので準備しておくこと。</p> <p>・詳細は授業時に指示する。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/15 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Introduction</p> <p>【サブ・タイトル】 Course introduction</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 この授業の目的、課題の内容、評価方法について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 以降の授業内容については受講者の興味等により調整を行う可能性がある。</p>	次回授業用の予習課題を行う。内容は授業時に指示する。
4/22 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2</p> <p>【サブ・タイトル】 Basic information of Reading &amp; Listening section of TOEFL iBT</p> <p>【キーワード】 Test structure and format</p> <p>【到達目標】 TOEFL ITP とTOEFL iBTのReadingとListening パートの構成と問題の傾向を理解することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	復習としての応用課題と、予習課題を行う。内容は授業時に指示する。

5/6 金 2限	鈴木田優衣	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Reading section of TOEFL iBT 【キーワード】 Test structure and format 【到達目標】 TOEFL Readingの設問構成と解法を理解できる。	演習  【注意点】 重要な点のノート をとり、授業後の 復習に使用するこ と。	復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。
5/13 金 2限	鈴木田優衣	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Listening section of TOEFL iBT 【キーワード】 Listening question types 【到達目標】 TOEFL Listening の設問構成と解法を理解できる。	演習  【注意点】 重要な点のノート をとり、授業後の 復習に使用するこ と。	復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。
5/20 金 2限	鈴木田優衣	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Basic information of Speaking section 【キーワード】 Test structure and format 【到達目標】 TOEFL Speaking パートの構成と問題の傾向を理解することができる。	演習  【注意点】 重要な点のノート をとり、授業後の 復習に使用するこ と。	復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。
5/27 金 2限	鈴木田優衣	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Writing section of TOEFL iBT 【キーワード】 Test structure and format 【到達目標】 TOEFL Writing の設問構成と解法を理解できる。	演習  【注意点】 重要な点のノート をとり、授業後の 復習に使用するこ と。	復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。

6/3 金 2限	鈴木田優衣	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Reading section of TOEFL iBT 【キーワード】 Test structure and format 【到達目標】 TOEFL Readingの設問構成と解法を理解できる。	演習  【注意点】 重要な点のノート をとり、授業後の 復習に使用するこ と。	復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。
6/10 金 2限	鈴木田優衣	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening section of TOEFL iBT 【キーワード】 Test structure and format 【到達目標】 TOEFL Listening の設問構成と解法を理解できる。	演習  【注意点】 重要な点のノート をとり、授業後の 復習に使用するこ と。	復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。
6/17 金 2限	鈴木田優衣	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Speaking section of TOEFL iBT 【キーワード】 Test structure and format 【到達目標】 TOEFL Speaking の設問構成と解法を理解できる。	演習  【注意点】 重要な点のノート をとり、授業後の 復習に使用するこ と。	復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。
6/24 金 2限	鈴木田優衣	【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Writing section of TOEFL iBT 【キーワード】 Test structure and format 【到達目標】 TOEFL Writingの設問構成と解法を理解できる。	演習  【注意点】 重要な点のノート をとり、授業後の 復習に使用するこ と。	復習としての応用課題と、予習課題を行う。 内容は授業時に指示する。

<p>7/1 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2  【サブ・タイトル】 Reading section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Reading の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
<p>7/8 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2  【サブ・タイトル】 Listening section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Listening の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>
<p>7/15 金 2限</p>	<p>鈴木田優衣</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2  【サブ・タイトル】 Writing section of TOEFL iBT  【キーワード】 Test structure and format  【到達目標】 TOEFL Writing の設問構成と解法を理解できる。</p>	<p>演習  【注意点】  重要な点のノート  をとり、授業後の  復習に使用するこ  と。</p>	<p>復習としての応用課題と、予習課題を行う。  内容は授業時に指示する。</p>

7/22 金 2限	鈴木田優衣	<p>【授業タイトル】 Final exam  【サブ・タイトル】 Review of the lessons  【キーワード】 Review of the strategies learned for Reading, Listening, Writing and Speaking  【到達目標】 TOEFL iBT/ITP 受験に向けて、英語運用能力を向上させる方法を実践することができる。</p>	演習	Exam の準備、復習としての応用課題を行う。内容は授業時に指示する。








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL特別演習 II	授業形態	
英語科目名	TOEFL Special Practice II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	藤田 亮子	ナンバリング	
担当教員	藤田 亮子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	TOEFLスコアは、主に北米の教育・医療機関へ留学したり医療に関わったり研究したりする際に必要である。本授業では、高いTOEFLスコアを取得するために必要な演習を行う。		
到達目標	<p>[一般目標] TOEFL ITP (PBT) とiBTの構成と傾向を把握するとともに、英語運用能力を養いスコアを伸ばすことができる。</p> <p>[到達目標] 1. TOEFL ITP (PBT) とTOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。 2. リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング力を効果的に伸長させる方法を知り、実践することができる。 3. 主に北米の教育・医療機関で学んだり医療に関わったり研究したりする際に必要なアカデミック領域で求められる基礎的な英語運用能力を獲得できる。</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隔週、課題が課され、小テストも行う。</li> <li>・ 演習への積極的な参加が求められる。</li> <li>・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格がないため単位修得が認められない。</li> </ul>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>成績評価方法： 原則として、以下のものを参考に総合的に判定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Class activities 70%: <ul style="list-style-type: none"> <li>内、Active participation 20%</li> <li>Quiz 20%</li> <li>Assignment 30%</li> </ul> </li> <li>・ End-of-term exam: 30%</li> </ul>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準： 授業内課題や期末テスト等を基に、総合的な理解度・到達度を見て判定する。</p>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

授業内課題やレポート、期末テスト等に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

【指定教科書】  
Bruce Rogers 著；渡辺雅仁、角田麻里 編 『A Practical Guide to the TOEFL ITP』 東京：センゲージラーニング株式会社

【参考教科書】  
・ 林功 (2012). 『全問正解するTOEFL ITP TEST文法問題対策』 東京：語研  
・ 宮野智靖・ジョセフ ルリアス・木村ゆみ (2011). 『TOEFL ITP TESTリスニング完全攻略』 東京：語研

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】            担当： 藤田亮子            E-mail： r-fujita[at]juntendo.ac.jp            [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 金曜日 昼休み</p>			
担当教員の実務経験	-			
備考	<p>・小テストの準備として、毎時復習をしておくこと。            ・隔週出される課題に取り組むこと。            【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/15 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Course introduction            【サブ・タイトル】 Course introduction            【キーワード】 Introduction            【到達目標】 コースの概要と目標、TOEFL受験についての理解を深めることができる。</p> <p>【授業タイトル】 Course introduction            【サブ・タイトル】 Course introduction            【キーワード】 TOEFL ITP            【到達目標】 サンプル問題を理解することができる。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】            以降の授業内容については受講者のレベルにより調整を行う可能性がある。</p>	<p>前週のテストの復習            苦手な箇所の確認</p>
4/22 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 1            【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 1            【キーワード】 Anticipating questions            【到達目標】 TOEFL ITP (PBT) とTOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 1            【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 1            【キーワード】 Rapid Reading            【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】            演習問題で間違えた箇所を確認する。            間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題            リスニング問題の復習</p>

<p>5/6 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 2 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 2 【キーワード】 Incomplete Independent Clauses 【到達目標】 TOEFL iBTの構成と傾向を理解することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 2 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 2 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
<p>5/13 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 3 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 3 【キーワード】 Dialogs with sound confusion 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 3 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 3 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
<p>5/20 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 4 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 4 【キーワード】 Incomplete Adjective Clauses 【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 4 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 4 【キーワード】 Extensive Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>
<p>5/27 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 5 【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 5 【キーワード】 Dialogs with homonyms 【到達目標】 リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 5 【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 5 【キーワード】 Rapid Reading 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 演習問題で間違えた箇所を確認する。 間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題 リスニング問題の復習</p>

6/3 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 6  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 6  【キーワード】 Incomplete Participial Phrases  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 6  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 6  【キーワード】 Extensive Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>
6/10 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 7  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 7  【キーワード】 Words with multiple meanings  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 7  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 7  【キーワード】 Rapid Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>
6/17 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 8  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 8  【キーワード】 Incomplete Adverb Clauses  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 8  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 8  【キーワード】 Extensive Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>
6/24 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 9  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 9  【キーワード】 Dialogs with idiomatic expressions  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 9  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 9  【キーワード】 Rapid Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>

7/1 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 10  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 10  【キーワード】 Incomplete Noun Clauses  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 10  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 10  【キーワード】 Extensive Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>
7/8 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 11  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 11  【キーワード】 Answering inference questions  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 11  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 11  【キーワード】 Rapid Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>
7/15 金 2限	藤田 亮子	<p>【授業タイトル】 Lesson 12  【サブ・タイトル】 Listening &amp; Structure 12  【キーワード】 Missing Prepositional Phrases  【到達目標】 リスニング・リーディング・スピーキング力を効果的に伸長させる方法を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Lesson 12  【サブ・タイトル】 Reading &amp; Speaking 12  【キーワード】 Extensive Reading  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  演習問題で間違えた箇所を確認する。  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。</p>	<p>応用課題  リスニング問題の復習</p>

<p>7/22 金 2限</p>	<p>藤田 亮子</p>	<p>【授業タイトル】 Final Exam  【サブ・タイトル】 Listening, reading, speaking, and writing  【キーワード】 Testing Strategy  【到達目標】 これまでに習得した技能を応用できる。</p> <p>【授業タイトル】 Final Exam  【サブ・タイトル】 Listening, reading, speaking, and writing  【キーワード】 Testing Strategy  【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】  間違った問題や重要事項はノートにまとめて、後で見直すこと。  夏休み中も復習をしておくこと。</p>	<p>期末テストの準備</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	生きる意志	授業形態	講義
英語科目名	The Will to Live	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	長沼 淳	ナンバリング	
担当教員	長沼 淳、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>われわれが社会生活を他者とともに営むということは、どのようなことなのか。われわれが行う判断の妥当性、根拠、背景を考察、検討することによって、「私」のみを判断主体と設定する「自己決定-自己責任」論の危うさ、脆さを検討する。さらに「他人に迷惑をかけるなければ何をやってもよい」とか「自分のことは自分で決める」という言説の持つ曖昧さ、危険性を、現実には発生している具体的な問題を例として取り上げ自己決定の内実を検証していきたい。それと同時に、当たり前のことに対して「なぜ？」と問うことの意味、「社会的存在」としての「私」と「絶対的な存在」としての「私」の違いと、いわゆる「倫理的な問題」の関係を検討していく。</p> <p>こうした検討をふまえて、インフォームド・コンセントに代表される「患者主体の医療」や「患者の自己決定権」という言説が持つ意味、医療者の立ち位置、とその意味と課題を「生殖医療」や「終末期医療」といった具体的事例に基づき検討していく。これらの検討から、倫理的に考えることの意味を明らかにすることを目的とする。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] 倫理学の基本概念の習得と医学・医療における倫理の位置づけの理解を目的とする。その上で、具体的な医療上の課題を取り上げつつ、そこで倫理が求められる理由、果たしうる役割などについて基本的な理解の獲得を目指す。</p> <p>[到達目標] 1. 倫理的に生きるとはどういうことかについての基本的な見通しを立てることができる。 2. 個人の尊重と倫理の関係について理解することができる。 3. 規範を守ることの本質について理解することができる。 4. 善悪と個人の価値観の関係について理解することができる。</p>		
授業の位置づけ	-----		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-----		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]          他者の意思を尊重することと他者に関して無頓着でいることとは異なるものである。人が他人と共に生きるとはどういうことなのか、相異なる価値観同士の衝突、齟齬はどうやって乗り越えられるべきなのか。「絶対的な判断基準などない」ということと「何をやってもよい」ということの違いから、「正しく生きる」、「よく生きる」という言葉が意味するところを考えたい。          同時に、人と関わることなしにはありえない医療における、他者との関わり方を検討し、「生命倫理」、「医療倫理」が目指すところを、解明していく。そのため、普段より適切な自己決定とは何か、他人の自己決定に自分は如何に関わりうるかということ意識してほしい。</p> <p>[履修上の注意]          遅刻、早退は3回で1回分の欠席として取り扱う。          [課題等へのフィードバックの方法]          課題レポートについては翌週の授業以降で総合的な評価を行い、希望者には個別に対応する。</p> <p>[テキスト・参考書]          ・テキストは使用しない。          ・参考書は授業内で適宜紹介する。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の基準]          1. 医学医療、生命科学、環境学などの問題について、その概略を理解している。(定期試験)          2. その上で自らの見解を説得的に述べることができる。(定期試験)          3. 生き方の自己決定がはらむ他者との関係性構築の困難さを理解している。(レポート)          4. 授業中の発言や毎授業で行う小レポートの取り組み状況によって受講態度を評価する。(平常点)</p> <p>[成績評価の方法]          定期試験(80%)、課題レポート1回(10%)、平常点(10%)を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	<p>1. 医学医療、生命科学、環境学などの問題について、その概略を理解している。(定期試験)          2. その上で自らの見解を説得的に述べることができる。(定期試験)          3. 生き方の自己決定がはらむ他者との関係性構築の困難さを理解している(レポート)          4. 授業中の発言や毎授業で行う小レポートの取り組み状況によって受講態度を評価する。(平常点)</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題(小テストやレポート等)に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。  
 また、授業テーマを設定する際にも学生との対話に基づき、課題やレポートに対するフィードバックを総合的に行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

教科書は用いない。参考書などは授業内において適宜指示する。

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]            担当：長沼淳            E-mail：atnaganu[at]juntendo.ac.jp            ※[at]を@に変更してください。</p>
担当教員の実務経験	
備考	<p>現在医療において倫理は不可欠の要素となっているが、それは研究を遅らせたりすることを役割としているわけではない。社会内存在としての医学・医療の妥当性を確保し、その可能性を十分に追求するための環境を整える装置として理解されていると考えるべきである。個別の医療トピックを考える際にも、それがどのように社会的な了解を得て実現しているのか、その配慮に対する洞察が求められていると考えてほしい。倫理問題への手がかりは講義内に存在しているのではなく、日常生活上、報道やドキュメンタリーにおいて、などなど多様なところに存在しているものである。そういうきっかけを見逃さないような注意深さも期待したい。</p> <p>[学修時間]            この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、講義時間を越えた学修を含んでの構成となっている。そのため、学修の時間は1時間あたり 予習：45分、 復習：45分を目途に理解してほしい。</p> <p>[実務経験のある教員による授業]            担当の長沼は医学部倫理委員を20年以上務めており、また保健看護学部、医療看護学部でも倫理委員を務めているため、そこで得られた経験も織り交せて講義を行う。</p> <p>[その他]            新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】オリエンテーション</p> <p>【授業タイトル】倫理学とは            【サブ・タイトル】倫理学の歴史            【キーワード】アリストテレス、ベンサム、サルトル            【到達目標】原理原則の理解</p>	講義	
4/21 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】医療倫理の起源            【サブ・タイトル】ヒポクラテスの誓い、医は仁術            【キーワード】ヒポクラテス、貝原益軒            【到達目標】専門家と一般人の役割について理解する</p> <p>【授業タイトル】医療倫理の変容            【サブ・タイトル】ニュルンベルク綱領、ヘルシンキ宣言            【キーワード】人体実験と医療技術の進歩            【到達目標】医学の発達と患者の権利の相関性を理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】            患者の立場と医師の立場            パターナリズムの限界</p>	<p>パターナリズムの有用性について考える            インフォームド・コンセントはなぜ必要なのかを考える</p>

4/28 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】医療倫理と生命倫理 【サブ・タイトル】タスキギー研究とベルモントレポート 【キーワード】社会的弱者と医療 【到達目標】医学研究倫理の一つの到達点を理解する</p> <p>【授業タイトル】医療倫理と生命倫理 【サブ・タイトル】情報・理解・任意性 【キーワード】自律した個人 【到達目標】理性的な人間と医療の関係を理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 研究の倫理と臨床の倫理の違いを考える 自律の意味を考える</p>	患者の主体性とは何かを考える
5/12 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】自己決定権の歴史 【サブ・タイトル】自分のことを自分が決める 【キーワード】デカルト、カント、ミル 【到達目標】自己決定権をとりあえず理解する</p> <p>【授業タイトル】自己決定権の理解(1) 【サブ・タイトル】判断能力のある大人とは誰のことか 【キーワード】判断能力の有無 【到達目標】自己決定の主体を理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 視点の取り方に注意深く 自分はしっかりした大人か</p>	「自分のこと」とは何か 自分には判断能力が十分に備わっているのか 考える
5/19 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】自己決定権の理解(2) 【サブ・タイトル】私のものとは何か 【キーワード】所有の共同性 【到達目標】自己決定の対象を理解する</p> <p>【授業タイトル】自己決定権の理解(3) 【サブ・タイトル】他者危害の原則 【キーワード】独立した個人 【到達目標】私は多くの人に囲まれて生きていることを理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 私のものだから私の好きにしている？ 誰にも迷惑をかけていない？</p>	私の身体は私のものか考える 他人に迷惑をかけない生き方を考える
5/26 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】自己決定と他者決定(1) 【サブ・タイトル】私らしく生きるために 【キーワード】愚行権 【到達目標】自己決定権の意義を理解する</p> <p>【授業タイトル】自己決定と他者決定(2) 【サブ・タイトル】他人がその人らしく生きるために 【キーワード】他者の愚行権 【到達目標】自己決定の限界を理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 自己決定と他人のアドバイス アドバイスとおせっかい</p>	私の幸せは私が決める？ 他人の幸せはその人が決める？

6/2 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】義務と権利(1) 【サブ・タイトル】リパタリアニズム 【キーワード】自由と公共性 【到達目標】人間の価値が平等だといわれる理由を理解する</p> <p>【授業タイトル】義務と権利(2) 【サブ・タイトル】コミュニタリアニズム 【キーワード】公共性と人間の尊厳 【到達目標】同上</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 視野を広くしよう</p>	<p>人間は生まれながらに皆平等だろうか 今の私はどのようにしてできあがっているのか</p>
6/9 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】映像資料を使って考える 【サブ・タイトル】生きる義務と死ぬ権利 【キーワード】選ばれた生命 【到達目標】悩みは尽きないことの理解</p>	<p>ビデオ視聴</p> <p>【注意点】 善意が重荷になる</p>	<p>親は子どもを愛し、子どもはそれに応える？</p>
6/16 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】医療の倫理(1) 【サブ・タイトル】補助生殖医療 【キーワード】正常と異常 【到達目標】普通とは実在するのかについて自分なりの見解が述べられる</p> <p>【授業タイトル】医療の倫理(2) 【サブ・タイトル】デザイナーベビーと救世主兄弟 【キーワード】姉は幸せだったのか 【到達目標】普通に生きることが問題となることの理解</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 自分は普通だろうか 普通の人とは誰のことか</p>	<p>異常は正さなければならないのか ビデオの捉えなおし</p>
6/23 木 4限	長沼 淳	<p>【授業タイトル】医療の倫理(3) 【サブ・タイトル】先端医療 【キーワード】健康と病気 【到達目標】健康とは何なのかについて考え続けることができる</p> <p>【授業タイトル】医療の倫理(4) 【サブ・タイトル】前半を振り返る 【キーワード】総括 【到達目標】これまでの総括</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 病気は悪だろうか 総括</p>	<p>健康は義務なのか 総括</p>

<p>6/30 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】環境倫理について(1) 【サブ・タイトル】環境問題とは 【キーワード】環境倫理の起源 【到達目標】エコロジーの理解</p> <p>【授業タイトル】環境倫理について(2) 【サブ・タイトル】環境はなぜ問題になるのか 【キーワード】環境倫理の展開 【到達目標】エコな生活の理解</p>	<p>講義・情報共有</p> <p>【注意点】 エコロジーの理解 エコな生活の理解</p>	<p>環境問題はリサイクルで解決するのか 地球にやさしい生活を考える</p>
<p>7/7 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】環境倫理の課題(1) 【サブ・タイトル】環境倫理が困難な理由 【キーワード】世代間倫理と南北問題 【到達目標】地球に優しくないのは誰かの理解</p> <p>【授業タイトル】環境倫理の課題(2) 【サブ・タイトル】豊かさの追求 【キーワード】持続可能な社会 【到達目標】環境保護の目的の理解</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 地球に優しくないのは誰かの理解 環境保護の目的の理解</p>	<p>現在と未来のどちらを優先するべきなのか 地球環境を保護することで何を守ろうとしているのか</p>
<p>7/14 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】環境倫理の課題(3) 【サブ・タイトル】環境保護が目指すもの 【キーワード】持続的成長と環境 【到達目標】課題の分節化と再構築、医療の倫理と構造が類似していることの</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 リサイクル 豊かさ</p>	<p>何のための環境保護か</p>

<p>7/21 木 4限</p>	<p>長沼 淳</p>	<p>【授業タイトル】まとめ  【サブ・タイトル】生命、医療、環境の倫理は終わらない  【キーワード】私と他者  【到達目標】考え続ける意識を持ち続けること</p>	<p>講義</p>	<p>総括としてのレポート作成の準備を行う</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日本語リテラシー	授業形態	
英語科目名	Japanese Literacy	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	大野 早苗	ナンバリング	
担当教員	大野 早苗、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>本講義は、短編小説、詩歌などの文芸作品を正確に読み取って鑑賞し、さらに、その作品をもとに創造的な文章を書くことを目指す。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）やJF日本語教育スタンダードにも物語を創作する能力への言及があるように、想像力・創造力を使って書くことは、言語の運用能力の1つの重要な側面である。本講義では、文芸作品の鑑賞を通して読む力を向上させ、自由に書き、書く楽しさを体験することによって、大学で学ぶための基礎となる書く力を涵養するものである。</p> <p>講義は、①文芸作品の解釈と鑑賞をする、②作品についての感想や考えを話し合い、感想文を書く、③創造的な文章を書く、④受講生同士で互いの文章を読んで話し合い、必要に応じて修正を加える、というサイクルで行われる。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短編小説、詩歌などの文芸作品を正しく読み取ることができる。</li> <li>2. 短編小説、詩歌などについての感想や考えを、適切な語を使って他者に伝えることができる。</li> <li>3. 創造的な文章を書くことができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	本講義は、留学生や帰国生など、大学における学修のための言語としての日本語能力に関して補強が必要な学生を対象としたものである。第1回目の講義時に履修の可否を判断するので、履修希望者は必ず出席すること。
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	文芸作品の感想文3回 (30%) 創造的な作文3回 (60%) 平常点 (10%)
------	---

評価基準	授業で取り上げた文芸作品の内容を正確に読み取っている。(感想文) 自分の感想や考え、創造した物語等を適切な語を用いて伝えられている。(感想文・創造的な作文) 受講者同士の話し合いに積極的に参加している。(平常点)
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

感想文、創造的な作文については、次回講義時にフィードバックを行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

講義時に提示する。

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] sanaeo*juntendo.ac.jp (*を@に変更してください)</p> <p>[オフィスアワー] 木曜3限</p>
担当教員の実務経験	
備考	新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/11 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 ガイダンス、日本語力チェック</p> <p>【サブ・タイトル】 自分の読み書き能力を知る</p> <p>【キーワード】 読む力、書く力、語彙力</p> <p>【到達目標】 自分の日本語運用能力を知り、今後、何を重点的に学ばなければならないかを理解する。 創造的に書くことの意味・意義を理解する。</p>	講義	(予習) 話し言葉と書き言葉の違いは何かについて、考えておくこと。
4/18 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 短編小説から想像・創造を膨らませる①</p> <p>【サブ・タイトル】 短編小説の読解</p> <p>【キーワード】 読解と鑑賞</p> <p>【到達目標】 短編小説の内容を正確に読み取る。</p>	講義	(予習) 課題文(短編小説)を読んでおく。 (復習) 自分なりの感想をまとめておく。

4/25 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 短編小説から想像・創造を膨らませる①</p> <p>【サブ・タイトル】 短編小説の感想文</p> <p>【キーワード】 読解と鑑賞、感想文、書き言葉</p> <p>【到達目標】 使用する語の選択に注意して感想文を書く。</p>	講義・グループ ディスカッション	(復習) 短編小説の内容をより豊かなものにするために、詳細(登場人物の言動や心情、舞台の描写)を考えてみる。
5/2 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 短編小説から想像・創造を膨らませる①</p> <p>【サブ・タイトル】 短編小説の詳細執筆</p> <p>【キーワード】 物語の詳細(登場人物の言動や心情、舞台の描写)</p> <p>【到達目標】 短編小説に詳細を加えて肉付けして書く。</p>	講義	(復習) 短編小説の詳細をいったん書き上げる。
5/9 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 短編小説から想像・創造を膨らませる①</p> <p>【サブ・タイトル】 受講生同士の批判を通じた短編小説の詳細完成</p> <p>【キーワード】 作品批判、修正</p> <p>【到達目標】 他者によく伝わるように修正を加え、短編小説の詳細を完成させる。</p>	講義・ペアワーク	(復習) 修正前と修正後の文章を読み比べ、修正点を改めて確認する。
5/16 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 短編小説から想像・創造を膨らませる②</p> <p>【サブ・タイトル】 短編小説の読解</p> <p>【キーワード】 読解と鑑賞</p> <p>【到達目標】 短編小説の内容を正確に読み取る。</p>	講義	(予習) 課題文(短編小説)を読んでおく。 (復習) 自分なりの感想をまとめておく。

5/23 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 短編小説から想像・創造を膨らませる②</p> <p>【サブ・タイトル】 短編小説の感想文</p> <p>【キーワード】 読解と鑑賞、感想文、書き言葉</p> <p>【到達目標】 使用する語の選択に注意して感想文を書く。</p>	講義・グループ ディスカッション	(復習) 短編小説の枠組み(登場人物、舞台、物語の展開)を利用して、続編を考えてみる。
5/30 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 短編小説から想像・創造を膨らませる②</p> <p>【サブ・タイトル】 短編小説の続編執筆</p> <p>【キーワード】 短編小説の枠組み(登場人物、舞台、物語の展開)</p> <p>【到達目標】 短編小説の続編を書く。</p>	講義	(復習) 短編小説の続編をいったん書き上げる。
6/6 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 短編小説から想像・創造を膨らませる②</p> <p>【サブ・タイトル】 受講生同士の批判を通じた短編小説の続編完成</p> <p>【キーワード】 作品批判、修正</p> <p>【到達目標】 他者によく伝わるように修正を加え、短編小説の続編を完成させる。</p>	講義・ペアワーク	(復習) 修正前と修正後の文章を読み比べ、修正点を改めて確認する。
6/13 月 1限	大野 早苗	<p>【授業タイトル】 詩歌から想像・創造を膨らませる</p> <p>【サブ・タイトル】 詩歌の読解</p> <p>【キーワード】 読解と鑑賞</p> <p>【到達目標】 短編小説の内容を正確に読み取る。</p>	講義	(予習) 課題文(詩歌)を読み、それが書かれた時代背景等を調べておく。 (復習) 自分なりの感想をまとめておく。

<p>6/20 月 1限</p>	<p>大野 早苗</p>	<p>【授業タイトル】 詩歌から想像・創造を膨らませる 【サブ・タイトル】 詩歌の感想文 【キーワード】 読解と鑑賞、感想文、書き言葉 【到達目標】 使用する語の選択に注意して感想文を書く。</p>	<p>講義・グループ ディスカッション</p>	<p>(復習) 詩歌の書かれた時代背景や筆者の心情を考え、そこから得たインスピレーションをもとにした短編（随筆あるいは小説）の構想を練る。</p>
<p>6/27 月 1限</p>	<p>大野 早苗</p>	<p>【授業タイトル】 詩歌から想像・創造を膨らませる 【サブ・タイトル】 詩歌をもとにした創作 【キーワード】 インスピレーション、想像、創造 【到達目標】 詩歌からインスピレーションを得て短編（随筆あるいは小説）を書く。</p>	<p>講義</p>	<p>(復習) 詩歌をもとにした短編をいったん書き上げる。</p>
<p>7/4 月 1限</p>	<p>大野 早苗</p>	<p>【授業タイトル】 詩歌から想像・創造を膨らませる 【サブ・タイトル】 受講生同士の批判を通じた短編（随筆あるいは小説）の完成 【キーワード】 作品批判、修正 【到達目標】 他者によく伝わるように修正を加え、短編（随筆あるいは小説）を完成させる。</p>	<p>講義・ペアワーク</p>	<p>(復習) 修正前と修正後の文章を読み比べ、修正点を改めて確認する。</p>

<p>7/11 月 1限</p>	<p>大野 早苗</p>	<p>【授業タイトル】 総まとめ 【サブ・タイトル】 前期中に読んだ作品と書いた文章を振り返る 【キーワード】 想像、創造、使用語彙 【到達目標】 書くことについての自分自身の変化に気付く（使用語彙、文章の分量等）。</p>	<p>講義・グループ ディスカッション</p>	<p>(予習) 前期中に自分が書いた文章を読み返し、始めて使った語や表現、文型などを確認しておく。</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	メディカル・ヒューマニティーズ	授業形態	
英語科目名	メディカル・ヒューマニティーズ	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	澤井 直	ナンバリング	
担当教員	澤井 直、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>ヒューマニティーズは人間の文化や社会の諸相を扱う学問領域であり、人文学（哲学、倫理学、歴史学、宗教学etc.）や社会科学（心理学、社会学、人類学etc.）、芸術学（文学、視覚芸術、演劇、映画etc.）の分野を含む。「メディカル・ヒューマニティーズ」科目では、医学・医療をヒューマニティーズの観点から捉え、医学・医療と人間の関わりについて考える。講義では講義受講・ディスカッション・ミニレポートを通じて学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]          メディカル・ヒューマニティーズという視点があることを知る          将来にわたり幅広い観点から患者・医療を見ていくことの出発点とする</p> <p>[到達目標]          1. ヒューマニティーズの分析・思考法の特徴を説明できる          2. 医学・医療にヒューマニティーズの分析法を適用した事例を紹介できる          3. ヒューマニティーズの分析法を自分で医学・医療に関わる事柄に適用して分析できる</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	高校の社会科学科目はどの科目を選択していても分かる内容ですが、歴史、倫理、文学などの人文学に関心を持つ方が履修してください。
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	成績評価方法： 授業点（50%）と最終レポート（50%）を総合して評価する
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業点は出席・平常の課題・ミニレポートで評価する</li> <li>2. 積極的な質問・発言は授業点に加算</li> <li>3. レポート試験は総合的な理解度を評価する</li> </ol>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

課題（小テストやミニレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。
---

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

講義中随時指示、配布する
--------------

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	担当：澤井直 E-mail: tsawai@juntendo.ac.jp [オフィスアワー] 日時：前期期間中の火曜日12:20から13:30 場所：センチュリータワー14階北 できるだけ来室前にE-mailで予約してください。事前予約があれば上記日時以外も対応できます。			
担当教員の実務経験				
備考	☆ 医療や医学はもちろん、芸術作品やスポーツ、経済活動を含め、一流の仕事にできるだけたくさん触れる。 ☆ 医学・医療に関わらず、さまざまな書籍等の情報から、多様な人間社会に触れ、理解を深める。 ☆ 授業内で課された課題に真摯に取り組む。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分			
4/13 水 2限	澤井 直	【授業タイトル】はじめに：ヒューマニティーズとは 【サブ・タイトル】ヒューマニティーズ概要説明 【キーワード】ヒューマニティーズ、人文主義 【到達目標】「ヒューマニティーズ」に含まれる分野について説明できる  【授業タイトル】はじめに：メディカル・ヒューマニティーズとは 【サブ・タイトル】メディカル・ヒューマニティーズ概要説明 【キーワード】ヒューマニティーズ、人文主義 【到達目標】「メディカル・ヒューマニティーズ」が扱う問題を説明できる	講義	復)「ヒューマニティーズ」と「ヒューマニズム」の違いについて考える
4/20 水 2限	澤井 直	【授業タイトル】歴史：感染症の歴史(1) 【サブ・タイトル】ヒポクラテスによる流行病の記録 【キーワード】ヒポクラテス、『流行病』、症例記録 【到達目】古代ギリシアの医学について説明できる  【授業タイトル】歴史：感染症の歴史(2) 【サブ・タイトル】アテネの疫病 【キーワード】トゥキュディデス、ペロポネソス戦争 【到達目標】感染症がギリシア文化に与えた影響について説明できる	講義	復) 医師が残す記録の意義について考える 復) 非医師が残す記録の意義について考える

<p>4/27 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(3) 【サブ・タイトル】 アントニヌスの疫病 【キーワード】 ガレノス、マルクス・アウレリウス 【到達目標】 2世紀ローマの医療について説明できる</p> <p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(4) 【サブ・タイトル】 藤原四兄弟の死 【キーワード】 藤原四兄弟、天然痘 【到達目標】 7世紀の日本の感染症流行について説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) 感染症流行下の医師の行動について考える 復) 感染症が政治に与えた影響について考える</p>
<p>5/11 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(5) 【サブ・タイトル】 黒死病 【キーワード】 黒死病、ペスト 【到達目標】 黒死病がヨーロッパ文化に与えた影響について説明できる</p> <p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(6) 【サブ・タイトル】 スペイン風邪 【キーワード】 第一次世界大戦、スペイン風邪 【到達目標】 スペイン風邪がどのように記憶されたかを説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) パンデミックによる人口減少の影響について考える</p>
<p>5/18 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(7) 【サブ・タイトル】 天然痘 【キーワード】 天然痘、牛痘種痘 【到達目標】 天然痘の被害の歴史と撲滅の過程を説明できる</p> <p>【授業タイトル】 歴史：感染症の歴史(8) 【サブ・タイトル】 21世紀の感染症 【キーワード】 新型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症 【到達目標】 21世紀に流行した感染症について説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) 感染症撲滅の意義について考える 復) 現代におけるパンデミックがもたらす変化について考える</p>
<p>5/25 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】 科学哲学：境界(1) 【サブ・タイトル】 科学と疑似科学の境界 【キーワード】 境界設定、反証可能性 【到達目標】 反証可能性について説明できる</p> <p>【授業タイトル】 科学哲学：境界(2) 【サブ・タイトル】 代替医療 【キーワード】 通常医療、代替医療 【到達目標】 通常医療と代替医療の違いについて説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) 疑似科学が社会に与える影響について考える 復) 代替医療が存在する理由について考える</p>

<p>6/1 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】科学哲学：境界(3) 【サブ・タイトル】正常と病理 【キーワード】健康、病因に関する存在論と全体論 【到達目標】病因に関する存在論と全体論について説明できる</p> <p>【授業タイトル】科学哲学：境界(4) 【サブ・タイトル】正常と異常 【キーワード】精神疾患、患者対応の歴史 【到達目標】精神疾患患者対応の歴史について説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) 正常と病理の違いについて考える 復) 正常と異常の違いについて考える</p>
<p>6/15 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】科学哲学：方法(1) 【サブ・タイトル】帰納、仮説、仮説演繹法 【キーワード】帰納、仮説、仮説演繹法 【到達目標】帰納、仮説、仮説演繹法を説明できる</p> <p>【授業タイトル】科学哲学：方法(2) 【サブ・タイトル】ゼンメルワイスの産褥熱研究 【キーワード】仮説演繹法、ゼンメルワイス 【到達目標】ゼンメルワイスの用いた方法について説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>復) 実験で用いられる推論方法について考える 復) 消毒法の発見と普及について調べる</p>
<p>6/18 土 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】科学哲学：理論の変遷(1) 【サブ・タイトル】血液循環論の変遷 【キーワード】ガレノス、ハーヴィ、マルピーギ 【到達目標】血液循環が発見された過程を説明できる</p> <p>【授業タイトル】科学哲学：理論の変遷(2) 【サブ・タイトル】パラダイム論 【キーワード】科学革命、通常科学 【到達目標】「パラダイム」「通常科学」「科学革命」について説明できる</p>	<p>講義</p>	<p>予) 現代生理学における血液運動の理解を調べる 復) 新聞・雑誌・書籍における「パラダイム」の使用例を探す</p>
<p>6/22 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】文学：患者の心理描写(1) 【サブ・タイトル】感染症に罹患したら 【キーワード】スペイン風邪、『流行感冒』 【到達目標】日本におけるスペイン風邪の影響を説明できる</p> <p>【授業タイトル】文学：患者の心理描写(2) 【サブ・タイトル】がんの告知 【キーワード】がん告知、『われはうたえども やぶれかぶれ』、『行列の先にある人』 【到達目標】一昔前のがん告知に関する患者心理を理解する</p>	<p>講義</p>	<p>復) 感染症を題材にした文芸作品を読む 復) がん告知を題材にした文芸作品を読む</p>

6/29 水 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】映画:社会の中のハンセン病(1)  【サブ・タイトル】昭和期のハンセン病  【キーワード】「砂の器」、無癩県運動、らい予防法  【到達目標】ハンセン病患者の歴史を理解する</p>	講義	復) 映画あるいは小説「砂の器」を見る・読む
7/6 水 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】映画:社会の中のハンセン病(2)  【サブ・タイトル】平成期のハンセン病  【キーワード】「あん」、ハンセン病療養所、ハンセン病療養所らい  予防法廃止  【到達目標】ハンセン病患者の歴史を理解する</p>	講義	復) 映画あるいは小説「あん」を見る・読む
7/13 水 2限	澤井 直	<p>【授業タイトル】メディア:漫画が伝えるもの(1)  【サブ・タイトル】病を描く漫画  【キーワード】医療漫画  【到達目標】医療漫画の変遷について説明できる</p> <p>【授業タイトル】メディア:漫画が伝えるもの(2)  【サブ・タイトル】医療における漫画  【キーワード】グラフィック・メディスン  【到達目標】グラフィック・メディスンについて説明できる</p>	講義	復) 医療漫画を読み、どのような視点で描かれているかを考える 復) 医療現場で漫画が活用できる可能性について考える

<p>7/20 水 2限</p>	<p>澤井 直</p>	<p>【授業タイトル】まとめ：メディカル・ヒューマニティーズとは  【サブ・タイトル】メディカル・ヒューマニティーズ概括  【キーワード】ヒューマニティーズ、人文主義  【到達目標】「メディカル・ヒューマニティーズ」が目指すものを理解する</p>	<p>講義</p>	<p>復)「メディカル・ヒューマニズム」を継続的に自己学習する方法を考える</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	心とからだの哲学	授業形態	講義
英語科目名	Body and Mind Philosophy	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	長沼 淳	ナンバリング	PHI1120
担当教員	長沼 淳、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業の全体の内容]</p> <p>哲学の営為に触れ、哲学的に考えるということの意味を理解する。哲学とは、あらゆるものごとの基盤を問い返す試みである。したがってその対象は、人間の存在そのものといった根源的なものから日常生活でふと経験する些細なことまで非常に広い。本講では、われわれの存在について様々な角度から、これまでの哲学的な議論を基にしつつ、分析し、新たな視点を確保することを目指したい。あまりに当たり前すぎて考えてみることもしなかったような事象について捉え返す作業を積み重ね、哲学的考察の方法を習得できるようにしたい。こうした問いかけは、他者のみならず自らとの対話を求めるものであり、当然のことながらコミュニケーション能力や他者などと折り合いをつけながら生きるための基本的な視点を確保することになる。</p>		
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <p>人間の生や生きるための具体的な営みを問い返すといった作業から、哲学的なものごとを考えるとどのようなことなのかを理解できるようにする。そのうえで、自分の問題意識にそって、哲学的な考察ができるようになることを第二の目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 哲学という方法論を理解することができる。</li> <li>2. 世界の多様な存在様式について確認でき、それを幅広い他者理解につなげることができる。</li> <li>3. 他者との共存のためにコミュニケーションを通して調整することができる。</li> <li>4. 哲学的な理解を日常生活に応用、実践につなげることができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>この科目は「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、およびそれらの活用能力」を身につけるものである。</p>		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特に指定しない。</p> <p>[履修上の注意] 「哲学的に考える」ということは簡単な問に見えて非常に難しい問題である。この授業を手がかりにして自らの生き方を振り返るきっかけとしてほしい。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の方法] 定期試験（80%）、レポート（15%）、小テスト（5%）を基本に総合的に評価する。</p>
------	--

評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 哲学的に考察することの、基本的な構造を理解できるか、レポート、定期テストで評価する。</li> <li>・ 哲学的な考察を、自らの問題に応用できるか、授業後の小テスト、定期テストで評価する。</li> <li>・ 上記応用に基づき、日常生活への実践方法を構想できるか、定期テストで評価する。</li> </ul>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

<p>[課題に対するフィードバックの方法] レポートは翌週以降の講義後に評価や改善点を受講者に個別にフィードバックする。 定期試験については、次学期において評価、改善点をフィードバックする。</p>
---

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
指定しない				

参考文献

<p>授業内において適宜紹介する。</p>
-----------------------

その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 連絡先は授業内に告知する。</p> <p>[オフィスアワー] 日時：木曜の講義の前後の時間 場所：1号館2階非常勤講師室 確実にコンタクトをとりたい場合は前日までメールにてアポイントメントをとること。</p>			
担当教員の実務経験	該当なし			
備考	<p>[学修時間] この授業は講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容から成り立つ。</p> <p>[その他] 授業内容は受講生の要望に応じて変更する場合がある。 コロナの状況次第で授業計画、成績評価の基準及び方法が変更となる場合があるため、その都度の案内には注意してほしい。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長沼 淳	<p>(授業内容) オリエンテーション 哲学とは何かを考える</p> <p>(授業方法) 講義と小レポート作成を行う</p>	講義・演習	<p>(予習) 必要なし</p> <p>(復習：5時間) 哲学とは何かをまとめ、学びを深めること。</p>
2	長沼 淳	<p>(授業内容) スポーツとは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に応じた考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと</p> <p>(復習：3時間) スポーツの持つ文化性について考えておくこと。</p>

3	長沼 淳	<p>(授業内容) スポーツと「体育」の違いについて</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 予習：配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：3時間) 体育は何を育てる科目なのかを考え直すこと。</p>
4	長沼 淳	<p>(授業内容) ルールを守るということ</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：3時間) ルールとは何のために存在し、プレーヤーに順守を求めるのはなぜなのかを考えておくこと。</p>
5	長沼 淳	<p>(授業内容) フェアプレーとは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) スポーツマンシップに則り正々堂々と戦うとはどのようなことなのかを考えておくこと。</p>
6	長沼 淳	<p>(授業内容) アマスポーツとプロスポーツは何が異なるのか</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) アマレスとプロレスは何が違うのかを考えておくこと。</p>

7	長沼 淳	<p>(授業内容) 心があるということ</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと</p> <p>(復習：2時間) ドラえもんには心があるのか、ペッパーには心があるのか、そもそも心があるとはどのようなことを考えること。</p>
8	長沼 淳	<p>(授業内容) 本当とは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと</p> <p>(復習：2時間) 自分の認識が正しかったり誤ったりするのはなぜなのか、そして今自分は正しく世界を認識しているのかを考えること。</p>
9	長沼 淳	<p>(授業内容) 記憶とは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 事前配布資料を確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 何かを思い出すこととあるものを思い浮かべることの違いについて考えておくこと。</p>
10	長沼 淳	<p>(授業内容) 確率とは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 一回だけの出来事について確率計算をする意味を自分なりにまとめること。</p>

11	長沼 淳	<p>(授業内容) 名前と実体</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 言葉が意味を持つということについて、それがどういふことなのかを考えること。</p>
12	長沼 淳	<p>(授業内容) 私とは何か——アイデンティティについて考える</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) アイデンティティ形成に関わる他者の存在の意義について自分なりに考えること。</p>
13	長沼 淳	<p>(授業内容) 主観は客観的になりうるか</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 言葉の意味が自分の思い通りに他者に伝わるのはなぜなのかを自分なりにまとめること。</p>

14	長沼 淳	<p>(授業内容) 哲学を哲学的に考える</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	講義・演習	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 試験の課題をしっかりと考えておくこと。</p>
		定期試験		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	社会学	授業形態	講義
英語科目名	Sociology	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	渡 正	ナンバリング	SOC1121
担当教員	渡 正、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>現代社会を取り巻く課題は数多く存在し、それらは私たちの身近なことから、国家規模の問題、世界全体の問題にまで広がっている。社会学の授業では、これら現代社会における諸課題とその背景知識について学ぶ。また、様々な社会的課題を考察するための社会的理論について学ぶ。</p> <p>講義と設定されたワークによって社会学の基礎を学ぶ他、現代の社会的課題についてのグループディスカッションと発表を行い、理解を深める。また、授業内・授業外の学修全般でJ-Passその他のICTを活用する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会における課題を理解し、それが生起する背景的な問題を理解できる。</li> <li>2. 現代社会における課題を考えるための社会的理論／知識を理解し説明できる。</li> <li>3. 現代社会における課題を社会的な観点から解釈し、自らの考えとしてまとめる事ができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は現代社会の課題を考察するための社会的知識の修得を通して、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、およびそれらの活用能力」という学位授与方針の達成に寄与する科目の1つとして開講される。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。 本授業では、毎回、ICTを用いてワークの提出などを行う。そのためタブレットPC、ノートPCなどインターネットにアクセスし作業のできる機器を持ち込むことを推奨する。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	定期試験（筆記）50%、毎回の課題の内容（レポート、ワーク、少テスト）40%、その他課題の取り組み状況10%
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会における課題とその背景的問題を把握することができる（ワークシート）</li> <li>2. 現代社会における課題を理解するための社会学知識を理解している（小テスト・定期試験）</li> <li>3. 現代社会における課題を社会的な観点から考察することができる（課題レポート）</li> <li>4. その他、学習意欲や態度や取り組みを小テスト、提出された課題、ワークシートで評価する（平常点）</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

授業内にて返却し、模範解答やポイントを提示し、解説する。定期試験・レポート課題については、希望する者には内容の解説等を行う。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

授業・準備学習に関わる必要な資料は、授業中に適宜配布するか、J-Pass上にアップロードしますので、各自ダウンロードしてください。  
 友枝俊雄・浜日出夫・山田真茂留編（2017）『社会学の力：最重要概念・命題集』有斐閣。  
 西澤晃彦・渋谷望（2008）『社会学をつかむ』有斐閣。  
 ギデンズ、A（2009）『社会学第5版』而立書房。  
 上記は必ず用意しなければならないテキストではありませんが、レポート作成や準備学習の参考図書です。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
<p>その他</p> <p>連絡先・オフィスアワー</p> <p>[連絡先] 担当：渡 正 E-mail: t-watari[at]juntendo.ac.jp ([at]を@に変更してください)</p> <p>[オフィスアワー] 日時：日時:13:00~14:30 場所：1号館3階1321室 (スポーツ社会学研究室) 上記の時間帯は予約がなくても対応しますが、予約してくれた学生を優先するので、前日までにE-mailやJ-Passから予約してください。</p> <p>担当教員の実務経験</p> <p>備考</p> <p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
1	渡 正 (以下同)	テーマ：社会学的想像力とは社会学の基本的な考え方を紹介する。	プリントとスライドを用いて講義形式で行う。提示されたワークを行い、提出する。	(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
2		テーマ：近代社会の成立と社会学 大きな社会変動であった近代社会の成立と、それを分析する学としての社会学をコント・デュルケーム・ウェーバーの学説から考える	プリントとスライドを用いて講義形式で行う。提示されたワークを行い、提出する。	(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。

3		<p>テーマ：日常的行為の社会学  ゴフマンによる日常的行為の社会学から、およびエスノメソドロジーの会話分析から、私たちの日常的行為がいかに成り立っているかを解説する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)  J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。  (復習：2時間)  授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
4		<p>テーマ：制度場面のコミュニケーション  地位-役割理論とIRE連鎖など「ワークの実践」について解説する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)  J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。  (復習：2時間)  授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
5		<p>テーマ：教育制度と教育機能の社会学  現代社会における能力主義と学校教育の社会化／選抜・配分機能について解説し、学校教育の歴史とその機能について理解を深める。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)  J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。  (復習：2時間)  授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
6		<p>テーマ：少子高齢化社会の諸相  人口動態および出生率、未婚化・晩婚化、諸国の対応などについて解説し、現代日本における少子高齢化問題について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：3時間)  J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。  (復習：3時間)  授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>

7		<p>テーマ：貧困問題とは 絶対的貧困、相対的貧困、相対的剥奪やジニ係数について解説し、現代の格差社会の進展と日本の貧困問題について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
8		<p>テーマ：社会的排除 社会階層論、社会的排除について解説し、日本における差別（部落・地域）の問題について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
9		<p>テーマ：ジェンダーとセクシュアリティの多様性 ジェンダー、セクシュアリティ、セクシュアル・マイノリティについて解説し、マジョリティからの抑圧と性の多様性についてのフェミニズム理論を理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
10		<p>テーマ：障害の社会学 ICF、障害の個人モデル、障害の社会モデル、共生社会について解説し、障害とは何か、共生社会とは何かについて理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：3時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：3時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>

11		<p>テーマ：民族とナショナリズム          民族、国民、国民国家、ナショナリズムなどについて、B・アンダーソンの「想像の共同体」論の視点から解説する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)          J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。          (復習：2時間)          授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
12		<p>テーマ：メディアはメッセージである          エンコーディング/デコーディング、ホット/クールメディア、メディアの機能分析(順機能・逆機能)などについて解説し、現代社会の各メディアの特徴と機能について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)          J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。          (復習：2時間)          授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>
13		<p>テーマ：グローバリゼーション          グローバリゼーション、新自由主義、多文化主義、福祉国家など、現代社会のグローバル化の状況を解説し、グローバル化に伴う経済・社会・政治・文化の問題について理解する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間)          J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。          (復習：2時間)          授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>

14		<p>テーマ：現代社会の諸相 消費社会（記号消費）や、ポストモダン、データベース型社会や生権力など、現代社会で生起する事象を考えるための諸理論を解説する。</p>	<p>講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。</p>	<p>(予習：2時間) J-Passにアクセスし、提示された課題を行い、指定された方法で提出する。 (復習：2時間) 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。</p>








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	心理学	授業形態	講義
英語科目名	Psychology	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	村上 達也	ナンバリング	PSY1122
担当教員	村上 達也、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>本講義では、実証科学としての心理学について、①科学とは何か、②心理学の科学性とは何か、について解説し、それらを踏まえた上で、③心理学の方法論について解説する。また、実際の心理学研究がどのように行われているのか、どのような研究知見があるのかについて、教室での疑似実験を行いながら解説する。本科目では、心理学の基礎的な内容を理解することが目標であるが、実生活のほか教育現場や医療現場などで実際に役立つ応用的な内容も扱っていく。</p>		
到達目標	<p>本講義では、以下の4点を到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学を理解するための前提として、科学とは何かについて理解する。</li> <li>2. 心理学の科学性について理解する。</li> <li>3. 心理学の科学的方法論について理解する。</li> <li>4. 1～3を達成することによって、心理学の観点に基づく人間理解を深めることができるようになることを総合的な到達目標とする。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この授業は、心理学への科学的な理解を深めることにより、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」を身につけることを目標とする。		

履修上の注意、履修要件	<p>履修要件：特になし</p> <p>履修上の注意：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 配布プリントを保管するためのファイルを準備すること。</li> <li>2. 授業への遅刻を2回した場合には欠席1回分として扱う。</li> <li>3. レポートを期限内に遅れて提出した場合には、レポートの評価は50%に減点する（提出しない場合には0点とする）。</li> </ol> <p>※ 本講義の履修者が多数になった場合には、履修候補者を初日の出席者に限定した上で履修制限を行うことがある。</p>
-------------	--

**成績評価の方法**

評価方法	<p>中間レポート30%・定期試験40%、授業内レポート30%を基本に総合的に評価する。ただし、受講態度がふさわしくなく、改善が認められない場合、減点する。【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の情報処理過程を理解し説明できる。（定期試験）</li> <li>2. 人間の対人コミュニケーションの特徴を理解し説明できる。（定期試験）</li> <li>3. 人間の生涯発達の特徴を理解し説明できる。（定期試験）</li> <li>4. 臨床心理学の概論を理解し説明できる。（定期試験）</li> </ol>
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学を理解するための前提として、科学とは何かについて理解する。（中間レポート・定期試験）</li> <li>2. 心理学の科学性について理解する。（中間レポート・定期試験）</li> <li>3. 心理学の科学的方法論について理解する。（定期試験）</li> <li>4. 1～3を達成することによって、心理学の観点に基づく人間理解を深めることができるようになることを総合的な到達目標とする。（授業内レポート・定期試験）</li> </ol>
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

授業内の質問や疑問は、適宜対応する。
--------------------

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p>テキストは使用せず、配布プリントを用いて講義を進める。参考書などは授業の際に適宜、紹介を行う。</p>
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
<p>【連絡先】            担当：村上達也            E-mail:t.murakami.lr [at] juntendo.ac.jp            ※ [at]を@に変更</p> <p>【オフィスアワー】            時間：月曜日 12:30-13:00            場所：さくらキャンパス1号館2階1221号室</p> <p>※上記の時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と重ならないようにするために、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>				
<p>【学修時間】            この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】            学生の学習進度に応じて、あるいは、授業内レポートのコメントに応じて授業計画を変更する場合がある。            また、授業の中で、4年生や大学院生などによる質問紙調査や実験への参加募集を行う場合がある。参加することによって、心理学研究の実際を体験することができ、心理学を学ぶ上でメリットとなる。しかし、参加・不参加は履修者本人の自由であり、参加・不参加および回答内容などによる成績への影響は一切ない。履修者本人・保護者が調査研究への参加を希望しない場合、および、参加したものの研究での使用を希望しない場合、講義内やメールなどでその旨を科目責任者まで連絡すること。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況やその他の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p>				
<p>【連絡先】            担当：村上達也            E-mail:t.murakami.lr [at] juntendo.ac.jp            ※ [at]を@に変更</p> <p>【オフィスアワー】            時間：月曜日 12:30-13:00            場所：さくらキャンパス1号館2階1221号室</p> <p>※上記の時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と重ならないようにするために、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>				
<p>【学修時間】            この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】            学生の学習進度に応じて、あるいは、授業内レポートのコメントに応じて授業計画を変更する場合がある。            また、授業の中で、4年生や大学院生などによる質問紙調査や実験への参加募集を行う場合がある。参加することによって、心理学研究の実際を体験することができ、心理学を学ぶ上でメリットとなる。しかし、参加・不参加は履修者本人の自由であり、参加・不参加および回答内容などによる成績への影響は一切ない。履修者本人・保護者が調査研究への参加を希望しない場合、および、参加したものの研究での使用を希望しない場合、講義内やメールなどでその旨を科目責任者まで連絡すること。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況やその他の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p>				
1	村上 達也	<p>(授業内容)            オリエンテーションとして、授業の目的と概要、成績評価、履修上の注意について説明する。また、受講生の持つ心理学に対する印象を把握し、心理学の全体像について解説する。</p>	<p>(授業方法)            授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】            自身の持つ心理学に対する印象（イメージ）や心理学について知っていることを整理しておく。            【復習：1時間】            心理学の全体像について、学んだ知識を整理しておく。</p>
2	村上 達也	<p>(授業内容)            実証科学とは何か：実証科学に基づく心理学を理解するために、科学について解説する。</p>	<p>(授業方法)            授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】            前の授業中に課した予習内容に取り組む。            【復習：2時間】            授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>

3	村上 達也	<p>(授業内容) 科学の方法：実証科学における科学の方法論について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
4	村上 達也	<p>(授業内容) 科学としての心理学（1）相互主観性と操作主義：心理学が科学であるための要件としての相互主観性や操作主義について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
5	村上 達也	<p>(授業内容) 科学としての心理学（2）心理測定：心理学の中の中核概念である心理測定について、その性質と特徴を解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
6	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験の紹介（1）注意に関する心理学：ヒトの注意に関する認知心理学的研究とその応用について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>

7	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学の科学性に関するまとめ／中間レポート：ここまでの授業を振り返って、心理学の科学性に関してのまとめを行い、それに関する中間レポートを課す。</p>	<p>(授業方法) 第1～6回目までの内容に関する総括を行い、一連の流れを解説し、質問や疑問について答えていく。</p>	<p>【予習：5時間】 これまでの内容を体系的に整理するとともに、心理学の科学性について自分なりの考えをまとめておく。 【復習：10時間】 授業内での一連の説明や疑問への応答を通じて、心理学の科学性に関する自己の考えをまとめ、レポートを作成する。</p>
8	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学の方法論：心理学の方法論について紹介し、特に実験法について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
9	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験法（1）被験者内計画：被験者内計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
10	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験法（2）被験者間計画：被験者間計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>

11	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験法 (3) 混合計画：混合計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
12	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験の紹介 (2) 錯覚に関する心理学：ヒトの錯覚に関する認知心理学的研究とその応用について解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>
13	村上 達也	<p>(授業内容) 心理学実験の紹介 (3) 抑制に関する心理学：ヒトの抑制機能に関する心理学実験を教室で実演し、それを解説する。</p>	<p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。</p>

14	村上 達也	<p>(授業内容)  総合復習：これまでの総括を行い、心理学の視点を踏まえた人間理解について解説する。</p>	<p>(授業方法)  第8～13回目までの内容に関する総括を行い、一連の流れを解説し、質問や疑問について答えていく。</p>	<p>【予習：5時間】  これまでの内容を体系的に整理するとともに、実験計画および紹介した心理学実験についてまとめておく。  【復習：5時間】  授業内での一連の説明や疑問への応答を通じて、これまでの授業を振り返り、理解を深める。</p>
		<p>定期試験</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	経済学	授業形態	講義
英語科目名	Economics	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	李 照錫	ナンバリング	EC01123
担当教員	李 照錫、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>【授業全体の内容】          経済学の用語・概念を理解し、それらを用いて具体的な経済問題を理解する。特に、人々の経済行動を分析するミクロ経済学、および一          国全体の経済状況を分析するマクロ経済学の双方についてバランス良く学習する。          テレビや新聞等で報じられる経済ニュースは社会に出た途端に自身のビジネスや生活に関わるものとなる。本講義で扱うトピックは経済          学という学問として捉えるのではなく、むしろ社会・経済で生活する上での一般常識に近いものだと思って、修得する必要性を感じなが          ら臨んで欲しい。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語を理解し、それぞれの概念の関係について説明できる。</li> <li>2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて論じることができる。</li> <li>3. これからの経済社会にどのように対応していくのかを理解できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリ シー、コンピテンシー との関連	この科目は、経済学を通してスポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養を身に付ける。		

履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 特になし</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	<p>【成績評価の方法】 定期試験70%、授業内レポート30%で評価します。なお、受講態度が授業進行上ふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とします。</p>
------	---

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語について説明できる。（定期試験）</li> <li>2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて解釈できる。（定期試験）</li> <li>3. 受講態度や学習意欲を授業内レポートで評価する。（授業内レポート）</li> </ol>
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

授業内の質問や疑問は、適宜対応する。
--------------------

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

<p>プリントを授業時に配付する。参考書として伊藤元重『ミクロ経済学』日本評論社、2003年と伊藤元重『マクロ経済学』日本評論社、2005年を挙げるが、購入の必要は無い。</p>
---

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：李熙錫 E-Mail：lee.kb[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に置換してください。</p> <p>【オフィスアワー】 授業時間後に非常勤講師室（1号館2階）で対応する。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 該当しない</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 経済学はどのような学問か、分析の対象と方法について理解する。</p> <p>(授業方法) 経済学の二大分野であるミクロ経済学とマクロ経済学の概要について解説する。</p>		<p>(予習：2時間) 最近の日本や世界で起きた経済ニュースについて調査する。</p> <p>(復習：3時間) ミクロ経済学とマクロ経済学の特徴や相違点について整理する。</p>
2	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 経済学の歴史的な展開について学習する。</p> <p>(授業方法) アダム・スミス、ケインズなどの経済学による理論を解説する。</p>		<p>(予習：2時間) アダム・スミスとケインズについて調査する。</p> <p>(復習：3時間) ケインズ政策と新古典派政策の中でどの政策が望ましいのか考察する。</p>

3	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) ミクロ経済学について学習する。</p> <p>(授業方法) 経済学の中でのミクロ経済学は、資源配分の問題、ミクロ経済学と市場の失敗などミクロ経済学の特徴について分析する。</p>		<p>(予習：2時間) 資源配分問題の概要をつかむ。</p> <p>(復習：3時間) 現実の中でミクロ経済学はどのように我々の生活中で活かしているか考える。</p>
4	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 需要と供給について学習する。</p> <p>(授業方法) 需要と供給の仕組みを検討し、それをを用いて需要曲線と供給曲線をを分析する。</p>		<p>(予習：2時間) 需要曲線と供給曲線の違いをつかむ。</p> <p>(復習：3時間) 現実の生活の中で需要と供給がどのような影響を与えているのかを考える。</p>
5	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 消費者行動と需要曲線について学習する。</p> <p>(授業方法) 消費者余剰と企業行動をを分析する。</p>		<p>(予習：2時間) 消費者行動による需要曲線の動きをつかむ。</p> <p>(復習：2時間) 現実の消費者余剰によって企業はどのような行動をとるのかを考える。</p>
6	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 需給均衡を学習する。</p> <p>(授業方法) 需要曲線と供給曲線によって交差する交点の重要性を学ぶ。</p>		<p>(予習：2時間) 世の中の財・サービスはどうしてそれぞれで価格が異なるのかを考える。また、どのようなときに価格が変化するか考える。</p> <p>(復習：2時間) 経済に様々な外的ショックが発生したときに市場均衡がどう動くのかを整理する。</p>

7	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) マクロ経済学について学習する。</p> <p>(授業方法) マクロ経済学は何か。マクロ経済学の基本的な用語、恒等式、三面等価、付加価値を解説する。</p>		<p>(予習：2時間) 三面等価と付加価値について調べてその意味をつかむ。</p> <p>(復習：2時間) 現実の中でマクロ経済学が我々の生活にどのように影響しているのかを考える。</p>
8	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) マクロ経済学の捉え方を学ぶ。</p> <p>(授業方法) マクロ経済学の需要と供給、経済成長率と寄与度について解説する。</p>		<p>(予習：2時間) GDPと成長方程式について調査する。</p> <p>(復習：2時間) マクロ経済の動きが経済に及ぼす影響について考える。</p>
9	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) GDPとマクロ経済学について学習する。</p> <p>(授業方法) 需要と供給は、どちらがマクロ経済の動きを決めるのかを学習する。</p>		<p>(予習：2時間) 供給について新古典派の考え方を調査する。</p> <p>(復習：2時間) 需要と供給についてケインズ派と新古典派の考え方を確かむ。</p>
10	李熙錫 (イー・ヒーソク)	<p>(授業内容) 乗数について学習する。</p> <p>(授業方法) 限界消費性向と乗数を学習する。</p>		<p>(予習：2時間) 限界消費性向と乗数について調査する。</p> <p>(復習：2時間) 生産、所得、需要について確かむ。</p>

11	李熙錫 (イー・ヒー ソク)	(授業内容) 需要不足の経済について学習する。 (授業方法) 投資と政府支出について説明する。		(予習：2時間) 乗数プロセスについて調査する。 (復習：2時間) マクロ経済の基本的な考え方をつかむ。
12	李熙錫 (イー・ヒー ソク)	(授業内容) ゲーム理論について学習する。 (授業方法) ゲーム理論を説明する。		(予習：2時間) ゲーム理論について調査する。 (復習：2時間) ゲーム理論が社会経済にどのように応用できるかを考える。
13	李熙錫 (イー・ヒー ソク)	(授業内容) FTA、EPA、TPPについて学習する。 (授業方法) 国際経済連携について概観する。		(予習：2時間) FTA、EPA、TPPについて調べる。 (復習：2時間) 日本の通商戦略を考える。

14	李熙錫 (イー・ヒー ソク)	<p>(授業内容) 日本の借金について学習する。</p> <p>(授業方法) 日本の借金はどのようにして膨らみ、世界で最も多くなったのかを概観する。</p>		<p>(予習：2時間) 人口の高齢化と社会保障について調査する。</p> <p>(復習：2時間) 日本の借金が我々の暮らしにどのような影響があるのかを考察する。</p>
		<p>期末試験</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	法学	授業形態	講義
英語科目名	Law and Society	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	池田 良彦	ナンバリング	LAW1132
担当教員	池田 良彦、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]  近代の立憲主義が要請する基本的な考え方は、英米では「法の支配 (rule of law)」、欧州諸国では「法治国家 (government of laws and not of men)」という。国家は法に基づきその規律を受け、これにより国民は法に従った生活を求められることから、「法的なものの考え方 (legal mind)」を習得することが重要となる。法律は憲法の精神に従って制定され、代表的なものとして実体法（民法・刑法・商法など）、手続法（刑事訴訟法・民事訴訟法など）がある。これらを遵守することで国家の法的安定性が維持されることになる。この授業では判例を通して代表的な法律の考え方を理解することとする。</p> <p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）]  この科目は「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識および教養」を身につけることを目的とする。</p> <p>[授業の到達目標]  1. 法的なものの考え方 (legal mind) の概要を理解できる。  2. 代表的な法律の考え方について判例を通して理解したうえで、その問題点を説明できる。  3. 法的なものの考え方 (legal mind) について、自説を展開できる。</p>		
到達目標			
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連			

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 法治国家では誰もが法的なものの考え方（legal mind）を求められ、それが全ての行動に反映することとなる。法思想を人間行動に必要な基本的思想として学び、理解してほしい。</p> <p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] 課題提出後、次回の授業で解説等で示す。</p> <p>[テキスト・参考書等] テキストは指定しないが、六法（コンパクト版）の準備が必要。</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法的なものの考え方（legal mind）の概要を理解できる。（レポート、定期試験）</li> <li>2. 代表的な法律の考え方について判例を通して理解したうえで、その問題点を説明できる。（レポート、定期試験）</li> <li>3. 法的なものの考え方（legal mind）について、自説を展開できる。（レポート、定期試験）</li> </ol> <p>[成績評価の方法] レポート（50%）及び定期試験（50%）を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

--

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】            担当：池田良彦            E-mail：ysikeda [at] df.catv.ne.jp            ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】            日時：毎週火曜日の2時間目            場所：1号館2階 非常勤講師室</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>【学修時間】            この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】            該当しない。</p> <p>【その他】            新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	池田良彦（以下同）	<p>（授業内容）            テーマ：法とは何か            （授業方法）            とても抽象的な概念である「法」の姿を解明する。</p>		<p>【予習：3時間】            初めて法学を学ぶ人たちの法概念についてかんがえて欲しい。            【復習：1時間】            授業内容を思い起こし、「法とは」について考える。</p>
2		<p>（授業内容）            テーマ：法と他の社会規範            （授業方法）            法と類似した社会規範としての倫理、道徳などとの関係を説明する。</p>		<p>【予習：3時間】            道徳違反、倫理違反と法的責任との関係について理解をしてほしい。            【復習：1時間】            資料をよく読んで法的責任との違いを理會する。</p>

3		<p>(授業内容)          テーマ：法的責任とは（民事責任）          (授業方法)          民事訴訟の代表的事例を検討する。</p>		<p>【予習：3時間】          民事責任の中心テーマは何かを考えて欲しい。          【復習：1時間】          事件の内容を理解し、民事事件の基本を学ぶ。</p>
4		<p>(授業内容)          テーマ：法的責任とは（刑事責任）          (授業方法)          刑事事件の代表的事例を通して検討する。</p>		<p>【予習：3時間】          刑事事件の成立要件について考える。          【復習：1時間】          事案の内容を把握して、刑事事件の本質を学ぶ。</p>
5		<p>(授業内容)          テーマ：法的責任とは（行政責任）          (授業方法)          行政事件の事例を検討する。</p>		<p>【予習：3時間】          行政責任と民事・刑事の違いを比較する。          【復習：1時間】          実例を通して行政責任の基本を理解する。</p>
6		<p>(授業内容)          テーマ：法的手続き（民事訴訟法）          (授業方法)          手続き法の違いを説明し、理解を深める。</p>		<p>【予習：3時間】          行政、刑事、民事のそれぞれの訴訟形態の違いを説明できるように調べること。          【復習：1時間】          訴訟法の原則を理解すること。</p>

7		<p>(授業内容)          テーマ： 法的手続き（刑事訴訟法）          (授業方法)          刑事訴訟、民事訴訟を比較して説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          わが国には刑事と民事の裁判所があるがその違いを説明できるように。          【復習：1時間】          訴訟手続きの違いを理解する。</p>
8		<p>(授業内容)          テーマ： 法的手続き（少年法）          (授業方法)          少年事件の手続きについて説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          少年法の改正に伴い少年事件の問題点をさぐる。          【復習：1時間】          少年事件の特長と今後の課題について</p>
9		<p>(授業内容)          テーマ： スポーツ事故における法的責任          (授業方法)          スポーツ事故の法的問題とは</p>		<p>【予習：3時間】          スポーツ事故とは何かを理解する。          【復習：1時間】          スポーツ事故の特徴を理解する。</p>
10		<p>(授業内容)          テーマ： 医療事故における刑事事件          (授業方法)          代表的な裁判を例に検討する。</p>		<p>【予習：3時間】          医療事故の刑事責任について何が問題かを調べる。          【復習：1時間】          具体的事例について検討する。」</p>

11		<p>(授業内容)          テーマ： 医療事故における民事事件          (授業方法)          代表的な民意事件を検討する。</p>		<p>【予習：3時間】          医療事故の民事責任の特長を調べる          こと。          【復習：1時間】          検討した事例を再度読み理解を深める。</p>
12		<p>(授業内容)          テーマ： 裁判制度（陪審制度）          (授業方法)          わが国の裁判員制度との違いを比較して説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          裁判制度は何を問題点とするのかを見極          めること。          【復習1時間】          わが国の裁判員制度に問題点があるか考え          る。</p>
13		<p>(授業内容)          テーマ： 裁判制度（参審制度）          (授業方法)          わが国は参審制度をモデルとして裁判員制度を導入したが、その問題          点を説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          参審制度と陪審制度の違いを調べるこ          と。          【復習：1時間】          裁判員制度が導入されて10年ほどたつが、          この制度の評価について考えて欲しい。</p>

14		<p>(授業内容)          テーマ：まとめ</p> <p>(授業方法)          法学で学んだことについて疑問点があったら発言してほしい。</p>		<p>【予習：3時間】          法学の授業の中で疑問点があったならば発言してほしい。          【復習：5時間】          全14回の総復習。</p>
		<p>定期試験を実施する</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	歴史学	授業形態	講義
英語科目名	History	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	松井 茂	ナンバリング	HIS1127
担当教員	松井 茂、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>スポーツ健康科学を中心とする幅広い知識と教養を学ぶ一環として、この歴史学では人と社会及びその生活の歴史を多様な観点から学ぶ。また、世界には肌の色や言葉・風俗・習慣・宗教などの文化が異なる多様な人々が暮らす。この授業では、様々な技術の発展によって、ヒト・モノ・カネ・情報などの国際化が急速に進む中で、日本の歴史的現在に対する理解を配布された小テストの解答を通してグループで話し合い、授業内で発表する。さらに授業外の学修では、配布された資料などをもとに日本と国際社会の様々な動きについて、重要なテーマを中心に個人及びグループとしてレポートにまとめ、提出する。</p>		
到達目標	<p>1 歴史の時代的・地域的な特色に注目し、その特色を論理的に説明できる。</p> <p>2 歴史的な諸問題を確かな資料に基づいて説明できる。</p>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付けることに寄与する。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>1 配布された資料を含むテキスト等を必ず読み、事実とその解釈を含む読解力を高める姿勢を身に付けてもらいたい。</p> <p>2 コミュニケーション力を伸ばすためによく調べ、よく考え、適切に話し合い、定められた時間に発表するなど、積極的に授業に参加する意欲をもってもらいたい。</p> <p>3 1回の授業について3分2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いにする。</p> <p>4 遅刻及び早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。</p> <p>[履修上の注意（科目独自）のルール]</p> <p>授業開始に遅れないように入室し、私語を慎み、無断で教室の出入りをしないこと。また話し合いは他者に配慮し、発表は論点を絞り、時間と内容に注意して行うこと。</p> <p>[テキスト・参考書等]</p> <p>資料を含むテキスト等は毎回配布する。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>[ 成績評価の方法 ]</p> <p>課題レポート1回(30%)、定期試験(40%)、小テストを含む平常点(30%)を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	<p>[ 成績評価の基準 ]</p> <p>1 講義の内容と毎回配布する講義資料などを踏まえて、レポートでは与えられた課題を多様な観点から調査し説明できることが評価の基準になる。</p> <p>2 定期試験では毎回のテーマに沿った基本的な用語の理解度と各テーマの課題について、論点を整理し、資料をもとに論理的に説明できることが評価の基準になる。</p> <p>3 毎時間の小テストに示された課題を解くためにグループで話し合い、その解答を発表できることが評価の基準になる。</p>
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

<p>[試験・課題に対するフィードバック方法]</p> <p>各小テストの解答は、各時間の最後に確認する。またレポートの成績と定期試験の結果と解説は、採点后にJuntendo Passportなどに掲載し、質問は松井宛のメールで受け付ける。</p>
--

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

--

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 担当: 松井茂 E-mail: krmatsuisg2005@yahoo.co.jp</p> <p>[オフィスアワー] 前期・後期ともに、月曜日2時限の前後約20分間。1号館2階非常勤講師室。</p>
担当教員の実務経験	<p>[実務経験のある教員による授業] 秀明中学校と高等学校などで教諭の業務に当たってきた経験から、生徒の学力を向上させる専門的な技術と共にいじめや不登校等に 対応してきた経験をもっている。第1回目の授業で扱う人種や民族の問題、また第2回目の授業で扱う日本の開国に伴う国際関係の問題 などでこれらの経験を生かしていきたい。</p>
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成す る。</p> <p>[その他] 配布資料は、レポートの作成や定期試験の問題として使用するの、各自で保管するとともに、教育実習や試合等による欠席は、必 ず所定の届を提出すること。 なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 [授業内容] [人類の起源と日本人の祖先]について理解を深める。	松井茂	[キーワード] 出アフリカ	<p>[授業方法] 「人類の起源と日本人の祖先」について解説する。また、配布されたテキストなどを見て、小テストの問題を解き発表する。さらに、なぜ人類はアフリカで誕生したといわれ、日本人とアフリカ人の肌の色はなぜ違うのかをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) サルと区別されるヒトとは何か、また人種によって肌の色がなぜ違うのか調べてくること。</p> <p>(復習:3時間) 日本人の祖先はどこから来たと考えられるかを確認すること。</p>
2 [授業内容] 「産業革命と欧米列強の極東進出」について理解を深める。	松井茂	[キーワード] アヘン戦争	<p>[授業方法] 「産業革命と欧米列強の極東進出」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き発表する。さらに自由貿易の開始は、尊王攘夷運動と順天堂の佐藤良順にどのような事態をもたらしたのかをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) なぜアメリカ合衆国が日本を開国させたのか調べてくること。</p> <p>(復習:3時間) 産業革命とアジアの植民地化について確認すること。</p>

<p>3〔授業内容〕 「自由貿易の開始と明治維新」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 薩長連合（同盟）</p>	<p>〔授業方法〕 「自由貿易の開始と明治維新」について解説する。また配布されたテキストを見て、問題を解き発表する。さらに、自由貿易の開始は尊王攘夷運動と順天堂の佐藤良順にどのような事態をもたらしたのかを話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 薩長連合の形成は、日本の植民地化防止と明治維新にどのような影響を与えたのか調べてくること。  (復習:3時間) なぜ佐倉藩に順天堂が誕生したのかを確認すること。</p>
<p>4〔授業内容〕 「日清戦後経営と日露戦争」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 バルチック艦隊</p>	<p>〔授業方法〕 「日清戦後経営と日露戦争」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、李鴻章が書いた「妙手回春」の意味と日本海海戦の意義についてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 日清戦争と日露戦争は、日本に何をもたらしたのか調べてくること。  (復習:3時間) 日露戦争を経て、日本の産業革命が達成されたことを確認すること。</p>
<p>5〔授業内容〕 「大正デモクラシーと政党政治」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 スポーツ</p>	<p>〔授業方法〕 「大正デモクラシーと政党政治」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、大正時代の大学出の給料と大衆消費社会におけるビジネスモデルについてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 日本が第一次世界大戦に勝利したことは、日本の政治・経済・文化に何をもたらしたのか調べてくること。  (復習:2時間) 第一次世界大戦中の好景気と戦争の勝利が日本の政党政治と国際的な地位の変化に及ぼした影響を確認すること。</p>
<p>6〔授業内容〕 「恐慌とアジア・太平洋戦争」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 真珠湾攻撃</p>	<p>〔授業方法〕 「恐慌とアジア・太平洋戦争」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、なぜ世界恐慌が日本の農村に打撃をあたえたのか、また太平洋戦争中の南満州鉄道と新幹線との関係をグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 世界恐慌がなぜ第二次世界大戦につながるのか調べてくること。  (復習:2時間) 世界恐慌から第二次世界大戦に至る時期の日本社会の変化を確認すること。</p>

<p>7〔授業内容〕 「原水爆と原子力の時代」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 ABC兵器</p>	<p>〔授業方法〕 「原水爆と原子力の時代」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、原子力発電がエネルギー源として注目された理由とその問題点に加えて、核の抑止力についてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 巨費を投じて開発された大量破壊兵器である核兵器とエネルギー源としての原子力には各々どのような目的があるのか調べてくること。 (復習:2時間) 科学技術がもつ二面性について確認すること。</p>
<p>8〔授業内容〕 「飢餓と飽食の時代」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 肥満</p>	<p>〔授業方法〕 「飢餓と飽食の時代」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、飢餓と難民の問題に加えて肥満とやせがもたらす社会的な問題をグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 肥満や飢餓はなぜ社会的な問題になるのか調べてくること。 (復習:2時間) 肥満や飢餓の社会的な問題点と対策を確認すること。</p>
<p>9〔授業内容〕 「エネルギー革命による繁栄と環境問題」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 地球温暖化</p>	<p>〔授業方法〕 「エネルギー革命による繁栄と環境問題」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き発表する。さらに、なぜ地球温暖化が問題になるのか、また中国が温暖化防止に積極的になる世界的な意義などをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) エネルギー革命と地球温暖化の影響防止を目的とするパリ協定の内容を調べてくること。 (復習:2時間) 化石燃料が人々の生活に与える影響と持続可能なエネルギーの現状を確認すること。</p>
<p>10〔授業内容〕 「企業社会の発展と暮らしの変化」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 格差</p>	<p>〔授業方法〕 「企業社会の発展と暮らしの変化」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、高度成長期に人々はなぜ豊かさを感じたのか、また団塊の世代はなぜ太平洋ベルト地帯に集まったのかをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 日本の高度経済成長期に発展した企業活動と人々の働き方について調べてくること。 (復習:2時間) 社会の変化と男女の働き方の変化を確認すること。</p>

<p>11〔授業内容〕 「都市の発達と若者文化」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 Z世代</p>	<p>〔授業方法〕 「都市の発達と若者文化」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、若者はなぜ都市に集まる傾向があるのか、グループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 日本の都市化の現状と若者文化の特色を調べてくること。  (復習:2時間) 第二次世界大戦後の若者文化の変化とその特色を確認すること。</p>
<p>12〔授業内容〕 「知的財産の時代」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 デジタル社会</p>	<p>〔授業方法〕 「知財立国の時代」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、自然資源の乏しい戦後の日本が豊かになった要因と知的財産と教育の関係をグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 世界の貿易を含む経済活動で重視される知的財産の特色とこれがもたらす富について調べてくること。  (復習:2時間) 莫大な富をもたらす知的財産の内容を確認すること。</p>
<p>13〔授業内容〕 「少子高齢社会」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 政令指定都市規模の人口消滅</p>	<p>〔授業方法〕 「少子高齢社会」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、少子高齢化がなぜ進んでいるのか、その影響は生産と教育にどのように現れるのかをグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 少子化と高齢化の何が問題になるのか調べてくること。  (復習:2時間) 日本の少子化と高齢化の現状と問題点を確認すること。</p>

<p>14〔授業内容〕 「交通革命と車社会」について理解を深める。</p>	<p>松井茂</p>	<p>〔キーワード〕 レベル4のEV車</p>	<p>〔授業方法〕 「交通革命と車社会」について解説する。また配布されたテキストを見て、小テストの問題を解き、さらに、車の自動運転と電気自動車の開発・普及が求められる理由についてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習:2時間) 自家用車の普及が人々の生活と日本経済にどのような影響を与えているのか調べてくること。  (復習:2時間) 電気自動車と自動運転車両などの開発が新たな産業の展開と雇用、そして地球温暖化防止にどのような影響を及ぼしているのか確認すること。</p>
		<p>定期試験</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日本文学	授業形態	講義
英語科目名	Literature	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	加藤 由紀子	ナンバリング	LIT1128
担当教員	加藤 由紀子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解する。日本語及び日本文学に対する知識と理解を深める。古典文学から近代文学まで幅広く親しむ態度を身につける。</p> <p>この授業では、日本語及び日本文学について学ぶ。万葉集を通して、日本語についての知識を深め、歌の背景にある歴史や社会について学び、作者の考え方や生き方について授業内で意見を交換する。芥川龍之介の小説を読み、登場人物の生き方について授業内で意見を交換する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語の特色について理解し、日本語表記の歴史について説明することができる。</li> <li>2. 万葉集を通して、歌謡から和歌への流れを理解し、前期万葉と後期万葉の違いについて説明することができる。</li> <li>3. 歌の背景にある古代日本の社会や歴史を知り、万葉集の時代と和歌との関わりについて説明することができる。</li> <li>4. 万葉集の和歌から作者の思いを読み取り、古代日本の人びとの考え方や生き方について理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。</li> <li>5. 小説を読んで、登場人物の行動、言動、描写などを分析し、登場人物の心理を読み取り説明することができる。</li> <li>6. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる。</li> <li>7. 作者の人生について知り、作品を通して人間の生き方についてより深く理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修上の注意] 特になし</p> <p>[履修要件] 特になし</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	課題レポート2回（40％）、定期試験（40％）、平常点（20％）を総合して評価する。
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語や日本語表記の歴史について説明することができる（定期試験）</li> <li>2. 万葉集を通して、和歌の流れや、歴史・社会と和歌との関わりについて説明することができる（定期試験）</li> <li>3. 芥川龍之介の作品を読んで、登場人物の心理を読み取り説明することができる（定期試験）</li> <li>4. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる（定期試験）</li> <li>5. 授業でとりあげた作品や作者を通してわかった人間の生き方について説明し、それに対する自分の考えを文章にまとめることができる（レポート）</li> <li>6. 授業に対する取り組み及び毎時間の課題コメントで評価する（平常点）</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

毎時間の課題コメントは次の授業時にフィードバックを行う。  
課題レポート及び試験については、評価のポイントを提示する。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
地獄変・偷盗	芥川龍之介	新潮文庫	978-4-10-102502-5	平成23年10月改版以降のもの

**参考文献**

その他の教材についてはその都度コピーを配布する。  
授業内でテキストとして使用し、授業のまとめやレポート作成の際に参考となる。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 授業内で知らせます。</p> <p>[オフィスアワー] 授業時間の後に控室で。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	加藤	日本語表記の歴史について解説する。奈良時代の文学について解説する。万葉集について紹介する。	プリントと板書を用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) あらかじめシラバスを読んで授業全体を把握しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 日本語表記の歴史や奈良時代の文学、万葉集について、整理しておくこと。</p>
2	加藤	万葉集の全体像を紹介する。万葉集の時代について解説する。万葉仮名について解説する。	ビデオとプリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉集について授業プリントを読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉仮名について整理しておくこと。万葉集について講義で学習したことを整理しておくこと。</p>

3	加藤	萌芽時代から万葉第一期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉集の時期区分について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 萌芽時代と万葉第一期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
4	加藤	万葉第二期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第二期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第二期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
5	加藤	万葉第三期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第三期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第三期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
6	加藤	万葉第四期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第四期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第四期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>

7	加藤	万葉集についてまとめの解説をする。歌謡から和歌への流れや前期万葉と後期万葉の違いについて解説する。歌から作者の思いを読み取り、考え方や生き方について考える。	プリントを用いて講義を進める。歌からわかった人間の生き方について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：2時間) 前回までの授業について整理しておくこと。万葉集の歌からわかった人間の生き方についてまとめておくこと。</p> <p>(復習：4時間) 万葉集の歌からわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。</p>
8	加藤	作者について紹介する。小説の手法について解説する。第一段落、第二段階の内容について解説する。	プリントとテキストを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：4時間) 授業プリントを読んで理解を深めておくこと。テキストの『偷盗』を読んで内容を把握しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 小説の書き出し、登場人物の描写などについて整理しておくこと。</p>
9	加藤	第三段落、第四段落の内容について解説する。登場人物の述懐について考える。	テキストを用いて講義を進める。登場人物の述懐について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第三、四段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>
10	加藤	第五段落、第六段落の内容について解説する。登場人物の問答について考える。	テキストを用いて講義を進める。登場人物の問答について考える。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第五、六段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>

11	加藤	第七段落の内容について解説する。この段落から問題を提起する。	<p>テキストを用いて講義を進める。提起された問題について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第七段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 授業で取り上げた問題点について整理しておくこと。 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>
12	加藤	第八段落、第九段落の内容について解説する。この段落から問題を提起する。	<p>テキストを用いて講義を進める。提起された問題について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：2時間) テキストの『偷盗』（第八、九段落）を読んで理解を深めておくこと。 全体を通して問題点を整理しておくこと。</p> <p>[復習：4時間] 作品を通してわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。</p>
13	加藤	『往生絵巻』の内容について解説する。場面ごとの登場人物の役割について解説する。主人公の生き方について考える。	<p>テキストとプリントを用いて講義を進める。役割分担をして読む。主人公の生き方について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：1時間) テキストの『往生絵巻』を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 場面ごとの登場人物の役割を整理しておくこと。</p>

14	加藤	『今昔物語』の原話の内容について解説する。『往生絵巻』と原話との相違点について考える。芥川龍之介についてまとめの解説をする。	素材と創作について話し合う。これまで授業で取り上げた問題や課題について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：2時間) 授業プリントの『今昔物語』の原話を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：10時間) 芥川龍之介の創作について自分の考えをまとめておくこと。 『往生絵巻』の主人公の生き方について自分の考えをまとめておくこと。 1～14の講義内容について整理しておくこと。 課題レポート2題を仕上げること。</p>
		定期試験		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日本文学	授業形態	講義
英語科目名	Literature	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	加藤 由紀子	ナンバリング	LIT1128
担当教員	加藤 由紀子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解する。日本語及び日本文学に対する知識と理解を深める。古典文学から近代文学まで幅広く親しむ態度を身につける。</p> <p>この授業では、日本語及び日本文学について学ぶ。万葉集を通して、日本語についての知識を深め、歌の背景にある歴史や社会について学び、作者の考え方や生き方について授業内で意見を交換する。芥川龍之介の小説を読み、登場人物の生き方について授業内で意見を交換する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語の特色について理解し、日本語表記の歴史について説明することができる。</li> <li>2. 万葉集を通して、歌謡から和歌への流れを理解し、前期万葉と後期万葉の違いについて説明することができる。</li> <li>3. 歌の背景にある古代日本の社会や歴史を知り、万葉集の時代と和歌との関わりについて説明することができる。</li> <li>4. 万葉集の和歌から作者の思いを読み取り、古代日本の人びとの考え方や生き方について理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。</li> <li>5. 小説を読んで、登場人物の行動、言動、描写などを分析し、登場人物の心理を読み取り説明することができる。</li> <li>6. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる。</li> <li>7. 作者の人生について知り、作品を通して人間の生き方についてより深く理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修上の注意] 特になし</p> <p>[履修要件] 特になし</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	課題レポート2回（40％）、定期試験（40％）、平常点（20％）を総合して評価する。
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語や日本語表記の歴史について説明することができる（定期試験）</li> <li>2. 万葉集を通して、和歌の流れや、歴史・社会と和歌との関わりについて説明することができる（定期試験）</li> <li>3. 芥川龍之介の作品を読んで、登場人物の心理を読み取り説明することができる（定期試験）</li> <li>4. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる（定期試験）</li> <li>5. 授業でとりあげた作品や作者を通してわかった人間の生き方について説明し、それに対する自分の考えを文章にまとめることができる（レポート）</li> <li>6. 授業に対する取り組み及び毎時間の課題コメントで評価する（平常点）</li> </ol>
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

毎時間の課題コメントは次の授業時にフィードバックを行う。  
課題レポート及び試験については、評価のポイントを提示する。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
地獄変・偷盗	芥川龍之介	新潮文庫	978-4-10-102502-5	平成23年10月改版以降のもの

参考文献

その他の教材についてはその都度コピーを配布する。  
授業内でテキストとして使用し、授業のまとめやレポート作成の際に参考となる。

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 授業内で知らせます。</p> <p>[オフィスアワー] 授業時間の後に控室で。</p>
担当教員の実務経験	
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	加藤	日本語表記の歴史について解説する。奈良時代の文学について解説する。万葉集について紹介する。	プリントと板書を用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) あらかじめシラバスを読んで授業全体を把握しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 日本語表記の歴史や奈良時代の文学、万葉集について、整理しておくこと。</p>
2	加藤	万葉集の全体像を紹介する。万葉集の時代について解説する。万葉仮名について解説する。	ビデオとプリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉集について授業プリントを読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉仮名について整理しておくこと。万葉集について講義で学習したことを整理しておくこと。</p>

3	加藤	萌芽時代から万葉第一期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉集の時期区分について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 萌芽時代と万葉第一期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
4	加藤	万葉第二期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第二期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第二期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
5	加藤	万葉第三期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第三期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第三期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>
6	加藤	万葉第四期の時代背景と歌について解説する。	プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) 万葉第四期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 万葉第四期の時代について整理しておくこと。 授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。</p>

7	加藤	万葉集についてまとめの解説をする。歌謡から和歌への流れや前期万葉と後期万葉の違いについて解説する。歌から作者の思いを読み取り、考え方や生き方について考える。	プリントを用いて講義を進める。歌からわかった人間の生き方について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：2時間) 前回までの授業について整理しておくこと。万葉集の歌からわかった人間の生き方についてまとめておくこと。</p> <p>(復習：4時間) 万葉集の歌からわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。</p>
8	加藤	作者について紹介する。小説の手法について解説する。第一段落、第二段階の内容について解説する。	プリントとテキストを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。	<p>(予習：4時間) 授業プリントを読んで理解を深めておくこと。テキストの『偷盗』を読んで内容を把握しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 小説の書き出し、登場人物の描写などについて整理しておくこと。</p>
9	加藤	第三段落、第四段落の内容について解説する。登場人物の述懐について考える。	テキストを用いて講義を進める。登場人物の述懐について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第三、四段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>
10	加藤	第五段落、第六段落の内容について解説する。登場人物の問答について考える。	テキストを用いて講義を進める。登場人物の問答について考える。コメントシートを提出する。	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第五、六段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>

11	加藤	第七段落の内容について解説する。この段落から問題を提起する。	<p>テキストを用いて講義を進める。提起された問題について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：1時間) テキストの『偷盗』（第七段落）を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 授業で取り上げた問題点について整理しておくこと。 登場人物の心理について整理しておくこと。</p>
12	加藤	第八段落、第九段落の内容について解説する。この段落から問題を提起する。	<p>テキストを用いて講義を進める。提起された問題について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：2時間) テキストの『偷盗』（第八、九段落）を読んで理解を深めておくこと。 全体を通して問題点を整理しておくこと。</p> <p>[復習：4時間] 作品を通してわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。</p>
13	加藤	『往生絵巻』の内容について解説する。場面ごとの登場人物の役割について解説する。主人公の生き方について考える。	<p>テキストとプリントを用いて講義を進める。役割分担をして読む。主人公の生き方について話し合う。コメントシートを提出する。</p>	<p>(予習：1時間) テキストの『往生絵巻』を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 場面ごとの登場人物の役割を整理しておくこと。</p>

14	加藤	『今昔物語』の原話の内容について解説する。『往生絵巻』と原話との相違点について考える。芥川龍之介についてまとめの解説をする。	素材と創作について話し合う。これまで授業で取り上げた問題や課題について話し合う。コメントシートを提出する。	<p>(予習：2時間) 授業プリントの『今昔物語』の原話を読んで理解を深めておくこと。</p> <p>(復習：10時間) 芥川龍之介の創作について自分の考えをまとめておくこと。 『往生絵巻』の主人公の生き方について自分の考えをまとめておくこと。 1～14の講義内容について整理しておくこと。 課題レポート2題を仕上げること。</p>
		定期試験		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日本国憲法	授業形態	講義
英語科目名	The Constitution of Japan	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	池田 良彦	ナンバリング	LAW1124
担当教員	池田 良彦、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]  憲法を学ぶ意義は、主権者である国民が政治のあり方を最終的に決定する力をもっていることにある。憲法は、国家の基本法であり、国の制度や国の運営の方法について定められたもので、主権者である国民はこの憲法についての基本的な知識をもつことが必須条件である。2016年から選挙権年齢が18歳以上となり、大学生の皆さんは政治に関心を持つことが必要不可欠となった。この授業では103カ条から成る日本国憲法の基本的な考え方を習得し、憲法問題に関心を示していただくことを念頭に進める。</p> <p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）]  この科目は「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識および教養」を身につけることを目的とする。</p> <p>[授業の到達目標]  1. 憲法をめぐる問題について、その主要なテーマを理解できる。  2. 憲法をめぐる問題について、その主要な問題点を説明できる。  3. 憲法をめぐる問題について、自説を展開することができる。</p>		
到達目標			
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択必修科目（一般教育科目・人文社会科学）に位置付けられる。また、中高保体1種免許（必修）、養護教諭免許（必修）の指定科目である。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連			

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 教職免許証取得の必修科目なので、教員志望者は必ず履修すること。また、憲法が定めている人権問題については、特に理解を深めて欲しい。</p> <p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] レポート提出日の次の授業の時に解説する。</p> <p>[テキスト・参考書等] テキストはとくに指定しないが、憲法の条文は準備すること。（六法を購入する必要はないが、憲法の条文は必要。）</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 憲法をめぐる問題について、その主要なテーマを理解できる。（レポート、定期試験）</li> <li>2. 憲法をめぐる問題について、その主要な問題点を説明できる。（レポート、定期試験）</li> <li>3. 憲法をめぐる問題について、自説を展開することができる。（レポート、定期試験）</li> </ol> <p>[成績評価の方法] レポート（50%）及び定期試験（50%）を総合して評価する。</p>
------	--

評価基準	
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

--	--

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

--	--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 担当：池田良彦 E-mail：ysikeda [at] df.catv.ne.jp ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー] 日時：毎週月曜日の2時間目の時間 場所：講師室の部屋</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[実務経験のある教員による授業] 該当しない。</p> <p>[その他] この授業科目は、教職免許状の取得に必要な科目のうち、「その他の科目（教育職員免許法施行規則第66条6に定める科目）」における必修科目（日本国憲法）として位置づけられている。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	池田良彦（以下同）	<p>(授業内容) テーマ：日本国憲法制定の過程を説明する。</p> <p>(授業方法) 大日本帝国憲法と日本国憲法との違いを比較し、講義を進める。</p>		<p>【予習：3時間】 1945年（昭和20年）8月15日の終戦が日本史の上でどのような状況にあったのかを高校時代の日本史の教科書で確認しておくこと。 【復習：1時間】 配布資料をよく読むこと。</p>
2		<p>(授業内容) テーマ：天皇制について。</p> <p>(授業方法) 「皇室典範」により天皇制が法的に位置づけられているが、今後の天皇制についての問題点を考える。</p>		<p>【予習：3時間】 天皇の退位問題が話題となっているが、現行法上ではどのように考えられているのか調べておくこと。 【復習：1時間】 配布資料をよく読むこと。</p>

3		<p>(授業内容)          テーマ：日本国憲法9条の戦争放棄条項について。          (授業方法)          わが国の政府は、9条に関する見解を日米安保条約との関係で解釈を変更してきたが、その主旨を説明し問題点を考える。</p>		<p>【予習：3時間】          憲法9条問題を理解するためには、日米安保条約についての理解が必須であり、条約の趣旨をりかいておくこと。          【復習：1時間】          配布資料をよく読んで、憲法と条約の関係を理解すること。</p>
4		<p>(授業内容)          テーマ：憲法9条に関する司法解釈について。          (授業方法)          、最高裁の砂川判決を資料として使い説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          憲法問題は、政治的判断と、憲法上の法解釈とが異なることがあり、その違いを調べて理解しておく必要がある。          【復習：1時間】          配布資料を熟読し、政治的判断と法的判断との違いを理解すること。</p>
5		<p>(授業内容)          テーマ：基本的人権の基礎を学ぶ。          (授業方法)          基本的人権は自由権から始まり、生存権へと発展していくがその基本的な考え方の違いについて理解する。          (授業方法)          人権の歴史を紹介する。</p>		<p>【予習：3時間】          人権の歴史は古く、1215年のイギリスのマグナカルタにはじまり、以降1776年のアメリカの独立宣言、1789年のフランス革命があり、その歴史的な背景を理解しておくこと。          【復習：1時間】          配布資料をよく読んで人権のルーツを理解する。</p>
6		<p>(授業内容)          テーマ：三権分立の意義          (授業方法)          民主主義の根幹である国の制度のあり方について学ぶ。</p>		<p>【予習：3時間】          モンテスキューの「法の精神」によって三権分立が説かれたのでその考え方を調べてほしい。          【復習：1時間】          配布資料を熟読して理解を深めて欲しい。</p>

7		<p>(授業内容)          テーマ： 憲法13条の「個人の尊重」について          (授業方法)          プライバシーの権利は、一世紀前の時代から、現在の権利に至るまでの歴史画あり、その発展過程を理解してほしい。</p>		<p>【予習：3時間】          個人の尊重はプライバシーの権利としてアメリカで発展してきた権利であり、この権利について調べて理解してほしい。          【復習：1時間】          配布資料を読んで理解してほしい。</p>
8		<p>(授業内容)          テーマ：憲法14条の「法の下での平等」について          (授業方法)          人種差別問題をはじめ、今日では平等概念が広く主張されるようになったのでその情報を提供する。</p>		<p>【予習：3時間】          平等概念はアメリカで発展してきた権利であり、新しい平等概念についても理解を深めて欲しい。          【復習：1時間】          平等問題は広く議論されているので、資料を読んで理解を深めて欲しい。</p>
9		<p>(授業内容)          テーマ： 思想、良心の自由、表現の自由          (授業方法)          表現の自由をはじめ、人間には生まれながらにして自由が付与されていることを理解する必要があることを説明する。</p>		<p>【予習：3時間】          思想や表現の自由は、人間に与えられた基本権であり、国家によって制限されるものではないが、世界には表現の自由が厳しく制限されている国家があり、そのような事情を調べて欲しい。          【復習：1時間】          配布資料をよく読んでほしい。</p>
10		<p>(授業内容)          テーマ：刑事被告人の権利について          (授業方法)          わが国の司法制度について説明をする。</p>		<p>【予習：3時間】          裁判における被告人の権利について調べて欲しい。          【復習：1時間】          資料を熟読して司法制度の理解を深めて欲しい。</p>

11		<p>(授業内容)          テーマ：市民参加型の刑事裁判について          (授業方法)          世界の裁判制度について、陪審制（英米）、参審制（ヨーロッパ大陸）を比較して説明する。</p>	<p>【予習：3時間】          裁判員制度の導入により国民が裁判に関心を持つ機会が多くなったがその問題点を調べてほしい。          【復習：1時間】          配布資料を読んで理解を求めろ。</p>
12		<p>(授業内容)          テーマ：立法権、行政権について          (授業方法)          立法権、行政権に関わる国民の立場から、どのような参加ができるのか語りたい。</p>	<p>【予習：3時間】          国民の権利および義務の中心は、主権者として政治にどのようにかかわるのが重要であり、この問題について積極的に意見を求めたい。          【復習：1時間】</p>
13		<p>(授業内容)          テーマ：憲法改正手続きについて          (授業方法)          現行憲法には、改正に関する手続きが明確に示されていない。今後でてくる議論であるので、学生の皆さんにも積極的に考えて欲しい。</p>	<p>【予習：3時間】          わが国では憲法改正論議が盛んであるが、一国民としてこの問題をどのように考えるかを問いたい。          【復習：1時間】          憲法改正について、あなたはどのように考えるかを議論してほしい。</p>

14		<p>(授業内容)          テーマ：憲法論のまとめ          (授業方法)          これまで扱ったテーマについて質疑を受ける。</p>		<p>【予習：3時間】          これまで扱ったテーマについて、憲法論として纏め、質問があったら申し出ること。          【復習：5時間】</p>
		<p>定期試験</p>		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	音楽	授業形態	講義
英語科目名	Music	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	寺島 慶子	ナンバリング	ART1130
担当教員	寺島 慶子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>世界の共通語とも言えることができる音楽、その全般的な知識を西洋音楽史を通じて学ぶ事により、日常生活の中に溢れる音楽のルーツを知り、理解を深める事により、このグローバルな時代に世界の人達とのコミュニケーションの手段の一つとして役立てて欲しい。また、クラシック音楽をより身近に感じ、鑑賞力を高め、音楽が心にどの様に作用するか学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音楽の3要素が言える</li> <li>2. 音楽の誕生から現代までの音楽の変遷について説明できる</li> <li>3. 音楽を聴く耳を作る</li> <li>4. 音楽が心に与える作用について説明できる</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローバル化が進む社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、音楽に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</li> <li>2. 「自分とは異なる人間や文化を理解する心を滋養し、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</li> <li>3. 音楽を用いたコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを説明し、相互の関係を築く能力</li> <li>4. スポーツ健康科学の分野で活躍できる専門性を備え、問題を発見し解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</li> </ol>		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> <p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] 課題レポートは翌週の授業で解説する。また定期試験については要望があれば個別に解説や指導を行う。</p> <p>[テキスト・参考書等] 授業に則したプリントを配布する。 参考書 初めての音楽史（音楽之友社）</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の方法] 授業に取り組む姿勢（平常点）（10%）、授業内レポート（20%）、定期試験（70%）を総合して評価する。</p>
------	---

評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音楽の三要素が理解できている。</li> <li>2. 音楽の誕生から現代までの音楽の変遷について説明できる。</li> <li>3. 音楽を聴く耳を作る。（流れている音楽がいつの時代に作曲されたものか聞き分ける事が出来る）</li> <li>4. 音楽が心に与える作用について説明できる。（音楽療法）</li> </ol>
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

定期試験においてはj-passを使って解説する。課題については授業内で都度解説。  
質問、及び、その他の問い合わせは授業後及びメールにて受け付けます。  
メールアドレス pfkeiko@kdp.biglobe.ne.jp

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

--

その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]            担当：寺島慶子            E-Mail：pfkeiko [at] kdp.biglobe.ne.jp            (※ [at] を@に変更してください)</p> <p>[オフィスアワー]            日時：前期月曜日・後期金曜日 13:30～14:30            場所：非常勤講師室（1号館2階）</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>[学修時間]            この授業は講義の形態による2単位の科目であり、計90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[実務経験のある教員による授業]            該当しない</p> <p>[その他]            日頃から沢山の音楽に触れて欲しい。コンサート、ミュージカル、オペラを体験して欲しい。            コロナの状況次第で授業計画、成績評価の基準及び方法が変更となる場合がある。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	寺島慶子	(授業内容) 音楽総論・音楽とは 私達の日常生活での音楽の役割	(授業方法) 講義	予習 クラシック音楽とは何かを調べる。3時間 復習 日常生活での音楽の使われ方を調べる。2時間
2	寺島慶子	(授業内容) 宗教における音楽の役割について	(授業方法) CD DVD使用	予習 宗教における音楽の役割を調べる。3時間 復習 宗教に関係する色々な音楽を聴き比べなさい。2時間

3	寺島慶子	(授業内容) バロック音楽	(授業方法) CD DVD使用	予習 オペラとは何かを調べる。3時間 復習 オペラが生まれた理由をまとめよう。 2時間
4	寺島慶子	(授業内容) 古典派の音楽 1 (バロック音楽からの推移)	(授業方法) CD DVD使用	予習 古典派の音楽家を調べる。3時間 復習 古典派の時代背景を調べる。2時間
5	寺島慶子	(授業内容) 古典派の音楽 2 (古典派の音楽の確立)	(授業方法) CD DVD使用	予習 モーツァルトの音楽を聴いておく。2時間 復習 モーツァルトの音楽と彼の人間性についてまとめよう。2時間
6	寺島慶子	(授業内容) ロマン派の音楽1	(授業方法) CD DVD使用	予習 ロマン主義について調べよう。2時間 復習 ロマン主義の文学作品を読んで、音楽に与えた影響を感じ取ろう。2時間

7	寺島慶子	(授業内容) ロマン派の音楽 2	(授業方法) CD DVD使用	予習 ロマン派の音楽家の作品を調べておこ う。2時間 復習 古典派の音楽との相違点についてまと めよう。2時間
8	寺島慶子	(授業内容) ロシアの国民楽派について	(授業方法) CD DVD使用	予習 ロシアの国民楽派について調べよう。 2時間 復習 ロシアの国民楽派がヨーロッパの作品 の響きから距離をおいた理由をまとめよう。 2時間
9	寺島慶子	(授業内容) 東欧の国民楽派	(授業方法) CD DVD使用	予習 チェコの音楽家について調べよう。2 時間 復習 オーストリアの統制下にあったチェコ の音楽家の苦悩を理解し、その響きを聴いて 感じたことをまとめる。2時間
10	寺島慶子	(授業内容) 近代 (印象派)	(授業方法) CD DVD使用	予習 近代に起きた出来事についてまとめな さい。2時間 復習 印象派の音楽がどのような芸術から影 を受けているのか、具体的にまとめなさい。2 時間

11	寺島慶子	<p>(授業内容) 現代音楽 (21世紀) 無調への歩み</p>	<p>(授業方法) CD DVD使用</p>	<p>予習 現代音楽とは何かを調べる。2時間 復習 新しい響き、複雑なリズムが生まれた背景を探る。2時間</p>
12	寺島慶子	<p>(授業内容) 劇場音楽 1 (オーケストラを聴こう)</p>	<p>(授業方法) DVD使用</p>	<p>コンサートに行こう。生の音を耳だけでなく身体全体で体験すること。予習 コンサートの内容を把握しリサーチする。2時間 復習 コンサートの感想をまとめる。2時間</p>
13	寺島慶子	<p>(授業内容) 劇場音楽 2 ミュージカル・オペラ・バレエ鑑賞</p>	<p>(授業方法) DVD使用</p>	<p>劇場公演を体験しよう。予習 公演内容をリサーチしておく。2時間 復習 感想をまとめる。2時間</p>

14	寺島慶子	(授業内容) 心と音楽	(授業方法) CD使用	<p>予習 どんな音楽が心を癒す事が出来るか、いろいろなタイプの音楽を聞いてみよう。2時間</p> <p>復習 気に入った曲を見つけ、音楽がどの様に自分の心に作用したか分析する。2時間</p>
		定期試験	定期試験	定期試験
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
			なし	なし

		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし
		なし	なし	なし

	なし	なし		なし	なし
--	----	----	--	----	----

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	美術	授業形態	講義
英語科目名	Fine Art	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	江藤 匠	ナンバリング	ART1131
担当教員	江藤 匠、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>本年度は近代ヨーロッパ文明の礎になったバロック美術を扱う。一般に反宗教改革のカトリック側の美術とみなされているバロック美術は、イタリアのネルサンス、マニエリスム美術を起源とする地中海文明と、北方のゴシック、グロテスク美術が統合したものと言われる。そこには南方のパトス(情熱)の表現と、北方のエトス(倫理)の表現が融合されている。その流れを15世紀末から17世紀まで、現地で撮影したスライドを鑑賞しながら辿っていきたい。</p>		
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バロックの主要な画家や彫刻家の名前や作品名を挙げるができる。</li> <li>2. 16世紀のマニエリスム、17世紀のイタリア・バロック、17世紀の北方バロックのそれぞれの性格の違いが理解できる。</li> <li>3. マニエリスム、バロック期におけるフィレンツェ、ローマ、アントウェルペン、ハーレム、マドリッドの都市の果たした役割の違いを理解できる。</li> <li>4. マニエリスムとバロックの宗教建築の性格の変化を理解できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は「スポーツ健康科学を中心とした教養」というディプロマ・ポリシーの達成に寄与する。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 試験問題に関しては、事前に大まかな内容をお知らせしますので、しっかり勉強してきてください。参考書等を利用して、確実な知識を身につけてください。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>[成績評価の方法] 成績は、平常点（授業態度、授業に取り組む姿勢）（20%）、定期試験（80%）で評価します。</p>
------	--

評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バロックの主要な画家や彫刻家の名前や作品名を挙げることができる。（平常点、定期試験）</li> <li>2. 16世紀のマニエリスム、17世紀のイタリア・バロック、17世紀北方バロックのそれぞれの性格の違いが理解できる。（平常点、定期試験）</li> <li>3. バロック期におけるフィレンツェ、ローマ、アントウェルペン、ハーレム、マドリッドの都市の果たした役割の違いを説明できる。（平常点、定期試験）</li> <li>4. マニエリスムとバロックの宗教建築の性格の変化を説明できる。（平常点、定期試験）</li> </ol>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

<p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] 本年度は明確ではないが、受講期間中に一回指定された展覧会を鑑賞してきてもらい、レポート一枚に感想を提出してもらう可能性がある。その際は、レポートにコメントを書いて返却する。</p>
--

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
西洋美術の歴史 17～18世紀	大野芳材、中村俊春、宮下規久朗、望月典子	中央公論新社	978-4-12-403596-4	2016年、3800円

参考文献

<p>宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年、729円</p>
--

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] E-mail: takumi_eto [at] seagreen.ocn.ne.jp ※ [at] を@に置換してください</p> <p>[オフィスアワー] オフィスアワーは、本年度の対面授業日に準ずる。 日時：授業期間中の木曜日 14:00～16:30（授業の前後） 場所：1号館2階 非常勤講師室</p>
担当教員の実務経験	<p>[実務経験のある教員による授業] 1995年から三年間、東京芸術大学芸術資料館に非常勤で勤務。</p>
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義形式による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。ただし感染症蔓延の状況により対面授業が実施されず、遠隔授業のみか、あるいは遠隔授業が増える場合は、その半分程度の時間になる可能性がある。</p> <p>[その他] 対面授業ではスライド上映中は部屋を暗くするので、メモを取る場合はペンライト等を持参するとよい。但し、感染症蔓延により対面授業が実施されず遠隔授業の場合は該当しない。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	江藤 匠	<p>(授業内容) イタリア・マニエリスム絵画、ポントルモ、ブロンズイーノ、パミジャーニーノ</p> <p>(授業方法) 前半プリントによる解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞</p>	<p>(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通しておいて下さい。(2.2時間)</p> <p>(復習) ノートの整理、配布されたプリントを読む。(2時間)</p>
2	江藤 匠	<p>(授業内容) マニエリスムとバロックの彫刻 -チェリーニ、ポローニヤ、ベルニーニ-</p>	<p>(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通しておいて下さい。(2.2時間)</p> <p>(復習) ノートの整理、配布されたプリントを読むで、次回の授業に備える。(2時間)</p>

3	江藤 匠	(授業内容) ティントレットとエル・グレコ	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
4	江藤 匠	(授業内容) ホルバイン父子 と北方のロマンスト	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
5	江藤 匠	(授業内容) バロック絵画の創始者ルーベンス	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
6	江藤 匠	(授業内容) カラヴァッジョとカラヴァジェスキ	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)

7	江藤 匠	(授業内容) レンブラント とその流派	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
8	江藤 匠	(授業内容) オランダの集団肖像画と風景画 - フランス・ハルスとロイスダール -	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
9	江藤 匠	(授業内容) オランダの室内画の両雄 - ホーホとフェルメール -	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)
10	江藤 匠	(授業内容) 17世紀オランダ静物画 -ヘーダ、ヘーム、カルフ-	(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。	(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所に通して読んで下さい。(2.2時間)  (復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)

11	江藤 匠	<p>(授業内容) スペインのバロック絵画 -ペラスケス、ムリーリョ 。</p>	<p>(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文</p>	<p>(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通して下さい。(2.2時間)(予習)</p> <p>(復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)</p>
12	江藤 匠	<p>(授業内容) スペインのバロック絵画 -スルバラン、コターン</p>	<p>(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通して下さい。(2.2時間)(予習)</p> <p>(復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)</p>
13	江藤 匠	<p>(授業内容) フランス・バロック美術-ラ・トゥール、ブッサン、ロラン</p>	<p>(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通して下さい。(2.2時間)</p> <p>(復習) ノートの整理、配布されたプリントを読んで、次回の授業に備える。(2時間)</p>

14	江藤 匠	<p>(授業内容) バロック美術の落日とロココ美術の勃興-ティエポロ、ヴァトー、ブーシェ</p>	<p>(授業方法) 前半配布したプリントの解説、後半スライド・プロジェクターによる作品鑑賞とリアクションペーパーによる感想文。</p>	<p>(予習) 事前に、大野芳材他著『西洋美術の歴史 17～18世紀』中央公論新社、2016年、宮下規久朗著『バロック美術の成立』山川出版社、2003年などの該当箇所を目を通して下さい。(2.2時間)</p> <p>(復習) ノートの整理、配布されたプリントを読む。(2時間)</p> <p>準備学習の合計時間 60時間</p>
	江藤 匠	定期試験		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	スポーツと栄養	授業形態	
英語科目名	Nutrition and Sports Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	鈴木 良雄	ナンバリング	BCM2259
担当教員	鈴木 良雄、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>人間は、口から摂取した食品に含まれる栄養素や機能性成分に支えられている。栄養素はエネルギー源、身体の材料となり、また代謝調節作用をもち、人間の成長、活動の源になっている。この授業科目では、栄養素の役割や代謝について理解する。配布された資料に沿って栄養学の基礎とスポーツとの関りを学修する。本授業はアクティブラーニングにより進めるので、受講生は事前配布資料を予習し、授業内で予習した内容を確認し、復習する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養素の役割や代謝について説明できる。</li> <li>2. スポーツと栄養の関りについて説明できる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	<p>この授業は、スポーツ健康科学部教育課程におけるスポーツ科学科（スポーツ医科学コース）選択必修科目（選択必修2：栄養・発育発達等）に位置付けられる。また、健康運動指導士（必修）、JPSU-ST（必修）、JSP0-AT（選択必修）の指定科目である。</p>		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>この科目は、スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識教養、「医学的知識を備えたスポーツ指導者の育成」、および「スポーツ指導現場に詳しい医科学研究者の育成」という学位授与方針の達成に寄与する。。</p>		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 授業で使用するスライドはJ-Passの授業資料から各自ダウンロードし、予習してから授業に臨むこと。 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の 授業を欠席扱いとする。 また、遅刻及び早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	授業態度・取り組む姿勢（20%）、毎回実施する小テスト（20%）、期末のテスト（60%）を総合して評価する。
------	--

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養の概念を理解しているか。</li> <li>2. 消化吸収と栄養素の体内動態について基礎的な仕組みを理解している。</li> <li>3. 栄養素の代謝について基礎的な仕組みを理解している。</li> <li>4. 自分に必要な栄養素とその摂取方法について基礎的な仕組みを理解している。</li> <li>5. 運動と栄養素との関わりについて基礎的な仕組みを理解している。</li> </ol>
------	---

**試験・課題に対するフィードバック方法**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に実施した小テストは授業の中で解説する。</li> <li>・疑問点や意見は、毎回び講義にて小テスト入力フォームにて回収し、個別もしくは講義の中でフィードバックする。</li> <li>・期末テストは小テストの内容から抜粋するので、解答は事前に解説済である。</li> </ul>
---

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考

**参考文献**

<p>毎回の授業資料はJ-Passを通じて配布する。</p>
--------------------------------

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 担当：鈴木良雄 E-mail：yssuzuki[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。  [オフィスアワー] 日時：前期期間中の月曜日9:00から11:00 場所：1号館2階1223室 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とちか合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>			
担当教員の実務経験	この科目では、一般企業(食品業界)での勤務経験者である教員が、これまでの経験や知識に基づいて講義を展開する。			
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と 準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[資格との関連] 本科目はジュニアスポーツ指導員の講習免除資格、健康運動指導士の受験資格の必修科目で、アスレティックトレーナー（AT）受験資格の選択必修科目である。</p> <p>[その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	鈴木良雄	ガイダンス エネルギー源の代謝とスポーツにおける食事の意義について理解する。	スポーツにおける栄養の意義について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入カフォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
2	鈴木良雄	栄養の概念～栄養の概念について歴史的に学ぶ。	栄養の概念～栄養の概念について歴史的に解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入カフォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>

3	鈴木良雄	エネルギー（１）～食事摂取基準とエネルギーについて学ぶ。	<p>食事摂取基準とエネルギーについて解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
4	鈴木良雄	エネルギー（２）～推定エネルギー必要量の計算方法、消費エネルギーの測定方法、エネルギーアベイラビリティ、RED-S、個人差について学ぶ。	<p>推定エネルギー必要量の計算方法、消費エネルギーの測定方法、エネルギーアベイラビリティ、RED-S、個人差について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
5	鈴木良雄	エネルギー（３）～エネルギーシステムと運動について学ぶ。	<p>エネルギーシステムと運動について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
6	鈴木良雄	炭水化物（１）～炭水化物の種類、消化・吸収・蓄積、代謝、糖新生について学ぶ。	<p>炭水化物の種類、消化・吸収・蓄積、代謝、糖新生について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>

7	鈴木良雄	炭水化物（2）～アスリートのrecommendation、食物繊維-腸内細菌について学ぶ。	アスリートのrecommendation、食物繊維-腸内細菌について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
8	鈴木良雄	脂質：脂質の種類、消化・吸収・蓄積、代謝について学ぶ。	脂質の種類、消化・吸収・蓄積、代謝について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
9	鈴木良雄	たんぱく質：たんぱく質とアミノ酸、消化・吸収、代謝（タンパク合成、タンパク分解）、アスリートのrecommendationについて学ぶ。	たんぱく質とアミノ酸、消化・吸収、代謝（タンパク合成、タンパク分解）、アスリートのrecommendationについて解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
10	鈴木良雄	ビタミン：ビタミンの種類や役割について学ぶ。	ビタミンの種類や役割について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>

11	鈴木良雄	ミネラル：ミネラルの種類や役割について学ぶ。	ミネラルの種類や役割について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
12	鈴木良雄	水と電解質：スポーツにおける水や電解質の重要性、不足しない摂取方法について学ぶ。	スポーツにおける水や電解質の重要性、不足しない摂取方法について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
13	鈴木良雄	体重と体組成：スポーツにおける体重や体組成管理の重要性、適切な調整方法について学ぶ。	スポーツにおける体重や体組成管理の重要性、適切な調整方法について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入力フォームに記入して提出する。	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。</p> <p>[復習・1時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>

14	鈴木良雄	スポーツサプリメント～スポーツサプリメントの種類や機能性を通じて食品の機能について学ぶ。	<p>スポーツサプリメントの種類や機能性や食品の機能について解説する。5人程度のグループになり、小テストの回答を中心に議論する。疑問点や意見・感想を小テストの回答と共に入カフォームに記入して提出する。</p>	<p>[予習・3時間] 授業で使用するスライドを読んで、小テストの回答を事前に準備すること。 [復習・5時間] 小テストで間違えたところを中心に授業内容を見返し、理解を深めておく。</p>
		定期試験を実施する		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	経営学	授業形態	講義
英語科目名	Business Management	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	水野 基樹	ナンバリング	MGT1311
担当教員	水野 基樹、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>(授業全体の内容)</p> <p>経営学の対象とアプローチ方法、近年の企業制度やシステム、経営機能、さらには経営戦略論や経営組織論、経営管理論、意思決定論、人的資源管理論等の視点から解説するとともに、経営学の今日的な諸問題も取り上げます。また講義では、理論の教授に終始することなく、多くの企業事例を取り上げながら経営組織の様々な形態や、経営戦略の基本的内容を解説し、企業の実態を明らかにしていきます。さらに、日本経済新聞やビジネス雑誌の記事、事例DVD (Case Study) なども活用することで、経営学を応用したスポーツマネジメントについての今日的な課題や現状についての理解を深め、スポーツをヒト・モノ・カネ・情報という経営資源の側面からマネジメントができる基礎知識の獲得を目指します。</p>		
到達目標	<p>(授業の到達目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎的な経営学理論を論理的に説明できる。</li> <li>2. 日本経済新聞やビジネス雑誌を読みこなすことができる。</li> <li>3. 企業事例 (Case Study) を理論と結び付けて考えることができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程におけるスポーツマネジメント学科選択必修科目 (選択必修1: 講義系) に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>(授業の位置づけ (学位授与方針に定められた知識・能力等との関連))</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部スポーツマネジメント学科の学位授与方針に定める「経営学、社会心理学、社会学等を応用したスポーツマネジメントの知識技能」、「経営資源の側面からマネジメントできる能力」を養う科目として位置づけられる。</p>		

履修上の注意、履修要件	<p>(履修要件) 特になし。</p> <p>(履修上の注意 (科目独自のルール)) 受講学生に対して期待することは、大きく以下の5点です。 ①積極的に授業に参加すること ②常に疑問を持つ姿勢 ③感度の良いアンテナを張り、常に情報収集に努めること (特に日本経済新聞など新聞を毎日読む) ④授業で学んだ視点や知識を身近な組織 (部活やバイト) に生かす・応用してみる ⑤講義内で登場 (紹介) した企業や組織のホームページ (HP) にアクセスし、経営理念や組織体制、事業内容、IR情報などの会社概要や決算情報等を収集し、経営の様子を理解する。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>(評価方法) 「経営学」に関する基本的な知識とノウハウの習得、授業参加、事前・事後学習の態度、レポート、期末試験により総合的に判断します。具体的には、授業態度・取り組む姿勢：10%、事前・事後学習10%、レポート課題：10%、定期試験：70%。</p>
------	---

評価基準	<p>(評価基準) 1. 基礎的な経営学理論を論理的に説明できるか定期試験で評価します。 2. 日本経済新聞やビジネス雑誌を読みこなすことができるように、授業の事前・事後の学習を評価します。 3. 企業事例 (Case Study) を理論と結び付けて考える能力が向上したかレポート課題により評価します。 4. その他、学習意欲や参加態度を講義内の小テストや課題などで評価します。</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

<p>(試験・レポート等の課題に対するフィードバックの方法) 講義内で返却し、模範解答や評価のポイントを提示のうえ、詳細に解説します。</p>
---

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
				授業の際に提示する。

参考文献

<p>授業の際に提示する。</p>
-------------------

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>(連絡先) 担当：水野基樹 mtmizuno[at]juntendo.ac.jp ([at]を@に変更してください)</p> <p>(オフィスアワー) 日時：月曜日 10時～12時、火曜日 15時～16時 場所：1号館3階1320室 ※上記の時間帯は予約が無くても対応しますが、予約があった学生を優先します。 できる限り、前日までにE-Mailで予約するように心掛けてください。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>(学習時間) この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>(その他) 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1回	水野基樹	<p>(授業内容) 【現代企業の経営と経営学】 企業を取り巻く経営環境と企業の仕組みを理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 経営学の対象領域を説明することで経営学を俯瞰する。</p>	<p>(予習：3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習：1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
2回	水野基樹	<p>(授業内容) 【企業の形態と企業グループ】 企業の代表的な経済的・法律的形態を理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 株式会社の歴史的な発展過程についての解説と企業事例(VTR)を紹介する。</p>	<p>(予習：3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習：1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>

3回	水野基樹	<p>(授業内容) 【企業の意思決定と経営者】 企業における階層別意思決定を理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義・グループワーク 経営者の役割を説明し、意思決定についての体験ワークを実施する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
4回	水野基樹	<p>(授業内容) 【企業の目的と責任】 経済的目的と非経済的目的の観点から経営の目的論と目標論を理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 新たな企業の社会的責任(GSR)に関する理論の解説と企業事例(VTR)を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
5回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営組織の構造】 経営組織構造のタイプを理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 組織設計(デザイン)の考え方に關する理論の解説と企業事例(VTR)を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
6回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営組織の機能】 企業の分業システムと協働システムについて理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 協働関係の意義に関する理論の解説と企業事例(VTR)を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>

7回	水野基樹	<p>(授業内容) 【組織文化と組織革新】 組織のイノベーションについて概説する。</p>	<p>(授業方法) 講義 創造的組織の構築 と変革プロセスに 関しての理論の解 説と企業事例 (VTR)を紹介す る。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配 布し、事後理解を深めるとともに、課題レ ポート等を課し提出させる。講義の開始時に 解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ キストの該当箇所と合わせてリーディング・ アサインメントを課す。</p>
8回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営戦略の意義と概念】 企業の経営環境と環境適応について詳述する。</p>	<p>(授業方法) 講義 経営戦略の構成要 素に関しての理論 の解説と企業事例 (VTR)を紹介す る。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配 布し、事後理解を深めるとともに、課題レ ポート等を課し提出させる。講義の開始時に 解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ キストの該当箇所と合わせてリーディング・ アサインメントを課す。</p>
9回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営戦略の戦略プロセス】 経営戦略の新潮流 (史的変遷) について理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 経営戦略と戦略形 成プロセスに関し ての理論の解説と 企業事例 (VTR) を紹介する。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配 布し、事後理解を深めるとともに、課題レ ポート等を課し提出させる。講義の開始時に 解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ キストの該当箇所と合わせてリーディング・ アサインメントを課す。</p>
10回	水野基樹	<p>(授業内容) 【経営戦略と情報システム】 企業における情報システムの変遷について理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義 経営戦略への情報 システムの適用に 関しての理論の解 説と企業事例 (VTR)を紹介す る。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配 布し、事後理解を深めるとともに、課題レ ポート等を課し提出させる。講義の開始時に 解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ キストの該当箇所と合わせてリーディング・ アサインメントを課す。</p>

11回	水野基樹	<p>(授業内容)  <b>【企業の国際化とグローバルマネジメント】</b>          企業の国際化の発展段階（理論と実践）を理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義          グローバル企業における地域統括本社の役割に関する理論の解説と企業事例（VTR）を紹介する。</p>	<p>(予習：3時間)          授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。          (復習：2時間)          次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
12回	水野基樹	<p>(授業内容)  <b>【企業の国際的協調と競争行動】</b>          企業の国際競争力の構築プロセスについて理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義          組織間関係論と戦略的アライアンスに関する理論の解説と企業事例（VTR）を紹介する。</p>	<p>(予習：3時間)          授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。          (復習：2時間)          次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
13回	水野基樹	<p>(授業内容)  <b>【ベンチャー企業経営】</b>          企業家精神とベンチャー・スピリットについて理解する。</p>	<p>(授業方法) 講義          エクセレントカンパニー（超優良企業）の条件に関する理論の解説と企業事例（VTR）を紹介する。</p>	<p>(予習：3時間)          授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。          (復習：2時間)          次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>

14回	水野基樹	<p>(授業内容)  【TOP革新の重要性】  現代企業に求められるイノベーションを整理・体系化する。</p>	<p>(授業方法) 講義  TOP革新と経営者  に関しての理論の  解説と企業事例  (VTR) を紹介す  る。</p>	<p>(予習: 3時間)  授業で扱うテーマ、問題についての資料を配  布し、事後理解を深めるとともに、課題レ  ポート等を課し提出させる。講義の開始時に  解説する。  (復習: 2時間)  次回のテーマに関する参考資料を配布し、テ  キストの該当箇所と合わせてリーディング・  アサインメントを課す。</p>
15回	水野基樹	定期試験の実施		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	新しい世界を拓いた人々	授業形態	講義
英語科目名	Pioneers toward the New Frontiers	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位
代表教員	田中 和廣	ナンバリング	BAS1125
担当教員	田中 和廣、廣津 信義、馬場 猛、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>スポーツ健康科学部、医学部、医療看護学部の3学部の学生を対象として、共通開講する一般教養の選択科目です。本学の全ての学部の一般教養担当教員を中心とした7名の教員が、それぞれの専門とする分野からインパクトのある話題、興味深い話題を選び、わかりやすく紹介します。特に、各分野に貢献した人物を糸口にして、分野の発展におけるターニング・ポイントにスポットを当てるほか、現在注目を浴びているホットな話題も取り上げます。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人文科学から自然科学に至るまで、幅広い様々な内容に関心を持つことができる。</li> <li>2. 所属学部にとらわれることなく他学部の学生とも積極的に交流して意見を交換できる。</li> <li>3. 物事を様々な視点から考えることができる。</li> <li>4. チームでの討論を通して、問題点を掘り下げその解決策を提案することができる。</li> <li>5. 自分の意見をわかりやすく具体的に述べ、簡潔な文でまとめることができる。</li> </ol>		
授業の位置づけ	この授業は、スポーツ健康科学部教育課程における3学科共通選択科目（一般教育科目）に位置付けられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目では、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付けます。人文科学から自然科学に至るまで、幅広い様々な内容に関心を持ち、仲間とのコミュニケーション力を高めて互いに意見を交換し、視野を広げ、考えを深めることを目標とします。		

履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] Zoomによるオンライン授業として実施します。 対象：スポーツ健康科学部、医学部、医療看護学部1年生（ただし、スポーツ健康科学部は2年生以上も履修できます。）</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 受講希望者多数の場合は、抽選をすることもあります。</p>
-------------	---

**成績評価の方法**

評価方法	各回の授業での提出物（グループ・ディスカッションの内容のまとめ、自分の意見をまとめた感想文、その他提出課題）を担当の教員が10点満点で採点した結果（90%）と、授業態度およびグループ・ディスカッションへの参加態度（10%）とを統合し、合計点を100点満点に換算して最終結果とします。
------	---

評価基準	各回の授業での提出物（グループ・ディスカッションの内容のまとめ、自分の意見をまとめた感想文、その他提出課題）により、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のグループ・ディスカッションを通して自分の考え方を発展させることができたか、</li> <li>・自分の意見をわかりやすく説明できるか、</li> </ul> を評価し、到達目標1～5の達成度を判定します。
------	--

**試験・課題に対するフィードバック方法**

グループ・ディスカッションの内容を発表して全体で議論したり、各回の授業での提出物から解答例・感想の例をピックアップして紹介し、フィードバックする機会があります。

**テキスト**

書名	著者	出版社	ISBN	備考
				テキストは使用しません。

**参考文献**

参考書等は、授業の際に適宜紹介します。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[担当者の連絡先とオフィスアワー]</p> <p>担当： 廣津信義 E-mail： nhirotsu[at]juntendo.ac.jp ([at] を@に変更してください) 日時： 前期期間中の火曜日14:40から16:20 場所： さくらキャンパス1号館3階1327室</p> <p>担当： 田中和廣 E-mail： kztanaka[at]juntendo.ac.jp ([at] を@に変更してください) 日時： 前期期間中の木曜日9:00から15:00 場所： さくらキャンパス1号館3階1314室</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] Zoomによるオンライン授業として実施します。3学部の学生が混合するようにグループを作り、Zoomのブレイクアウトルームにてグループ・ディスカッションをする時間を授業の中に設ける予定です。ブレイクアウトルームではZoomのカメラをONにすることとし、顔出ししてグループ・ディスカッションに参加できることを履修の条件とする。ディスカッションに積極的に取り組めるよう、コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性を高め準備をしておくこと。 ①良い、悪い、驚いた等と感じたことがどの点であるかを、具体的に述べ簡潔な文でまとめられるようにしておくこと。 ②自分の意見をわかりやすくまとめて述べられるようにしておくこと。 ③通り一遍の意見にならないよう、自分の意見を掘り下げ深めようとする習慣をつけること。 ④理路整然とした筋の通った文章を書く訓練をしておくこと。 これらについて常日頃から意識して心掛け、身に付けるよう努めることが大切である。 また、この授業で登場する“新しい世界を拓いた人々”のエピソードや、授業のグループ・ディスカッションを通して自分の仲間たちの考え方からも学び、21世紀を生きていくために自分にとって不可欠な教養にどんなものがあるか考え、それらを大学生生活および生涯にわたってどう学習していくか計画をたて実行に移していく。 なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
1	田中 和廣 廣津 信義 藤倉 ひとみ 馬場 猛	<p>[授業内容] テーマ：4学部共通講座ガイダンス 授業の進め方とスケジュール、受講者の心構えについて解説し、グループ・ディスカッションのグループ分けを行う。</p> <p>[キーワード] ・グループ・ディスカッション ・グループ・リーダー、成績評価の方法</p>	講義 SGD	<p>(予習：2時間) グループ・ディスカッションの進め方について検索し自己学習してくること。 (復習：1時間) 受講者の心構えと成績評価の方法を確認し、ディスカッション・リーダー等の次回の役割分担をまとめておくこと。</p>
2	馬場 猛	<p>[授業内容] テーマ：自己とは何か ～免疫というシステム～ ジェンナーに始まる免疫学の歴史をひも解き、免疫とは何か、自己とは何か、を議論する。</p> <p>[キーワード] ・天然痘、二度なし現象 ・ワクチン、抗毒素(抗体)、自己と非自己</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半) 免疫という言葉から連想される事象を考えておくこと。 (復習：1時間半) 免疫学の歴史について復習し、先人たちがいかに知恵を絞ったか、考えを巡らせよう。</p>

3	奥野 浩	<p>[授業内容]          テーマ1：最初の計量          次の事項を議論する：どうして、測って数字にするのか？          テーマ2：記述統計の働き          次の事項を議論する：数値から何がわかるか</p> <p>[キーワード]          ・データ          ・グラント、ナイチンゲール</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半)          測ってデジタル化する理由を考えてみよう。記述統計について調べてみよう。          (復習：1時間半)          身近なデータを調べ、そこから何がわかるか考える。</p>
4	奥野 浩	<p>[授業内容]          テーマ1：確率とは          次の事項を議論する：確率で起きることを考える          テーマ2：推計統計学          次の事項を議論する：一部から全体を推し量る</p> <p>[キーワード]          ・カルダノ          ・フィッシャー、ピアソン</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半)          降雨確率について調べてみよう。仮説検定について調べてみよう。          (復習：1時間半)          仮説検定を利用した記事を探す。</p>
5	Andrew Mason	<p>[授業内容]          テーマ：Pioneers ~Interdisciplinary (1)~          次の事項を議論する：Health Economics</p> <p>[キーワード]          ・scarcity, values, quality, affordability, accessibility          ・efficiency, effectiveness</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半)          Briefly review the academic field of health economics.          (復習：1時間半)          Consider practical solutions to the rising cost of healthcare.</p>
6	Andrew Mason	<p>[授業内容]          テーマ：Pioneers ~Interdisciplinary (2)~          次の事項を議論する：Telemedicine</p> <p>[キーワード]          ・health outcomes, cost, accessibility          ・patient perceptions, provider perceptions, patient satisfaction</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半)          Briefly review the emerging field of telemedicine.          (復習：1時間半)          Consider how medical care will change following widespread implementation of telemedicine.</p>

7	杉山 和也	<p>[授業内容]          テーマ：説話を伝える人々（1）          次の事項を議論する：          ・ 説話とは何か          ・ キリスト教の聖人「ヨサファト」の正体を探れ</p> <p>[キーワード]          ・ 説話、文学、民俗学          ・ 宗教、死生観</p>	講義 SGD	<p>（予習：1時間半）          中学、高校までの世界史と文学史の授業の内容を復習する。          （復習：1時間半）          授業で示された資料や参考文献をよく読み、自分なりに考察を深める。</p>
8	杉山 和也	<p>[授業内容]          テーマ：説話を伝える人々（2）          次の事項を議論する：世界に広がる「月の鼠」説話</p> <p>[キーワード]          ・ 説話、文学、民俗学          ・ 宗教、死生観</p>	講義 SGD	<p>（予習：1時間半）          世界宗教について、基本的な事柄を自分なりに調べる。          （復習：1時間半）          授業で示された資料や参考文献をよく読み、自分なりに考察を深める。</p>
9	枝松 裕紀	<p>[授業内容]          テーマ：遺伝子工学と人類社会（1）          次の事項を議論する：          ・ 遺伝とは何か？ 遺伝子とは何か？          ・ 遺伝子工学の始まり</p> <p>[キーワード]          ・ メンデル、珍獣鼠育艸、DNA、ワトソンとクリック、X線物理学          ・ アシロマ会議、遺伝子組換えに関するガイドライン、ポール・バーグ、フレデリック・サンガー</p>	講義 SGD	<p>（予習：1時間半）          キーワードについて、ネット検索などしておく。リンクされている文献などを読むのもよい。          （復習：1時間半）          遺伝子工学に関係した活動は、どのように進められてきたか。各自でまとめよ。</p>
10	枝松 裕紀	<p>[授業内容]          テーマ：遺伝子工学と人類社会（2）          次の事項を議論する：          ・ 遺伝子工学の応用          ・ 遺伝子解析技術とゲノム編集</p> <p>[キーワード]          ・ カルタヘナ法、ベクター、遺伝子組換え作物、食料問題          ・ 次世代シーケンシング技術、がん遺伝子パネル検査、ゲノム編集作物、法規制</p>	講義 SGD	<p>（予習：1時間半）          キーワードについて、ネット検索などしておく。リンクされている文献などを読むのもよい。          （復習：1時間半）          遺伝子関連技術が社会で良い使い方をするために何が必要か。各自の考えをまとめよ。</p>

11	佐野 裕子	<p>[授業内容]          テーマ：呼吸リハビリテーションの概念の変遷とこれからの展望          次の事項を議論する：          ・呼吸困難と低酸素血症          ・リハビリテーションにおける予防的介入手法</p> <p>[キーワード]          ・COPD、息切れ、呼吸トレーニング、日常生活活動、低酸素血症          ・フレイル、サルコペニア、身体活動性</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半)          COPD（慢性閉塞性肺疾患）の病態、治療について調べておく。          (復習：1時間半)          多職種の特長性を理解し、チームで実践するCOPDのリハビリテーションについて考える。</p>
12	藤倉 ひとみ	<p>[授業内容]          テーマ：セクシュアルマイノリティと文学          次の事項を議論する：          ・欧米クィア史と文学          ・現代のクィアを考える</p> <p>[キーワード]          ・英米文学・文化、セクシュアルマイノリティ、クィア          ・アメリカ文学・文化、セクシュアルマイノリティ、SOGI</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半)          欧米においてセクシュアルマイノリティの人々が歴史的に受けてきた扱いについて調べておくこと。          (復習：1時間半)          議論を通して学んだことをもとに、セクシュアルマイノリティとの関わり方について考える。</p>
13	新井 一	<p>[授業内容]          テーマ：脳神経外科学の発展 ～そのパイオニア達～          脳神経外科学の発展の歴史を振り返り、その発展の軌跡を知る。</p> <p>[キーワード]          ・脳神経外科手術、機能温存外科          ・脳血管撮影、CT、MRI</p>	講義 SGD	<p>(予習：1時間半)          脳神経外科で扱う疾患は？調べてみよう。          (復習：1時間半)          パイオニア達の情熱とそれを支える医療技術の進歩について、学んだことをまとめる。</p>

14	田中 和廣 廣津 信義 藤倉 ひとみ 馬場 猛	<p>[授業内容]          テーマ：まとめ          次の事項を考える：          ・新しい世界はどう切り拓かれたか？          ・これから新しい世界を切り拓くには？</p> <p>[キーワード]          ・4学部共通講座のふりかえり          ・必要となる“真の教養”とは？          ・大学生活でどう学んでいくか？</p>	課題レポート作成	<p>(予習：4時間)          これまでの授業で感動した内容、印象に残ったグループ・ディスカッションをまとめておく。</p> <p>(課題レポート作成：8時間)          これまでの授業をふりかえり考える。将来の自分にとって不可欠な教養にどんなものがあるか考え、それらを大学生生活および生涯にわたってどう学習していくか計画をたてる。これらの課題について指示にしたがいレポートを作成し提出する。</p>
		定期試験を実施しない		








--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）